

中華人民共和國

人口・家族計画第二次基礎調査報告書

昭和61年3月

国際協力事業団
医療協力部

中華人民共和國

人口・家族計画第二次基礎調査報告書

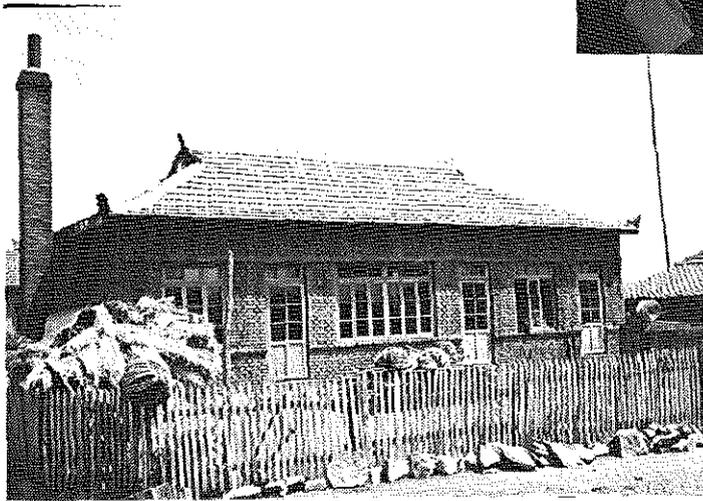
昭和61年 3 月



◀調査団メンバー
吉林大学にて

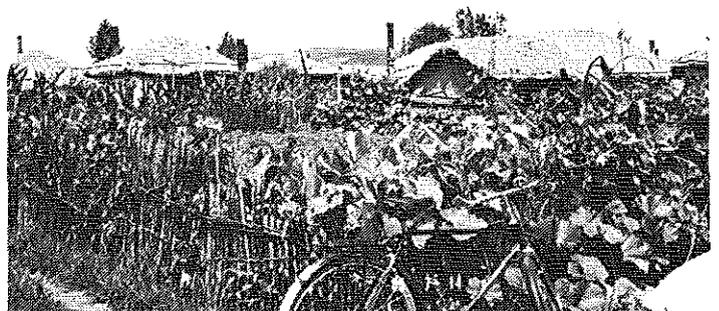


会議風景▶



◀レンガ造りの農家
延辺朝鮮族自治州にて

伝統的な農家の家屋▶
延辺朝鮮族自治州にて

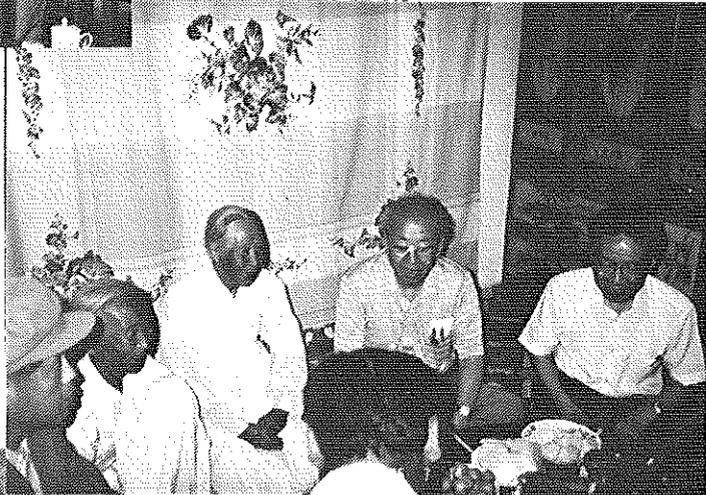


ハングルと中国語で併記された▶
人口関係のスローガン
延辺朝鮮族自治州にて



◀會議風景
黒龍江省ハルビンにて

延辺朝鮮族自治州▶
の農家にて



◀會議風景
遼寧大学にて

序 文

日本国政府は、中華人民共和国政府の要請に基づき、同国の人口家族計画に関する基礎調査を行うこととし、その実施を国際協力事業団に委託した。

当事業団は、黒田俊夫氏を団長とする6名の専門家から成る調査団を編成し、1985年7月8日から7月23日までの間、現地調査を行った。帰国後、現地調査で得られた結果と資料に基づいて問題点の解析・検討等の国内作業を経て、成果を本報告書として取りまとめた。

本報告書が、中華人民共和国の人口家族計画の推進に役立つとともに、同国の社会的・経済的発展に寄与し、ひいては、同国とわが国との友好親善をより一層深めることに貢献出来れば幸いである。

終りに、本調査の任に当られた団員のご協力に敬意を表すると共に、調査に際し、多大のご協力を頂いた中華人民共和国政府関係機関、在中国日本国大使館、および外務省はじめ国内関係機関各位に対し、深甚なる謝意を表する次第である。

1986年3月

国際協力事業団
理事 末永昌介

目 次

序 文	5
第 1 章 総 括	9
第 2 章 中国一般概要	13
1 人口政策の動向	15
(1) 2000年の中国人口	15
(2) 先進国水準にせまる人口転換	16
(3) 出生力転換の日本・中国の類似性	16
(4) 政策の方向	18
2 経 済	20
(1) 経済・社会概要	20
① 概 況	20
② 経済・社会の現状	21
(2) 農村の現状	23
① 歴史的経緯	23
② 農村の新しい体制	24
③ 生産責任制	26
④ 専業戸	26
⑥ 今後の動向	26
第 3 章 吉林省における農村人口出生力と生活水準に関する調査	29
1 吉林省概況	31
(1) 地 勢	31
(2) 人 口	32
① 人口動向	32
② 計画生育	33
(3) 経済、開発計画	36
2 調査の概要	42
3 集計結果の分析	42
A 総体分析	42
B 地域分析	49
4 集計表	71

第4章 吉林省における農村人口出生力と生活水準に 関する調査／中国側報告書概要	105
1 農村人口出生力と生活水準に関する第2次日中共同調査の概況	107
2 集計表	113
第5章 付・資料	137

第1章 総括

1984年、私共は、吉林省において都市部、農村部の若干の地域における家族計画を中心とする出生力調査を行った。これは中国、日本の専門家による緊密な共同協力体制による調査研究であって、極めて貴重な成果と経験をもつことができた。

この経験を基礎として、同じく吉林省において全省サンプリングの方法によって、さらに詳細な資料を入手することを目的として大規模な調査を実施した。1984年の調査がわずかの村におけるいわば典型的調査であったのに対して、今回は全省を代表するサンプルの抽出によるものであることに著しい特徴がみられる。

吉林省は周知の如く、家族計画政策のみごとな実行とめざましい出生率の低下を実現したモデル省の1つでもある。それだけに、この省の家族計画プログラム、出生力の実態を明らかにすることは、吉林省自体の政策のこれからのありかたについての有用なデータを提供することになるばかりでなく、他の各省の計画生育政策について教訓となることが期待される。

特に、この調査の重要な目的は、生活水準の上昇と出生率との関係を明らかにすることにある。これは中国の計画生育委員会の発案によるものである。当時、集団的農業経営から請負制への転換を中心とする新しい経済体制が採択され、特に農家の生活水準が急速に上昇しつつあった。このことが農家の出生力、いいかえれば“1人っ子”といった出生児数に対する政策が、生活水準の上昇によってどのような影響が生ずるのであろうか、といった懸念が計画生育担当の中央部においても、また専門家の間においても出始めていた。その初期において、いち早くこの問題の理解のためという目的をこの調査の焦点に置いたことは、まことに鋭敏な感覚によるものといえよう。

生活水準の上昇に総合的に表象される近代化は、先進国の歴史的、国際的経験によって、出生力低下 (fertility decline) を導き出す基本的要因であったことは明らかにされている。しかし、中国の計画生育政策と出生力低下に関する現実の課題の中で、新しく発生した新経済体制と生活水準の急激な上昇という事実が、計画生育政策や出生力行動にどのような影響をもたらすかについて、歴史的、長期的仮説を直ちに適用することは危険といわなければならない。特に、中国の急激な経済的大変化の人間の諸行動への影響は全く新しい局面のものとして考えることが望ましいであろう。今回の調査は、その意味において、理論的に、政策論的に重大な課題を内包しているし、また国際的にも意味深いものといえよう。

中国の画期的な出生力転換は、今日では国際的にも広く知られている事実である。ただここで特に注目すべき点は、顕著な経済的進歩を待たずして、出生率の低下が先行したこと、そのめざましい出生率低下の開始のあと間もなく生活水準の懸著な上昇ならびにさらに将来における上昇の可能性の期待が生じたということである。いいかえれば、小家族制は、国家や地域のためのみならず、個々の家庭の豊かさと幸福をもたらすという政府の宣伝教育にみられた公約がたちまち実現したということである。この計画生育思想の普及と経済的進歩の微妙なタイミングは — 西

欧社会の歴史的経験とは逆のパターンではあるが — “1人っ子” に代表される計画生育思想を定着させる上においてきわめて好都合な関係にあるといえよう。

今回の調査結果については、中国側による詳細な報告書が提出されるとともに、日本側においても、コンピューター集計による別個の詳細な分析を行うことができた。

いずれにしても、中国に前例のない出生力調査であり、かつ全く新しい現実を基礎とした調査であるだけに、政策立案との関連において重要な意義をもっている。農村における請負制の普及がもたらしたもう1つ重要な課題は、農家すなわち農業（家族全員が農業に従事しているいわゆる専業農家）であったのが一変して極めて多様化してきたことである。日本でも戦後経済成長にともなって農家の分解が進行していった。世帯革命といってもよい世帯の構造的変化を明らかにすることは、出生力問題との関連において重要であるばかりでなく、人間行動の変化をひきおこす社会変動として捉える必要があるように思われる。

今回の調査においても、この点に着目して調査項目を慎重に検討した。全国サンプルによる前例のない大規模な出生力調査（1982年）があるが、部分地域・省の規模のサンプル調査は、今回がはじめてである。この特定地域についての詳細な調査分析結果には、全国調査から得られない幾多の貴重な政策に貢献する示唆が得られた。

第2章 中国一般概要

1 人口政策の動向

(1) 2000年の中国人口

中国政府は、2000年における中国人口の目標を12億に設定していることは広く知られているところである。この目標達成が中国の4つの現代化にとってもっとも基本的な必要条件となっているだけに政府、学会、人民の重大関心事となっている。1982年の人口センサスによる中国人口10億817万人（本土）は、前回の1964年の人口センサス人口6億9,458万人に比較すると18年間の増加率は45.1%となっている。1982年から同じく18年後の2000年の人口を12億と推計すると、この18年間の増加率は20%以下になる。前の18年間の増加率45.1%を半分以下の20%に引き下げる必要がある。前の18年間の年平均増加数は1,742万人であったが、2000年の人口を12億に抑えるためには、これからの18年間の年平均増加数を1,066万人に縮小しなければならない。

また、1983年について計算された合計特殊出生率2.1が不変だと仮定した場合には、中国の人口は2000年には13億を越えると推計されている（1985年8月13～19日開催のESCAPのCommittee on Populationにおける中国政府代表の報告）、このような人口増加は、中国の社会経済的発展に対する重大な挑戦であり、国民の生活水準の改善は期待されないという深刻な認識の下に、中国は人口の量のコントロールと人口の質改善のための家族計画の促進をはかっている。そのもっとも典型的なものが1979年以降の“1夫婦あたり、子供1人”の政策である。

2000年の中国人口を12億とする政策目標については、責任当局者によってしばしば言明されてきたことであるが、ごく最近この目標値に関連して注目すべき研究結果が発表された。重要な意義をもっていると考えられるので、若干その要点を述べておこう。

それは、The State Council Technological and Economics Research Centerの専門家グループによる研究報告“China by 2000”である。Beijing Review¹⁾ならびに Population Headliners²⁾によって要約すると次の如くである。

- ① 年人口増加率を0.95%で維持すると2000年の人口を12億に抑制することができる。
- ② 年率1.34%だとすると2000年の人口は12億8,000万となる。1949年から1982年までの33年間のうちに、異常な年であった1959-61年の3年間および著しく低率であった1976-79年(1.16%～1.26%)を除いた26年間の年増加率は1.34%よりも高かった。
- ③ 1950～57年および1962～73年の2個の時期の人口増加率は年率2%を越えていたが、この時期に生まれた多数の子供達は今世紀の終わりまで再生産年齢にあるため、12億の人口目標の達成を困難たらしめるであろう。

- ④ あらゆる努力を行っても2000年の総人口が12億5,000万になることは避けられないかもしれない。
 - ⑤ 中国の乳児死亡率は、1981年の35（出生1,000人に対し）が2000年には20に低下し、平均寿命は1982年の68年が約72年に延びるであろう。
 - ⑥ 年齢構造も子供人口（0～14歳）の割合の著しい縮小、高齢人口（65歳以上）割合の急速な増大によって高齢化が進行するであろう（0～14歳人口割合は24.3%、15～64歳生産年齢人口割合は68.8%、65歳以上高齢人口割合は6.9%）。
- 以上が、2000年における中国人口について中国側の専門家が行ったもっとも新しい情報である。

(2) 先進国水準にせまる人口転換

1970年代から1980年代にかけての中国の人口転換、特に出生力低下はまことにめざましいものがある。普通出生率（crude birth rate）でみると1970年には33.4という高水準にあったが1979年には17.8という中国の人口動態史上最低に達した。低下率は46.7%で、ほとんど半減に近い。1981年、1982年にはそれぞれ20.9、21.1と若干反騰をみせたものの、1983年には18.6、そして1984年には17.5低下傾向をとり戻している。1979年の17.8をさらに下回って最低記録を示した。合計特殊出生率（TFR）でみても1970年の5.812が1978年には2.716、10年足らずの短期間に半分以下（1970年の46.7%）に激落している。さらに、1980年、1981年には2.43、そして1983年には2.07と劇的な低下傾向を示している。TFRが2.07ということは純再生産率1に著しく近いこと、したがって静止人口達成の可能性をもつに至ったことを示唆している。このTFRの水準は韓国と同水準（2.077, 1981）、ブルガリア、ニュージーランドより若干高く、また、ルーマニア（2.372, 1981）、ポーランド（2.235, 1981）、ユーゴスラビア（2.128, 1979）、チェコスロバキア（2.094, 1981）の生進諸国よりも低い。日本と比較すると、1974年の2.049よりも若干高い。

普通出生率についてみると、1984年17.5は先進国水準に達したといってもよいであろう。ソ連（20.1, 1983）、ポーランド（19.7, 1983）、は中国よりも高く、シンガポール（17.3, 1982）と同水準にあり、キューバ（16.8, 1983）、ユーゴスラビア（16.6, 1983）、ポルトガル（16.4, 1980）より若干高い。オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ合衆国、ルーマニア、カナダが15の水準にあることを考慮すると、中国の水準は先進国の水準に達したといっても過言ではない。

(3) 出生力転換の日本・中国の類似性

以上のような中国の出生力転換のめざましいパターンが日本の戦後におけるそれと著しく類似していることが注目される。日本の場合、1947年から1957年までの10年間に於いて出生率はほぼ半減（34.3から17.2）するという異例的な低下が生じたが、22年おくれで中国において全く同様

な出生率の激落が生じた（表1参照）。1969年の34.1が、1979年に17.8へとほぼ半減した。出生率水準も、半減に要した期間もほぼ同一である。中国の場合、1963年の43.4を出発点とすると半減したのは1976年の19.9であって、この場合の期間は13年となる。いずれにしても先例がないといわれた日本の出生力転換が、22年後に中国において実現したのであって、国際的にも注目を要する事実である。

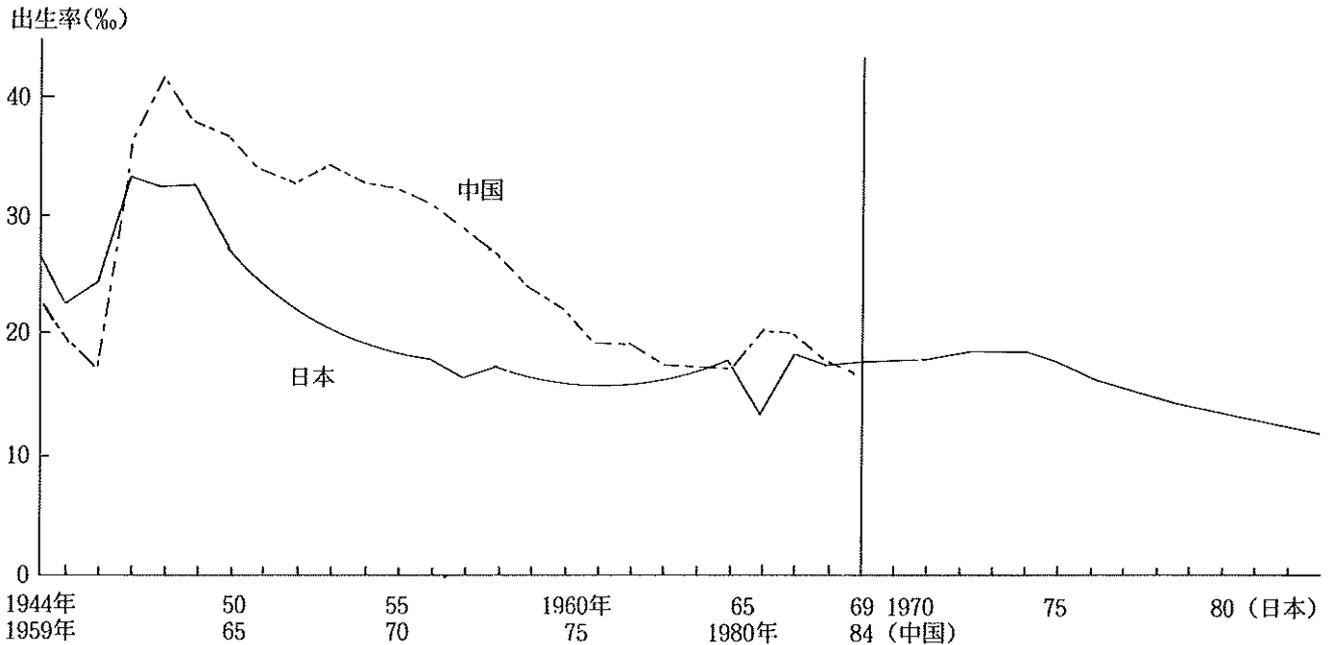
表1 出生力転換の日本・中国の比較

日 本		中 国	
年 次	出生率 (%)	年 次	出生率 (%)
1947	34.3	1963	43.4
1948	33.5	1964	39.1
1949	33.0
.....
.....	1969	34.1
.....
.....
.....
.....
.....	1976	19.9
.....
.....
1957	17.2	1979	17.8

資料：日本は厚生省人口動態統計，中国は『中国統計年鑑』1984年版による。

日本と中国のこのようなきわめて類似した出生力転換をわかりやすく示すために、日本の1944年を中国の1959年に対応させて、出生率の変化の傾向を重ね合わせてみると図1の如くである。日本では1945、1946年は第2次大戦の終了年次とその翌年の異常時期であって、出生率は著しく低下しているのに対し、中国の1960、1961年は自然災害による異常時期のため出生率が激落している。それぞれ要因は異なるとしても異常事態の結果としての出生率の激落が生じ、そのあと出生率の著しい上昇、出生ブームがもたらされている点においても共通である。両者の出生率低下の過程は異なっているが、中国の出生率が現在到達している水準は、日本の1960年代のそれに対応している。このことは、中国の出生力転換も最終段階に接近していることを示唆しているといえてよいであろう。

図1 出生力転換の日本・中国の対照



(4) 政策の方向

1983年の合計特殊出生率は2.07と発表され、1981年の2.63、1982年の2.5に比較して顕著な低下を示し、家族計画政策のめざましい成功ぶりを立証している。しかし、2000年における人口を12億に抑えるためには、合計特殊出生率を1985年に1.7、そして1990年以降1.5で安定させることが必要であることも推計されている。³⁾このことは必ずしも容易ではない。

さらに、考慮を要する点は、人口情性 (inertiaあるいはmomentum) である。過去における高出生率あるいは出生ブームの影響である。1950～1957、1962～1972年の2つの出生ブーム期の出生人口が今世紀末までの期間において再生産年齢人口に達することである。1983～1992の10年間に、2,200万人以上の若い女性が結婚するものと予想され、この時期の平均初婚件数は1970年代のほとんど2倍に達すると推計されている。このことは、出生の絶対数を増大せしめ、普通出生率を高める要因となる。

しかし、出生力コントロール (fertility control) 強化による出生率低下の余地はなお残されているように思われる。

第1は出生率の著しい地域格差の存在である。そのことは、出生率の著しく低いところは、さらに低下の余地が少ないとしても、なお高い地域における抑制の促進が期待される。1981年の合計特殊出生率⁴⁾を地域別にみると大都市で著しく低く、上海市の如きは1.316であって、全国水準の2.584の約半分である。全国水準の2.584を越える省、自治区は16あり、3以上の高いのは4省、4自治区に達している。出生力の地域格差の縮小という方式による出生率低下の余地がみられる。

第2は、上海のような大都市以上に出生力コントロール効果が都市化、工業化のおくれている

地方において可能であることが立証されるに至ったことである。たとえば、1984年の普通出生率が、上海市よりも明らかに農村的である地方の遼寧省、吉林省において上海市水準を下回るに至ったことである。1984年の上海市の出生率13.6に対して、遼寧省は11.5、吉林省は11.8という超低水準を実現している。遼寧省の人口は3,600万人、吉林省のそれは2,300万人という大人口である。世界で最低の西ドイツの水準に近い出生率を達成したことは、これからの中国全体の家族計画政策の効果のいっそうの浸透の可能性を十分に示しているといえよう。

第3は、“1人っ子政策”とそのすばらしい成果に関連して、1人っ子の強制とか、人工妊娠中絶の奨励といった誤った批判が国際的にないわけではない。しかし、“1人っ子証（独生子女証）”をもらったものは、1984年末で2,817万人、それは妊娠可能年齢の有配偶夫婦数1億5,000万組の18.25%にすぎない。⁵⁾また、1982年人口センサス10%抽出集計結果によると、1981年に第1子を産んだ者は47.3%、第2子を産んだ者は25.7%、第3子以上を産んだ者が27.0%ある。出生順位別出生が第1子へ強まる傾向は明らかであるが、第2子、第3子以上が53%と半分を越えていることに注目しなければならない。

第4は家族計画政策あるいは1人っ子政策推進にあたっての地方行政当局の指導力の問題である。政府は、それぞれの地域における特殊事情を十分に考慮して、誘因、非誘因となるべき手段を採用することを下部機構に認めている。それぞれの地域の特殊性に応じたもっとも効率的、効果的な手段を講ずるといって、創意工夫の余地が与えられている。吉林省の“三普及（人口理論、家族計画手段、優生についての徹底した普及政策）”などはそのよい例であろう。しかし、このことは反面においてプログラムの実施面における地域差、効果の地域差が生ずる可能性がある。基本方針や実施要領は中央によって示されるが、現実には地方政府、特に末端行政における活動のありかたは、地方における出生率水準に微妙な影響をもたらすことになるであろう。

第5は、今回の調査の意義である。農村における生産請負制の全面的な実施による農民の生活水準の画期的な上昇と将来への期待感が家族計画にどのような影響をもたらすか、あるいは、どのような関係が存在するかについての今回の調査は、たとえ吉林省に限定されたものであるとしても、前例のないものであるだけにその結果分析が期待される。

注

- 1) Vol. 28, No. 44, November 1985.
- 2) No. 129, December 1985.
- 3) 千分の1サンプル出生力調査の分析, Asian-Pacific Population Programme News, Vol. 4, No. 2, June 1985, ESCAP.
- 4) 1982年センサス10%抽出集計結果
- 5) 1985年, ESCAPのCommittee on Population での中国代表報告。

2 経 済

(1) 経済・社会概要

① 概 況

1985年3月9日公表の『84年度国民経済，社会発展に関する統計公報』（中国国家统计局），並びに同3月27日，第6期全国人民代表大会第3回会議における趙紫陽総理の政府活動報告『当面の経済情勢と経済体制の改革について』に見られるように，中国経済は79年以来発展を続け，84年度はさらに大きく発展をしている。ことに84年度の成長はめざましく，農・工業の生産が前年比14.2%という飛躍的伸びをみせ，食糧生産も多年の目標であった4億トンを超えるという画期的成果を上げている。こうした成長により，84年度の国民所得と政府財政収入は前年比12%増という79年以来最高の伸びを示している。

かかる中国の経済発展は，79年以来の農村経済政策の改革によるもので，農村における，世帯，農民単位の請負生産責任制を中心とする一連の経済改革が進んだ結果によるものである。したがって党および政府は，今後も引き続きこの経済改革を推進する方針であり，農村改革から都市改革へという経済改革政策を打ち出している。そして85年の主要な政策課題に，農村の生産責任制のさらなる整理推進，農産物の統一買付・割当買付の改革（廃止の方針），労働の質と量に応じた賃金への改革，市場メカニズム導入を考慮した価格への改革，などを挙げている。

79年来，こうした政策のもと，農産物の増収と国民所得の増加に対し，人口の伸びは鈍化しているから，国民1人当たりの消費は年々高い伸びを続けており，国民生活の充実化が進んでいるものと見られる。たとえば，1人当たりの食肉，とくに豚肉の消費量は79年から年率約10%もの伸びを示しており，食生活の急速な向上が推測されること。79年以来の農村の住宅建築は年平均7億平方米（日本全国1億平方米），都市の公的住宅建設は1億平方米という高ピッチの住生活の改善。テレビ，洗濯機，冷蔵庫など家電製品の需要が急増しており，年々5割増の増産が続けられているにもかかわらず，日本などから大量の家電製品を購入していることなど，生活水準の向上がうかがえる。

また，国民の経済生活の変革は，家庭，子どもへの意識にも影響を及ぼし始めている。85年春に，四川省，北京市郊外，遼寧省等の計画生育委員会県レベルが行った農村生活調査によると，“子どもを育てる時間がない。もう1人ぐらい子どもを養育する金がないわけではないが，今はまず生活をよくすることが先決であり，今は生活をよくすることができるときだ”と答える夫婦

が40数%であった。（『中国健康報』85年3～5月）

いまや中国農村の経済改革は、経済ばかりではなく、社会そして国民意識にも多大の変化をきたしている。

② 経済、社会の現状

85年3月、中国国家统计局は、84年度における中国の国民経済と社会発展に関する各分野の統計を公表しているが、これを基に、中国の経済、社会の現状について概要をまとめる。

1) 農業

請負生産責任制はいっそう整備進展し、各種の専門農家（専門戸）と経済連合体が出現し、商工業、運送業、建設業、サービス業等に従事する農村民も大量に増加している。これによって、農産物の増収がさらに進んでいる。農産物の増収が、農産物の商品化、加工商品化そして副業生産物の増加をもうながし、相乗作用的進展をみせている。

農業総生産は、79年から83年まで年率7.9%の伸びであったが、84年度は前年比14.5%増と飛躍的伸びを遂げている。また、牧畜業および副業部門の増産もめざましいが、これは直接収入につながることや加工業が急速に発展している結果であろう。

林業、漁業も規模は小さいが、それなりに著しい成長をみせている。最近の農業生産動向は次表のとおり。

〈表〉 農業生産動向と人口・食糧

	単位	1980年	1981年	1982年	1983年	1984年
農業総生産	億元	2,223.0	2,369.2	2,632.3	2,881.8	3,299.7
作物栽培	億元	1,415.3	1,498.3	1,653.0	1,789.4	1,955.9
林業	億元	94.5	98.4	106.8	117.7	137.9
牧畜業	億元	339.6	359.6	407.0	423.0	496.1
漁業	億元	38.8	40.5	45.5	49.4	70.3
副業	億元	334.8	232.4	420.0	502.3	639.4
郷鎮企業	億元	247.6	277.8	304.7	371.0	502.4
食糧	百万t	320.6	325.0	354.5	387.3	407.1
綿花	万t	270.7	296.8	359.8	463.7	607.7
人口	万人	98,705	100,072	101,541	102,495	103,604
1人当たり食糧	kg	324.8	324.8	349.1	377.8	392.9

注：81年の1人当たり食糧は、80年よりg単位で減少している。

（84年度、中国統計局公報）

2) 工業

中小規模企業の自主権の拡大などにより、技術改良、技術導入、企業間整備そして経営管理な

どが進み、84年の生産総額は7,015億元と前年比で14%増、計画の5%増をはるかに上回る成長を遂げている。

工業生産増の内訳をみると、国営工業生産額は前年比11%増、集団所有制工業生産額が21.9%増と、集団所有制の伸びが顕著である。

3) 商業

市場による商品供給は、84年もさらに増大し、商品小売額は急増している。84年度の小売総額は3,357億元（前年比17.8%増、価格上昇分を差し引いても14.6%増）。

主要消費物資小売量の増加はここ2、3年の傾向であるが、内容をみると、国民生活向上の様子がよくうかがえる。

また、商業体制改革によって、流通ルート、販売ネットワークなどもいちおうの形態ができ、都市取引センターは84年末までで2,248設置されている。全国に58,000余ある国営の小売店、飲食店、サービス業店のうち約46,600店を集団、あるいは個人の経営に転換した。大衆の自由市場である「市」は、84年中に約8,000増え、全国の津々浦々に約56,000余あると推定される。

<表> 84年度主要物資小売量の前年度比

食糧	19.5%増
砂糖類	9.7%増
卵類	16.1%増
綿・混紡等生地	4.9%増
毛織物	23.8%増
絹織物	19.0%増
毛糸	29.6%増
自転車	9.9%増
カメラ	17.7%増
テレビ	53.3%増
扇風機	54.0%増
テープレコーダー	59.7%増
洗濯機	83.7%増
冷蔵庫	130.0%増

(84年度中国統計局公報)

4) 教育、文化

教育事業も国の当初計画（第6次5カ年計画、81～85年）より早いテンポで進んでいる。

学校教育分野でみると、初等教育はほぼ全国的に普及したのか、小学生徒数には前年との変化はないが、中学校以上の増員が目立ち、上級学校への進学増加がうかがえる。また、84年は、国務院に教育委員会が設けられるなど、教育改革も進められて、大学等高等教育の充実や学生数の増員（85年までの計画を1年早めた）が行われた。

文化、社会教育、報道などの事業は、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等の普及によって急激に進んでいる。

5) 医療・衛生

医療・衛生分野は、施設の拡大と整備、医師の増員、はだしの医者への再教育再配置など国民生活の向上とともに進展している。

病気では、ウイルス肝炎、ジフテリア、百日咳など15種の急性伝染病の発病率が急速に低下している(83年より20%減)。

6) 生活

全国2,100余県の中の600県の31,435世帯『農家収支状況サンプリング調査』（85年統計局集計）によると、84年の1人当たり純収入は前年比14.7%増の355元3角に達した。1人当たりの生計費は273元4角（前年比10.1%増）。同じく全国都市のうち82市の12,050世帯『労働者、公務員等家庭収支サンプリング調査』では、1人当たり生計費（消費）が前年比15.5%増の608元。物価上昇による調整収入はあったが、物価上昇分を差し引くと実質収入は12.5%増にしかならず、給与生活者の生活は苦しかったものと推測される。

都市部の労働者、給与生活者は、84年末で1億1,824万人、個人経営者は296万人（前年比65万人増）であるが、労働者、給与生活者の平均賃金は961元(84年)。

住宅建設、耐久消費財購入など消費支出の増大するなかで、貯蓄も増え続けている。84年末の国民総預金残高は1人当たり1,200元余、前年比36.1%増という急増を示している。

〈表〉 国民所得の動向(84年度中国統計局公報)

項目	単位	1952年	1957年	1965年	1975年	1981年	1982年	1983年	1984年
国民所得	億元	589	908	1,387	2,503	3,940	4,261	4,673	5,485
指数(1952年=100)	%	100	153.0	197.5	384.7	541.2	586.1	639.4	931.2
1人当たり国民所得	元/人	104	142	194	274	396	423	458	529

7) 社会福祉

84年現在、農村で集団から保護を受けている障害者、児童、老人は271万人、農村部の養老施設は約21,000、収容老人数は241,000人余。都市部の社会施設は1,200、約7万人の障害者、老人、児童を収容している。また、貧困家庭の補助、とくに農家助成を行っており、84年度は約243万戸の農家助成を行っている。

8) 対外貿易等

通関統計によると、84年の輸出入総額は前年比39.7%増、1,201億2,000万元。40億元の入超。外資導入は26億6,000万ドル、観光収入は11億3,000万ドルで、日本、アメリカ等外人113万人、華僑等同胞1,172万人を受け入れている。

(2) 農村の現状

① 歴史的経緯

中国農村では、52年に土地解放が行われた後、農業の共同化が進んだ。最初の「互助組」から「合作社」へ、そして58年から始まった「大躍進」と人民公社運動によって、村規模の合作社の

いくつかが合併され、末端行政機関である郷人民政府と合体され「人民公社」(政社合一)が作られた。

人民公社は、公共事業、農業の機械化、農村工業を進めるのに適した組織制度であり、政治的、社会的にも、軍事、行政、教育を司どる基層組織であるとされた。公社制の組織形態は、人民公社—生産大隊(旧高級合作社:居民村)—生産隊(旧初級合作社:集落,居民小組または村民小組:平均約30戸)の3段階にわたる所有・管理体制で成っており、生産隊を基礎的経営単位として、農地や生産手段を集団所有させ、労働時間を主な基準として生産分配を行う。

公社制は、58年創設から20年にわたり、党と政府指導によって続けられ、農村において確実に定着した体制であるとされてきた。

しかし、公社制成立20年目の78年12月、党中央委員会総会(三中総会)において、人民公社の見直しが問われた。ただし、三中総会の見直しは、公社制の下で沈滞してしまっている農業生産を高めるため、農民の生産意欲を喚起する方策「生産責任制」を導入することであって、積極的に公社の解体をはかるものではなかった。

ところが、生産責任制は、農家世帯を単位に、生産を請負わせ、労働の成果によって収入は反映されるという制度であるから、共同労働、共同経営、平等分配を基底とする公社制とは根本的に相い入れない制度であった。

生産責任制の導入によって、目覚めた農村は、新政策をバックに次第に経済効果を上げ、公社制の弊害を打破し、公社崩壊の方向へ進んでいった。早くも80年には、人民公社の看板を外し、郷人民政府と農業連合会社に政経分離した公社も現れるに到った(四川省広漢県向陽人民公社)。

こうした農村の状況変化を見きわめ、82年12月開催された第5期全国人民代表大会第5回会議は、「人民公社は農村の集団経済の一形態であった」と明示する「新憲法」を採択したのである。

② 農村の新しい体制

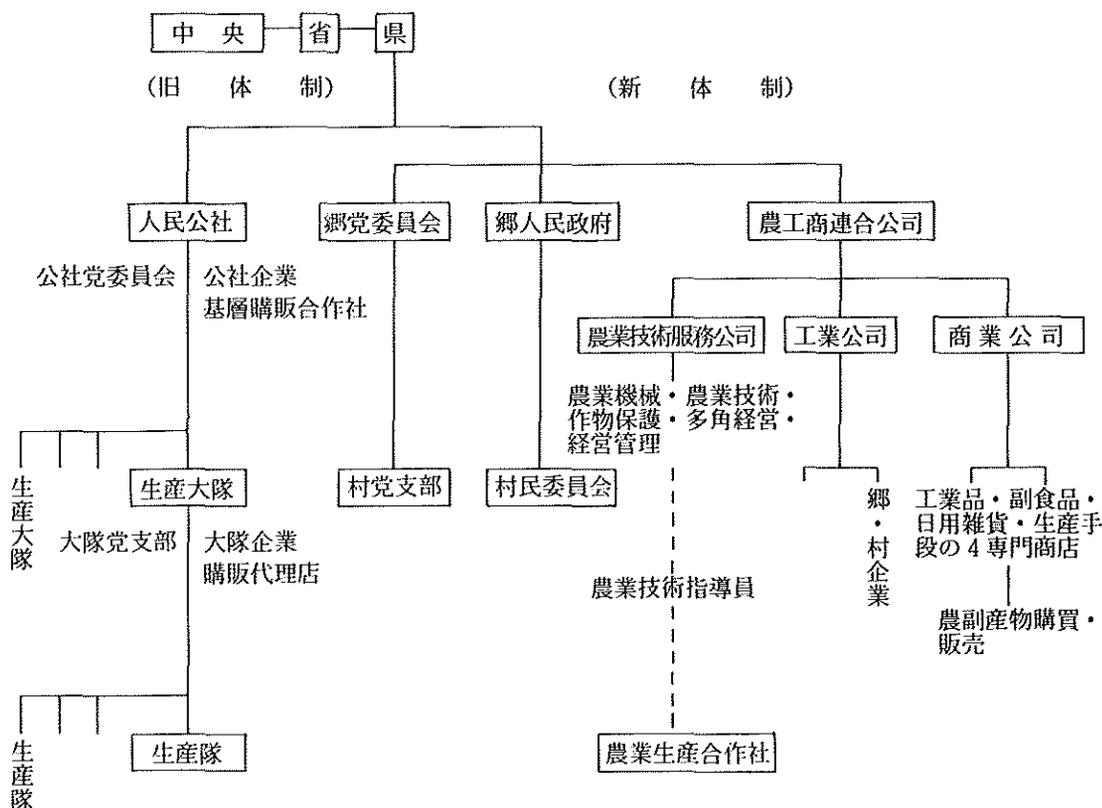
「新憲法」の公布により、83年に入ると全国で政経分離は進み、83年末には全国の約半分の公社が解体、84年末には、辺境の特殊地域を除く、全中国5万4千余の人民公社が解体するに到ったのである。

公社は解体され、「郷共産党委員会」、「郷人民政府」、「連合経済組織」(「農工商連合公司」)に大きく3分離した。また、公社の下の生産大隊は村民委員会(行政村)と村公司や村企業に、さらに生産隊は合作社に再編成されたのである。

1) 郷党委員会

全郷の生産と工作を指導し、政策の宣伝教育を行い、行政村党支部、連合公司、党員を指導する。郷党委員会は、書記1名、副書記2名、ただし副書記1名は郷長を兼任、10名以内の委員で構成されている。

<図>公社, 郷レベルの新旧体制(機構)



2) 郷人民政府

全郷の行政工作；税徴収，治安，民生，公共事業，文教，衛生，人口計画，民兵等に関する公務を行う。郷政府は，郷人民代表大会で選ばれた郷長（副書記）と副郷長そして数名（5名程度）の行政幹部（公務員）とで行政業務を行う。

3) 農工商連合公司

郷の農工商各部門の生産と販売を經營管理する。現在，工業公司（郷營企業の經營管理），商業公司（供銷社；農協購売部を基に，農工業生産資材や生活必需品の購入と販売），農業技術服务公司（農林牧畜漁業および副業の技術指導サービス）を下部組織とする。

4) 村民委員会（村民組）と生産合作社（村民小組）

生産大隊が村に，生産隊は集落単位の合作社（村民小組）に再編成され，村には選ばれた村長と書記1名があり，郷政府から下達された行政業務を行うが，正式な行政機関は村レベルにはない。村の主な決議は村民委員会が行い，郷政府に上申する。生産合作社は，地域農民による集團組織で独立採算，損益に責任を持ち，社長，副社長，會計幹部の3名は選挙によって決められる。世帯，農民個人の請負生産責任制は合作社内で決められる。

③ 生産責任制

公社制時代においても、生産向上のため、自発的にし戸請負生産や作業組請負生産などの責任制を実施する地域もあったようだが、いずれも政治的否定によって解消させられたといわれている。

78年の政策転換によって、79年から全農村で様々な形態の生産責任制が出現することとなった。そして84年現在は、世帯別経営の生産責任制（「包乾到戸」、一般には「大包乾」といわれている）が全国的に普及し、全農家の80%以上が包乾到戸である。

また、生産隊の98%は生産責任制を実施しており、そのほとんどが世帯単位生産責任制である。

「包乾到戸」（世帯別経営生産責任制）とは、「大包乾」（完全請負）ともいうように、各農家は請負農地において完全に経営権を持つ。役畜や農具の使用、栽培計画、生産投資をすべて自己の責任で行い、農業税、供出分、合作社（村民小組）への留保分、などを納めて、残りはすべて自己の収入益となる。「責任がもっとも明確で、利益はもっとも直截、手続きも容易」で、働けば働くほど収入が増えるといわれている。

④ 専門戸

生産責任制の普及によって、農民の生産意欲は昂り、農産物の増収もすすみ、収益の高い経営が求められるようになり、ある種の産品づくりを専らにする農民が大量に現れるようになった。これらの農民が「専門戸」または「重点戸」と称された。

専門戸とは、専らある産品の栽培業を営む農家だけでなく、現在は、農産物加工、運送、サービスなど各種の農村経済業務に従事し、それによる収入が全家計収入の半分以上を占める農村在住世帯すべてを指すようになっている。生産手段の所有形態によって、「請負専門戸」と「自営専門戸」とがあり、一般に請負専門戸が多いが、個人で養鶏、養豚を営んだり、トラックを持ち運送業を営むなどの自営専門戸もしだいに増えてきている。専門戸の種類はきわめて多種多様で、栽培業、飼育業、加工業、縫製業、運送業、建築業、製造業、修理業、そして商業、サービス業など多岐にわたる。

いまのところ、専門戸は土地請負の栽培専門戸がもっとも多く、農家総世帯（1億8,000万戸）の14%程度と推定されている（中国農民報、84年末、その後急増している）。

また最近、84年1月の改革によって、請負った土地の生産権利を他人に譲ることや15年以上の長期土地請負も可能となり、経営規模を拡大する専門戸が増えており、これらの専門戸が年収1万元、10万元という収入を上げて、「万元戸」、「10万元戸」とはやされている。

⑤ 今後の動向

中国の農村では、今後さらに分業化、専門化、農産物の商品化が進むものと見られている。土地は耕作能力のある専門戸が請負い、耕すことをやめた農民は他の専門に移る。政策は転業転職

を認め、移住も認めている。政策は、地方都市建設と郷鎮村内の街建設を促進しており、郷村内にも新しい店々が並び始めている。

84年3月の大公報によると、「中国の農村は圧倒的に労働過剰である。20億ムーの耕地をこれ以上増すことは難しく、この耕地で栽培農業をやるのは現在の農民の3割程度で十分である。農民の4割ぐらいが商業、サービス業関連の仕事に、そして、あとの3割の農民は養殖業、工業、大型工鉱業などに従事する」のが今後の方向であるといわれている。

第3章 吉林省における農村人口出 産力と生活水準に関する調査

1 吉林省概況

(1) 地勢

吉林省は中国東北部の中部にあり東経122度～131度、北緯41～46度の間に位置し、総面積18万7,400平方キロメートルで、日本の北海道、東北、関東地方を合わせた広さにあたる。

長春市を省都とし8つの省直轄市(長春, 吉林, 四平, 遼原, 公主嶺, 通化, 梅河口, 渾江), 1地区(白城), 1自治州(延辺朝鮮族自治州)に分かれ、その下に23市, 40県がある。県および市の下にはかつての人民公社にあたる郷(1982年現在で865郷)と鎮(同年254鎮)があり、郷の下には村(かつての生産大隊, 同年10, 152村), 村の下には村民組または村民小組(かつての生産隊, 同年70, 381村民組)がある。

地形は中部の平野地域, 西部風砂地域, 東部山岳地域にわかれ、中部が主な穀倉地域である。黒龍江, 遼河, 鴨緑江, 図們江, 綏芬河, 松花江など河川・湖が多い。また、主な山としては、長白山脈の白頭山(2, 744m)があげられる。

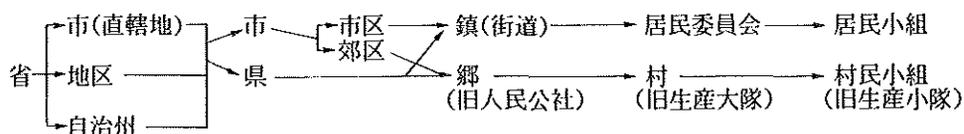
気候は温帯北部気候で朝晩の温度差が大きく、冬は長く寒さが厳しい。気温は年平均摂氏4度で、最高気温摂氏37. 8度、最低気温摂氏-39. 5度の記録がある。

耕地面積は1984年に総面積の22%にあたる6, 082万500ムー(405万ヘクタール, 全国耕地面積の4. 1%ムー)で、穀物生産は、326. 9億斤(約160万トン)となり、1949年の91. 8億斤, 1965年の105億斤, そして1983年の295. 6億斤へと年々飛躍的な増加を示している。

森林面積は総面積の36%(677万ヘクタール)を占め、木材生産は全国第2位、製紙は第3位を占める。

石炭, オイルシェール, 石油, ニッケル, モリブデン鋼, 金, 銅など資源が豊かで、そのうちオイルシェールの埋蔵量は全国第1位をしめる。特産品として朝鮮人参, 木耳(きくらげ), 鹿茸(しかつ), 松茸がある。

行政上の地理区分



(注) 長春市など大都市では市がさらに市区(都市部)と郊区(農村部)に分かれる。ただし市区, 郊区は行政区ではない。

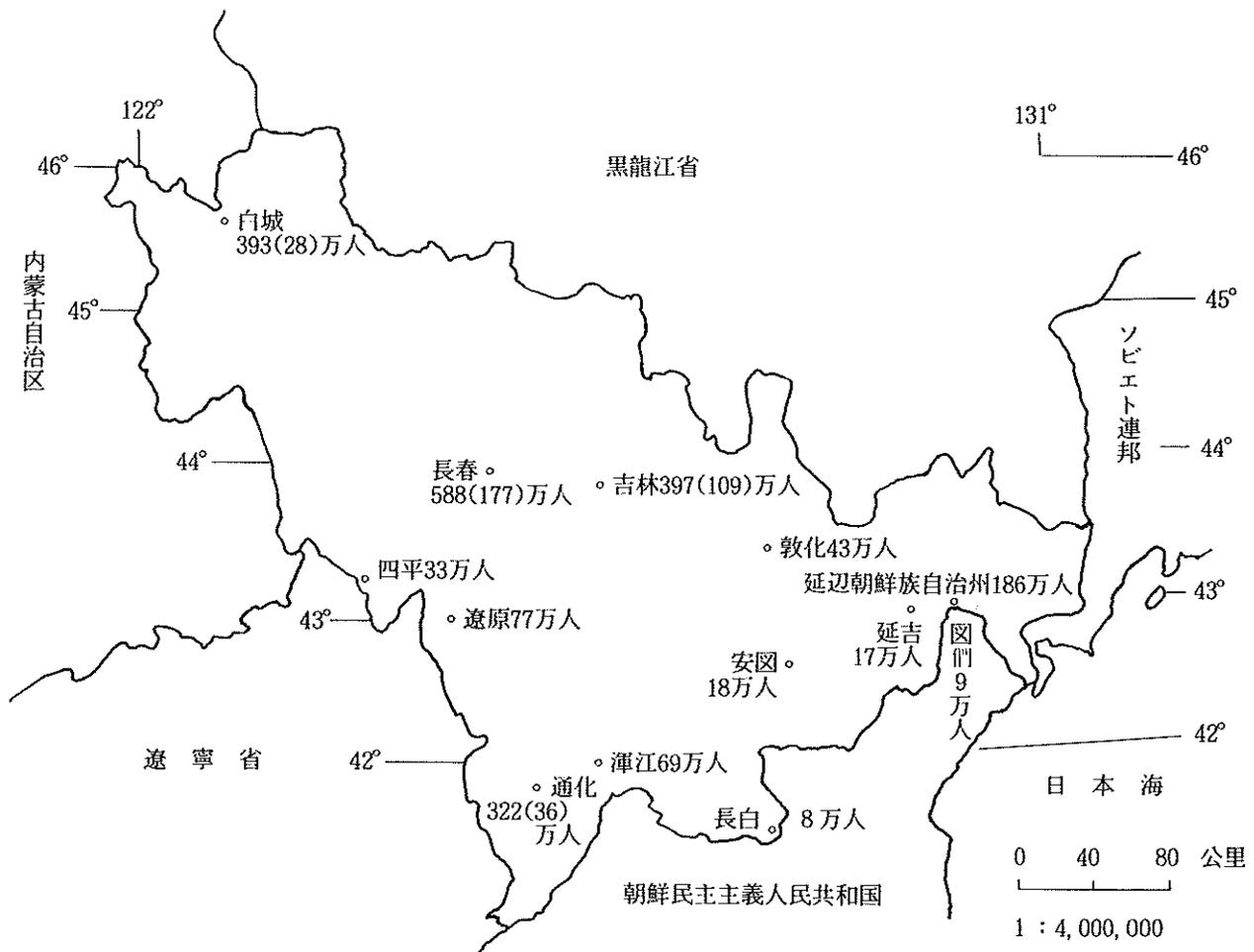
(2) 人口

① 人口動向

1984年末人口は2,284万4,961人、そのうち男子1,170万7,003人、女子1,113万7,958人で性比(女子100に対する男子の割合)は105と男子人口が女子人口を上まわっている。1983-84年の年平均人口増加率は0.66%である。省内には総人口の9%にあたる206万人の少数民族がおり、その人種は朝鮮族(少数民族の60%)をはじめ満族(同28%)、回族(同6%)、モンゴル族(同6%)など38にのぼっている。

1984年末の吉林省の都市人口(市鎮人口)1,256万1,117人、都市人口比率は55.0%で、1983年の全国の都市化水準23.5%を上まわっている。吉林省の主要地区の人口は図1に示されている。1983年末で人口が百万人を越す都市は長春市(177万人)と吉林市(110万人)の2都市のみである。

図1 吉林省主要地区の人口



(注) 各地区の人口は1982年人口センサス時の人口
長春は1983年末人口。()内は市区人口

吉林省の年齢構成を年齢3区分により観察すると、年少人口（0～14歳）が総人口の33.2%、生産年齢人口（15～64歳）が同62.8%、老年人口（65歳以上）が同4.0%、また中位数年齢は22.3歳で比較的若い年齢構造を有している（1982年人口センサス）。主要地区の中位数年齢と比較すると、全国が22.9歳に対し、上海は29.3歳、北京は27.2歳と高く、吉林省は全国29地区の中で高い順にみた場合15番目とほぼ中位の水準にある。

1984年の出生率は人口1,000人当り11.77、死亡率は5.27、自然増加率（出生率－死亡率）は6.5と何れもこれまでの最低水準を示している。しかし出生率は一般に1,000分の2程度の登録もれがあると考えられており、今回の調査結果による推計値は同年13.24である。自然増加率について時系列推移をみると1950～60年代が最も高水準で38%、1970年に26.85%に低下し、さらに1人っ子政策が導入された1979年には13.89%と約10年間に半減し、1980年には10.2%と低下の一途をたどっている。これは第1表に示したように東北のその他の省 — 遼寧省、黒龍江省においても同様の水準である。この人口動態率の水準は年齢構造に差があるものの1984年日本の水準（出生率12.5、死亡率6.2、自然増加率6.3）とも遜色がないものであるといえよう。

1970年のピーク時の出生数は年間70万人であったが、現在は23万人にまで低下している。もし計画生育が実施されず、1970年の高水準の出生率が続いたと仮定した場合、1970～82年間に430万人の出生増が見込まれたことが推計されている（吉林省計画生育委員会）。合計特殊出生率、すなわち婦人1人当たり平均子供数は1962年に6.392であったのが、79年に2.64、81年に1.88となり、84年には1.46と80年代に入り急速に減少している。都市、農村別にみると都市で1962年に5.448であったのが1981年に1.441～4.007低下し、農村では同じく6.996が2.112～4.884下がり都市より低下の速度が速い（1982年吉林省生育率抽出調査より）。同様に遼寧省は1.36とほぼ吉林省と同水準であるが、黒龍江省は2.2で全国平均（2.07）をやや上まわっている。ちなみに日本の合計特殊出生率は1982年に1.77であった。これより吉林省は高い出生力水準からわずか20年余りの短期間に日本より低い水準に到達したといえよう。

12歳以上人口に占める文盲率は全国が31.9%に対し、吉林省は21.8%で全国29地区中、5番目に高い識字率を有している。とくに女子の文盲率は29.0%で全国水準の45.3%に比べ低く、急速な出生率低下をもたらした要因の1つと考えられる。

15歳以上人口1,507万人中、就業人口は63%で全国平均78%に比し、就業者比率は低い。非就業者（554万人）には、主婦（家事労働者、57%）、学生（18%）、失業者（3%）、退休退職者（7%）、その他（15%）が含まれる。就業者の産業別構成比をみると第1次56%、第2次26%、第3次18%で第1次産業就業者が多いが、全国水準（第1次74%、第2次16%、第3次10%）と比較すると第2次、3次の就業者比率が高いといえよう。これは吉林省が農業のほか、自動車工業を初めとする重工業も発達していることに起因する。

② 計 画 生 育

吉林省の計画生育（計画出産）運動は、1963年に開始されたが、1966年の文化大革命突入とともに

第1表 中国と東北三省の人口と経済指標 1984年

	中国(全国)	吉林省	遼寧省	黒龍江省	
土地面積(万km ²)	960	18.74	14.57	45.33	注
総人口(万人)	103,604	2,284	3,629	3,310	1) 1983年の数値
人口密度(人)	108	122	249	71	2) 1982年, 12歳以上に占める文盲, 半文盲人口の割合
少数民族(万人,%) ⁴⁾	6,723(6.7%) ⁴⁾	206(9%)	294(8%)	125(4%)	3) 全国は1983年の数値
出生率(人口千万人につき)	17.50	11.77	11.5	14.25	4) 1982年の数値
死亡率(“)	6.69	5.27	5.5	4.55	5) 計画生育率=計画出生数/出生数×100
自然増加率(“)	10.81	8.5	6.0	9.7	6) 節育率=(有配偶再生産年齢女子中避妊実行者数+同年齢の不妊手術を受けた女子)/(有配偶再生産年齢女子-同年齢の不妊症女子)×100 =避妊率+絶育率
合計特殊出生率	2.07 ¹⁾	1.46 ⁸⁾	1.36	2.2	7) 1ヘクタール=15ムー
出生者中第1子の割合(%)	60 ¹⁾	71 ⁸⁾	80	84.0	8) 1985年吉林省出生率と生活水準の調査
計画生育率(%) ⁵⁾		92.9 ¹⁾	99		(資料)
節育率(%) ⁶⁾		82	85	91.6	中国大百科全書出版社 「中国百科年鑑 1984」
都市化率(%)	23.5 ³⁾	54.98	54.8	39.90	北京经济管理雑誌社 「中国经济年鑑 1984」
文盲率(%) ²⁾	31.90	21.82	16.61	22.14	
農林漁業就業者比率(%) ⁴⁾	73.7	55.6	46.1	50.7	
平均世帯人員 ⁴⁾	4.41	4.39	4.09	4.51	
耕地面積(万ムー) ⁷⁾¹⁾	147,539	6,082	5,500	13,000	
穀物生産(万トン)	40,712	163	149 ¹⁾	155 ¹⁾	
1人当たり穀物生産(kg)	400	714	411 ¹⁾	468 ¹⁾	
農民家庭平均1人当たり純収入(元) ¹⁾	309.8	462.5	459.4	386.6	
職工家庭平均1人当たり生活費収入(元) ¹⁾	526	466.6	510.9	487.4	

に一時中断され、70年代に再開された。1979年に趙紫陽首相により今世紀末に中国人口を12億人に抑制するため1人っ子政策が導入され、吉林省でも積極的に計画生育活動を展開した。三普及、すなわち①人口理論と人口政策の普及、②優生優育知識の普及、③科学知識（家族計画に関する知識）の普及、に努めており、その結果女子の平均初婚年齢は1950年の18歳から1984年の22歳へ上昇した。有配偶再生産年齢女子の88.74%（1984年）が何らかの避妊措置を講じている。避妊手段としては、大部分がIUD（上環）であるが、不妊手術（結紮 40歳以上の高年齢の婦人に多い）も次いで多く、ピル（口服薬）、コンドーム、ペッサリー（工具）は少ない。しかし避妊に失敗する者も多く、1982年の人工流産の総数は既婚女子の38.13%にあたり、人工流産の手術を受けた婦人の75%は計画外妊娠によるものであった（1982年吉林省生育率抽出調査による）。

分娩場所は以前自宅分娩が多かったが、現在では施設分娩が増加しており母子衛生の向上に貢献している。乳児死亡率も低下は著しく、1982年の北京等20都市平均で13.0、上海等12省市の49県平均で22.2に対し、吉林省は1985年の今回調査で9.88という低水準に達している。

現在、「控制人口数量、提高人口素質」のスローガンが、街のここかしこに見られるが、人口増加の抑制と人口資質の向上に努めている。そのため晩婚を奨励し（1981年婚姻法では結婚年齢を男22歳、女20歳としているが、都市では男27歳、女25歳、農村では男25歳、女23歳以降に結婚した者に結婚休暇2週間が与えられる。）、少産、とくに1人っ子政策（1人っ子の夫婦にさまざまな経済的優遇措置を講じている。特別な条件をもつ夫婦や少数民族を除いて第2子出産の制限をし、とくに2人以上は厳しく制限している）を推進するとともに、結婚予定の夫婦に健康診断を行い、遺伝病の有無を検査し、妊婦や赤ちゃんの健康管理と児童の保健衛生に努めている。新婚夫婦に対しては、晩婚少産の思想教育を婚姻登録の際に行い、さらにコンドームなど実物の避妊器具を入れた「新婚夫婦パンフレット」を送っている。

吉林省の1981年出生者中第1子が61%、第2子が26%、第3子以上が13%で第1子出生者が多い。これに対して同年の全国平均がそれぞれ47%、25%、28%であり、吉林省は年齢構造の差異を考慮するとしても1子率が高く、1人っ子政策の普及ぶりがうかがわれる。

吉林省の少数民族に対する1人っ子政策は、少数民族自治州（延辺朝鮮族自治州）の自治にまかせている。延辺地区の1984年のスローガンは1人を提唱し、2人も許可するものであるが、同地区の1984年出生者中第1子の割合は80%であった。これは同地区では朝鮮族が多く、文化教育程度が高いこと、子供を多くもつと負担もますという考えが広がってきているとのことであった（延辺朝鮮族自治州計画生育委員会報告）。計画生育委員会では、計画生育活動推進のために、各農村毎に常住人口登記表や育齡婦女（再生産年齢女子）登記表（別添）などが整備されている。吉林省延辺朝鮮族自治州龍井県銅佛郷計画生育委員会では、避妊の手段別に名札が掲示され、一覧表で当地の計画生育の状況が識別できるようになっていた。このように吉林省の計画生育は、都市はいうまでもなく、農村にも深く浸透してきているとの印象を受けた。

(3) 経済、開発計画

吉林省の経済は1978年以降、飛躍的な発展を続けている。1983年の省総生産額は298.1億元となり、5年前の1978年と比較し44.3%の増加、前年比では17.4%の増加を示した。このうち工業総生産額は1983年に167.56億元、農業総生産額は82.6億元で、工業総生産額は農業総生産額の2倍以上の額を示している。第2表および第2図より工業、農業の各総生産額の伸び率をみると、1978-83年間では工業42.1%に対し、農業48.2%の増加を示し、また対前年比では工業14.7%に対し農業は27.1%の増加と、いずれも農業生産の伸びが著しいことを示している。これは1983年注1)が天候に恵まれ豊作であったこともあるが、その他の要因として1980年以来全省に普及しつつある農業における生産責任制（生産請負制）の実施が大きく寄与しているといえよう。

吉林省では1983年に95%以上の農家が「戸別経営制」（家族経営）の「包産到戸」という請負い方式をとっている。戸別経営制の場合、農地は、各農家にその世帯の総世帯人員か、16歳以上の世帯人員、あるいは両者の組み合わせに応じて配分され、したがって生産活動は、請負った農地で家族単位で行われる。1人っ子家庭の場合は、その1人っ子に対し通常より多く配分される。請負農地は全国平均では1人当たり2ムーであるが吉林省では3ムー配分される。

1978年以来大幅な増産をみた主要農産物は、とうもろこし、経済作物（油料、甜菜）、鹿茸でいずれも年率10%以上の成長を示している。このような増産の背景には農民が各種の農業機械を購入、投資し、農業の機械化をはかったためでもある。農民のトラクター保有台数は5.4万台、省内保有台数の68%以上に達している。さらに郷鎮企業（農村企業、かつての社隊企業—人民公社の企業）による生産額の増加率は年率17.8%で、ここ数年来郷鎮企業はきわめて早いテンポで発展している（第3表）。郷鎮企業の主要業種は、養殖業、鉱物採掘業、加工業、商業サービス業、輸送業、小型エネルギー建設業と建築業である。

工業生産も飛躍的な増加を示した。そのうち重工業生産額は101.6億元、1982-83年増加率は19.7%を示し、軽工業は66.6億元、7.8%であった。主要工業製品中、とりわけ著しい増加を示したのがハンドトラクター、テレビ、洗濯機などである（第4表）。ラジオの生産量が1982-83年に-40%で減少した一方、テレビが同期間113%、洗濯機が62%と増加したことは人々の生活水準の向上を示すものである。

基本建設投資総額は1983年に13.3億元、前年比11.2%の増加であった。主要な項目として白山水力発電所と長春第一自動車製造工場があげられる。白山水力発電所は国家の重大70項目の1つで、1983年12月にすでに完成し、東北電力網に加入している。

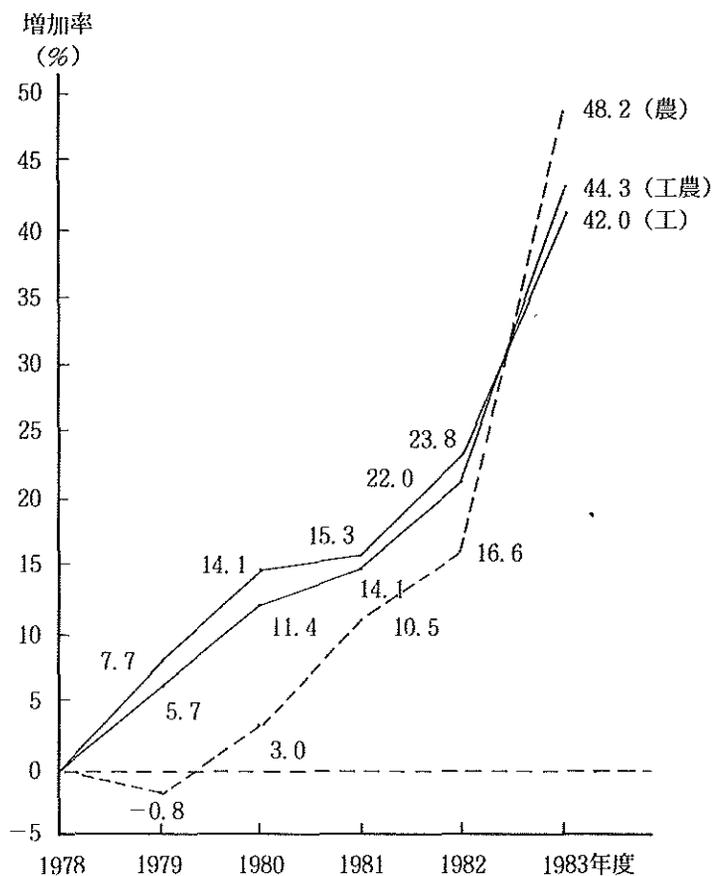
東北地区の遼寧、吉林、黒龍江3省と内蒙古自治区の一部の地区を含む新しい経済開発区が建設される予定になっている。この地区の工農業生産総額は国の生産総額の15%を占め、鉄鋼、石油、天然ガスの生産量はそれぞれ国の総生産量の25%、66%、33%を占めており、この地区は中国最大の重化学工業基地となっている。この東北経済圏の窓口である大連（遼寧省）は84年4月、経済開発区として指定されているが、大連の対外開放は、大連とその後背地である東北経済圏と

第2表 1983年吉林省主要經濟指標

項 目	单 位	1978年	1982年	1983年	1983年比下列各年增加率%		備 考
					1978年	1982年	
1. 年末人口数	万人	2,149.3	2,257.6	2,269.5	5.6	0.5	
2. 年末職工人数	万人	324.9	411.2	421.9	29.9	2.6	
全民所有制	万人	250.0	292.3	296.9	18.8	1.6	
城鎮集体所有制	万人	74.9	118.9	125.0	66.9	5.1	
3. 城鎮个体労働者人数	万人		7.6	10.6		39.5	
4. 社会総生産額	億元	180.1	252.0	298.1	44.3	17.4	絶対数は名目価格, 増加率は実質価格で計算
其中: 農業総生産額	億元	150.0	209.4	250.16	44.3	18.4	絶対数は名目価格, 増加率は実質価格で計算
農業総生産額	億元	40.3	65.1	82.6	48.2	27.1	絶対数は名目価格, 増加率は実質価格で計算
工業総生産額	億元	109.7	144.3	167.58	42.1	14.7	絶対数は名目価格, 増加率は実質価格で計算
輕工業生産額	億元	43.2	61.3	66.56	43.8	7.8	絶対数は名目価格, 増加率は実質価格で計算
重工業生産額	億元	66.5	83.0	101.00	40.9	19.7	絶対数は名目価格, 増加率は実質価格で計算
5. 国民收入	億元	71.1	101.6	127.7	52.5	24.4	絶対数は名目価格, 増加率は実質価格で計算
6. 地方財政收入	億元	17.49	11.97	14.11	-19.3	21.0	
地方財政支出	億元	16.89	17.30	19.41	14.9	12.2	
7. 固定資産投資総額(全民)	億元	15.6	22.1	22.8	46.2	3.2	
基建投資	億元	13.5	12.0	13.3	-1.7	11.2	
更新改造措施	億元	2.1	10.1	9.5	352.4	-0.1	1983年比1982年増減は比較可能な標準により計算
8. 貨物輸送量	億トン	251.6	296.4	320.5	27.7	8.1	各種運輸工具
旅客輸送量	億人	42.2	58.0	117.0	177.3	11.2	各種運輸工具
9. 社会商品小売総額	億元	43.8	76.3	85.9	96.1	12.7	包括農民対非農業居民売上総額
10. 社会農副産品買付総額	億元	11.7	25.8	36.1	208.5	39.9	
11. 工業企業全員労働生産性(全民)	元/元	8,101	8,814	10,069	24.3	14.2	
12. 農民家庭平均每人純收入	元		333.1	462.5		38.8	農民家計調査数
13. 職工家庭平均每人生活費收入	元		431	466.6		8.2	職工家計調査数
14. 職工平均工資	元	851	799	823	26.4	3.0	包括全民, 集体所有制
15. 職工生活費指数	%	100	115.7	120.9	20.9	4.5	包括降価, 自由価格と公定価格
16. 主要工業産品産量							
糧食	万吨	914.7	1,000.0	1,478.0	61.6	47.8	
油	万吨	12.3	29.3	39.2	218.7	34.0	
鉄	万吨	20.1	24.4	29.1	44.8	19.2	
石炭	万吨	2,060	1,893	1,982	-3.8	4.7	
電	億度	93.2	115.2	122.3	31.2	6.1	度=1,000kw/時間
布	億米	1.23	1.92	1.88	52.8	-2.1	
17. 各級学校在校学生数	万人	2.99	4.14	4.4	51.8	9.7	全日制学校のみ
其中: 大 学	万人	209.72	166.95	156.3	-24.9	-5.7	包括中専, 農業, 職業中学
中 学	万人	342.97	330.98	306.1	-10.8	-7.5	
小 学	万人	5.8	6.7	6.7	15.5	3.1	
18. 医院ベット数	万床	5.8	6.7	6.7	15.5	3.1	
專業衛生技術人員数	万人	7.4	9.7	10.0	35.1	3.0	

(出所) 北京經濟管理雜誌社「中国經濟年鑑 1984」

図2 吉林省工農業増加速度



(出所) 第2表に同じ

第3表 吉林省農業発展状況

項 目	単 位	1983年	1983年までの各年増加率(%)		1979年以来 年平均増加率%	
			1978年	1982年		
農業総生産値	億元	82.6	48.2	27.1	8.2	
根豆総生産値	億斤	295.8	61.6	47.8	10.1	
其中	水稻	億斤	30.3	25.2	4.6	4.6
	大豆	億斤	17.6	32.3	23.0	5.8
	とうもろこし	億斤	188.2	92.2	59.7	14.0
主要作物 經濟物	油料	億斤	7.8	218.4	34.0	26.1
	甜菜	万トン	95.1	110.9	40.0	16.1
特産品	栽培人参	万斤	657.3	56.5	26.4	9.4
	鹿茸	斤	62,430	130.9	4.5	18.2
牧畜業	大家畜飼養頭数	万頭	245.7	6.1	4.8	1.2
	其中牛飼養頭数	万頭	123.7	13.7	9.4	2.6
	豚飼養頭数	万頭	413.5	-28.9	-20.3	-6.6
	羊飼養頭数	万只	152.5	23.2	-5.4	4.3
造林面積	万ムー	390.7	76.5	24.8	12.0	
水産品産量	万トン	1.8	74.1	16.0	11.7	
郷鎮企業総産値	億元	16.1	126.8	19.2	17.8	

(出所) 第2表に同じ (注) 1斤=0.5kg, 1ヘクタール=15ムー

第4表 吉林省主要産品産量状況

産品名称	単 位	1983年	1983年までの各年増加率(%)		1979年以来 5年平均毎年増加率(%)
			1978年	1982年	
石 炭	万 ト ン	1,981.8	-3.8	4.7	-0.8
原 油	万 ト ン	178.6	-	3.5	-0.7
発 電 量	億 度	122.3	31.2	6.1	5.6
電 鉄	万 ト ン	29.1	44.8	19.2	7.7
鋼 材	万 ト ン	36.4	54.2	14.0	9.1
木 材	万立方米	609.5	4.8	-0.8	0.9
ガ ラ ス	万 標 箱	137.3	162.0	16.9	21.2
セ メ ン ト	万 ト ン	227.6	64.6	12.0	10.5
硫 酸	万 ト ン	11.7	33.0	8.0	5.9
カ セ イ ソ ー ダ	万 ト ン	5.6	19.1	9.0	3.6
化 学 肥 料	万 ト ン	30.7	14.6	2.9	2.8
自 動 車	万 輛	7.0	17.8	14.1	3.3
ハ ン ド ト ラ ク タ ー	万 台	2.9	241.2	255.6	27.8
布	万 米	18,999.5	52.4	-2.1	8.8
其中化学纖維	万 米	895.5	-	-23.7	-
毛 織 物	万 米	276.0		27.8	
紙	万 ト ン	40.9	20.3	10.6	3.8
自 転 車	万 輛	34.5	310.7	6.4	32.7
ミ シ ン	万 架	9.6	-3.0	-52.1	-0.6
腕 時 計	万 只	58.2	131.9	5.8	18.3
テ レ ビ オ	万 部	10.5	47.7倍	112.8	118.4
ラ ジ オ	万 部	6.9	-74.7	-40.4	-24.0
洗 濯 機	万 台	14.4		62.2	
飲 料 酒	万 ト ン	23.1	178.3	32.8	22.7

(出所) 第2表に同じ

の相互依存関係を前提としてなされたものである。すなわち大連が外資と先進技術を導入し、東北の資源開発と老朽化した工業設備の改造をはかり、電子、精密機器など技術・知識集約型の新産業の振興をはかり、発展させることにある。吉林省は東北経済圏のエネルギー供給地としてばかりでなく、工業地域としても発展が期待されている。

注1) 1985年8月、東北地区は数10年ぶりの大洪水に見舞われ、吉林省も33人が死亡、40余万ヘクタールの耕地が損害を受け、2万余軒の家屋が倒壊し、多くの小型ダムが決壊したが、その農作物への影響など詳しい情報は明らかでない。

(参考資料)

- 「北京周報」
- 「中国経済年鑑」1984
- 「中国統計年鑑」1984
- 「中国百科年鑑」1984
- 「全国千分之一人口生育率抽出調査分析」
- 「1982年吉林省生育率抽出調査資料分析」
- 「国際経済」(臨時増刊号, 中国特集, 1985年7月15日)

女性初婚登记表

单位 198 年 月 日

姓名	族别	出生年月日	年龄周岁	工作单位或现住址	结婚登记年月日	备注

落实指标登记表

单位 198 年 月 日

男方单位	姓名	族别	女方单位	姓名	族别	年龄周岁	第一胎生年月日	胎次	备注

出生登记表

单位 198 年 月 日

父亲姓名	母亲姓名及单位		出生者					第一胎		出生年月日
	姓名	工作单位	姓名	性别	族别	出生年月日	有无指标	出生年月日		

一个孩子及独生子女情况登记表

单位 198 年 月 日

母亲姓名	族别	年龄周岁	工作单位	子女姓名	性别	族别	出生年月日	独生子女	登记年月日

死亡登记表

单位 198 年 月 日

户主姓名	单位	死亡者姓名	族别	性别	出生年月日	死亡年月日	死亡原因	登记年月日	备注

迁出登记表

单位 198 年 月 日

户主姓名	户主现住址	迁出人姓名	性别	族别	出生年月日	迁出时间	迁往地址	备注

2 調査の概要

調査の対象、調査客体の抽出、調査員の選定と訓練、面接調査の実際等については中国側報告の第2章（本報告書の4章）に詳述されているので、ここで重複して述べることは避けるが、以下において扱う日本側における集計分は、農村のみで城市は含まれていない。集計世帯の総数は5,418世帯で人口総数は24,754人である。中国側の集計によると、農村の世帯総数は5,421世帯、人口総数は24,785人で、われわれの集計分は、したがって、それより3世帯、31人少ないが、その理由は未詳である。

調査票は世帯調査票〔調査票（一）〕と15-60歳既婚女子出産力調査票〔調査票（二）〕とからなる。前者の調査項目は、世帯員各人の氏名・男女の別・世帯主との続柄・出生期日・出生地・民族・配偶関係・教育程度・職業・仕事の種類・経営形式、世帯の貯蓄額・貯蓄目的、住宅の間数・面積・建て方・建築年次等、耐久消費品目・生産用具の所有状況、請負生産品目・生産量、専業戸か否か・専業戸の種類、耕地面積、家畜の所有状況、飲料水の種類、世帯の収入額、世帯収入額の変化、生活水準などである。後者の調査項目は、当該既婚女子の初婚期日・初婚年齢、初婚時の夫の年齢、妊娠歴（妊娠結果、妊娠終了期日、出生児の性・生死の別・死亡児の死亡期日）、避妊の経験・方法・理由、避妊しない理由、避妊知識の経路、結婚—第1子出生間の避妊実行の有無、老後における子供との同居希望、子供が父母を扶養すること、財産相続、子供をもつこと、1人っ子証受領の有無などである。

3 集計結果の分析

A 総体分析

(1) 出生地

現在住んでいる村（行政村）で生まれた人の割合は、年齢とともに減少していく。男子では10歳未満の子供では95.4%が同村生まれであるが、60歳代では42.7%であり、女子では10歳未満で95.0%、60歳代で24.4%である。30歳代の男女を比べると、村内生まれは男63.5%、女34.5%で、女子の村外からの婚入の多いことを物語っている。吉林省内生まれの割合になれば、60歳代でも

男で80%、女で76%ある(表1)。

(2) 民 族

調査標本には朝鮮族その他の少数民族を含んでいる。しかし、その割合は9%足らずにとどまっている(表2)。調査客体の選ばれた吉林省全省からの150の村民小組の個々についてみると、調査世帯中世帯主が少数民族である割合が10%以上の村民小組は24あり、50%以上のものは13あり、5村民小組は100%である(表31)。

(3) 年 齢 ・ 配 偶 関 係 構 造

調査標本人口の年齢5歳階級構造をみると、突出部は15-19歳の部分である(表2)。各歳別データでとれば、13-17歳の5歳階級が最大人口を示す。これは1982年の中国人口センサスの全国年齢構成の特徴とも矛盾しない。年齢3区分構成では15歳未満31%、15-64歳66%、65歳以上3%である。

女子の未婚者割合は15-19歳で97.9%、20-24歳で41.8%、25-29歳で3.02%である。結婚年齢の高いことが反映されている。男子では20-24歳60.7%、25-29歳15.1%、30-34歳6.3%である(表3)。

(4) 教 育 程 度

学齢期の子供はほとんど小学校に通っており、15-19歳人口の教育程度は、男子で初等教育が41.0%、中等教育以上が55.6%で、女子で初等教育47.8%、中等教育以上48.6%である。30歳代前半では初等教育45.3%、中等教育37.4%、高校以上の教育程度が10.2%であり、女で初等教育55.5%、中等教育17.9%、高校以上の教育程度3.2%である。65歳以上では文盲・半文盲の割合が男で79.5%、女で93.8%である(表4)。

(5) 職 業

職業は農民、工人、幹部、医師、教師、学生、その他という6区分であるが、15歳以上人口について、男で86.4%が、女で82.2%が農民であり、工人、幹部、医師、教師は男で3.8%、女で1.1%に過ぎない。農民では65歳以上人口割合は、男で4.9%、女で3.5%あるが、工人、幹部、医師、教師で65歳以上はほとんどない(表5)。

中等教育以上の教育程度の者が、男子の場合、工人で65.1%、幹部で85.5%、医師で94.7%、教師で97.4%である。農民ではその割合は38.5%であるが、これには年齢構成の違いも関係して

いる(表6)。

(6) 世帯の収入

1984年分の世帯収入額別世帯数を1,000元階級区分で示すと、1,000-1,999元が39.3%で最大であり、次ぎが2,000-2,999元の22.6%である。3,000元未満の世帯が78.7%を占める(表8)。貯蓄のある世帯の割合は年収の高いほど高くなり、年収1,000元未満世帯で7.3%、年収4,000元以上の世帯では45.6%である。貯蓄のある世帯の平均貯蓄額は1,500元程度であり、これは年収階級によって異なるが、年収1,000-1,999元世帯で998元、年収5,000元以上の世帯になると2,342元にのぼる。

1983年と1984年との収入の比較では、ただ1年の差のみであるから、大きな違いがみられるわけではない。1983年で年収1,000-1,999元の世帯割合は38.9%、2,000-2,999元のそれは16.4%、3,000元未満全体で87.1%になる(表18)。年収1,000元階級区分で1984年の年収が1983年のそれと同一階級およびそれより上の階級にあった世帯は、年収1,000-1,999元で58%および39%、2,000-2,999元で50%および41%、3,000-3,999元で48%および40%であり、1983年に4,000元以上の世帯で1984年もそうであった世帯は83%である。

5年前との生活水準の比較では、「非常によくなった」および「よくなった」と答えたものの合計が、1984年の収入階級別に、1,000元未満世帯で16%、1,000-1,999元で97%、2,000-2,999元で98%、3,000-3,999元で99%、4,000元以上の世帯で99%である(表25)。生活水準が向上したという意識が著しいことを示している。また、世間一般との生活水準の比較の意識でも、同じかよりよいと思っている世帯は、1,000元未満世帯で54%、1,000-1,999元世帯で78%、2,000-2,999元世帯で87%、3,000-3,999元世帯で91%、4,000元以上の世帯で95%になる(表26)。

(7) 世帯人員

世帯人員別の世帯数割合は、4人世帯が最大(25.3%)、次が5人世帯(21.5%)、3人世帯(20.6%)、6人世帯(13.1%)、7人世帯(7.5%)等の順となる(表10)。また世帯人員の多い世帯ほど住宅面積も大であることが示される(同表)。

世帯人員の大なるほど世帯の年収もまた大である。1984年分収入額の平均が、1人世帯1,012元、2人世帯1,071元、3人世帯1,654元、4人世帯1,861元、5人世帯2,491元、6人世帯2,658元、7人世帯2,973元、8人世帯3,363元等となる(表11)。2人と3人、4人と5人の間で変化が特に大きい。

(8) 住 宅

1984年分の収入階級別に平均住宅面積をみると、年収1,000元未満で50.0㎡、1,000-1,999元で56.4㎡、2,000-2,999元で60.3㎡、3,000-3,999元で66.6㎡、4,000-4,999元で70.8㎡、5,000元以上の世帯で78.8㎡である(表9)。

住宅の類型別(土壁造り、二階建て、レンガ建ての3区分)では土壁造りが72%、レンガ建てが25%で、二階建ては0.1%にすぎない。土壁造りよりはレンガ建ての住宅の方が一般に住宅面積が大である。75㎡以上が前者では11%であるが、後者では20%になる(表12)。

・ 建築年次別にみると、レンガ建ての家の方が土壁造りの家よりも多く建てられるようになったのは、1982年以降である(表13)。年収額の多い世帯ほどレンガ建ての家に住んでいる傾向がある。レンガ建ての家に住んでいる世帯の割合は、年収1,000元未満で15.0%、1,000-1,999元で23.6%、2,000-2,999元で29.1%、3,000元以上の世帯で33.3%である(表14)。

飲料水をどこからとっているかを、上水道、ポンプ汲み上げ式井戸、普通の井戸、河川に分けると、ポンプ式井戸を備える世帯が44%、普通の井戸の世帯が43%、上水道9%、河川1%という割合である(表24)。

(9) 請負生産

請負7品目別世帯数割合では、とうもろこしが89%、大豆が78%、粟が54%、こうりゃんが53%、その他が48%、米が28%、麦が15%の順である(表16)。世帯の収入額と請負品目との間には、特に目立った関係はないようである。しかし、たとえば米を請負生産している世帯の割合は、年収1,000元未満の世帯で27%、1,000-1,999元で同じく27%、2,000-2,999元で40%、3,000元で40%、3,000元以上で32%である。これに対し、麦生産を請負う世帯は、年収1,000元未満で18%、1,000-1,999元で17%、2,000-2,999元で12%、3,000元以上で14%であり、前者の方が、多収入世帯の請負割合が低収入世帯のそれに比べて、大きいという傾向がある。

品目別生産量(1984年)で最多はとうもろこし、次ぎは米である。生産量4,000斤以上の世帯割合(当該品目生産世帯についての割合)は、とうもろこし57%、米40%で、あとはすべて10%未満である(表19)。

(10) 耐久消費財・生産用具の所有

耐久消費財、生産用具の所有の有無と世帯の年収との間にも、比較的明らかな関係がみられる(表17)。たとえば、ミシン所有世帯の割合は1984年の収入額1,000元未満の世帯の29%から、4,000元以上の世帯の77%までふえていく。テレビ所有世帯の割合は、1,000元未満世帯の場合の7%から5,000元以上世帯の場合の56%まで増大する。生産用具(ハンド・トラクター、トラクター、そ

の他の農機具) の場合はその傾向がもっと顕著で、年収5,000円以上の世帯の43%はこのいずれかを所有するが、年収1,000円未満の世帯でこれを所有するのは3%に過ぎない。

(11) 専業戸と非専業戸

専業戸であると答えた世帯は384世帯で、全体の7.1%に当たる(表20)。その他の世帯を非専業戸ときめてしまうわけにはいかないが、専業戸の世帯の方が年収構成が高い。専業戸では40%が1984年の年収3,000円以上の世帯であるが、専業戸以外では19%にとどまっている。

(12) 耕地面積

耕地のある世帯は97.9%であり、そのうち、10.0-14.9ム-の世帯が最多で24%、次ぎが5.0-9.9ム-の21%、次いで15.0-19.9ム-の19%、20.0-24.9ム-の12%、1.0-4.9ム-の9%などとなる(表21)。耕地面積の大なるほど年収の大なることは明らかで、1984年の平均年収額は、耕地面積1ム-未満で1,095円、1.0-4.9ム-で1,343円、5.0-9.9ム-で1,786円、10.0-14.9ム-で1,949円、15.0-19.9ム-で2,189円、20.0-24.9ム-で2,465円、25.0-29.9ム-で2,847円、30.0ム-以上で3,647円である。また、耕地面積が大なるほど総生産量の大なることもよく示されており、たとえば、総生産量10,000斤以上の世帯割合は、1ム-未満世帯での5%から、30.0ム-以上の世帯での73%まで増大していく(表23)。

(13) 既往出生児数・現存児数

吉林省で1人っ子政策が実施され始めたのは1979年末である。1985年のこの調査で結婚持続期間別の既往出生児数にその影響が現れているとすれば、それは、結婚5年未満の夫婦においてであろう。初婚の妻で結婚持続期間4年の252名(結婚年齢16-29歳)のうち既往出生児数0, 1, 2, 3児の割合は、それぞれ3.5%, 76.6%, 19.0%, 1.2%である(表34)。同3年の227名(結婚年齢17-28歳)ではそれぞれ5.3%, 83.1%, 11.1%, 0.4%である。近年の結婚コーホートでも第2子、第3子を産むものがこの程度はいる。結婚持続期間5-9年の初婚の妻(結婚年齢14-29歳)934名では、0児1.3%, 1児40.8%, 2児48.2%, 3児8.8%, 4児0.9%という構成である。

1984年の年収階級別にみて収入の大なるほど平均現存児数が大になる(1,000円未満2.05人、1,000-1,999円2.49人、2,000-2,999円2.88人、3,000-3,999円3.16人、4,000-4,999円3.25人、5,000円以上3.31人)(表51)が、これは表11で観察した世帯人員の大なるほど年収が大であるという関係と同じで、子供数の多いほど世帯人員が大になり、それが年収を大にする関係による部分があるものと考えられる。

妻の教育程度と現存児数との関係では、教育程度の高いほど平均現存児数が小さくなる（表50で文盲3.96人、半文盲3.37人、初等教育2.46人、中等教育1.72人、高校程度1.27人）が、これには教育程度の高いほど年齢構成が若い（表4）という関係を考慮に入れておかなければならない。

(14) 避妊の実行

初婚女子の年齢別既往出生児数（現存児数）は、20-24歳0.79（0.77）人、25-29歳1.44（1.40）人、30-34歳2.30（2.23）人、35-39歳3.26（3.11）人、40-44歳4.24（4.00）人、45-49歳5.10（4.66）人である（表38, 39）。

15-49歳初婚の妻で避妊実行中の者（カッコ内の数字は不妊手術を受けた妻）は、現存児数1児で86.5%（2.3%）、2児で95.9%（60.4%）、3児で97.8%（72.6%）、4児で94.1%（66.2%）、5児で89.6%（53.7%）、6児で80.45%（42.4%）である（表39, 40）。

既往出生児数1児の初婚の妻で避妊実行中の者は85.7%であるが、その実行理由をみると、計画生育の呼びかけに応じてという理由を挙げる者の割合が著しく多く、避妊実行者の78.5%にのぼる。これ以上産まないためというのは8.0%に過ぎない（表36）。これが既往出生児数2児の妻になると事情は一変する。避妊実行者の割合は96.3%で、このうち、避妊実行理由が、これ以上産まないためというのは44.1%で、計画生育の呼びかけに応じてという理由を挙げる者は52.3%である（表37）。

人工妊娠中絶経験者は、既往妊娠回数1回の場合1%、2回3%、3回4%、4回4%、5回10%、6回11%、7回13%、8回16%、9回15%、10回21%、11回以上の場合32%である（表35）。

結婚してから第1子出生までの間に避妊を実行した妻の割合はきわめて小さい。49歳未満の妻（既往出生児数1児以上）で1.9%に過ぎない（表41）。結婚より第1子出生までの年数別にこの期間に避妊を実行した妻の割合をみると、2年未満で1.4%、2年以上5年未満で3.3%、5年以上10年未満で1.9%、10年以上では皆無である（表42）。

(15) 理想子供数

理想子供数は現存児数に左右されることが大きいですが、現存児数の如何にかかわらず言えることは、2児を理想とすると答えた妻の割合が最大なことで、その割合は現存児数別に、0児68%、1児74%、2児91%、3児71%、4児78%、5児74%、6児74%、7児80%等となっている（表47）。1児を理想とする者は0児の妻で30%、1児の妻で25%である。

(16) 子供の価値

これは子供を持つとどんなよいことがあるかという質問によるもので、喜びである、労働力に

なる、老後の助けになる、経済的負担になる、精神的負担になる、チャンスを失うという答えを選択してもらった形式のものであるが、15-49歳の妻について、「老後の助けになる」というのが年齢を問わず最大で、全体として45%ある(表46)。次ぎに割合の大きいのは30歳未満の若い妻では「喜びである」で、だいたい30%近くあり、30歳以上の妻では「経済的負担になる」で20%前後を示す。その次ぎは上記の逆となる。

(17) 老後の子供との同居希望

20歳以上の妻では、どの年齢階級でも希望すると答えた者が最大で、その割合は年齢とともに増加する。すなわち、20-24歳では47%であるが、45-49歳では79%を示す(表43)。

(18) 子供が父母を扶養すること

これは、よい習慣である、義務である、しなければならないことである、良くないことである、その他という回答の用意されているもので、15-49歳の妻で、「義務である」と答えた者が75%あり、次は「よい習慣である」と答えた者で21%ある(表44)。年齢的にもとくに大きな差異はない。他の回答はごくわずかに過ぎない。

(19) 財産相続について

財産を相続させるのは長子にか、男の子にか、すべての子供にか、老後面倒をみてる子供にか、特に考えていないか、その他か、を15-49歳の妻にたずねたもので、45-49歳の妻では、「老後面倒をみてる子供に」というのが46%で最大であり、次ぎは「男の子に」の31%、その次ぎが「特に考えていない」の13%である。年齢の若くなるほど「老後面倒をみてる子供に」の割合は減少していき、「特に考えていない」の割合は逡増し、「男の子に」の割合は35-39歳をピークに若い方へ減少していく。たとえば25-29歳の妻では、上記の順に27%、24%、30%といった分布になる。

B 地域分析

(1) 人口の地域別分布と年齢構造の比較

調査対象人口は30,660人、そのうち男は15,727、女14,933人であり、人口性比は、105.3である。吉林省人口全体についての人口性比の105.6によく対応しており、全国人口性比の106.3（1982）より若干低い。対象地域を都市、農村（山区、平原、草原の3地区に区分）についてみると、対象人口の分布はそれぞれ表1の通りである。

表1 調査対象地域人口比分布および性比

地域	人口	男	女	人口性比
都市	19.2	18.4	20.0	96.6
農村	80.8	81.6	80.0	107.5
山区 平原 草原	22.3	22.7	21.9	109.1
	43.8	44.1	43.4	106.9
	14.7	14.8	14.6	106.9
合計	100.0	100.0	100.0	105.3

全省サンプルからみた都市人口比率は約20%で、全省都市人口比率55%より著しく低くなっているが、全国人口の都市人口比率（20.6%、1982）にはほぼ一致している。

注目すべき点は人口性比である。サンプル人口全体の人口性比は105.3であるが、これは吉林省人口の105.0（1982年センサス）や全国人口の106.3とよく一致しているが、サンプル地区の都市では人口性比が農村よりも著しく低くなっていることである。いいかえれば、農村では男が女よりも多いが都市では反対に男が女よりも少ないということである。これは、都市における工場労働やサービス産業に必要な女子労働力が農村から転出していることによるものと思われる。特に、農村の中でも山区では女100人に対して10%近くも男が多く、女の流出が著しいことがわかる。

次に年齢の分布構造についてみてみよう。まず、年齢3区分によってみると表2の如くである。

人口の年齢別分布は、都市と農村によって著しい差異がみとめられる。まず、0～14歳の子供人口の割合は、わずかに22.4%で、農村人口の30.7%に比較して著しく低率である。このことは、出生率水準が農村で高く、都市で低いことの結果であり、計画生育政策の都市と農村での差異や都市と農村での出生に対する人民の態度の差異を反映しているものと思われる。子供人口割合が30%というのは、日本の1960年のそれに対応するものであり、22%というのは今日の日本人口のそれに相当する。都市における出生率低下が短期間に大幅に低下した結果として子供人口割合のはげしい低下が生じたが、65歳以上老年人口の割合は、農村よりも高くなってはいるものの、なお著しく低い。した

がって、都市の生産年齢人口割合は73%と著しく高い。日本人口の年齢構造にもみられたことのない高水準である。

農村の中でも山区、平原、草原によって若干の差異がみられる。草原の子供人口割合がもっとも高く、32%を示しており、他方において65歳以上高齢人口割合はもっとも低く2.9%となっている。それぞれの地域について男女別に年齢構成を示しておいたが男女間の差異は大きくない。都市の女の年齢別分布において、子供人口割合が21.0%でもっとも低く、65歳以上高齢人口割合が5.6%ともっとも高くなっていることを付記しておこう。

表2 地域別年齢構造の比較

地 域	総 人 口			男			女		
	0～14	15～64	65+	0～14	15～64	65+	0～14	15～64	65+
都 市	22.4	72.8	4.8	23.8	72.2	4.0	21.0	73.4	5.6
農 村	30.7	65.7	3.6	30.7	65.5	3.8	30.7	65.9	3.4
山 区 平 原 草 原	30.5	65.3	4.2	29.9	65.7	4.4	31.1	64.9	4.0
	30.4	66.1	3.5	32.6	63.8	3.6	30.2	66.4	3.4
	32.0	65.1	2.9	32.3	64.7	3.0	31.7	65.6	2.7
全 地 域	29.1	67.1	3.8	29.4	66.8	3.8	28.8	67.3	3.9

最後に、都市・農村別、男女別に5歳階級別分布について述べておこう。表3はこれを示したものである。

以上の5歳階級別ピラミッドで注目されることは、都市ではほぼ15～19歳グループが最大の比重を占めているが、それ以下の低年齢において急速にその比重が低下している。特に0～4歳、5～9歳階級の比重が著しく低いことは、出生抑制がこの10年間に画期的な発展を示したことを物語っている。農村においても15～19歳の男の比重13.2%に対し、0～4歳の比重は7.8%と40%の低下率、女の比重は約50%の低下率である。都市についてみると男の場合の比重の低下は農村と同様40%の低下率であり、女の場合は農村以上に（56%の低下率）低下している。以上のことは、農村においてもこの10年間にわたって都市にも劣らない計画生育政策の成果が得られたことを示している。

(2) 再生産年齢女子人口の配偶関係構造

15～59歳の再生産年齢女子人口の配偶関係構造をみると表4の如くである。

15～19歳の結婚は農村、都市のいずれにおいても極めて少ない。都市の女子では零となっている。しかし、農村での結婚年齢は都市よりも若い。農村では20～24歳で結婚しているものは60%近くにも達しているのに対して、都市では24%で、農村の半分にも達していない。25～29歳の女

子でも農村では97%が有配偶者であり、ほとんどが結婚している状態にあるが、都市ではなお87%である。農村の男子は20～24歳で結婚する者は40%に達するが都市ではわずか13%にすぎない。このように、結婚年齢は都市では、農村よりも晩婚となっているが、30～34歳においては都市・農村を通じて男女ともにほとんどが結婚してしまう。アジアに共通とみられる普遍結婚の特徴が中国にも存在する。生涯未婚と考えることのできる45～59歳での未婚者は、女では都市・農村を通じて皆無であり、わずかに男では、0.4%(都市)、2.3%(農村)という低水準の生涯未婚率がみられる。離別も極めて低く、都市で0.4～0.5%、農村で0.1～0.2%の水準である。しかし、農村においても、女子の結婚年齢が25歳前後に集中していることは、出生力の観点からも注目すべき特徴といわねばならない。

表3 都市・農村別、男女別、年齢5歳階級別分布の比較

年 齢 別	都 市 (%)		農 村 (%)	
	男	女	男	女
0～4	6.4	5.2	7.8	7.2
5～9	6.5	6.4	10.6	10.5
10～14	10.9	9.5	12.3	13.0
15～19	10.9	11.8	13.2	13.4
20～24	10.9	11.7	10.9	10.8
25～29	9.1	9.5	8.5	8.5
30～34	8.6	7.9	8.8	9.3
35～39	6.2	7.8	6.5	6.8
40～44	6.8	7.1	4.5	4.5
45～49	8.0	7.9	4.1	3.8
50～54	5.6	4.0	3.4	3.4
55～59	3.5	2.6	3.1	2.7
60～64	2.5	3.1	2.7	2.7
65～69	1.6	1.9	1.8	1.4
70～74	1.1	1.2	1.1	1.2
75～79	0.8	1.8	0.5	0.6
80+	0.5	0.7	0.4	0.3

表4 地域別再生産年齢女子人口の年齢別配偶関係構造

年 齢	未 婚		有 配 偶		離 別		死 別	
	男	女	男	女	男	女	男	女
	都 市							
15～19	99.7	100.0	0.3	—	—	—	—	—
20～24	87.0	76.2	13.0	23.8	—	—	—	—
25～29	19.7	13.0	79.5	86.7	0.4	0.4		
30～34	1.2	1.3	97.2	97.5	1.6	0.8	—	0.4
35～39	1.1	0.4	98.3	97.9	—	0.9	0.6	0.9
40～44	—	—	98.5	98.1	1.0	0.5	0.5	1.4
45～59	0.4	—	98.3	93.2	0.9	0.8	0.4	5.9
計	37.0	34.7	62.3	63.9	0.5	0.4	0.2	1.0
	農 村							
15～19	99.0	98.1	1.0	1.9	—	—	—	—
20～24	60.4	41.8	39.5	58.2	0.1	—	—	—
25～29	15.0	3.1	85.0	96.6	—	0.2	—	0.1
30～34	5.9	0.3	92.9	99.1	0.8	0.2	0.4	0.5
35～39	3.3	0.1	94.9	98.9	0.5	0.1	1.3	0.9
40～44	2.9	0.2	95.2	96.8	0.2	0.2	1.7	2.8
45～59	2.3	—	91.9	93.1	0.6	0.2	5.2	6.7
計	38.7	31.5	60.3	67.6	0.2	0.1	0.7	0.9

(3) 再生産年齢女子人口の教育程度別分布

出生力と密接な関係をもっている女子の教育水準別分布についてみてみよう。表5は、教育水準を文盲、小学校、初等中学、高等中学、大学以上の5区分によって、女子の年齢別にその分布を都市と農村について示したものである。

文盲率は都市において極めて低いが、農村では10倍以上の水準にある。都市では初等中学と高等中学の卒業者がそれぞれ40%前後であるのに対し、農村では小学校と初等中学がそれぞれ40%前後の水準にあり、一段階低くなっている。大学以上の高学歴者は都市では7%に近い水準にあるが、農村では極めて少ない。一般に、都市、農村にかかわらず、女の教育水準は男よりも低い。注目されるのは、農村女子の文盲率が18%と高いことである。

農村を山区、平原、草原の3地区別に比較して興味深い点は、山区、平原、草原の順序に従ってある傾向がみられることである。山区では、文盲率がもっとも高く、小学校教育水準のも

の割合が最低でありながら初等中学，高等中学のもの割合が最高となっている。他方，草原では，文盲率は最低，小学校水準のもの割合は最高であるが，初等中学，高等中学は最低である。平原は山区と草原の中間水準にある。草原では何よりもまず小学校教育に重点がおかれているため，中等以上の学歴者の割合は低い，文盲率をもっとも低く，反対に山区では中等以上の教育に人々の関心が強い，高い文盲率，小学校教育水準のもの低率の中で，初等・高等中学卒業のもの高い割合が達成されている，というように考えることもできよう。

しかし，いずれにしても，都市と農村の間における教育水準の著しい格差，いいかえれば農村における教育水準が都市のそれに比較してこのように劣っているにもかかわらず，出生抑制が前にもふれた如く，都市にそれほど劣らない成果をあげていることは注目すべきであろう。

表5 再生産年齢女子人口の教育程度分布の都市・農村比較

地域・男女	文盲	小学校	初等中学	高等中学	大学以上	
都市	総数	1.2	8.8	42.6	40.7	6.7
	男	0.3	6.5	44.0	39.7	9.5
	女	1.9	11.0	41.4	41.6	4.1
農村	総数	12.5	44.2	34.7	8.4	0.2
	男	7.2	41.6	43.0	10.4	0.3
	女	18.2	46.9	28.6	6.3	0.1
山区	総数	13.9	39.9	35.9	10.1	0.2
	男	8.4	37.8	41.3	12.3	0.3
	女	19.8	42.2	30.1	7.7	0.1
平原	総数	12.5	44.4	34.8	8.1	0.2
	男	7.0	42.5	40.4	9.8	0.4
	女	18.3	46.4	28.9	6.3	0.1
草原	総数	10.6	50.0	32.8	6.7	—
	男	6.1	44.7	39.8	9.3	—
	女	15.2	55.4	25.4	3.9	—
全地域	総数	10.2	36.9	36.4	15.1	1.5
	男	5.9	34.7	41.2	16.1	2.1
	女	14.6	39.1	31.4	14.0	1.0

(4) 出生子供数別分布

有配偶女子の出生子供数別分布を都市，農村別についてみると表6の如くである。

出生子供数は都市と農村において著しく異なっている。都市では子供1人が圧倒的に多く40%近くを占めているが，農村では27%にすぎない。子供2人のものは都市では27%で，農村の24%よりも高くなっている。しかし，3人以上では農村の方が多くなっている。農村では1人のもの

と2人のものの割合の差はそれほど大きくはなく、両者あわせて51.3%にすぎないが、都市では両者あわせると65.7%となり、全体の3分の2の対象者は、1人を中心として2人の子供をもったもので構成されている。

農村をさらに3つの地域に区別してみるとそれぞれの間に著しい差異はみられない。山区では3人のものが比較的多いことや草原では1人のものの割合が比較的低いといった傾向がみられるが、一般的にいて子供2人の夫婦が子供1人の夫婦のそれに近い大きな比重を占めていることが注目される。

表6 出生子供数別分布

地域	子 供 数						計
	なし	1人	2人	3人	4人	5人以上	
都市	6.1	38.7	27.0	15.8	8.6	3.8	100.0
農村	7.2	27.0	24.3	17.6	12.4	11.6	100.0
山区 平原 草原	7.2	26.1	24.5	19.0	11.9	11.3	100.0
	6.6	28.3	24.8	17.1	12.2	11.0	100.0
	8.9	24.7	22.4	16.7	13.6	13.7	100.0

次に、この出生子供数別分布を女子の年齢別の観点から都市と農村を比較してみると表7の如くである。

表7 妻の年齢別出生子供数別分布の都市と農村の比較

年 齢	なし		1人		2人		3人		4人		5人以上		計	
	都市	農村	都市	農村										
15~19	-	61.3	-	38.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
20~24	54.2	30.0	44.6	63.9	1.2	5.6	-	0.4	-	0.1	-	-	100.0	100.0
25~29	8.5	5.4	90.3	54.9	1.2	32.9	-	6.3	-	0.4	-	0.1	100.0	100.0
30~34	2.1	2.0	70.9	16.7	25.6	46.4	1.3	25.7	-	7.8	-	1.4	100.0	100.0
35~39	0.9	1.0	15.1	3.1	59.9	23.5	18.5	37.1	3.9	26.2	1.7	9.2	100.0	100.0
40~44	0.5	0.9	5.6	2.4	39.0	6.7	37.1	22.9	14.1	31.1	3.8	35.9	100.0	100.0
45~59	0.8	0.9	3.4	2.2	21.2	6.0	30.5	10.0	28.8	23.4	15.3	57.4	100.0	100.0
計	6.1	7.2	38.7	27.0	27.0	24.3	15.8	17.6	8.6	12.4	3.8	11.6	100.0	100.0

子供が1人という夫婦の割合が特に高いのは、都市の25~29歳の90.3%、30~34歳の70.9%にみられる。しかし、農村では20~24歳の63.9%、25~29歳の54.9%がもっとも高く、30~34歳ではわずかに16.7%で著しく少ない。子供が2人という夫婦の割合が都市で特に高いのは、35~39

歳の妻であって約60%を占めている。しかし、農村の35～39歳の妻の子供2人のものの割合は、23.5%にすぎない。もっとも、農村の35～39歳の妻では子供3人が37.1%でもっとも多く、4人でも26.2%を占めており、2人のものよりも多くなっている。35～39歳あるいはそれ以上の妻のコウホートは、いわゆる“1人っ子”政策以前の結婚者であるため — “1人っ子”政策の前には“子供は2人”といった計画生育宣伝が行われてはいたが — 平均出生児数は一般に高いのは当然であろう。しかし、35～39歳の都市の妻では子供2人が圧倒的に多いのに対し、農村のこの年齢の妻では3人(37.1%)、4人(26.2%)、2人(23.5%)に分散しながら高出生率を示している。人口政策がさらにゆるやかであった当時の結婚者である40～44歳についてみると、都市では子供2人(39.0%)、3人(37.1%)に集中しているのに対し、農村では5人以上(35.9%)、4人(31.1%)、3人(22.9%)と強い多産的傾向を示しており、都市・農村間の著しい出生力格差はきわめて明らかである。45～59歳の妻についてみると、このような傾向は一層強くあらわれている。たとえば、都市でも子供3人のものが30.5%、4人が28.8%と高く、農村では5人以上が60%近く(57.4%)を占めている。

(5) 出生間隔の傾向

出生間隔は出生力の傾向、水準の変化を計測するさいの重要な要因であり、近年この分野の研究が活発となっている。母乳か人工栄養かの影響や家族計画の実行の影響などが介入してくるため、その分析は容易ではないが、家族計画が普及して低出生率が達成されてくると、出生間隔のわずかな変化が出生率水準に影響をもたらす可能性が出てくる。

まず、農村について、1964～1972年の期間と1975年以降に区分して、出生間隔を初婚から第1子、第1子から第2子等についてみると表8の如くである。

結婚から第1子出生までの間隔は、避妊が行なわれなにかぎり、一般に短い。1972年以前も1975年以降のいずれの時期においても、1年以内と1年～1年半のいずれも若干の差はあるが30%前後であって、両者を合わせた1年半未満は60%余である。2年未満で一括すると1964～1972年の期間では75.2%、1975年以降では81.6%となる。

第1子と第2子間の出生間隔は、第1子の場合と異なり、1年以内は極めて少なく、1年から1年半でもなお15～16%にすぎない。1年半以降2年半以内のものがだいたい40%前後を占めている。第2子以降の出生間隔では高順位になるほど1年以内および1年～1年半といった短い間隔のものは加速的に減少する。2年～2年半のものがもっとも多い。

しかし、1964～1972年の期間と1975年以降の時期については著しい差異はみられず、ほぼ同じような傾向がみとめられる。

都市については対象者が少ないため、結婚から第1子までの間隔のみについて触れておこう。1964～1972年期間におけるこの間隔は、1年未満が約40%(39.7%)、1年ないし1年半未満が25.4%であって、両者の合計、つまり1年半未満のものは65%となる。また1975年以降について

表8 農村における出生間隔

期 間	出生間隔	初婚 ～第1子	第1子 ～第2子	第2子 ～第3子	第3子 ～第4子	第4子 ～第5子
1964～	1年以内	29.3%	3.3	2.6	1.8	1.6
1972年 以 降	1年～1年半	31.1	14.9	10.1	8.6	9.8
	1年半～2年	14.8	20.7	16.7	15.3	14.8
	2年～2年半	8.1	23.3	24.7	26.2	24.1
	2年半～3年	4.6	14.4	17.2	14.1	17.0
	3年～3年半	3.1	8.5	11.6	12.9	9.8
	3年半～4年	2.5	3.8	4.3	5.5	6.7
	4年以上	6.5	11.1	12.9	15.0	16.0
	計	100.0 (1,243)	100.0 (1,183)	100.0 (984)	100.0 (767)	100.0 (792)
1975年 以 降	1年以内	35.5	4.3	1.6	3.7	1.8
	1年～1年半	28.8	16.4	8.7	8.5	6.4
	1年半～2年	17.3	19.2	18.5	13.5	12.8
	2年～2年半	6.9	18.4	19.7	19.4	18.8
	2年半～3年	3.9	12.4	14.1	16.2	15.1
	3年～3年半	2.5	9.0	9.4	8.8	15.1
	3年半～4年	1.1	4.4	6.4	7.7	5.5
	4年以上	4.0	15.8	21.5	22.3	24.3
計	100.0 (2,153)	100.0 (1,295)	100.0 (735)	100.0 (377)	100.0 (218)	

注：カッコ内の数字は実数を示す。

みると、1年未満が51.5%と高く、1年ないし1年半未満は25.9%、両者の合計は77.4%となり、前の期間よりもはるかに高い。これを農村と比較してみると、特に都市の1975年以降の1年半未満の第1子出生間隔のものは農村の64%よりもはるかに高い。1年未満での第1子出生の妻の割合は、いずれの期間においても都市の方が高いことが注目される（1964～1972年では農村の29.3%に対し、都市は39.7%、1975年以降では農村の35.5%に対し、都市は51.5%）。結婚すると第1子だけは早く持ちたいという期待が農村よりも都市で高いことを示唆しているようである。

いずれにしても、第2子以降は、母乳が支配的であることと、家族計画の実行により、1年半未満の出生は極めて少なく、1年半以上、特に2年ないし2年半の間隔が支配的となる。この傾向は農村、都市ともに共通にみられる。なお、結婚から第1子出生までの避妊実行者は、都市、農村のいずれにおいても極めて少ないことを付記しておこう。

(6) 生涯出生力の比較 — 教育程度別

妻の年齢が40歳以上である者の出生児数はほぼ出生を終了した生涯出生力あるいは完結出生力であると考えられる。ここでは、40～44、45～49、50～54、55～60歳の妻の教育程度別にその出生児数をみてみると表9の如くである。

表9 都市・農村別教育程度別生涯出生力の比較(平均出生児数)

教育程度	40～44		45～49		50～54		55～60	
	都市	農村	都市	農村	都市	農村	都市	農村
文 盲	3.11	4.39	3.93	5.13	4.68	5.78	4.58	5.41
小 学	2.60	4.22	3.72	4.93	3.82	5.14	5.56	5.12
初 中	2.42	3.51	3.14	4.83	4.04	4.00	5.43	4.57
高 中	2.80	4.13	2.76	2.60	2.1	—	4.25	7.50
大 学	3.63	—	2.57	—	—	—	—	—
合 計	2.68	4.18	3.36	5.02	4.06	5.64	4.93	5.38

都市の対象数や、農村でも55～60歳の高等中学卒などは特に対象数が少ないため、不規則な傾向も部分的にはみられるが、完結出生力は都市よりも農村において高く(55～60歳を除く)、教育程度と逆相関の関係にあり、差別出生力の存在を示している。

各年齢群全体についてみると、明らかに農村の生涯平均出生児数は都市のそれよりも例外なく多い。40～44歳では56%、45～49歳では49%、50～54歳では39%、50～60歳では9%、農村の方が都市よりも平均出生児数が多くなっている。40～60歳までの全女子の平均出生児数は都市で3.47人、農村では4.98人となっており、農村では生涯出生児数は約5人、都市では3.5人といった著しい出生力格差を示していることが注目される。

(7) 避妊実行者の避妊理由と避妊方法の都市と農村の比較

① 避妊理由

まず、避妊の理由についてみると、都市と農村でかなり著しい差異がみられる(表10参照)。

“子供がほしくない”と“呼びかけに応じて”がそれぞれほぼ50%前後を占めているが、都市では“子供がほしくない”という夫婦の主体的な意思を反映するものが、政府の政策上の要請に応えるという理由を上回っているのに対して、農村では逆にっており、政府の施策に賛成するという意思を反映する理由の方が多くなっていることが注目される。その他の理由は極めてわずかである。出生間隔調節の理由によるものがわずかではあるが都市では0.9%、農村では2.2%あることが注目される。

表10 避妊実行理由の都市・農村比較

地 域	子 供 が ほしくない	呼びかけに 応 えて	皆が実行し ているから	出生間隔 調 節	そ の 他	合 計
都 市	50.1	46.6	1.3	0.9	1.1	100.0 (1,042)
農 村	41.3	53.2	2.5	2.2	0.8	100.0 (3,972)
山区	41.4	49.0	3.3	4.7	1.6	100.0 (1,042)
	平原	44.2	52.8	1.9	1.0	100.0 (2,212)
	草原	32.3	60.4	3.5	2.1	100.0 (718)

注：合計欄のカッコ内数字は実数。

農村の中では山区における出生間隔調節を理由とするものが5%（4.7%）ともっとも高いこと、また草原では“呼びかけに応じて”が60%と極めて高いといった特徴が注目される。出生間隔調節のために避妊を行なっているのは、計画生育担当指導員の指導によるものと思われる。

② 避妊不実行理由

避妊を実行していない者に、その理由が調査されている。その理由の分布を示すと表11の如くである。

表11 避妊不実行者の理由別分布の都市・農村比較

地 域	妊娠中	妊娠希望	不 妊	宗 教	その他	閉 経	合 計
都 市	18.8	17.8	4.0	—	24.8	34.6	100 (202)
農 村	29.0	22.3	6.3	—	25.7	16.7	100 (696)

注：合計欄カッコ内数字は実数

避妊を実行していない理由の主なもの、都市では閉経がもっとも多く、次いで“その他”“妊娠中”“妊娠希望”となっている。農村では“妊娠中”がもっとも多く、次いで“その他”“妊娠希望”、“閉経”となっている。宗教上の理由によるものは1人もない。それぞれ当然の理由ではあるが、“その他”が都市、農村のいずれにも25%前後あることが注目される。

③ 避妊方法の分布

避妊方法にはいくたの種類があるが、不妊手術をも1つの避妊方法と考え、その分布状態を都

市・農村別についてみると表12の如くである。

表12 避妊実行者の方法別分布の都市・農村比較

地 域	不妊手術		IUD	経 口 避妊薬	コンド ー ム	リズム 法	その他	合 計
	男	女						
都 市	0.1	18.7	67.2	5.5	6.6	1.2	0.7	100.0 (1,044)
農 村	0.9	47.6	45.6	4.3	1.0	0.3	0.3	100.0 (3,974)
{ 山区 平原 草原	3.1	44.4	45.8	4.2	1.1	0.9	0.4	100.0 (1,047)
	0.1	47.5	46.1	5.2	0.7	0.1	0.2	100.0 (2,209)
	-	52.5	43.9	1.5	1.7	-	0.4	100.0 (718)

注：合計欄のカッコ内数字は実数

避妊方法は都市と農村によってかなり異なった特徴がみられる。第1は都市ではIUDが圧倒的に多く67%を占め、次いで比重は低い第2位を占めている女の不妊手術が約19%を占め、両者で86%となっていることである。第2は農村では女子の不妊手術がもっとも多く約48%、そして第2位のIUDがほぼ同じくらいの比重46%を占め、両者で93.2%となっていることである。経口避妊薬、コンドーム、リズム法等があるが、いずれも少ない。農村の中では草原の女の不妊手術が52.5%を占めもっとも高い比重を占めていることが注目される。しかし、いずれにしても、中国ではIUDと女の不妊手術の2つの方法に集中していること、特に農村での不妊手術の高いことが特徴的である。

(8) 避妊知識の入手経路

避妊についての知識をどこで得たかは、政府の活動、本人の教育等の指標として重要な意義をもっている。次表にみられる如く、いくつかの入手経路があるが、政府の宣伝員がもっとも多いことが注目され、政府の活動の大きさを示しているといえよう。

農村での避妊の知識は、もっぱら宣伝員から入手しているが、都市では宣伝員とほぼ同じような割合を示しているのが職場であることが注目される。職場という場合、職場での計画生育担当者からのものであるとすれば、これもほぼ宣伝員と同じ機能をもっていると考えられる。したがって、都市の宣伝員と職場を合計すると77%となり、農村の73%とほぼ同水準となる。次いで、書籍雑誌といったマス・コミの役割がかなり重要となり、都市では17%、農村では13%である。農村を山区、平原、草原に区分してみると著しい差異はみられないが、宣伝員の役割が山区、平原、草原の順序にしたがって増大しており、山区ではもっとも少ないが、書籍雑誌では山区がもっとも多い。

表13 避妊知識の入手経路の都市・農村比較

地 域	友 人	父 母	職 場	書籍雑誌	宣伝員	その他	合 計
都 市	4.1	0.3	37.0	16.9	40.4	1.2	100.0 (1,867)
農 村	7.0	1.5	4.2	13.4	72.8	1.2	100.0 (6,214)
{ 山区 平原 草原	7.0	0.5	5.3	14.7	70.1	2.4	100.0 (1,722)
	8.1	1.9	3.6	12.8	72.9	0.7	100.0 (3,414)
	3.3	0.7	4.5	13.5	77.4	0.7	100.0 (1,073)

注 合計欄カッコ内は実数。山区、平原、草原の実数の合計は6,209であって農村の6,214より5少ない。

日本においてもこのような調査があるが、日本では雑誌がもっとも多く40%に近い割合を占めており、これに新聞、単行本、ラジオ、テレビ等のマスコミを加えると50%に達する（毎日新聞社第14回全国家族計画世論調査、1977年）。

(9) 子供に対する価値観

子供に対する価値、同居、親扶養についての調査が行われている。

まず、子供自体についての考えかたについてみると表14の如くである。

表14 子供に対する価値観

地 域	喜 び	労働力	老後扶養	経済負担	精神負担	チャンスを失う	合 計
都 市	50.4	4.2	17.5	17.5	10.6	-	100.0 (1,998)
農 村	19.1	11.4	46.0	18.9	4.4	0.3	100.0 (7,442)

注 合計欄のカッコ内数字は実数

子供に対する価値観が、都市と農村によって著しく異なっていることが注目される。その特徴をひとことでいえば、都市では子供は「喜び」であると考えたものが圧倒的に多く、50%を越えているのに対し、農村では「老後扶養」として役立つ子供に価値をおいているものが圧倒的に多く、半分に近い46%を占めていることである。労働力としての子供に価値をみとめているものは、

都市において4%、農村においても11%にすぎない。子供を経済的負担と考えているものは都市で17.5%、農村では18.9%とほぼ同水準である。精神的負担と考えているものは、都市で10.6%で、農村の4.4%よりもはるかに多い。経済的、精神的負担を合計してみると、都市では28.1%、農村では23.3%となる。子供は負担であると考えものが都市、農村でもかなり多く、特に都市において30%近い水準にあることは注目すべきであろう。子供は労働力であるという考えかたは都市では4.2%と著しく低い。農村においても11%で、都市よりも多いが、予想外に低い割合である。農業の生産請負制の実施と共に働き手の多い世帯での収入の増加が著しいという最近の傾向の中で、労働力としての子供に対する価値観が高まっているのではないかと予想されたが、現実にはそうでないことが判明した。むしろ、老後を子供に頼るという伝統的な価値観が存続している。しかし、他方、都市においては、老後扶養とか労働力といった価値観から脱却して、“喜び”としての子供へと移行していることが明らかになった。特に、都市で顕著な成功を示している“1人っ子政策”による1人っ子という貴重な子供に対する“喜び”観が強いとも予想され、農村では1人っ子と共に2人の子供も珍しくないが、農業の後継者としての彼らに老後を期待する農村の伝統が強いように思われる。

このような子供価値観を妻の年齢別にみると表15の如くである。

表15 子供価値観の妻の年齢別にみた分布—都市・農村別

年 齢	喜 び	労働力	老後扶養	経済負担	精神負担	チャンスを失う	合 計
都 市							
15~24	79.1	—	11.0	3.3	6.6	—	100.0 (91)
25~34	66.3	2.9	15.1	10.2	5.4	—	100.0 (615)
35+	40.7	5.0	19.0	21.9	13.3	—	100.0 (1,292)
農 村							
15~24	30.4	9.6	40.4	14.4	4.8	0.3	100.0 (1,032)
25~34	21.7	9.8	47.0	17.4	3.7	0.4	100.0 (2,818)
35+	13.7	13.1	46.7	21.5	4.8	0.3	100.0 (3,592)

都市では若い年齢の妻ほど子供に“喜び”を感じ、15~24歳では79%と著しく高く、25~34歳では66%、35歳以上では40%にまで低下する。この年齢の増大とともに“経済負担”と考えているものは22%と増大する。

農村においても、若い年齢において“喜び”と感ずるものはもっとも多いが、15~24歳でもわずか30%で都市のこの年齢層の半分にもならない。35歳以上では“喜び”と考えるものはわずか

に14%となる。他方において“老後扶養”とみなすものは、農村では一般に高く、どの年齢でも40%以上、35歳以上でもっとも高く47%に達している。注目すべき点は、35歳以上では都市、農村ともに経済負担と考えているものが22%に達していることである。

次に、子供と同居、子供が親の面倒をみることについての女性の考え方についてみてみよう。表16は都市・農村について示したものである。晩年において子供と同居したいかということと、子供が両親を扶養することについてどのように考えるかについての調査結果である。

表16 子供と同居、老後扶養に対する考え方

(1)						
地 域	晩年子供と同居したいか				合 計	
	は い	いいえ	未 定	考えたことがない		
都 市	52.7	11.9	9.4	26.0	100.0	(1,446)
農 村	67.0	2.1	11.3	19.6	100.0	(5,395)

(2)						
地 域	子供が親を養うことについて					合 計
	よい習慣	義 務	やむをえない	よいことではない	その他	
都 市	21.4	73.2	0.3	0.7	4.4	100.0 (1,554)
農 村	20.9	76.2	1.4	0.1	1.5	100.0 (5,434)

晩年に子供と同居したいと思うかどうかの質問に対する考え方は、都市と農村においてかなりの差異がみとめられる。農村においては、肯定している者が圧倒的に多く70%に近い割合を示しているのに対し、都市では53%とかなり低い。はっきりと否定したものの割合は都市で高く、農村ではきわめて少ない。“考えたことがない”といった消極的な態度を示しているものは、都市で多く26%となっているが、農村においても20%とかなり高い割合を示している。このように同居という観点から見ると、都市と農村の間の価値観にかなり差異がみられる。

しかし、子供が親を養うことについての考え方では、都市と農村の間でほとんど差がみられなない。“義務”であると考える者の割合は、農村、都市ともに70%を越えており、都市の73%に対し、農村は76%で若干高くなっている。“よい習慣”と考える者も、都市・農村ともに20%前後で差はない。“よい習慣”であり、“義務”であると考えている者を合計すると、都市では94.6%、農村では97.1%となり、中国では都市、農村を通じて親扶養に対する肯定的価値観が圧倒的に多く、歴史的伝統の失われていないことを立証しているようである。

最後に、希望子供数について述べてみよう。表17は希望子供数を1人、2人、3人、4人以上に区分して示したものであるが、妻の年齢別にもその区分が示されている。

表17 希望子供数の分布－都市・農村比較

地域・年齢	1 人	2 人	3 人	4人以上	合 計
都 市	37.1	61.0	1.5	0.5	100.0 (1,437)
15～24	54.3	45.7	—	—	100.0 (94)
25～34	46.5	52.4	0.4	0.6	100.0 (473)
35+	30.1	67.2	2.2	0.5	100.0 (870)
農 村	15.5	77.8	4.3	2.3	100.0 (5,405)
15～24	26.5	72.4	0.8	0.3	100.0 (780)
25～34	14.3	80.6	3.7	1.5	100.0 (2,090)
35+	13.2	77.2	5.9	3.7	100.0 (2,535)

注 合計欄のカッコ内数値は実数

都市では子供2人を希望する者が61%でもっとも多く、子供1人を希望する者は37%にすぎない。しかし、農村ではこの傾向はいっそう強く、子供1人は15%余にすぎず、78%が2人を希望している。しかし、子供1人を考えている者の割合は、都市では農村の2倍以上であって、子供1人志向は都市において高いことがわかる。

しかし、妻の年齢別にみると注目すべき傾向が見られる。都市についてみると、妻が15～24歳というもっとも若い年齢層では、子供1人希望者が子供2人希望者を上回っている。しかし35歳以上の妻では子供1人希望は30%でもっとも少ない。もっとも、この35歳以上では子供を産み終わっているものと考えられ、1人っ子政策が実行される以前の結婚者であり、すでに大部分のものは子供2人を持っていたと考えられ、この事実にもとづいて子供2人を希望子供数としているように思われる。

特に、注目すべきは農村である。もっとも若い15～24歳の妻でも子供1人を希望子供数と考えている者はわずか26.5%であって、都市のこの年齢の妻のその半分にすぎない。72%は子供2人を希望している。25～34歳ではこの傾向はいっそう強くなり、希望子供数1人ではわずかに14%、希望子供数2人は80%を越えている。35歳以上の妻で、希望子供数を3人とする者が5.9%、4人とする者が3.7%あることも注目すべきであろう。

(10) 「1人っ子証」の割合

1人の子供をもったあと、1人っ子に満足し、あと子供を産まないことを届出たものには、「1人子証」（独生子女証）が与えられ、いろいろな特権、優先権をもつことができる。この1人子をもった夫婦の中で、1人子証をもっているものの割合を都市・農村別にみると表18の如くである。

表18 1人子証所持者の割合

年 齢	都 市	農 村	山 区	平 原	草 原
総 数	88.0 (482)	59.0 (1,263)	45.5 (332)	60.0 (722)	77.0 (209)
15~19	—	50.0	66.7	33.3	66.7
20~24	81.1	56.0	40.5	57.5	72.2
25~29	87.9	61.6	47.7	62.3	85.2
30~34	91.0	63.2	45.7	67.3	78.6
35~39	88.6	56.0	40.0	62.5	50.0
40~44	91.7	41.7	100.0	—	33.3
45+	50.0	20.0	50.0	12.5	—

1人子証をもらっている者は、農村の約60%に対し、都市では88%と高くなっている。これを年齢別にみると、45歳以上の高齢の妻を除くと80%ないし90%の高水準にある。しかし、30~34歳の91%をピークとして25~29歳では88%、20~24歳では81%と若くなるほど低下していることが注目される。

農村でも、30~34歳の63%を最高として、年齢が若くなるにしたがって低下しており、20~24歳では56%となっている。このような最近の結婚における1人子証割合の低下は、政府の政策変化の影響によるものと思われる。農村をさらに3つの地域に区分してみると、山区でもっとも低く45%、そして平原60%、草原77%と高くなっており、地域の特徴があらわれているようである。

(11) 財産相続についての態度

財産を誰に相続するかは親と子の間の重大な問題である。老後の生活との関連においても考慮されていると考えられる。都市、農村別に、誰に相続するつもりであるかの調査回答の結果を示すと表19の如くである。

財産相続にあたって誰に相続するかについての質問に対する回答は、都市・農村によって著しく異なっている。都市においては「すべての子供」に財産を相続すると考えているものももっとも多いのに対して、農村では自分たちの老後の面倒を見てくれるものに財産を相続すると考えて

いるものももっとも多く36%に達している。次いで、男子というのが30%に近い割合を示している。長子に限定すると予想外に少なく7.8%にすぎない。仮りに長子を男子と考えること、男子は全体で36.6%となり、老後の面倒をみてくれる者の割合に匹敵する。都市では“考えたことがない”が26%もあり、一般的にいった相続の対象者については深刻には考えられていないように思われる。しかし、農村においては現実的な観点から財産相続を誰にするかを考慮しているようである。

表19 財産相続予定対象者の分布－都市・農村比較

地域	長子	男子	すべての子供	老後の面倒をみる子供	考えたことがない	その他	合計
都市	19.6	16.7	25.3	9.7	25.8	2.9	100.0 (1,421)
農村	7.8	28.8	7.2	36.1	19.5	0.5	100.0 (5,434)

注 合計欄のカッコ内数値は実数

(12) 農村における生活水準の変化

農村における生産請負制の採用以降農家の生活水準の上昇はめざましい。どのように変化したかの質問に対する回答を5つの選択肢によってその分布をみると表20の如くである。

農家全体についてみると明らかに上昇したと答えているものは、70% (69.3%) にも達しており、わずかに向上したものを加えると95.4%となる。“変化なし”が3.3%、下降したものは1.3%にすぎない。生活水準の上昇がいかにもめざましいものであったかを知ることができよう。

表20 生活水準の変化

地域	向上	わずかに向上	変化なし	わずかに下降	下降	合計
農村	69.3	26.1	3.3	1.1	0.2	100.0 (5,421)
山区 平原 草原	70.6	25.1	3.0	1.1	0.2	100.0 (1,492)
	69.0	26.9	2.8	1.1	0.2	100.0 (2,926)
	68.0	25.3	5.0	1.3	0.4	100.0 (1,003)

注 合計欄のカッコ内数値は実数

農村の地域別にみてもあまり差はみられない。約70%が向上、25%がわずかに向上で、合計95

％のものが5年前と比較して生活水準が向上していることになり、例のないめざましい経済的發展を示したことになる。

このような生活水準の向上を背景として、自分の生活水準からみて社会の中でどのような階層に属するかの質問に対しての答えをみると表21の如くである。

表21 社会階層の分類－都市・農村の比較

地 域	上 層	中 上	中 流	中 下	下 層	合 計
農 村	14.5	26.2	37.9	16.2	5.2	100.0 (5,421)
{ 山区 { 平原 { 草原	11.4	23.3	40.3	18.2	6.8	100.0 (1,492)
	15.4	27.9	35.7	15.9	5.2	100.0 (2,926)
	16.7	25.4	40.3	14.5	3.2	100.0 (1,003)

注 合計欄のカッコ内数値は実数。都市部は集計されていない。

自分たちの生活水準は中流と考えている者がもっとも多く約40%を占めている。また、中流の上も26%と高く、上層の14.5%を加えると41%となる。したがって、中流以上は80% (78.6%) 近くに達する。下層だと考えている者は5%にすぎない。生産請負制によって所得水準が急上昇した結果は、大部分の人々が中流以上だと感ずる方向に動いており、所得水準格差感は極めて少ないことが注目されよう。

農村を3つの地域別にみると草原において中流以上がもっとも多く82%に達し、中下および下層はもっとも少ない。他方、山区は農村の中でも中下、下層がもっとも多く、両方で25%となっている。しかし、地域間の格差はそれほど著しくない。

(13) 貯蓄目的について

どのような目的で貯蓄しているかについての調査結果を示すと表22の如くである。

貯蓄の目的の大部分の60%は、住宅と耐久消費財購入となっている。子供の養育は第3位、そして老後のための貯蓄は10%でもっとも少ない。生活の質的向上は、住宅と耐久消費財に向けられている。生活水準の向上がめざましい時、人々はまず住宅を改造したり、新築したりすることと、それにふさわしい耐久消費財を整えることに、人々の関心が集中する。

地区別にみると、平原での“住宅”，草原での耐久消費財購入が目立っている。子供の養育のため、山区と草原で多少多くなっているが、老後のためという目的では10～11%水準で、地区での差はほとんどみられない。

表22 貯蓄目的の分布(農村)

地 域	住宅建設	耐久消費財の購入	老 後	子供の養育	その他	合 計
農 村	32.1	30.2	10.8	16.3	10.5	100.0 (1,187)
{ 山区 { 平原 { 草原	29.3	21.9	11.4	18.8	18.5	100.0 (351)
	36.3	32.2	10.1	14.3	7.2	100.0 (615)
	24.9	38.0	11.8	18.1	7.2	100.0 (221)

注 合計欄のカッコ内数値は実数

(14) 世帯収入階級別世帯数(1984年)の分布

各地域別に1984年の世帯収入をいくつかに分け、その分布をみると表23の如くである。

表23 地域別世帯収入階級別世帯数分布

地 域	1984年世帯収入(元)								合 計
	平 均	1,000未満	1,000~ 2,000	2,000~ 3,000	3,000~ 4,000	4,000~ 5,000	5,000以上	不 明	
近郊農村	1,941	24.6	39.0	19.3	7.5	2.1	7.0	0.5	100.0 (187)
平 原	2,117	16.1	39.6	22.9	12.2	4.7	4.1	0.5	100.0 (3,382)
草 原	2,112	18.4	37.3	22.2	11.5	4.2	5.3	1.2	100.0 (864)
山 区	2,083	17.1	39.7	22.4	11.0	3.9	4.7	1.3	100.0 (985)
合 計	2,175	16.9	39.2	22.6	11.7	4.4	4.5	0.8	100.0 (5,418)

注 各地域の平均値は所得階級の中央値。999元以下は500元、5,000元以上は5,500元として計算。したがって、原票の合計平均値とは一致しない。`一元`は日本円で現在は55円位である。1985年4月ごろの89円に比較すると円高の影響を受けて下がっている。

全体の平均世帯収入は2,175元である。月額にすると181元を越える。一般労働者の平均賃金を仮りに60元とすると約3倍となる。収入階級別にみると1,000~2,000元がもっとも多く約40%を占め、次いで2,000~3,000元が23%近くを占めており、両者合わせると62%に達する。

地域別にみて注目されることは、近郊農村である。もっとも低い収入階級の1,000元未満の者

が25%といちばん多いにもかかわらず、5,000元以上という高額収入の世帯が7%で他のどの地区よりも多いということで、格差の著しいことを示している。その他の地域では著しい差はみられない。

(15) 家族規模および家族構成の特徴

まず、家族の規模、すなわち家族員数についてその分布をみると表24の如くである。

表24 家族規模の分布

地 域	家 族 規 模							合 計
	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7人以上	
農 村	1.5	5.9	20.7	24.6	21.5	13.1	12.6	100.0 (5,421)
{ 山区 平原 草原	1.9	5.8	20.0	25.2	20.8	13.0	13.3	100.0 (1,492)
	1.5	5.7	20.7	24.6	21.7	13.1	12.6	100.0 (2,926)
	1.1	6.7	21.5	23.8	22.2	13.3	11.4	100.0 (1,003)

注 合計欄のカッコ内数値は実数

4人家族がもっとも多く、次いで5人家族と3人家族がそれぞれ21%前後の割合を占めている。したがって、家族規模が3人ないし5人という家族規模が全体の67%を占めている。しかし、6人以上家族および7人以上家族がそれぞれ13%を占め、両者あわせて約26%を占めていることも注目される。これを地区別にみると著しい差異はみとめられない。

以上のような小数家族の多いことは、核家族や2世代家族の多いことを示唆している。これを明らかにしたものが表25と表26である。

予想通り、核家族が77%以上を占めている。それはほぼ2世代家族の78%に対応している。しかし、3世代の大家族が16%を占めていることは注目される。

地区別にみると、山区では3世代がもっとも多く、18%を占めているのに対し、草原では12%ともっとも少なくなっている。草原では3世代家族がもっとも少ない代わりに、2世代家族がもっとも多く80%を越えている。

(16) 民族構成

調査対象地域の民族を漢民族、少数民族に区分してみると表27の如くなっている。

表25 核家族、親族形態別分布

地 域	核家族	直系親族	傍系親族	無親族関係	合 計
農 村	77.4	21.0	1.4	0.3	100.0 (5,421)
{ 山区 { 平原 { 草原	75.8	22.4	1.4	0.4	100.0 (1,492)
	77.8	20.8	1.3	0.0	100.0 (2,926)
	78.6	19.3	1.4	0.9	100.0 (1,003)

注 合計欄のカッコ内数値は実数

表26 世代別分布

地 域	4世代	3世代	2世代	単身世代	合 計
農 村	0.6	16.1	78.1	5.1	100.0 (5,421)
{ 山区 { 平原 { 草原	1.0	18.0	76.1	5.0	100.0 (1,492)
	0.5	16.6	78.2	4.6	100.0 (2,926)
	0.4	12.0	80.9	6.8	100.0 (1,003)

注 合計欄のカッコ内数値は実数

表27 民族別分布

地 域	漢 民 族	少数民族	不 明	合 計
近郊農村	82.9	17.1	—	100.0 (187)
平 原	95.0	4.7	0.3	100.0 (3,382)
草 原	91.3	8.6	0.1	100.0 (864)
山 区	78.4	21.4	0.2	100.0 (935)
合 計	91.0	8.8	0.2	100.0 (5,418)

注 合計欄のカッコ内数値は実数

平原は漢民族が圧倒的に多く95%を占め、少数民族は4.7%にすぎない。しかし、草原、山区になると少数民族の比重が増大する。時に、山区では少数民族は21%を越え、漢民族は80%未満となっている。しかし、近郊農村の対象数は少ないが少数民族が17%を占め、山区に続いて多いことが注目される。

(17) 農家の専業・兼業別分布

農家の専業・兼業別に分布をみると次表28の如く、専業は94%で、兼業は6%にすぎない。特に、近郊農村において兼業率は10%と高くなっており、山区の約2倍であることが注目されよう。

表28 農家の専業・兼業別分布

地 域	専 業	兼 業	合 計
近郊農村	90.2	9.8	100.0 (183)
平 原	93.8	6.2	100.0 (3,330)
草 原	94.5	5.5	100.0 (855)
山 区	94.7	5.3	100.0 (967)

注 合計欄のカッコ内数値は実数

4 集計表

TABLE 1-1 Population by Place of Birth, Sex and Age
男女、年齢階級、出生地別人口
按性别、出生地和年令分人口分布

SEX : TOTAL

AGE	PLACE OF BIRTH									
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	UNKNOWN (%)	
0-4	1,662 (7.5)	1,248 (5.0)	541 (2.2)	52 (0.1)	17 (0.1)	8 (0.0)	12 (0.0)	- (-)	4 (0.0)	
5-9	2,606 (10.5)	1,682 (6.8)	784 (3.2)	46 (0.2)	43 (0.2)	27 (0.1)	20 (0.1)	- (-)	4 (0.0)	
10-14	3,105 (12.5)	1,950 (7.9)	875 (3.5)	84 (0.3)	72 (0.3)	71 (0.3)	48 (0.2)	- (-)	5 (0.0)	
15-19	3,234 (13.3)	1,984 (8.0)	928 (3.7)	99 (0.4)	108 (0.4)	90 (0.4)	84 (0.3)	- (-)	3 (0.0)	
20-24	2,663 (10.8)	1,220 (4.9)	659 (2.6)	230 (0.9)	281 (1.1)	147 (0.6)	140 (0.6)	1 (0.0)	5 (0.0)	
25-29	2,106 (8.5)	661 (2.7)	462 (1.9)	283 (1.1)	325 (1.3)	173 (0.7)	201 (0.8)	1 (0.0)	- (-)	
30-34	2,231 (9.0)	643 (2.6)	477 (1.9)	253 (1.0)	387 (1.6)	205 (0.8)	260 (1.1)	4 (0.0)	2 (0.0)	
35-39	1,642 (6.6)	470 (1.9)	316 (1.3)	187 (0.8)	276 (1.1)	155 (0.6)	234 (0.9)	1 (0.0)	3 (0.0)	
40-44	1,119 (4.5)	312 (1.3)	195 (0.8)	110 (0.4)	180 (0.7)	111 (0.4)	208 (0.8)	1 (0.0)	2 (0.0)	
45-49	965 (3.9)	259 (1.0)	161 (0.7)	120 (0.5)	164 (0.7)	103 (0.4)	152 (0.6)	8 (0.0)	- (-)	
50-54	852 (3.4)	230 (0.9)	149 (0.6)	112 (0.5)	121 (0.5)	88 (0.4)	140 (0.6)	12 (0.0)	- (-)	
55-59	724 (2.9)	161 (0.7)	120 (0.5)	100 (0.4)	126 (0.5)	96 (0.4)	115 (0.5)	6 (0.0)	- (-)	
60-64	680 (2.7)	156 (0.6)	84 (0.3)	77 (0.3)	137 (0.6)	93 (0.4)	109 (0.4)	29 (0.1)	1 (0.0)	
65-69	583 (1.5)	74 (0.3)	50 (0.2)	42 (0.2)	75 (0.3)	43 (0.2)	81 (0.3)	17 (0.1)	1 (0.0)	
70-74	278 (1.1)	53 (0.2)	50 (0.1)	29 (0.1)	55 (0.2)	41 (0.2)	57 (0.2)	13 (0.1)	- (-)	
75-79	135 (0.5)	27 (0.1)	17 (0.1)	11 (0.0)	21 (0.1)	18 (0.1)	23 (0.1)	12 (0.0)	- (-)	
80-84	64 (0.3)	15 (0.1)	6 (0.0)	12 (0.0)	7 (0.0)	6 (0.0)	13 (0.1)	4 (0.0)	1 (0.0)	
85+	16 (0.1)	5 (0.0)	2 (0.0)	- (-)	- (-)	5 (0.0)	4 (0.0)	- (-)	- (-)	
UNKNOWN	23 (0.1)	6 (0.0)	6 (0.0)	2 (0.0)	- (-)	2 (0.0)	- (-)	- (-)	13 (0.1)	
TOTAL	24,754 (100.0)	11,156 (45.1)	5,849 (23.6)	1,829 (7.4)	2,395 (9.7)	1,482 (6.0)	1,697 (7.7)	101 (0.4)	44 (0.2)	

A : SAME HAMLET B : SAME VILLAGE C : SAME COUNTY D : SAME PREFECTURE
E : JILIN PROVINCE F : OTHER PROVINCES G : FOREIGN COUNTRIES

TABLE 1-2

SEX : MALE

AGE	PLACE OF BIRTH									
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	UNKNOWN (%)	
0-4	334 (7.8)	678 (5.3)	277 (2.2)	15 (0.1)	12 (0.1)	6 (0.0)	3 (0.0)	- (-)	2 (0.0)	
5-9	1,356 (10.6)	868 (6.8)	419 (3.3)	17 (0.1)	25 (0.2)	17 (0.1)	7 (0.1)	- (-)	3 (0.0)	
10-14	1,566 (12.2)	937 (7.7)	440 (3.4)	34 (0.3)	39 (0.3)	32 (0.3)	26 (0.2)	- (-)	3 (0.0)	
15-19	1,702 (13.3)	1,045 (8.1)	451 (3.5)	44 (0.3)	55 (0.4)	57 (0.4)	49 (0.4)	- (-)	1 (0.0)	
20-24	1,379 (10.8)	791 (6.2)	350 (2.7)	57 (0.4)	69 (0.5)	43 (0.3)	64 (0.5)	1 (0.0)	4 (0.0)	
25-29	1,080 (8.4)	478 (3.7)	277 (2.2)	67 (0.5)	82 (0.6)	61 (0.5)	114 (0.9)	1 (0.0)	- (-)	
30-34	1,133 (8.8)	450 (3.5)	279 (2.2)	66 (0.5)	119 (0.9)	82 (0.6)	134 (1.0)	2 (0.0)	1 (0.0)	
35-39	832 (6.5)	323 (2.5)	196 (1.5)	51 (0.4)	83 (0.6)	66 (0.5)	113 (0.9)	- (-)	- (-)	
40-44	587 (4.6)	223 (1.7)	124 (1.0)	30 (0.2)	60 (0.5)	45 (0.4)	107 (0.8)	- (-)	1 (0.0)	
45-49	519 (4.0)	173 (1.4)	97 (0.8)	42 (0.3)	60 (0.5)	51 (0.4)	88 (0.7)	2 (0.0)	- (-)	
50-54	439 (3.4)	159 (1.2)	77 (0.6)	42 (0.3)	42 (0.3)	35 (0.3)	75 (0.6)	9 (0.1)	- (-)	
55-59	409 (3.1)	123 (1.0)	86 (0.7)	42 (0.3)	44 (0.3)	44 (0.3)	60 (0.5)	1 (0.0)	- (-)	
60-64	349 (2.7)	103 (0.8)	52 (0.4)	30 (0.2)	61 (0.5)	40 (0.3)	55 (0.4)	10 (0.1)	- (-)	
65-69	222 (1.7)	54 (0.4)	35 (0.3)	20 (0.2)	33 (0.3)	27 (0.2)	45 (0.4)	8 (0.1)	- (-)	
70-74	137 (1.1)	34 (0.3)	18 (0.1)	8 (0.1)	24 (0.2)	18 (0.1)	27 (0.2)	8 (0.1)	- (-)	
75-79	67 (0.5)	19 (0.1)	10 (0.1)	5 (0.0)	8 (0.1)	7 (0.1)	14 (0.1)	4 (0.0)	- (-)	
80-84	36 (0.3)	10 (0.1)	4 (0.0)	3 (0.0)	6 (0.0)	3 (0.0)	9 (0.1)	- (-)	1 (0.0)	
85+	12 (0.1)	4 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (0.0)	3 (0.0)	- (-)	- (-)	
UNKNOWN	15 (0.1)	4 (0.0)	3 (0.0)	- (-)	- (-)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	7 (0.1)	
TOTAL	12,825 (100.0)	6,529 (50.9)	3,195 (24.9)	574 (4.5)	823 (6.4)	645 (5.0)	991 (7.7)	48 (0.4)	23 (0.2)	

A : SAME HAMLET B : SAME VILLAGE C : SAME COUNTY D : SAME PREFECTURE
E : JILIN PROVINCE F : OTHER PROVINCES G : FOREIGN COUNTRIES

TABLE 1 - 3

SEX : FEMALE

AGE	PLACE OF BIRTH								
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	UNKNOWN (%)
0 - 4	888 (7.3)	570 (4.8)	264 (2.2)	16 (0.1)	5 (0.0)	2 (0.0)	9 (0.1)	- (-)	2 (0.0)
5 - 9	1,250 (10.5)	814 (6.8)	365 (3.1)	29 (0.2)	18 (0.2)	10 (0.1)	13 (0.1)	- (-)	1 (0.0)
10 - 14	1,539 (12.9)	993 (8.1)	435 (3.6)	50 (0.4)	33 (0.3)	34 (0.3)	22 (0.2)	- (-)	2 (0.0)
15 - 19	1,592 (13.3)	939 (7.9)	475 (4.0)	55 (0.5)	53 (0.4)	33 (0.3)	35 (0.3)	- (-)	2 (0.0)
20 - 24	1,284 (10.8)	429 (3.6)	269 (2.4)	173 (1.5)	212 (1.8)	104 (0.9)	76 (0.6)	- (-)	1 (0.0)
25 - 29	1,026 (8.6)	183 (1.5)	185 (1.6)	216 (1.8)	243 (2.0)	112 (0.9)	87 (0.7)	- (-)	- (-)
30 - 34	1,088 (9.2)	193 (1.6)	198 (1.7)	187 (1.6)	268 (2.2)	123 (1.0)	126 (1.1)	2 (0.0)	1 (0.0)
35 - 39	810 (6.8)	147 (1.2)	120 (1.0)	136 (1.1)	193 (1.6)	89 (0.7)	121 (1.0)	1 (0.0)	3 (0.0)
40 - 44	532 (4.5)	92 (0.8)	71 (0.6)	80 (0.7)	120 (1.0)	66 (0.6)	101 (0.8)	1 (0.0)	1 (0.0)
45 - 49	446 (3.7)	80 (0.7)	64 (0.5)	78 (0.7)	104 (0.9)	52 (0.4)	64 (0.5)	4 (0.0)	- (-)
50 - 54	413 (3.5)	71 (0.6)	72 (0.6)	70 (0.6)	79 (0.7)	53 (0.4)	65 (0.5)	3 (0.0)	- (-)
55 - 59	324 (2.7)	38 (0.3)	34 (0.3)	58 (0.5)	82 (0.7)	52 (0.4)	55 (0.5)	5 (0.0)	- (-)
60 - 64	331 (2.8)	53 (0.4)	32 (0.3)	47 (0.4)	76 (0.6)	53 (0.4)	56 (0.5)	13 (0.1)	1 (0.0)
65 - 69	161 (1.3)	20 (0.2)	15 (0.1)	22 (0.2)	42 (0.4)	16 (0.1)	36 (0.3)	9 (0.1)	1 (0.0)
70 - 74	141 (1.2)	19 (0.2)	12 (0.1)	21 (0.2)	31 (0.3)	23 (0.2)	30 (0.3)	5 (0.0)	- (-)
75 - 79	88 (0.6)	8 (0.1)	7 (0.1)	6 (0.1)	13 (0.1)	11 (0.1)	15 (0.1)	8 (0.1)	- (-)
80 - 84	28 (0.2)	5 (0.0)	2 (0.0)	9 (0.1)	1 (0.0)	3 (0.0)	4 (0.0)	4 (0.0)	- (-)
85 +	4 (0.0)	1 (0.0)	2 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.0)	- (-)	- (-)
UNKNOWN	14 (0.1)	2 (0.0)	3 (0.0)	2 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	6 (0.1)
TOTAL	11,929 (103.0)	4,627 (39.8)	2,845 (22.2)	1,255 (10.5)	1,573 (13.2)	837 (7.0)	916 (7.7)	55 (0.5)	21 (0.2)

A : SAME HAMLET B : SAME VILLAGE C : SAME COUNTY D : SAME PREFECTURE
 E : JILIN PROVINCE F : OTHER PROVINCES G : FOREIGN COUNTRIES

TABLE 2 Population by Ethnic Group Sex and Age

男女、年齡階級、民族別人口
 按民族、性別和年齡分人口分布

AGE	TOTAL			HAN			MINORITY			UNKNOWN		
	TOTAL (%)	MALE (%)	FEMALE (%)	TOTAL (%)	MALE (%)	FEMALE (%)	TOTAL (%)	MALE (%)	FEMALE (%)	TOTAL (%)	MALE (%)	FEMALE (%)
0 - 4	1,862 (7.5)	994 (4.0)	868 (3.5)	1,667 (6.7)	901 (3.6)	766 (3.1)	192 (0.7)	88 (0.4)	94 (0.4)	13 (0.1)	5 (0.0)	8 (0.0)
5 - 9	2,606 (10.5)	1,356 (5.5)	1,250 (5.0)	2,414 (9.8)	1,257 (5.1)	1,157 (4.7)	189 (0.7)	94 (0.4)	89 (0.4)	9 (0.0)	5 (0.0)	4 (0.0)
10 - 14	3,105 (12.5)	1,566 (6.3)	1,539 (6.2)	2,852 (11.7)	1,453 (5.9)	1,439 (5.8)	209 (0.8)	108 (0.4)	95 (0.4)	10 (0.0)	5 (0.0)	5 (0.0)
15 - 19	3,234 (13.3)	1,702 (6.9)	1,592 (6.4)	3,018 (12.2)	1,572 (6.4)	1,416 (5.8)	266 (1.1)	126 (0.5)	140 (0.6)	10 (0.0)	4 (0.0)	6 (0.0)
20 - 24	2,663 (10.8)	1,379 (5.6)	1,284 (5.2)	2,376 (9.6)	1,236 (5.0)	1,140 (4.6)	291 (1.1)	137 (0.6)	144 (0.6)	6 (0.0)	6 (0.0)	- (-)
25 - 29	2,106 (8.5)	1,080 (4.4)	1,026 (4.1)	1,873 (7.6)	951 (3.8)	922 (3.7)	227 (0.9)	127 (0.5)	100 (0.4)	6 (0.0)	2 (0.0)	4 (0.0)
30 - 34	2,231 (9.0)	1,133 (4.6)	1,098 (4.4)	2,056 (8.3)	1,036 (4.2)	1,020 (4.1)	172 (0.7)	95 (0.4)	77 (0.3)	3 (0.0)	2 (0.0)	1 (0.0)
35 - 39	1,642 (6.6)	832 (3.4)	810 (3.3)	1,511 (6.1)	766 (3.1)	745 (3.0)	129 (0.5)	65 (0.3)	64 (0.3)	2 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)
40 - 44	1,119 (4.5)	587 (2.4)	532 (2.1)	1,032 (4.2)	541 (2.2)	491 (2.0)	85 (0.3)	44 (0.2)	41 (0.2)	2 (0.0)	2 (0.0)	- (-)
45 - 49	965 (3.9)	519 (2.1)	446 (1.8)	866 (3.5)	463 (1.9)	403 (1.6)	96 (0.4)	55 (0.2)	41 (0.2)	3 (0.0)	1 (0.0)	2 (0.0)
50 - 54	652 (3.4)	439 (1.8)	413 (1.7)	769 (3.1)	397 (1.6)	372 (1.5)	81 (0.3)	42 (0.2)	39 (0.2)	2 (0.0)	- (-)	2 (0.0)
55 - 59	724 (2.9)	400 (1.6)	324 (1.3)	600 (2.7)	369 (1.5)	291 (1.2)	63 (0.3)	30 (0.1)	33 (0.1)	1 (0.0)	1 (0.0)	- (-)
60 - 64	680 (2.7)	319 (1.4)	351 (1.3)	592 (2.4)	304 (1.2)	288 (1.2)	84 (0.3)	43 (0.2)	41 (0.2)	4 (0.0)	2 (0.0)	2 (0.0)
65 - 69	383 (1.5)	222 (0.9)	161 (0.7)	331 (1.3)	198 (0.8)	136 (0.5)	48 (0.2)	24 (0.1)	24 (0.1)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)
70 - 74	278 (1.1)	137 (0.6)	141 (0.6)	250 (1.0)	121 (0.5)	129 (0.5)	28 (0.1)	16 (0.1)	12 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
75 - 79	135 (0.5)	67 (0.3)	68 (0.3)	119 (0.5)	62 (0.3)	57 (0.2)	15 (0.1)	5 (0.0)	10 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)
80 - 84	64 (0.3)	36 (0.1)	28 (0.1)	54 (0.2)	33 (0.1)	21 (0.1)	9 (0.0)	3 (0.0)	6 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)
85 +	16 (0.1)	12 (0.0)	4 (0.0)	15 (0.1)	11 (0.0)	4 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
UNKNOWN	29 (0.1)	15 (0.1)	14 (0.1)	11 (0.0)	4 (0.0)	7 (0.0)	5 (0.0)	4 (0.0)	1 (0.0)	13 (0.1)	7 (0.0)	6 (0.0)
TOTAL	24,754 (100.0)	12,825 (51.8)	11,929 (48.2)	22,509 (90.9)	11,675 (47.2)	10,834 (43.8)	2,158 (8.7)	1,107 (4.5)	1,051 (4.2)	87 (0.4)	43 (0.2)	44 (0.2)

TABLE 3 - 1 Population 15 Years of Age and Over Marital Status, Sex and Age
 男女, 年齡階級, 配偶關係別15歲以上人口
 按性別、婚姻狀況和年齡分15歲以上的人口

SEX : TOTAL

AGE	MARITAL STATUS						
	TOTAL (%)	SINGLE (%)	MARRIED (%)	REARRIED (%)	DIVORCED (%)	WIDOWED (%)	UNKNOWN (%)
15 - 19	3,234 (19.2)	3,242 (18.9)	49 (0.3)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	1 (0.0)
20 - 24	2,613 (15.5)	1,374 (8.0)	1,270 (7.4)	11 (0.1)	5 (0.0)	1 (0.0)	2 (0.0)
25 - 29	2,106 (12.3)	194 (1.1)	1,891 (11.0)	14 (0.1)	3 (0.0)	2 (0.0)	2 (0.0)
30 - 34	2,231 (13.0)	75 (0.4)	2,106 (12.3)	28 (0.2)	11 (0.1)	10 (0.1)	1 (0.0)
35 - 39	1,642 (9.6)	34 (0.2)	1,551 (9.0)	29 (0.2)	4 (0.0)	23 (0.1)	1 (0.0)
40 - 44	1,119 (6.5)	22 (0.1)	1,033 (6.0)	35 (0.2)	2 (0.0)	25 (0.1)	2 (0.0)
45 - 49	865 (5.6)	13 (0.1)	849 (4.9)	41 (0.2)	4 (0.0)	58 (0.3)	- (-)
50 - 54	632 (5.0)	17 (0.1)	713 (4.1)	97 (0.2)	4 (0.0)	81 (0.5)	- (-)
55 - 59	724 (4.2)	15 (0.1)	565 (3.3)	53 (0.2)	5 (0.0)	106 (0.6)	- (-)
60 - 64	680 (4.0)	13 (0.1)	483 (2.8)	40 (0.2)	2 (0.0)	142 (0.8)	- (-)
65 - 69	389 (2.2)	7 (0.0)	231 (1.3)	17 (0.1)	- (-)	128 (0.7)	- (-)
70 - 74	278 (1.6)	3 (0.1)	125 (0.7)	6 (0.0)	- (-)	158 (0.8)	- (-)
75 - 79	155 (0.8)	2 (0.0)	46 (0.3)	2 (0.0)	- (-)	85 (0.5)	- (-)
80 - 84	64 (0.4)	2 (0.0)	19 (0.1)	- (-)	- (-)	43 (0.3)	- (-)
85 +	16 (0.1)	- (-)	2 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	13 (0.1)	- (-)
UNKNOWN	23 (0.2)	10 (0.1)	7 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	12 (0.1)
TOTAL	17,181 (100.0)	5,029 (29.3)	10,940 (63.7)	255 (1.7)	40 (0.2)	856 (5.0)	21 (0.1)

TABLE 3 - 2

SEX : MALE

AGE	MARITAL STATUS						
	TOTAL (%)	SINGLE (%)	MARRIED (%)	REARRIED (%)	DIVORCED (%)	WIDOWED (%)	UNKNOWN (%)
15 - 19	1,702 (19.1)	1,683 (18.9)	17 (0.2)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	- (-)
20 - 24	1,373 (15.5)	837 (9.4)	532 (6.0)	4 (0.0)	3 (0.0)	1 (0.0)	2 (0.0)
25 - 29	1,080 (12.1)	163 (1.8)	909 (10.2)	5 (0.1)	1 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)
30 - 34	1,193 (12.7)	71 (0.8)	1,039 (11.7)	8 (0.1)	10 (0.1)	5 (0.1)	- (-)
35 - 39	832 (9.3)	30 (0.3)	776 (8.7)	11 (0.1)	3 (0.0)	12 (0.1)	- (-)
40 - 44	597 (6.6)	19 (0.2)	542 (6.1)	13 (0.1)	1 (0.0)	10 (0.1)	2 (0.0)
45 - 49	519 (5.8)	12 (0.1)	460 (5.2)	16 (0.2)	3 (0.0)	28 (0.3)	- (-)
50 - 54	439 (4.9)	15 (0.2)	372 (4.2)	15 (0.2)	4 (0.0)	33 (0.4)	- (-)
55 - 59	400 (4.5)	9 (0.1)	324 (3.6)	15 (0.2)	5 (0.1)	47 (0.5)	- (-)
60 - 64	349 (3.9)	5 (0.1)	260 (2.9)	17 (0.2)	1 (0.0)	66 (0.7)	- (-)
65 - 69	222 (2.5)	6 (0.1)	147 (1.7)	13 (0.1)	- (-)	56 (0.6)	- (-)
70 - 74	137 (1.5)	7 (0.1)	73 (0.8)	3 (0.0)	- (-)	54 (0.6)	- (-)
75 - 79	67 (0.8)	- (-)	27 (0.3)	2 (0.0)	- (-)	38 (0.4)	- (-)
80 - 84	36 (0.4)	2 (0.0)	12 (0.1)	- (-)	- (-)	22 (0.2)	- (-)
85 +	12 (0.1)	- (-)	2 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	9 (0.1)	- (-)
UNKNOWN	15 (0.2)	4 (0.0)	4 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (0.1)
TOTAL	8,503 (100.0)	2,865 (32.1)	5,496 (61.7)	121 (1.4)	31 (0.3)	383 (4.3)	12 (0.1)

TABLE 3 - 3

SEX : FEMALE

AGE	MARITAL STATUS						
	TOTAL (%)	SINGLE (%)	MARRIED (%)	REARRIED (%)	DIVORCED (%)	WIDOWED (%)	UNKNOWN (%)
15 - 19	1,532 (19.2)	1,559 (18.8)	32 (0.4)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.0)
20 - 24	1,244 (15.5)	537 (6.5)	739 (8.9)	7 (0.1)	2 (0.0)	- (-)	- (-)
25 - 29	1,026 (12.4)	31 (0.4)	982 (11.9)	9 (0.1)	2 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)
30 - 34	1,038 (13.3)	4 (0.0)	1,097 (12.9)	20 (0.2)	1 (0.0)	5 (0.1)	1 (0.0)
35 - 39	810 (9.8)	4 (0.0)	775 (9.4)	18 (0.2)	1 (0.0)	11 (0.1)	1 (0.0)
40 - 44	532 (6.4)	3 (0.0)	491 (5.9)	22 (0.3)	1 (0.0)	15 (0.2)	- (-)
45 - 49	446 (5.4)	1 (0.0)	389 (4.7)	25 (0.3)	1 (0.0)	30 (0.4)	- (-)
50 - 54	413 (5.0)	2 (0.0)	311 (4.1)	22 (0.3)	- (-)	48 (0.6)	- (-)
55 - 59	324 (3.9)	6 (0.1)	241 (2.9)	18 (0.2)	- (-)	59 (0.7)	- (-)
60 - 64	331 (4.0)	8 (0.1)	223 (2.7)	23 (0.3)	1 (0.0)	76 (0.9)	- (-)
65 - 69	161 (1.9)	1 (0.0)	84 (1.0)	4 (0.0)	- (-)	72 (0.9)	- (-)
70 - 74	141 (1.7)	2 (0.0)	52 (0.6)	3 (0.0)	- (-)	84 (1.0)	- (-)
75 - 79	68 (0.8)	2 (0.0)	19 (0.2)	- (-)	- (-)	47 (0.6)	- (-)
80 - 84	28 (0.3)	- (-)	7 (0.1)	- (-)	- (-)	21 (0.3)	- (-)
85 +	4 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (0.0)	- (-)
UNKNOWN	14 (0.2)	6 (0.1)	3 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (0.1)
TOTAL	8,272 (100.0)	2,168 (26.2)	5,444 (65.8)	171 (2.1)	9 (0.1)	473 (5.7)	9 (0.1)

TABLE 4-1 Population 7 Years of Age and Over by Educational Level, Sex and Age
男女, 年齡階級, 教育程度別7歲以上人口

按性別、文化程度和年齡分7歲以上的人口

SEX : TOTAL

AGE	LEVEL OF EDUCATION							
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	UNKNOWN (%)
7	515 (2.4)	2 (0.0)	- (-)	369 (1.7)	4 (0.0)	- (-)	- (-)	140 (0.6)
8	453 (2.1)	- (-)	- (-)	411 (1.9)	- (-)	- (-)	- (-)	42 (0.2)
9	533 (2.4)	7 (0.0)	- (-)	500 (2.3)	2 (0.0)	- (-)	- (-)	24 (0.1)
10	515 (2.4)	- (-)	1 (0.0)	431 (2.3)	6 (0.0)	2 (0.0)	- (-)	15 (0.1)
11	546 (2.5)	4 (0.0)	1 (0.0)	506 (2.3)	18 (0.1)	- (-)	- (-)	17 (0.1)
12	655 (3.0)	2 (0.0)	1 (0.0)	562 (2.6)	77 (0.4)	3 (0.0)	- (-)	10 (0.0)
13	637 (3.2)	5 (0.0)	5 (0.0)	513 (2.4)	163 (0.7)	1 (0.0)	- (-)	10 (0.0)
14	692 (3.2)	14 (0.1)	7 (0.0)	593 (1.8)	266 (1.2)	4 (0.0)	- (-)	2 (0.0)
15	750 (3.4)	13 (0.1)	6 (0.0)	562 (1.7)	346 (1.6)	20 (0.1)	1 (0.0)	2 (0.0)
16	656 (3.0)	13 (0.1)	9 (0.0)	291 (1.3)	322 (1.5)	19 (0.1)	- (-)	2 (0.0)
17	720 (3.3)	14 (0.1)	10 (0.0)	309 (1.4)	342 (1.6)	44 (0.2)	- (-)	1 (0.0)
18	577 (2.6)	11 (0.1)	9 (0.0)	247 (1.1)	261 (1.2)	46 (0.2)	2 (0.0)	1 (0.0)
19	591 (2.7)	12 (0.1)	10 (0.0)	250 (1.1)	262 (1.2)	54 (0.2)	1 (0.0)	2 (0.0)
20-24	2,663 (12.2)	60 (0.3)	50 (0.2)	1,002 (4.6)	1,126 (5.2)	402 (1.8)	12 (0.1)	11 (0.1)
25-29	2,106 (9.7)	156 (0.7)	68 (0.3)	845 (3.9)	713 (3.3)	317 (1.5)	1 (0.0)	8 (0.0)
30-34	2,231 (10.2)	221 (1.0)	111 (0.5)	1,122 (5.1)	621 (2.9)	148 (0.7)	2 (0.0)	6 (0.0)
35-39	1,642 (7.5)	204 (0.9)	88 (0.4)	853 (3.9)	434 (2.0)	56 (0.3)	2 (0.0)	5 (0.0)
40-44	1,119 (5.1)	158 (0.9)	66 (0.4)	524 (2.4)	258 (1.2)	42 (0.2)	3 (0.0)	8 (0.0)
45-49	965 (4.4)	312 (1.4)	82 (0.4)	397 (1.8)	134 (0.6)	35 (0.2)	4 (0.0)	1 (0.0)
50-54	852 (3.9)	473 (2.2)	79 (0.4)	240 (1.1)	43 (0.2)	15 (0.1)	- (-)	2 (0.0)
55-59	724 (3.3)	439 (2.0)	76 (0.3)	157 (0.7)	38 (0.2)	10 (0.0)	1 (0.0)	3 (0.0)
60-64	680 (3.1)	457 (2.1)	68 (0.3)	125 (0.6)	22 (0.1)	6 (0.0)	- (-)	2 (0.0)
65-69	383 (1.8)	300 (1.4)	30 (0.1)	44 (0.2)	8 (0.0)	- (-)	- (-)	1 (0.0)
70-74	278 (1.3)	218 (1.0)	23 (0.1)	28 (0.1)	6 (0.0)	2 (0.0)	- (-)	1 (0.0)
75-79	135 (0.6)	98 (0.4)	15 (0.1)	17 (0.1)	1 (0.0)	2 (0.0)	- (-)	2 (0.0)
80-84	64 (0.3)	56 (0.3)	1 (0.0)	7 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
85+	16 (0.1)	12 (0.1)	1 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (0.0)
UNKNOWN	23 (0.1)	1 (0.0)	- (-)	8 (0.0)	4 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	15 (0.1)
TOTAL	21,787 (100.0)	3,302 (15.2)	877 (3.8)	10,578 (48.6)	5,477 (25.1)	1,229 (5.6)	29 (0.1)	355 (1.5)

A : ILLITERATE B : SEMI-ILLITERATE C : ELEMENTARY-SCHOOL
D : MIDDLE SCHOOL E : HIGH SCHOOL F : UNIVERSITY

TABLE 4-2

SEX : MALE

AGE	LEVEL OF EDUCATION							
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	UNKNOWN (%)
7	265 (2.4)	1 (0.0)	- (-)	208 (1.8)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	55 (0.5)
8	221 (2.0)	- (-)	- (-)	204 (1.8)	- (-)	- (-)	- (-)	17 (0.2)
9	285 (2.5)	4 (0.0)	- (-)	270 (2.4)	- (-)	- (-)	- (-)	11 (0.1)
10	259 (2.3)	- (-)	1 (0.0)	247 (2.2)	3 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	7 (0.1)
11	273 (2.4)	2 (0.0)	- (-)	235 (2.3)	6 (0.1)	- (-)	- (-)	10 (0.1)
12	312 (2.8)	2 (0.0)	1 (0.0)	271 (2.4)	33 (0.3)	2 (0.0)	- (-)	3 (0.0)
13	363 (3.2)	2 (0.0)	2 (0.0)	262 (2.3)	89 (0.8)	1 (0.0)	- (-)	8 (0.1)
14	359 (3.2)	9 (0.1)	4 (0.0)	199 (1.8)	144 (1.3)	1 (0.0)	- (-)	2 (0.0)
15	392 (3.5)	8 (0.1)	1 (0.0)	171 (1.5)	199 (1.8)	19 (0.1)	- (-)	1 (0.0)
16	344 (3.1)	8 (0.1)	4 (0.0)	140 (1.2)	176 (1.6)	14 (0.1)	- (-)	2 (0.0)
17	364 (3.2)	6 (0.1)	5 (0.0)	141 (1.3)	180 (1.6)	31 (0.3)	- (-)	1 (0.0)
18	290 (2.6)	9 (0.1)	6 (0.1)	116 (1.0)	134 (1.2)	24 (0.2)	1 (0.0)	- (-)
19	312 (2.8)	3 (0.0)	3 (0.0)	130 (1.2)	145 (1.3)	30 (0.3)	1 (0.0)	- (-)
20-24	1,379 (12.3)	18 (0.2)	24 (0.2)	465 (4.1)	637 (5.7)	219 (1.9)	10 (0.1)	6 (0.1)
25-29	1,080 (9.6)	37 (0.3)	26 (0.2)	374 (3.3)	433 (3.9)	200 (1.8)	1 (0.0)	3 (0.0)
30-34	1,133 (10.1)	41 (0.4)	38 (0.3)	513 (4.6)	424 (3.8)	114 (1.0)	1 (0.0)	2 (0.0)
35-39	832 (7.4)	49 (0.4)	27 (0.2)	418 (3.7)	286 (2.5)	49 (0.4)	2 (0.0)	1 (0.0)
40-44	587 (5.2)	53 (0.5)	25 (0.2)	235 (2.6)	172 (1.5)	35 (0.3)	2 (0.0)	5 (0.0)
45-49	519 (4.6)	89 (0.8)	37 (0.3)	235 (2.3)	103 (0.9)	30 (0.3)	4 (0.0)	1 (0.0)
50-54	439 (3.9)	163 (1.4)	56 (0.5)	168 (1.5)	36 (0.3)	15 (0.1)	- (-)	1 (0.0)
55-59	400 (3.6)	150 (1.7)	45 (0.4)	122 (1.1)	32 (0.3)	8 (0.1)	1 (0.0)	2 (0.0)
60-64	343 (3.1)	182 (1.6)	50 (0.4)	95 (0.8)	16 (0.1)	5 (0.0)	- (-)	1 (0.0)
65-69	222 (2.0)	154 (1.4)	23 (0.2)	39 (0.3)	6 (0.1)	- (-)	- (-)	- (-)
70-74	137 (1.2)	96 (0.9)	12 (0.1)	21 (0.2)	6 (0.1)	2 (0.0)	- (-)	- (-)
75-79	67 (0.6)	41 (0.4)	11 (0.1)	13 (0.1)	1 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	- (-)
80-84	36 (0.3)	23 (0.3)	1 (0.0)	6 (0.1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
85+	12 (0.1)	9 (0.1)	1 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.0)
UNKNOWN	15 (0.1)	- (-)	- (-)	3 (0.0)	3 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	8 (0.1)
TOTAL	11,246 (100.0)	1,205 (10.7)	403 (3.6)	5,402 (48.0)	3,269 (29.1)	796 (7.1)	23 (0.2)	148 (1.3)

A : ILLITERATE B : SEMI-ILLITERATE C : ELEMENTARY-SCHOOL
D : MIDDLE SCHOOL E : HIGH SCHOOL F : UNIVERSITY

TABLE 4-3

SEX : FEMALE

AGE	TOTAL (%)	LEVEL OF EDUCATION						UNKNOWN (%)
		A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	
7	250 (2.4)	1 (0.0)	- (-)	161 (1.5)	8 (0.0)	- (-)	- (-)	85 (0.8)
8	232 (2.2)	- (-)	- (-)	207 (2.0)	- (-)	- (-)	- (-)	25 (0.2)
9	248 (2.4)	3 (0.0)	- (-)	230 (2.2)	2 (0.0)	- (-)	- (-)	13 (0.1)
10	256 (2.4)	- (-)	- (-)	244 (2.3)	9 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	8 (0.1)
11	273 (2.6)	2 (0.0)	1 (0.0)	251 (2.4)	12 (0.1)	- (-)	- (-)	7 (0.1)
12	343 (3.3)	- (-)	- (-)	291 (2.8)	44 (0.4)	1 (0.0)	- (-)	7 (0.1)
13	334 (3.2)	3 (0.0)	3 (0.0)	251 (2.4)	75 (0.7)	- (-)	- (-)	2 (0.0)
14	353 (3.2)	5 (0.0)	3 (0.0)	200 (1.9)	123 (1.2)	3 (0.0)	- (-)	- (-)
15	358 (3.4)	5 (0.0)	5 (0.0)	191 (1.8)	148 (1.4)	7 (0.1)	1 (0.0)	1 (0.0)
16	312 (3.0)	5 (0.0)	5 (0.0)	151 (1.4)	146 (1.4)	5 (0.0)	- (-)	- (-)
17	356 (3.4)	8 (0.1)	5 (0.0)	168 (1.6)	162 (1.5)	13 (0.1)	- (-)	- (-)
18	267 (2.7)	2 (0.0)	3 (0.0)	191 (1.2)	127 (1.2)	22 (0.2)	1 (0.0)	1 (0.0)
19	279 (2.6)	9 (0.1)	7 (0.1)	120 (1.1)	117 (1.1)	24 (0.2)	- (-)	2 (0.0)
20 ~ 24	1,284 (12.2)	42 (0.4)	26 (0.2)	537 (5.1)	463 (4.6)	183 (1.7)	2 (0.0)	5 (0.0)
25 ~ 29	1,026 (9.7)	119 (1.1)	42 (0.4)	469 (4.4)	274 (2.6)	117 (1.1)	- (-)	5 (0.0)
30 ~ 34	1,098 (10.4)	160 (1.7)	73 (0.7)	609 (5.8)	197 (1.9)	34 (0.3)	1 (0.0)	4 (0.0)
35 ~ 39	810 (7.7)	155 (1.5)	61 (0.6)	435 (4.1)	148 (1.4)	7 (0.1)	- (-)	4 (0.0)
40 ~ 44	532 (5.0)	145 (1.4)	61 (0.6)	223 (2.2)	86 (0.8)	7 (0.1)	1 (0.0)	3 (0.0)
45 ~ 49	446 (4.2)	223 (2.1)	45 (0.4)	142 (1.3)	31 (0.3)	5 (0.0)	- (-)	- (-)
50 ~ 54	413 (3.9)	310 (2.9)	29 (0.2)	72 (0.7)	7 (0.1)	- (-)	- (-)	1 (0.0)
55 ~ 59	324 (3.1)	249 (2.4)	31 (0.3)	35 (0.3)	6 (0.1)	2 (0.0)	- (-)	1 (0.0)
60 ~ 64	331 (3.1)	275 (2.6)	18 (0.2)	30 (0.3)	6 (0.1)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)
65 ~ 69	161 (1.5)	145 (1.4)	7 (0.1)	5 (0.0)	2 (0.0)	- (-)	- (-)	1 (0.0)
70 ~ 74	141 (1.3)	122 (1.2)	11 (0.1)	7 (0.1)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.0)
75 ~ 79	68 (0.6)	57 (0.5)	4 (0.0)	4 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	- (-)	2 (0.0)
80 ~ 84	28 (0.3)	27 (0.3)	- (-)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
85 +	4 (0.0)	3 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.0)
UNKNOWN	14 (0.1)	1 (0.0)	- (-)	5 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	7 (0.1)
TOTAL	10,541 (100.0)	2,097 (19.9)	434 (4.1)	5,176 (49.1)	2,208 (20.9)	453 (4.1)	6 (0.1)	187 (1.8)

A : ILLITERATE B : SEMI-ILLITERATE C : ELEMENTARY-SCHOOL
 D : MIDDLE SCHOOL E : HIGH SCHOOL F : UNIVERSITY

TABLE 5-1 Population 15 Years of Age and Over by Occupation, Sex and Age

男女, 年齡階級, 職業別15歲以上人口
 按性別、職業和年齡分15歲以上的人口

SEX : TOTAL

AGE	TOTAL (%)	OCCUPATION							UNKNOWN (%)
		A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	
15 ~ 19	3,294 (19.2)	2,106 (12.3)	22 (0.1)	- (-)	- (-)	11 (0.1)	1,080 (6.3)	44 (0.3)	31 (0.2)
20 ~ 24	2,653 (15.5)	2,350 (13.9)	27 (0.2)	10 (0.1)	2 (0.0)	38 (0.2)	107 (0.6)	81 (0.5)	16 (0.1)
25 ~ 29	2,106 (12.3)	1,937 (11.4)	23 (0.1)	5 (0.0)	3 (0.0)	25 (0.1)	5 (0.0)	79 (0.5)	9 (0.1)
30 ~ 34	2,231 (13.0)	2,046 (11.9)	23 (0.1)	11 (0.1)	4 (0.0)	22 (0.1)	1 (0.0)	101 (0.6)	23 (0.1)
35 ~ 39	1,642 (9.6)	1,434 (8.7)	19 (0.1)	14 (0.1)	8 (0.0)	24 (0.1)	1 (0.0)	73 (0.4)	9 (0.1)
40 ~ 44	1,119 (6.5)	1,003 (5.9)	23 (0.1)	12 (0.1)	4 (0.0)	16 (0.1)	- (-)	51 (0.3)	4 (0.0)
45 ~ 49	965 (5.6)	875 (5.1)	19 (0.1)	4 (0.0)	5 (0.0)	16 (0.1)	1 (0.0)	41 (0.2)	10 (0.1)
50 ~ 54	852 (5.0)	734 (4.6)	7 (0.0)	4 (0.0)	2 (0.0)	8 (0.0)	- (-)	33 (0.2)	4 (0.0)
55 ~ 59	724 (4.2)	653 (3.8)	4 (0.0)	4 (0.0)	- (-)	5 (0.0)	2 (0.0)	53 (0.3)	3 (0.0)
60 ~ 64	660 (4.0)	553 (3.3)	3 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	4 (0.0)	7 (0.0)	74 (0.4)	32 (0.2)
65 ~ 69	383 (2.2)	283 (1.6)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	66 (0.4)	32 (0.2)
70 ~ 74	278 (1.6)	186 (1.1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.0)	74 (0.4)	17 (0.1)
75 ~ 79	135 (0.8)	90 (0.5)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	36 (0.2)	7 (0.0)
80 ~ 84	64 (0.4)	48 (0.3)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	15 (0.1)	1 (0.0)
85 +	16 (0.1)	9 (0.1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	6 (0.0)	1 (0.0)
UNKNOWN	29 (0.2)	9 (0.1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (0.0)	1 (0.0)	17 (0.1)
TOTAL	17,181 (100.0)	14,458 (84.4)	156 (1.0)	65 (0.4)	30 (0.2)	169 (1.0)	1,207 (7.0)	828 (4.8)	218 (1.3)

A : FARMERS B : WORKERS C : STAFF D : MEDICAL DOCTORS
 E : TEACHERS F : STUDENTS G : OTHERS

TABLE 5-2

SEX : MALE

AGE	OCCUPATION								
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	UNKNOWN (%)
15 ~ 19	1,702 (19.1)	1,085 (12.2)	15 (0.2)	- (-)	- (-)	5 (0.1)	568 (6.4)	17 (0.2)	14 (0.2)
20 ~ 24	1,579 (15.5)	1,246 (14.0)	22 (0.2)	7 (0.1)	1 (0.0)	17 (0.2)	66 (0.7)	9 (0.1)	11 (0.1)
25 ~ 29	1,080 (12.1)	1,029 (11.6)	19 (0.2)	5 (0.1)	2 (0.0)	14 (0.2)	2 (0.0)	8 (0.1)	1 (0.0)
30 ~ 34	1,153 (12.7)	1,063 (11.9)	23 (0.2)	11 (0.1)	3 (0.0)	14 (0.2)	- (-)	10 (0.1)	10 (0.1)
35 ~ 39	832 (9.3)	767 (8.6)	18 (0.2)	14 (0.2)	4 (0.0)	20 (0.2)	1 (0.0)	5 (0.1)	3 (0.0)
40 ~ 44	587 (6.6)	531 (6.0)	22 (0.2)	12 (0.1)	2 (0.0)	19 (0.1)	- (-)	6 (0.1)	1 (0.0)
45 ~ 49	519 (5.8)	477 (5.4)	12 (0.1)	4 (0.0)	3 (0.0)	14 (0.2)	1 (0.0)	2 (0.0)	6 (0.1)
50 ~ 54	439 (4.9)	414 (4.6)	7 (0.1)	4 (0.0)	2 (0.0)	8 (0.1)	- (-)	2 (0.0)	2 (0.0)
55 ~ 59	400 (4.5)	381 (4.3)	4 (0.0)	4 (0.0)	- (-)	5 (0.1)	- (-)	5 (0.1)	1 (0.0)
60 ~ 64	349 (3.9)	322 (3.6)	3 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	4 (0.0)	- (-)	18 (0.2)	1 (0.0)
65 ~ 69	222 (2.5)	179 (2.0)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	21 (0.2)	20 (0.2)
70 ~ 74	137 (1.5)	108 (1.2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	19 (0.2)	10 (0.1)
75 ~ 79	67 (0.8)	54 (0.6)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	7 (0.1)	4 (0.0)
80 ~ 84	56 (0.4)	29 (0.3)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (0.1)	- (-)
85 +	12 (0.1)	7 (0.1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (0.0)	1 (0.0)
UNKNOWN	15 (0.2)	7 (0.1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	8 (0.1)
TOTAL	8,909 (100.0)	7,659 (86.4)	146 (1.6)	62 (0.7)	19 (0.2)	114 (1.3)	636 (7.1)	140 (1.6)	93 (1.0)

A : FARMERS B : WORKERS C : STAFF D : MEDICAL DOCTORS E : TEACHERS F : STUDENTS G : OTHERS

TABLE 5-3

SEX : FEMALE

AGE	OCCUPATION								
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	UNKNOWN (%)
15 ~ 19	1,592 (19.2)	1,021 (12.3)	7 (0.1)	- (-)	- (-)	6 (0.1)	514 (6.2)	27 (0.3)	17 (0.2)
20 ~ 24	1,284 (15.5)	1,134 (13.7)	5 (0.1)	3 (0.0)	1 (0.0)	21 (0.3)	41 (0.5)	72 (0.9)	7 (0.1)
25 ~ 29	1,026 (12.4)	928 (11.2)	4 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	11 (0.1)	3 (0.0)	71 (0.9)	8 (0.1)
30 ~ 34	1,038 (13.3)	983 (11.9)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	8 (0.1)	1 (0.0)	91 (1.1)	13 (0.2)
35 ~ 39	810 (9.8)	727 (8.8)	1 (0.0)	- (-)	4 (0.0)	4 (0.0)	- (-)	68 (0.8)	6 (0.1)
40 ~ 44	552 (6.4)	478 (5.8)	1 (0.0)	- (-)	2 (0.0)	3 (0.0)	- (-)	45 (0.5)	3 (0.0)
45 ~ 49	446 (5.4)	388 (4.8)	1 (0.0)	- (-)	2 (0.0)	2 (0.0)	- (-)	39 (0.5)	4 (0.0)
50 ~ 54	413 (5.0)	380 (4.6)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	31 (0.4)	2 (0.0)
55 ~ 59	324 (3.9)	272 (3.3)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (0.0)	48 (0.6)	2 (0.0)
60 ~ 64	331 (4.0)	237 (2.9)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (0.1)	58 (0.7)	31 (0.4)
65 ~ 69	161 (1.9)	104 (1.3)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	45 (0.5)	12 (0.1)
70 ~ 74	141 (1.7)	78 (0.9)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.0)	55 (0.7)	7 (0.1)
75 ~ 79	68 (0.8)	36 (0.4)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	29 (0.4)	3 (0.0)
80 ~ 84	28 (0.3)	19 (0.2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	8 (0.1)	1 (0.0)
85 +	4 (0.0)	2 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (0.0)	- (-)
UNKNOWN	14 (0.2)	2 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (0.0)	1 (0.0)	9 (0.1)
TOTAL	8,272 (100.0)	6,759 (82.2)	20 (0.2)	3 (0.0)	11 (0.1)	55 (0.7)	571 (6.9)	688 (8.3)	125 (1.5)

A : FARMERS B : WORKERS C : STAFF D : MEDICAL DOCTORS E : TEACHERS F : STUDENTS G : OTHERS

TABLE 6-1 Population 15 Years of Age and Over by Occupation, Educational Level and Sex
男女, 職業, 教育程度別15歲以上人口
按性別、職業和文化程度分15歲以上的人口

SEX : TOTAL

LEVEL OF EDUCATION	OCCUPATION								
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	UNKNOWN (%)
H	3,267 (19.0)	2,809 (19.4)	3 (1.8)	1 (1.5)	- (-)	- (-)	2 (0.2)	374 (45.2)	78 (38.8)
I	822 (4.8)	701 (4.8)	1 (0.6)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (0.2)	98 (11.9)	20 (10.0)
J	6,819 (39.8)	6,238 (43.1)	50 (30.1)	8 (12.3)	4 (13.3)	5 (3.0)	256 (21.2)	212 (25.6)	46 (22.9)
K	4,937 (28.8)	3,858 (26.6)	79 (47.6)	31 (47.7)	13 (43.3)	54 (32.0)	749 (62.2)	116 (14.0)	37 (18.4)
L	1,218 (7.1)	845 (5.8)	27 (16.3)	23 (35.4)	13 (43.3)	103 (60.9)	182 (15.1)	22 (2.7)	3 (1.5)
M	29 (0.2)	5 (0.0)	2 (1.2)	2 (3.1)	- (-)	7 (4.1)	13 (1.1)	- (-)	- (-)
UNKNOWN	60 (0.3)	33 (0.2)	4 (2.4)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.1)	5 (0.6)	17 (8.5)
TOTAL	17,152 (100.0)	14,489 (100.0)	166 (100.0)	65 (100.0)	30 (100.0)	169 (100.0)	1,205 (100.0)	827 (100.0)	201 (100.0)

A : FARMERS B : WORKERS C : STAFF D : MEDICAL DOCTORS E : TEACHERS F : STUDENTS
G : OTHERS H : ILLITERATE I : SEMI-ILLITERATE J : ELEMENTARY SCHOOL K : MIDDLE SCHOOL
L : HIGH SCHOOL M : UNIVERSITY

TABLE 6 - 2

SEX : MALE

LEVEL OF EDUCATION	OCCUPATION								
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	UNKNOWN (%)
H	1,185 (18.3)	1,082 (14.1)	2 (1.4)	1 (1.6)	- (-)	- (-)	2 (0.3)	71 (50.7)	27 (31.8)
I	355 (4.4)	380 (4.9)	1 (0.7)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.2)	6 (4.3)	7 (8.2)
J	5,483 (89.2)	5,256 (42.3)	44 (30.1)	8 (12.9)	1 (5.3)	3 (2.6)	114 (17.9)	34 (24.3)	23 (27.1)
K	2,931 (33.6)	2,414 (31.4)	67 (45.9)	31 (50.0)	7 (36.8)	34 (23.8)	337 (62.4)	22 (15.7)	19 (22.4)
L	790 (8.9)	543 (7.1)	26 (17.8)	20 (32.3)	11 (57.3)	71 (62.3)	112 (17.6)	6 (4.3)	1 (1.2)
M	23 (0.3)	4 (0.1)	2 (1.4)	2 (3.2)	- (-)	6 (5.3)	9 (1.4)	- (-)	- (-)
UNKNOWN	27 (0.3)	13 (0.2)	4 (2.7)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.2)	1 (0.7)	8 (9.4)
TOTAL	8,834 (100.0)	7,632 (100.0)	148 (100.0)	62 (100.0)	19 (100.0)	114 (100.0)	636 (100.0)	140 (100.0)	65 (100.0)

A : FARMERS B : WORKERS C : STAFF D : MEDICAL DOCTORS E : TEACHERS F : STUDENTS G : OTHERS
H : ILLITERATE I : SEMI-ILLITERATE J : ELEMENTARY SCHOOL K : MIDDLE SCHOOL L : HIGH SCHOOL
M : UNIVERSITY

TABLE 6 - 3

SEX : FEMALE

LEVEL OF EDUCATION	OCCUPATION								
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	UNKNOWN (%)
H	2,082 (25.2)	1,727 (25.4)	1 (5.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	503 (44.1)	51 (44.0)
I	427 (5.2)	321 (4.7)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.2)	92 (13.4)	13 (11.2)
J	3,336 (40.4)	2,582 (43.9)	6 (30.0)	- (-)	3 (27.3)	2 (3.6)	142 (25.0)	178 (25.9)	23 (19.8)
K	1,946 (23.6)	1,444 (21.2)	12 (60.0)	- (-)	6 (54.5)	20 (36.4)	352 (61.9)	94 (13.7)	18 (15.5)
L	428 (5.2)	302 (4.4)	1 (5.0)	3 (100.0)	2 (18.2)	32 (58.2)	70 (12.3)	16 (2.3)	2 (1.7)
M	6 (0.1)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1.8)	4 (0.7)	- (-)	- (-)
UNKNOWN	33 (0.4)	20 (0.3)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (0.6)	9 (7.8)
TOTAL	8,259 (100.0)	6,797 (100.0)	20 (100.0)	3 (100.0)	11 (100.0)	55 (100.0)	569 (100.0)	687 (100.0)	116 (100.0)

A : FARMERS B : WORKERS C : STAFF D : MEDICAL DOCTORS E : TEACHERS F : STUDENTS G : OTHERS
H : ILLITERATE I : SEMI-ILLITERATE J : ELEMENTARY SCHOOL K : MIDDLE SCHOOL L : HIGH SCHOOL
M : UNIVERSITY

TABLE 7 - 1 Population 15 Years of Age and Over by type of Enterprise, Occupation and Sex
男女，勤め先企業，職業別15歳以上人口
按性别、单位和职业分15岁以上的人口

SEX : TOTAL

OCCUPATION	ENTERPRISE				UNKNOWN (%)	
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)		
D	14,483 (84.5)	261 (1.5)	11 (0.1)	11 (0.1)	14,206 (82.8)	
E	166 (1.0)	1 (0.0)	- (-)	2 (0.0)	163 (1.0)	A : PRIVATE
F	65 (0.4)	- (-)	- (-)	- (-)	65 (0.4)	B : JOINT
G	50 (0.2)	2 (0.0)	- (-)	2 (0.0)	26 (0.2)	C : VILLAGE
H	169 (1.0)	- (-)	- (-)	1 (0.0)	168 (1.0)	D : FARMERS
I	1,205 (7.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1,205 (7.0)	E : WORKERS
J	827 (4.8)	13 (0.1)	5 (0.0)	3 (0.0)	806 (4.7)	F : STAFF
UNKNOWN	201 (1.2)	- (-)	- (-)	- (-)	201 (1.2)	G : MEDICAL DOCTORS
TOTAL	17,152 (100.0)	277 (1.6)	16 (0.1)	19 (0.1)	16,840 (88.2)	H : TEACHERS

I : STUDENTS
J : OTHERS

TABLE 7 - 2

SEX : MALE

OCCUPATION	TOTAL (%)	ENTERPRISE			UNKNOWN (%)
		A (%)	B (%)	C (%)	
D	7,692 (85.5)	199 (2.2)	10 (0.1)	9 (0.1)	7,474 (84.0)
E	146 (1.6)	1 (0.0)	- (-)	2 (0.0)	143 (1.6)
F	62 (0.7)	- (-)	- (-)	- (-)	62 (0.7)
G	19 (0.2)	1 (0.0)	- (-)	2 (0.0)	16 (0.2)
H	114 (1.3)	- (-)	- (-)	1 (0.0)	113 (1.3)
I	656 (7.2)	- (-)	- (-)	- (-)	656 (7.2)
J	140 (1.6)	9 (0.1)	2 (0.0)	2 (0.0)	127 (1.4)
UNKNOWN	85 (1.0)	- (-)	- (-)	- (-)	85 (1.0)
TOTAL	8,834 (100.0)	210 (2.4)	12 (0.1)	16 (0.2)	8,656 (97.3)

A : PRIVATE
 B : JOINT
 C : VILLAGE
 D : FARMERS
 E : WORKERS
 F : STAFF
 G : MEDICAL DOCTORS
 H : TEACHERS
 I : STUDENTS
 J : OTHERS

TABLE 7 - 3

SEX : FEMALE

OCCUPATION	TOTAL (%)	ENTERPRISE			UNKNOWN (%)
		A (%)	B (%)	C (%)	
D	6,737 (82.5)	62 (0.8)	1 (0.0)	2 (0.0)	6,732 (81.5)
E	20 (0.2)	- (-)	- (-)	- (-)	20 (0.2)
F	3 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (0.0)
G	11 (0.1)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	10 (0.1)
H	55 (0.7)	- (-)	- (-)	- (-)	55 (0.7)
I	569 (6.9)	- (-)	- (-)	- (-)	569 (6.9)
J	687 (8.3)	4 (0.0)	3 (0.0)	1 (0.0)	679 (8.2)
UNKNOWN	116 (1.4)	- (-)	- (-)	- (-)	116 (1.4)
TOTAL	8,258 (100.0)	67 (0.8)	4 (0.0)	3 (0.0)	8,184 (99.1)

A : PRIVATE
 B : JOINT
 C : VILLAGE
 D : FARMERS
 E : WORKERS
 F : STAFF
 G : MEDICAL DOCTORS
 H : TEACHERS
 I : STUDENTS
 J : OTHERS

TABLE 8 Number of Households by Household Income in 1984 and Amount of Savings
 1984年分收入類別貯蓄額別世帶數
 按1984年的总收入和儲蓄額分戶數

INCOME IN 1984	TOTAL		NOT HAVING SAVINGS (%)	UNKNOWN (%)	HAVING SAVINGS (%)	AMOUNT OF SAVINGS							MEAN
	(1+2+3) (%)	(2+3) (%)				1,000- (%)	2,000- (%)	3,000- (%)	4,000- (%)	5,000- (%)	UNKNOWN (%)		
0 - 599	918 (100.0)	848 (92.7)	845 (92.1)	6 (0.6)	67 (7.3)	46 (5.0)	14 (1.5)	5 (0.5)	1 (0.1)	- (-)	1 (0.1)	- (-)	811.94
1,000 - 1,999	2,126 (100.0)	1,799 (84.2)	1,790 (84.2)	- (-)	336 (15.8)	182 (8.6)	100 (4.7)	32 (1.5)	15 (0.8)	3 (0.1)	3 (0.1)	- (-)	995.21
2,000 - 2,999	1,223 (100.0)	997 (74.2)	996 (74.1)	1 (0.1)	316 (25.8)	151 (10.7)	107 (6.7)	68 (3.9)	18 (1.5)	5 (0.4)	7 (0.6)	- (-)	1574.97
3,000 - 3,999	635 (100.0)	413 (65.2)	413 (65.2)	- (-)	220 (34.8)	76 (12.3)	75 (11.9)	43 (6.8)	17 (2.7)	2 (0.3)	5 (0.8)	- (-)	1732.50
4,000 - 4,999	296 (100.0)	129 (44.2)	128 (44.2)	- (-)	168 (45.8)	31 (12.1)	30 (12.7)	25 (10.6)	10 (4.2)	6 (2.5)	6 (2.5)	- (-)	1793.05
5,000 +	242 (100.0)	132 (54.5)	132 (54.5)	- (-)	110 (45.5)	26 (10.7)	24 (9.9)	23 (12.0)	7 (2.9)	7 (2.9)	18 (8.6)	1 (0.4)	2341.74
UNKNOWN	48 (100.0)	43 (89.2)	40 (85.7)	- (-)	5 (10.8)	1 (2.4)	1 (2.4)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	900.00
TOTAL	5,418 (100.0)	4,259 (78.6)	4,254 (78.5)	5 (0.1)	1,159 (21.4)	485 (9.1)	351 (6.5)	182 (3.4)	68 (1.3)	23 (0.4)	33 (0.7)	1 (0.0)	1482.48

TABLE 9 Number of Households by Household Income in 1984 and Total Floor Area
1984年收入額別住宅面積別世帶數
按1984年的总收入和总住房面积分户数

AREA OF DWELLING HOUSE ㎡	INCOME IN 1984 (Rmb)							
	TOTAL (%)	~ 399 (%)	1,000 ~ (%)	2,000 ~ (%)	3,000 ~ (%)	4,000 ~ (%)	5,000 + (%)	UNKNOWN (%)
0 ~ 24	94 (1.7)	43 (4.7)	31 (1.5)	12 (1.0)	5 (0.8)	- (-)	1 (0.4)	2 (4.8)
25 ~ 49	1,776 (32.8)	426 (48.5)	775 (38.5)	864 (29.8)	135 (21.3)	29 (12.3)	23 (9.5)	24 (57.1)
50 ~ 74	2,825 (52.1)	388 (42.4)	1,118 (52.6)	660 (54.0)	559 (56.7)	150 (73.6)	135 (55.8)	15 (35.7)
75 ~ 99	541 (10.0)	51 (5.6)	163 (7.7)	149 (12.2)	98 (15.2)	33 (14.0)	48 (18.8)	1 (2.4)
100 +	173 (3.2)	4 (0.4)	39 (1.8)	55 (2.9)	37 (5.8)	24 (10.2)	35 (14.5)	- (-)
UNKNOWN	9 (0.2)	4 (0.4)	1 (0.0)	3 (0.2)	1 (0.2)	- (-)	- (-)	- (-)
TOTAL	5,418 (100.0)	916 (100.0)	2,126 (100.0)	1,223 (100.0)	633 (100.0)	236 (100.0)	242 (100.0)	42 (100.0)
MEAN ㎡	59.05	50.03	56.40	60.33	66.00	70.84	78.84	-

TABLE 10 Number of Households by Total Floor Area and the Number of Household Members
住宅面積別世帶人員別世帶數
按总住房面积和家庭人口分户数

NO. OF HOUSEHOLD MEMBERS	AREA OF DWELLING HOUSE ㎡						
	TOTAL (%)	0 ~ 24 (%)	25 ~ 49 (%)	50 ~ 74 (%)	75 ~ 99 (%)	100 + (%)	UNKNOWN (%)
1	74 (100.0)	12 (16.2)	44 (59.5)	17 (23.0)	1 (1.4)	- (-)	- (-)
2	305 (100.0)	19 (6.2)	158 (51.8)	115 (37.7)	11 (3.6)	2 (0.7)	- (-)
3	1,114 (100.0)	56 (3.2)	437 (44.0)	505 (45.3)	64 (5.7)	11 (1.0)	1 (0.1)
4	1,372 (100.0)	16 (1.2)	591 (38.7)	666 (48.5)	134 (9.8)	19 (1.4)	6 (0.4)
5	1,166 (100.0)	6 (0.5)	323 (27.7)	670 (57.5)	128 (11.0)	38 (3.3)	1 (0.1)
6	712 (100.0)	4 (0.6)	146 (20.5)	435 (61.1)	91 (12.8)	36 (5.1)	- (-)
7	409 (100.0)	1 (0.2)	54 (13.2)	258 (63.1)	60 (14.7)	35 (8.6)	1 (0.2)
8	161 (100.0)	- (-)	16 (9.9)	101 (62.7)	28 (17.4)	16 (9.9)	- (-)
9	69 (100.0)	- (-)	6 (8.7)	39 (56.5)	16 (23.2)	8 (11.6)	- (-)
10	32 (100.0)	- (-)	1 (3.1)	17 (53.1)	7 (21.9)	7 (21.9)	- (-)
11	2 (100.0)	- (-)	- (-)	2 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)
12	2 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (50.0)	1 (50.0)	- (-)
13 +	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
TOTAL	5,418 (100.0)	94 (1.7)	1,776 (32.8)	2,825 (52.1)	541 (10.0)	173 (3.2)	9 (0.2)

TABLE 11 Number of Households by Household Income in 1984 and the Number of Household Members
1984年收入額別世帶人員別世帶數
按1984年的总收入和家庭人口分户数

NO. OF HOUSEHOLD MEMBERS	INCOME IN 1984 (Rmb)								MEAN
	TOTAL (%)	~ 399 (%)	1,000 ~ (%)	2,000 ~ (%)	3,000 ~ (%)	4,000 ~ (%)	5,000 + (%)	UNKNOWN (%)	
1	74 (100.0)	37 (50.0)	27 (36.5)	2 (2.7)	3 (4.1)	- (-)	- (-)	5 (6.8)	1012.12
2	305 (100.0)	159 (52.1)	104 (34.1)	18 (5.9)	7 (2.3)	1 (0.3)	1 (0.3)	15 (4.9)	1071.17
3	1,114 (100.0)	285 (25.6)	594 (45.2)	236 (20.3)	62 (5.6)	16 (1.4)	11 (1.0)	10 (0.9)	1653.74
4	1,372 (100.0)	222 (16.2)	654 (46.2)	330 (23.3)	133 (9.7)	29 (2.1)	28 (2.0)	6 (0.4)	1861.39
5	1,166 (100.0)	121 (10.4)	477 (40.9)	278 (23.8)	181 (15.5)	56 (4.8)	51 (4.4)	2 (0.2)	2490.93
6	712 (100.0)	60 (8.4)	246 (34.6)	189 (27.9)	104 (14.6)	58 (8.1)	43 (6.0)	2 (0.3)	2657.51
7	409 (100.0)	24 (5.9)	94 (23.0)	112 (27.4)	84 (20.5)	47 (11.5)	47 (11.5)	1 (0.2)	2973.17
8	161 (100.0)	6 (3.7)	27 (16.8)	40 (24.8)	37 (23.0)	20 (12.4)	30 (18.6)	1 (0.6)	3382.99
9	69 (100.0)	1 (1.4)	9 (13.0)	21 (30.4)	15 (21.7)	6 (8.7)	17 (24.6)	- (-)	3729.57
10	32 (100.0)	1 (3.1)	4 (12.5)	5 (15.6)	7 (21.9)	2 (6.3)	15 (46.6)	- (-)	4215.88
11	2 (100.0)	- (-)	- (-)	1 (50.0)	- (-)	- (-)	1 (50.0)	- (-)	5850.00
12	2 (100.0)	- (-)	- (-)	1 (50.0)	- (-)	1 (50.0)	- (-)	- (-)	3450.00
13 +	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	-
TOTAL	5,418 (100.0)	916 (16.0)	2,126 (39.2)	1,223 (22.6)	633 (11.7)	236 (4.4)	242 (4.5)	42 (0.8)	2175.05

TABLE12 Number of Households by Type of Building and Total Floor Area
家屋類型別住宅面積別世帶數 按住房的类型和总住房面积分户数

AREA OF DWELLING HOUSE (㎡)	TYPE OF BUILDING				
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	UNKNOWN (%)
0 ~ 24	94 (100.0)	73 (77.7)	- (-)	18 (19.1)	3 (3.2)
25 ~ 49	1,776 (100.0)	1,487 (83.7)	1 (0.1)	255 (14.4)	53 (1.9)
50 ~ 74	2,825 (100.0)	1,945 (68.8)	1 (0.0)	819 (29.0)	60 (2.1)
75 ~ 99	541 (100.0)	322 (59.5)	- (-)	203 (37.5)	16 (3.0)
100 +	173 (100.0)	50 (29.0)	2 (1.2)	74 (42.8)	7 (4.0)
UNKNOWN	9 (100.0)	6 (66.7)	- (-)	1 (11.1)	2 (22.2)
TOTAL	5,418 (100.0)	3,923 (72.4)	4 (0.1)	1,370 (25.3)	121 (2.2)

A : CLAY-HOUSE
 B : TWO-STORIED-HOUSE
 C : BRICK-HOUSE

TABLE13 Number of Households by Type of Building and Year of Construction
家屋類型別建築年次別世帶數 按住房的类型和住房建筑年代分户数

YEAR OF CONSTRUCTION	TYPE OF BUILDING				
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	UNKNOWN (%)
~ 1939	81 (1.5)	75 (1.4)	- (-)	5 (0.1)	1 (0.0)
1940 ~ 1949	112 (2.1)	56 (1.8)	- (-)	15 (0.3)	1 (0.0)
1950 ~ 1959	248 (4.6)	209 (3.9)	- (-)	53 (0.6)	6 (0.1)
1960 ~ 1969	1,043 (19.3)	913 (16.9)	- (-)	108 (2.0)	22 (0.4)
1970 ~ 1979	2,157 (39.8)	1,727 (31.9)	2 (0.0)	382 (7.1)	46 (0.8)
1980	366 (6.8)	227 (4.2)	- (-)	150 (2.4)	9 (0.2)
1981	249 (4.6)	137 (2.5)	- (-)	105 (2.0)	6 (0.1)
1982	214 (3.9)	95 (1.8)	- (-)	111 (2.0)	8 (0.1)
1983	234 (4.3)	95 (1.8)	- (-)	133 (2.5)	5 (0.1)
1984	256 (4.7)	84 (1.7)	- (-)	156 (2.9)	6 (0.1)
1985	207 (3.8)	54 (1.0)	2 (0.0)	147 (2.7)	4 (0.1)
UNKNOWN	251 (4.6)	200 (3.7)	- (-)	44 (0.8)	7 (0.1)
TOTAL	5,418 (100.0)	3,923 (72.4)	4 (0.1)	1,370 (25.3)	121 (2.2)

A : CLAY-HOUSE
 B : TWO-STORIED-HOUSE
 C : BRICK-HOUSE

TABLE14 Number of Households by Type of Building and Household Income in 1984
家屋類型別1984年分收入額別世帶數 按1984年的总收入和住房的类型分户数

INCOME IN 1984 (Rmb)	TYPE OF BUILDING				
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	UNKNOWN (%)
0 ~ 999	916 (16.9)	754 (13.9)	1 (0.0)	137 (2.5)	24 (0.4)
1,000 ~ 1,999	2,126 (39.2)	1,591 (29.4)	- (-)	502 (9.3)	33 (0.6)
2,000 ~ 2,999	1,223 (22.6)	845 (15.6)	- (-)	356 (6.6)	22 (0.4)
3,000 ~ 3,999	633 (11.7)	399 (7.4)	1 (0.0)	212 (3.9)	21 (0.4)
4,000 ~ 4,999	236 (4.4)	147 (2.7)	1 (0.0)	77 (1.4)	11 (0.2)
5,000 +	242 (4.5)	154 (2.8)	1 (0.0)	81 (1.5)	6 (0.1)
UNKNOWN	42 (0.8)	33 (0.6)	- (-)	5 (0.1)	4 (0.1)
TOTAL	5,418 (100.0)	3,923 (72.4)	4 (0.1)	1,370 (25.3)	121 (2.2)

A : CLAY-HOUSE
 B : TWO-STORIED-HOUSE
 C : BRICK-HOUSE

TABLE15 Number of Households by Type of Building and Year of Reconstruction
家屋類型別改建年次別改建世帶數 按住房的类型和改建年代分把住房改建的户数

YEAR OF REBUILDING	TYPE OF BUILDING				
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	UNKNOWN (%)
~ 1939	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
1940 ~ 1949	4 (1.2)	4 (1.2)	- (-)	- (-)	- (-)
1950 ~ 1959	2 (0.6)	2 (0.6)	- (-)	- (-)	- (-)
1960 ~ 1969	16 (4.9)	15 (4.6)	- (-)	1 (0.3)	- (-)
1970 ~ 1979	76 (23.5)	55 (17.0)	- (-)	19 (5.9)	2 (0.6)
1980	27 (8.3)	12 (3.7)	- (-)	15 (4.6)	- (-)
1981	28 (8.6)	16 (4.9)	- (-)	11 (3.4)	1 (0.3)
1982	25 (7.7)	12 (3.7)	- (-)	12 (3.7)	1 (0.3)
1983	28 (8.6)	9 (2.8)	- (-)	19 (5.9)	- (-)
1984	46 (14.2)	16 (4.9)	- (-)	28 (8.6)	2 (0.6)
1985	51 (15.7)	20 (6.2)	- (-)	30 (9.3)	1 (0.3)
UNKNOWN	21 (6.5)	6 (1.9)	- (-)	15 (4.6)	- (-)
TOTAL	324 (100.0)	167 (51.5)	- (-)	150 (46.3)	7 (2.2)

A : CLAY-HOUSE
 B : TWO-STORIED-HOUSE
 C : BRICK-HOUSE

TABLE16 Number of Households by Household Income in 1984 and Contract Farm Crops
 1984年分收入額別請負7品目別世帯数 按1984年的总收入和承包的7种产品分户数

INCOME IN 1984	CONTRACT FARM CROPS						
	A	B	C	D	E	F	G
0 - 999	772	591	406	244	589	167	535
1,000 ~ 1,999	1,938	1,169	1,176	559	1,666	354	1,022
2,000 ~ 2,999	1,129	719	685	359	1,025	148	609
3,000 ~ 3,999	580	580	387	179	543	82	362
4,000 ~ 4,999	215	131	144	81	203	58	137
5,000 +	202	100	118	101	150	30	126
UNKNOWN	9	4	4	6	8	2	5
TOTAL	4,845	2,888	2,920	1,529	4,224	829	2,596

A : CORN
 B : KAOLIANG
 C : MILLET
 D : RICE
 E : SOYBEAN
 F : WHEAT
 G : OTHERS

TABLE17 Number of Households by Household Income and Type of Ownership of Durable Consumer Goods & Production Goods
 1984年分收入額別耐久消費財・生産用具所有品目別世帯数 按1984年的总收入和拥有耐用消费品及生产工具的种类分户数

INCOME IN 1984	NO. OF HOUSEHOLD	DURABLE CONSUMER GOODS AND PRODUCTION GOODS										
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
0 - 999	916	29	430	262	26	64	-	-	-	10	2	18
1,000 ~ 1,999	2,126	111	1,414	856	96	352	2	1	2	26	23	66
2,000 ~ 2,999	1,223	66	879	665	114	299	5	5	3	30	24	58
3,000 ~ 3,999	633	55	491	350	87	187	2	8	1	28	17	45
4,000 ~ 4,999	236	36	195	182	42	109	1	1	1	23	9	22
5,000 +	242	64	181	185	69	155	3	1	4	38	19	48
UNKNOWN	42	1	12	12	-	7	-	-	-	-	1	1
TOTAL	5,418	382	3,602	2,652	434	1,153	13	16	11	155	95	258

A : RADIO B : RADIO-CASSETTE-RECORDER C : SEWING MACHINE D : WASHING MACHINE E : TV
 F : ELECTRIC-REFRIGERATOR G : MOTORCYCLE H : CAR I : HAND TRACTOR J : TRACTOR
 K : OTHER AGRICULTURAL MACHINES

TABLE18 Number of Households by Household Income in 1984 and Household Income in 1983
 1984年分收入額別1983年分收入額別世帯数 按1984年的总收入和1983年的总收入分户数

INCOME IN 1983	INCOME IN 1984									
	TOTAL (%)	0 - 999 (%)	1,000 - 1,999 (%)	2,000 - 2,999 (%)	3,000 - 3,999 (%)	4,000 - 4,999 (%)	5,000 + (%)	UNKNOWN (%)		
0 - 999	1,730 (31.9)	822 (69.7)	758 (37.5)	66 (7.0)	12 (1.9)	1 (0.4)	11 (4.5)	- (-)		
1000 - 1999	2,110 (38.9)	66 (6.1)	1,252 (57.9)	640 (32.3)	135 (21.3)	26 (11.0)	19 (7.9)	2 (4.8)		
2000 - 2999	887 (16.4)	2 (0.2)	73 (3.4)	444 (36.3)	282 (44.5)	65 (27.5)	21 (8.7)	- (-)		
3000 - 3999	372 (6.9)	2 (0.2)	- (-)	42 (3.4)	178 (28.1)	102 (45.2)	48 (19.8)	- (-)		
4000 - 4999	124 (2.3)	2 (0.2)	- (-)	2 (0.2)	23 (3.6)	38 (16.1)	59 (24.4)	- (-)		
5000 +	99 (1.8)	- (-)	- (-)	7 (0.6)	3 (0.5)	4 (1.7)	84 (34.7)	1 (2.4)		
UNKNOWN	96 (1.8)	52 (3.5)	23 (1.1)	2 (0.2)	- (-)	- (-)	- (-)	39 (32.9)		
TOTAL	5,418 (100.0)	916 (100.0)	2,126 (100.0)	1,223 (100.0)	633 (100.0)	236 (100.0)	242 (100.0)	42 (100.0)		
MEAN	1666.13	-	-	-	-	-	-	-		

TABLE19 Number of Households by Type of Contract and Total Production by Contract Farm Crops
 請負生産有無別請負生産量別請負生産品目別合計生産量別世帯数 按承包的面积、承包的生产量，承包的产品和生产量合计分户数

CONTRACT FARM CROPS	TOTAL PRODUCTION													
	TOTAL	MEAN	TOTAL	0 - 999	1,000~	2,000~	3,000~	4,000~	5,000~	6,000~	7,000~	8,000~	9,000~	10,000~
A	5,418 (100.0)	573 (10.6)	4,845 (69.4)	402 (7.4)	627 (11.6)	507 (9.4)	527 (9.7)	391 (7.2)	377 (7.0)	271 (5.0)	237 (4.4)	261 (4.8)	98 (1.8)	1,147 (21.2)
B	5,418 (100.0)	2,590 (46.7)	2,858 (53.3)	1,820 (33.6)	791 (13.5)	234 (3.8)	66 (1.2)	17 (0.3)	21 (0.4)	11 (0.2)	7 (0.1)	5 (0.1)	- (-)	6 (0.1)
C	5,418 (100.0)	2,498 (46.1)	2,920 (53.9)	2,056 (39.7)	618 (11.4)	144 (2.7)	49 (0.9)	5 (0.1)	3 (0.1)	1 (0.0)	2 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	1 (0.0)
D	5,418 (100.0)	3,889 (71.8)	1,529 (28.2)	252 (4.7)	317 (5.9)	193 (3.6)	153 (2.8)	159 (2.9)	101 (1.9)	82 (1.5)	54 (1.0)	46 (0.8)	26 (0.5)	146 (2.7)
E	5,418 (100.0)	1,194 (22.0)	4,224 (78.0)	3,155 (58.2)	693 (12.8)	231 (4.3)	69 (1.3)	29 (0.5)	21 (0.4)	7 (0.1)	9 (0.2)	5 (0.1)	1 (0.0)	4 (0.1)
F	5,418 (100.0)	4,589 (84.7)	829 (15.3)	587 (10.8)	175 (3.2)	47 (0.9)	13 (0.2)	4 (0.1)	1 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	- (-)	- (-)
G	5,418 (100.0)	2,822 (52.1)	2,596 (47.9)	1,855 (34.8)	358 (6.6)	148 (2.7)	64 (1.2)	25 (0.5)	20 (0.4)	15 (0.3)	4 (0.1)	4 (0.1)	2 (0.0)	71 (1.3)
H	5,418 (100.0)	319 (5.8)	5,105 (94.2)	60 (1.1)	243 (4.6)	231 (4.4)	368 (6.8)	386 (7.1)	437 (8.1)	383 (7.3)	356 (6.6)	326 (6.0)	245 (4.5)	1,934 (36.8)

A : CORN B : KAOLIANG C : MILLET D : RICE E : SOYBEAN F : WHEAT G : OTHERS H : TOTAL PRODUCTION

TABLE20 Number of Households by Type and Kind of Specialized-Operation-Farm-Households and Household Income in 1984

非專業戶·專業戶別仕事の種類別1984年分収入額別世帯数 按衣业的类型和1984年的总收入分户数

INCOME IN 1984 (Rmb)	TYPE OF HOUSEHOLD				KIND OF SPECIALIZED FARM PRODUCTION									
	A (%)	B (%)	C (%)	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	UNKNOWN
0 ~ 999	916 (100.0)	880 (96.1)	36 (3.9)	16	-	2	6	-	4	1	2	3	3	-
1000 ~ 1999	2,126 (100.0)	2,029 (95.2)	103 (4.8)	16	-	12	17	2	16	11	10	11	2	5
2000 ~ 2999	1,223 (100.0)	1,155 (92.8)	68 (7.2)	1	1	2	24	-	19	13	4	5	1	9
3000 ~ 3999	633 (100.0)	589 (92.9)	44 (10.1)	7	2	1	28	-	14	5	2	5	-	2
4000 ~ 4999	236 (100.0)	201 (85.2)	35 (14.8)	1	-	3	19	-	6	4	1	-	1	-
5000 +	242 (100.0)	186 (76.9)	56 (23.1)	9	2	1	22	-	6	11	1	4	1	2
UNKNOWN	42 (100.0)	40 (95.2)	2 (4.8)	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
TOTAL	5,418 (100.0)	5,034 (92.9)	384 (7.1)	63	5	21	117	2	67	44	21	28	8	18

A : TOTAL HOUSEHOLDS B : NOT-SPECIALIZED OR UNKNOWN C : SPECIALIZED- OPERATION FARM HOUSEHOLDS
D : GRAIN E : VEGETABLE F : ECONOMIC CROPS G : CULTIVATION H : CONSTRUCTION I : PROCESSING
J : TRANSPORTATION K : COMMERCE L : FORESTRY M : OTHERS

TABLE21 Number of Households by Size of Cultivated Area and Household Income in 1984

耕地面積別1984年分収入額別世帯数 按耕地面积和1984年的总收入分户数

INCOME IN 1984 (Rmb)	CULTIVATED ACREAGE									
	TOTAL (%)	0 (%)	0.1-0.9 (%)	1.0-4.9 (%)	5.0-9.9 (%)	10.0-14.9 (%)	15.0-19.9 (%)	20.0-24.9 (%)	25.0-29.9 (%)	30.0+ (%)
0 ~ 999	916 (100.0)	56 (3.9)	28 (3.1)	186 (20.3)	235 (22.0)	176 (19.2)	118 (12.9)	46 (5.0)	10 (1.1)	23 (2.5)
1000 ~ 1999	2,126 (100.0)	28 (1.3)	13 (0.6)	174 (8.2)	528 (24.8)	553 (27.9)	435 (20.5)	225 (10.6)	55 (2.6)	69 (3.2)
2000 ~ 2999	1,223 (100.0)	16 (1.3)	7 (0.6)	61 (5.0)	186 (15.2)	314 (25.7)	250 (20.4)	156 (12.8)	115 (9.2)	120 (9.8)
3000 ~ 3999	633 (100.0)	- (-)	1 (0.2)	17 (2.7)	54 (8.5)	112 (17.7)	135 (21.3)	126 (19.9)	77 (12.2)	111 (17.5)
4000 ~ 4999	236 (100.0)	2 (0.8)	1 (0.4)	6 (2.5)	16 (6.8)	32 (13.6)	55 (23.3)	43 (18.2)	25 (10.6)	50 (21.2)
5000 +	242 (100.0)	5 (2.1)	- (-)	7 (2.9)	28 (11.6)	30 (12.4)	31 (12.8)	33 (13.6)	25 (10.3)	83 (34.3)
UNKNOWN	42 (100.0)	28 (66.7)	1 (2.4)	2 (4.8)	4 (9.5)	3 (7.1)	2 (4.8)	1 (2.4)	1 (2.4)	- (-)
TOTAL	5,418 (100.0)	115 (2.1)	57 (1.1)	453 (8.4)	1,109 (20.5)	1,260 (23.3)	1,026 (18.9)	650 (11.6)	506 (9.3)	462 (8.5)
MEAN	2161.44	-	1054.66	1543.08	1765.67	1949.03	2159.70	2455.40	2846.66	3647.44

TABLE22 Number of Households by Type and Kind of Specialized-Operation-Farm-Households and Size of Cultivated Area

非專業戶·專業戶別仕事の種類別耕地面積別世帯数 按专业戶·非专业戶分的耕田面积別户数

CULTIVATED ACREAGE	TYPE OF HOUSEHOLD				KIND OF SPECIALITY									
	A (%)	B (%)	C (%)	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	UNKNOWN
0	115 (100.0)	85 (82.6)	20 (17.4)	-	-	-	3	1	5	4	1	5	-	1
0.1 ~ 0.9	57 (100.0)	51 (89.5)	6 (10.5)	-	-	-	1	-	3	-	2	-	1	-
1.0 ~ 4.9	453 (100.0)	425 (93.8)	28 (6.2)	9	2	1	7	-	10	8	4	3	5	2
5.0 ~ 9.9	1,109 (100.0)	1,006 (90.7)	103 (9.3)	25	2	12	23	1	12	6	4	4	1	8
10.0 ~ 14.9	1,260 (100.0)	1,187 (94.2)	73 (5.8)	10	-	4	23	-	17	7	3	6	-	3
15.0 ~ 19.9	1,026 (100.0)	922 (90.7)	104 (10.3)	3	1	3	15	-	6	8	4	2	-	2
20.0 ~ 24.9	650 (100.0)	589 (90.6)	61 (9.4)	1	-	1	11	-	8	4	3	2	1	1
25.0 ~ 29.9	506 (100.0)	497 (98.2)	9 (1.8)	-	-	-	5	-	3	1	-	-	-	-
30.0 +	462 (100.0)	415 (89.8)	47 (10.2)	15	-	-	23	-	3	4	-	6	-	1
TOTAL	5,418 (100.0)	5,034 (92.9)	384 (7.1)	65	5	21	117	2	67	44	21	28	8	18

A : TOTAL HOUSEHOLDS B : NOT-SPECIALIZED OR UNKNOWN C : SPECIALIZED- OPERATION FARM HOUSEHOLDS
D : GRAIN E : VEGETABLE F : ECONOMIC CROPS G : CULTIVATION H : CONSTRUCTION I : PROCESSING
J : TRANSPORTATION K : COMMERCE L : FORESTRY M : OTHERS

TABLE23 Number of Households by Size of Cultivated Area and Amount of Production

耕地面積別總生產量別世帯数 按耕地面积和总生产量分户数

CULTIVATED ACREAGE	AMOUNT OF PRODUCTION												
	TOTAL (%)	< 500 (%)	1,000 ~ (%)	2,000 ~ (%)	3,000 ~ (%)	4,000 ~ (%)	5,000 ~ (%)	6,000 ~ (%)	7,000 ~ (%)	8,000 ~ (%)	9,000 ~ (%)	10,000 + (%)	
0	115 (2.1)	110 (2.0)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	1 (0.0)	- (-)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	1 (0.0)	1 (0.0)	
0.1 ~ 0.9	57 (1.1)	45 (0.8)	6 (0.1)	1 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (0.1)	
1.0 ~ 4.9	453 (8.4)	43 (0.9)	92 (1.7)	78 (1.4)	70 (1.3)	45 (0.9)	27 (0.5)	15 (0.3)	8 (0.1)	5 (0.1)	6 (0.1)	55 (1.0)	
5.0 ~ 9.9	1,109 (20.5)	57 (1.1)	44 (0.8)	92 (1.7)	108 (2.0)	120 (2.2)	144 (2.7)	117 (2.2)	91 (1.7)	97 (1.8)	55 (1.0)	184 (3.4)	
10.0 ~ 14.9	1,260 (23.3)	42 (0.8)	27 (0.5)	36 (0.7)	56 (1.0)	58 (1.1)	88 (1.6)	55 (1.0)	106 (2.0)	109 (2.0)	77 (1.4)	566 (10.4)	
15.0 ~ 19.9	1,026 (18.9)	50 (0.8)	13 (0.2)	26 (0.5)	51 (0.9)	33 (0.6)	57 (1.1)	44 (0.8)	69 (1.3)	77 (1.4)	54 (1.0)	572 (10.6)	
20.0 ~ 24.9	650 (11.6)	14 (0.3)	9 (0.2)	10 (0.2)	12 (0.2)	27 (0.5)	31 (0.6)	37 (0.7)	38 (0.7)	33 (0.6)	32 (0.6)	397 (7.1)	
25.0 ~ 29.9	506 (9.3)	7 (0.1)	- (-)	3 (0.1)	5 (0.1)	11 (0.2)	14 (0.3)	8 (0.1)	13 (0.2)	15 (0.3)	14 (0.3)	216 (4.0)	
30.0 +	462 (8.5)	1 (0.0)	2 (0.0)	7 (0.1)	8 (0.1)	14 (0.3)	12 (0.2)	19 (0.4)	16 (0.3)	22 (0.4)	25 (0.4)	338 (6.2)	
TOTAL	5,418 (100.0)	355 (6.6)	184 (3.6)	253 (4.7)	311 (5.7)	313 (5.8)	373 (6.9)	336 (6.2)	341 (6.3)	358 (6.6)	262 (4.8)	2,322 (42.9)	

TABLE24 Number of Househids by Source of Drinking Water & Household in 1984
飲料水の種別1984年分収入額別世帯数 按飲用水和1984年的总收入分户数

INCOME IN 1984 (Rmb)	SOURCE OF DRINKING WATER					
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	UNKNOWN (%)
0 - 999	916 (16.9)	49 (0.9)	403 (7.4)	421 (7.8)	4 (0.1)	39 (0.7)
1000 - 1999	2,126 (39.2)	195 (3.6)	657 (15.8)	955 (18.4)	12 (0.2)	67 (1.2)
2000 - 2999	1,223 (22.6)	114 (2.1)	547 (10.1)	519 (9.5)	10 (0.2)	39 (0.7)
3000 - 3999	633 (11.7)	42 (0.8)	321 (5.9)	239 (4.4)	12 (0.2)	19 (0.4)
4000 - 4999	296 (4.4)	22 (0.4)	108 (2.0)	88 (1.6)	5 (0.1)	13 (0.2)
5000 +	242 (4.5)	43 (0.8)	115 (2.1)	72 (1.3)	5 (0.1)	7 (0.1)
UNKNOWN	42 (0.8)	4 (0.1)	18 (0.3)	11 (0.2)	2 (0.0)	7 (0.1)
TOTAL	5,418 (100.0)	469 (8.7)	2,569 (43.7)	2,339 (43.2)	50 (0.9)	191 (3.5)

A : PIPED-WATER
B : PUMPED WELL
C : WELL
D : RIVER

TABLE25 Number of Households by Comparison of Level of Living between Present Time and 5 Years Ago and Income in 1984
生活水準5年前との比較別1984年分収入額別世帯数 按跟5年以前的生活水平比较结果和1984年的总收入分户数

INCOME IN 1984 (Rmb)	COMPARISON OF LEVEL OF LIVING BETWEEN PRESENT TIME AND 5 YEARS AGO						
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	UNKNOWN (%)
0 - 999	916 (16.9)	356 (6.2)	420 (7.8)	97 (1.8)	45 (0.8)	8 (0.1)	10 (0.2)
1000 - 1999	2,126 (39.2)	1,334 (25.7)	662 (12.2)	47 (0.9)	12 (0.2)	3 (0.1)	8 (0.1)
2000 - 2999	1,223 (22.6)	959 (18.3)	207 (3.8)	14 (0.3)	1 (0.0)	- (-)	12 (0.2)
3000 - 3999	633 (11.7)	552 (10.2)	72 (1.3)	3 (0.1)	2 (0.0)	- (-)	4 (0.1)
4000 - 4999	296 (4.4)	205 (3.8)	29 (0.5)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (0.0)
5000 +	242 (4.5)	224 (4.1)	16 (0.3)	2 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
UNKNOWN	42 (0.8)	15 (0.3)	9 (0.2)	7 (0.1)	1 (0.0)	- (-)	10 (0.2)
TOTAL	5,418 (100.0)	3,715 (68.6)	1,415 (26.1)	170 (3.1)	61 (1.1)	11 (0.2)	46 (0.8)

A : VERY GOOD
B : GOOD
C : SAME
D : BAD
E : VERY BAD

TABLE26 Number of Households by Comparison of Level of Living between General Society and Own Household and Income in 1984
生活水準一般との比較別1984年分収入額別世帯数 按跟生活的平均水平比较结果和1984年的总收入分户数

INCOME IN 1984 (Rmb)	LEVEL OF LIVING						
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	UNKNOWN (%)
0 - 999	916 (16.9)	27 (0.5)	117 (2.2)	354 (6.5)	289 (5.3)	126 (2.3)	3 (0.1)
1000 - 1999	2,126 (39.2)	192 (3.5)	534 (9.9)	922 (17.0)	376 (6.9)	93 (1.8)	3 (0.1)
2000 - 2999	1,223 (22.6)	220 (4.1)	579 (7.0)	459 (8.7)	152 (2.4)	18 (0.3)	5 (0.1)
3000 - 3999	633 (11.7)	161 (3.0)	224 (4.1)	190 (3.5)	45 (0.8)	12 (0.2)	1 (0.0)
4000 - 4999	296 (4.4)	81 (1.5)	85 (1.5)	60 (1.1)	10 (0.2)	- (-)	2 (0.0)
5000 +	242 (4.5)	103 (1.9)	75 (1.4)	51 (0.9)	13 (0.2)	- (-)	- (-)
UNKNOWN	42 (0.8)	- (-)	4 (0.1)	13 (0.2)	12 (0.2)	5 (0.1)	8 (0.1)
TOTAL	5,418 (100.0)	784 (14.5)	1,416 (26.1)	2,059 (38.0)	877 (16.2)	260 (4.8)	22 (0.4)

A : VERY GOOD
B : GOOD
C : SAME
D : BAD
E : VERY BAD

TABLE27 Number of Households by Comparison of Level of Living between General Society and Own Household and by Comparison between Present Time and 5 years Ago
生活水準一般との比較別生活水準5年前との比較別世帯数 按跟生活的平均水平比较结果和跟5年以前的生活水平比较结果分户数

5 YEARS AGO	LEVEL OF LIVING						
	TOTAL (%)	1 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)	5 (%)	UNKNOWN (%)
A	3,715 (68.6)	754 (13.9)	1,187 (21.9)	1,505 (24.1)	380 (7.0)	87 (1.6)	2 (0.0)
B	1,415 (26.1)	26 (0.5)	213 (3.9)	667 (12.3)	400 (7.4)	107 (2.0)	2 (0.0)
C	170 (3.1)	2 (0.0)	8 (0.1)	61 (1.1)	62 (1.1)	37 (0.7)	- (-)
D	61 (1.1)	1 (0.0)	4 (0.1)	10 (0.2)	27 (0.5)	19 (0.4)	- (-)
E	11 (0.2)	- (-)	- (-)	1 (0.0)	1 (0.0)	9 (0.2)	- (-)
UNKNOWN	46 (0.8)	1 (0.0)	4 (0.1)	15 (0.3)	7 (0.1)	1 (0.0)	18 (0.3)
TOTAL	5,418 (100.0)	784 (14.5)	1,416 (26.1)	2,059 (38.0)	877 (16.2)	260 (4.8)	22 (0.4)

A : VERY GOOD
B : GOOD
C : SAME
D : BAD
E : VERY BAD

TABLE28 Number of Households by Proportion of Contracted Cultivated Area and Size of Cultivated Area
請負耕地面積割合別耕地面積別世帯数 按承包的耕地面积的百分率和耕地面积分户数

CULTIVATED ACREAGE	PROPORTION OF CONTRACTED					
	TOTAL (%)	0-24% (%)	25-49% (%)	50-74% (%)	75%+ (%)	UNKNOWN (%)
0	115 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	115 (100.0)
0.1 ~ 0.9	57 (100.0)	50 (87.7)	- (-)	1 (1.8)	6 (10.5)	- (-)
1.0 ~ 4.9	453 (100.0)	84 (18.5)	12 (2.6)	47 (10.4)	310 (68.4)	- (-)
5.0 ~ 9.9	1,109 (100.0)	59 (5.3)	59 (5.3)	88 (7.9)	903 (81.4)	- (-)
10.0 ~ 14.9	1,260 (100.0)	17 (1.3)	55 (4.4)	161 (12.8)	1,027 (81.5)	- (-)
15.0 ~ 19.9	1,026 (100.0)	16 (1.6)	18 (1.8)	147 (14.3)	845 (82.4)	- (-)
20.0 ~ 24.9	630 (100.0)	3 (0.5)	8 (1.3)	100 (15.9)	519 (82.4)	- (-)
25.0 ~ 29.9	306 (100.0)	1 (0.3)	12 (3.9)	32 (10.5)	261 (85.3)	- (-)
30.0 +	462 (100.0)	7 (1.5)	6 (1.3)	53 (11.5)	396 (85.7)	- (-)
TOTAL	5,418 (100.0)	237 (4.4)	170 (3.1)	629 (11.6)	4,267 (78.8)	115 (2.1)

TABLE29 Number of Households Having Land for Rent or Borrowing Land
借入地有無別貸出地有無別耕地面積別世帯数 按租地、租出地和耕地面积分户数

CULTIVATED ACREAGE	TOTAL			BORROWED FIELDS			FIELDS FORRENT		
	TOTAL (%)	HAVE (%)	NOT HAVE (%)	TOTAL (%)	HAVE (%)	NOT HAVE (%)	TOTAL (%)	HAVE (%)	NOT HAVE (%)
0	115 (2.1)	- (-)	115 (2.1)	- (-)	- (-)	- (-)	115 (2.1)	- (-)	115 (2.1)
0.1 ~ 0.9	57 (1.1)	- (-)	57 (1.1)	- (-)	- (-)	- (-)	57 (1.1)	- (-)	57 (1.1)
1.0 ~ 4.9	453 (8.4)	- (-)	453 (8.4)	3 (0.1)	- (-)	- (-)	450 (8.3)	- (-)	450 (8.3)
5.0 ~ 9.9	1,109 (20.5)	- (-)	1,109 (20.5)	4 (0.1)	- (-)	- (-)	1,105 (20.4)	- (-)	1,105 (20.4)
10.0 ~ 14.9	1,260 (23.3)	1 (0.0)	1,259 (23.2)	3 (0.1)	- (-)	- (-)	1,257 (23.2)	1 (0.0)	1,256 (23.2)
15.0 ~ 19.9	1,026 (18.9)	1 (0.0)	1,025 (18.9)	3 (0.1)	- (-)	- (-)	1,023 (18.9)	1 (0.0)	1,022 (18.9)
20.0 ~ 24.9	630 (11.6)	- (-)	630 (11.6)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	629 (11.6)	- (-)	629 (11.6)
25.0 ~ 29.9	306 (5.6)	- (-)	306 (5.6)	- (-)	- (-)	- (-)	306 (5.6)	- (-)	306 (5.6)
30.0 +	462 (8.5)	- (-)	462 (8.5)	1 (0.0)	- (-)	- (-)	461 (8.5)	- (-)	461 (8.5)
TOTAL	5,418 (100.0)	2 (0.0)	5,416 (100.0)	15 (0.3)	- (-)	- (-)	5,403 (99.7)	2 (0.0)	5,401 (99.7)

TABLE30-1 Number of Households by Communities and Household Income in 1984
村民小組別1984年收入額別世帯数 按村小组和1984年的总收入分户数

AREA CODE	TOTAL	MEAN	INCOME IN 1984 (Rmb)						
			-999	1,000~	2,000~	3,000~	4,000~	5,000+	UNKNOWN
1	41	3219.51	-	-	18	13	9	1	-
2	39	1478.97	4	30	5	-	-	-	-
3	41	3332.53	-	1	10	20	8	2	-
4	33	1780.61	2	20	11	-	-	-	-
5	40	1382.53	7	31	1	-	-	1	-
6	50	2147.55	6	23	10	5	4	1	1
7	49	1571.63	21	21	4	-	-	3	-
8	38	1423.24	7	22	3	-	-	-	-
9	71	745.03	57	10	2	-	-	-	2
10	46	4870.28	1	8	20	12	4	1	-
11	54	1325.00	6	43	3	1	1	-	-
12	39	1392.69	10	24	3	2	-	-	-
13	47	1181.91	24	16	7	-	-	-	-
14	45	1282.50	13	27	2	1	-	1	1
15	46	1617.39	6	38	-	-	-	2	-
16	48	2672.06	2	9	19	14	2	1	1
17	43	1855.35	-	30	9	2	1	1	-
18	27	3006.30	-	5	8	6	6	2	-
19	23	1603.28	3	21	5	-	-	-	-
20	23	1868.10	1	19	8	1	-	-	-
21	41	2055.61	6	15	11	7	1	1	-
22	36	1659.41	8	15	9	2	-	-	2
23	23	1940.60	4	14	4	-	-	1	-
24	46	2132.93	4	20	15	5	1	1	-
25	55	1602.78	13	28	3	2	-	2	1
26	41	1858.46	1	24	9	5	-	-	2
27	74	1592.97	19	36	17	1	-	1	-
28	45	2035.78	2	19	23	1	-	1	-
29	23	2128.57	2	6	8	5	-	-	2
30	23	3375.86	1	4	5	9	5	5	-
31	78	2183.63	6	33	25	10	3	1	-
32	43	2087.21	6	16	11	4	4	2	-
33	56	1965.56	1	15	16	1	3	-	-
34	43	3055.61	-	5	14	15	6	3	-
35	37	1025.41	22	12	3	-	-	-	-
36	47	1921.28	11	15	14	4	2	1	-

TABLE30- 2

AREA CODE	TOTAL	MEAN	INCOME IN 1984 (Rmb)						UNSDIN
			-999	1,000-	2,000-	3,000-	4,000-	5,000+	
37	26	1184.62	10	12	4	-	-	-	-
38	30	1858.03	6	13	6	5	-	-	-
39	33	3768.18	1	4	4	4	9	11	-
40	24	837.79	16	8	-	-	-	-	-
41	22	830.91	12	9	1	-	-	-	-
42	55	3362.36	-	17	17	11	5	4	1
43	44	1450.70	10	25	8	-	-	-	1
44	43	673.52	35	7	-	-	-	-	1
45	54	2306.88	-	8	6	14	2	2	2
46	35	4237.14	-	1	5	11	9	9	-
47	30	1330.34	4	16	6	2	1	-	1
48	22	1362.18	7	7	7	1	-	-	-
49	29	2120.00	4	9	9	3	1	1	2
50	19	1586.05	8	8	-	1	1	1	-
51	24	2586.63	1	6	8	6	2	1	-
52	29	1807.24	5	13	5	6	-	-	-
53	15	2436.00	1	7	2	3	1	1	-
54	40	2376.25	3	15	12	7	2	1	-
55	23	3323.13	-	3	12	2	1	5	-
56	24	1525.00	5	14	3	1	1	-	-
57	21	2666.67	2	5	5	6	1	2	-
58	32	1255.00	10	18	4	-	-	-	-
59	24	1127.08	12	7	4	1	-	-	-
60	28	1391.07	3	10	8	1	-	-	-
61	43	2186.05	-	13	19	4	2	5	-
62	40	2754.53	2	9	12	11	6	-	-
63	83	2454.34	2	26	30	21	4	-	-
64	40	3041.75	1	7	12	12	6	2	-
65	66	2366.14	3	11	16	25	5	6	-
66	30	3363.00	1	4	9	6	5	5	-
67	18	3132.22	1	-	8	7	1	1	-
68	39	1836.41	2	21	10	3	3	-	-
69	47	2338.34	3	18	15	6	3	2	-
70	33	2321.37	6	12	9	5	-	3	-
71	28	1919.64	5	9	10	4	-	-	-
72	42	1678.57	2	31	9	-	-	-	-
73	41	2219.50	2	12	17	8	1	-	1
74	24	1511.67	6	13	4	-	1	-	-
75	19	1736.84	1	15	1	1	-	1	-
76	42	1426.43	14	22	3	1	1	1	-
77	31	2471.61	1	8	11	11	-	-	-
78	23	1493.10	8	12	8	1	-	-	-
79	33	2017.83	5	11	12	4	1	-	-
80	68	3668.20	3	3	16	17	13	14	-
81	32	1406.81	7	22	1	1	-	-	1
82	59	1213.79	30	16	8	2	1	1	1
83	56	1884.72	3	21	5	5	2	-	-
84	28	2053.23	1	15	6	6	-	-	-
85	22	1837.73	3	9	9	1	-	-	-
86	45	2501.91	-	15	20	7	1	2	-
87	47	2763.98	2	9	18	10	5	3	-
88	20	2255.00	1	5	10	3	1	-	-
89	53	2330.57	6	17	14	7	3	6	-
90	15	1476.67	1	12	1	1	-	-	-
91	46	1377.17	16	21	8	1	-	-	-
92	50	1530.00	5	19	5	-	-	1	-
93	27	1780.00	5	10	9	2	-	1	-
94	41	7307.27	1	11	9	7	2	11	-
95	35	1760.60	10	10	5	2	1	1	-
96	33	4875.73	5	10	15	1	-	2	-
97	35	1822.86	9	13	6	2	5	-	-
98	22	3106.82	1	6	4	6	-	5	-
99	25	1310.00	5	18	2	-	-	-	-
100	38	1415.93	12	17	3	4	-	1	1
101	31	2522.66	2	11	5	8	1	1	3
102	54	3397.22	2	12	26	8	-	6	-
103	43	2323.02	2	20	10	4	4	2	1
104	55	1394.36	13	32	8	-	-	-	2
105	24	2422.50	4	5	7	6	1	1	-
106	21	2214.29	2	9	5	3	1	1	-
107	15	1933.53	2	8	3	1	1	-	-
108	23	1537.93	2	20	6	-	1	-	-

TABLE30-3

AREA CODE	TOTAL	MEAN	I N C O M E I N 1 9 8 4 (Rmb)						
			-999	1,000~	2,000~	3,000~	4,000~	5,000+	UNKNOWN
109	50	1634.30	11	28	7	2	1	1	-
110	49	1122.96	19	27	3	-	-	-	-
111	60	1294.63	17	37	4	2	-	-	-
112	59	699.00	26	11	2	-	-	-	-
113	29	1194.14	11	15	3	-	-	-	-
114	50	1347.80	28	12	5	3	1	1	-
115	51	1983.33	4	28	10	8	-	1	-
116	42	1746.67	15	16	4	6	-	1	-
117	42	2080.12	3	17	18	4	-	-	-
118	41	3246.10	-	1	16	19	2	3	-
119	25	2398.00	-	6	7	8	1	3	-
120	29	2046.55	3	15	7	3	-	1	-
121	25	2606.40	-	10	8	3	2	2	-
122	24	4204.17	-	-	3	7	9	5	-
123	31	1577.84	-	28	3	-	-	-	-
124	36	1394.86	19	13	-	2	-	2	-
125	50	1702.00	5	17	5	1	1	1	-
126	36	2378.06	-	5	17	8	2	4	-
127	32	2643.55	1	7	14	6	1	2	1
128	26	1201.15	10	13	2	1	-	-	-
129	29	1673.21	5	14	4	4	1	-	1
130	36	2371.78	5	13	11	1	4	2	-
131	41	1304.88	8	29	2	2	-	-	-
132	23	1823.78	5	10	5	2	1	-	-
133	46	2112.50	12	13	9	4	1	5	2
134	21	2447.62	1	11	5	3	-	1	-
135	19	1756.72	2	9	6	1	-	-	1
136	41	1536.10	9	24	7	-	1	-	-
137	20	2253.50	2	10	4	1	-	3	-
138	32	3466.56	1	6	4	7	8	6	-
139	44	2458.30	7	22	7	1	1	6	-
140	42	3292.15	-	7	8	12	6	7	2
141	25	1924.00	2	11	9	3	-	-	-
142	30	4668.80	1	3	8	2	3	13	-
143	36	2598.20	4	10	10	5	3	3	1
144	42	2207.74	5	15	11	9	2	-	-
145	22	2847.62	-	6	8	3	1	3	1
146	15	2392.66	3	3	4	1	2	1	1
147	20	2120.70	2	7	7	3	1	-	-
148	35	1512.12	6	17	8	-	2	-	2
149	25	3368.00	1	4	8	5	1	6	-
150	12	2733.33	-	3	5	3	-	1	-
TOTAL	5,418	2175.06	916	2,126	1,223	653	236	242	42

TABLE31-1 Number of Households by Communities and Ethnic Group of Household Head
村民小组别世帯主の民族別世帯数
按村民小组和户主的民族分户数

AREA CODE	TOTAL (%)	ETHNIC GROUP		
		A (%)	B (%)	UNKNOWN (%)
1	41 (100.0)	41 (100.0)	- (-)	- (-)
2	39 (100.0)	36 (92.3)	2 (5.1)	1 (2.6)
3	41 (100.0)	41 (100.0)	- (-)	- (-)
4	33 (100.0)	33 (100.0)	- (-)	- (-)
5	40 (100.0)	40 (100.0)	- (-)	- (-)
6	50 (100.0)	50 (100.0)	- (-)	- (-)
7	49 (100.0)	49 (100.0)	- (-)	- (-)
8	38 (100.0)	38 (100.0)	- (-)	- (-)
9	71 (100.0)	71 (100.0)	- (-)	- (-)
10	46 (100.0)	46 (100.0)	- (-)	- (-)
11	54 (100.0)	54 (100.0)	- (-)	- (-)
12	39 (100.0)	39 (100.0)	- (-)	- (-)
13	47 (100.0)	47 (100.0)	- (-)	- (-)
14	45 (100.0)	45 (100.0)	- (-)	- (-)
15	46 (100.0)	46 (100.0)	- (-)	- (-)
16	48 (100.0)	46 (95.8)	- (-)	2 (4.2)
17	43 (100.0)	43 (100.0)	- (-)	- (-)
18	27 (100.0)	27 (100.0)	- (-)	- (-)
19	29 (100.0)	29 (100.0)	- (-)	- (-)
20	29 (100.0)	29 (100.0)	- (-)	- (-)
21	41 (100.0)	41 (100.0)	- (-)	- (-)
22	36 (100.0)	33 (91.7)	2 (5.6)	1 (2.8)
23	23 (100.0)	23 (100.0)	- (-)	- (-)
24	46 (100.0)	46 (100.0)	- (-)	- (-)
25	55 (100.0)	54 (98.2)	1 (1.8)	- (-)
26	41 (100.0)	41 (100.0)	- (-)	- (-)
27	74 (100.0)	70 (94.6)	4 (5.4)	- (-)
28	45 (100.0)	30 (66.7)	15 (33.3)	- (-)
29	23 (100.0)	21 (91.3)	2 (8.7)	- (-)
30	29 (100.0)	29 (100.0)	- (-)	- (-)
31	78 (100.0)	77 (98.7)	- (-)	1 (1.3)
32	43 (100.0)	41 (95.3)	2 (4.7)	- (-)
33	36 (100.0)	35 (97.2)	- (-)	1 (2.8)
34	43 (100.0)	43 (100.0)	- (-)	- (-)
35	37 (100.0)	35 (94.6)	1 (2.7)	- (-)
36	47 (100.0)	42 (89.4)	5 (10.6)	- (-)
37	42 (100.0)	32 (76.2)	4 (9.5)	6 (14.3)
38	50 (100.0)	29 (58.0)	1 (2.0)	- (-)
39	33 (100.0)	31 (93.9)	2 (6.1)	- (-)
40	24 (100.0)	23 (95.8)	1 (4.2)	- (-)
41	22 (100.0)	22 (100.0)	- (-)	- (-)
42	55 (100.0)	53 (96.4)	2 (3.6)	- (-)
43	44 (100.0)	44 (100.0)	- (-)	- (-)
44	43 (100.0)	43 (100.0)	- (-)	- (-)
45	34 (100.0)	- (-)	34 (100.0)	- (-)
46	35 (100.0)	14 (40.0)	20 (57.1)	1 (2.9)
47	30 (100.0)	28 (93.3)	2 (6.7)	- (-)
48	22 (100.0)	20 (90.9)	1 (4.5)	1 (4.5)
49	29 (100.0)	29 (100.0)	6 (20.7)	- (-)
50	19 (100.0)	18 (100.0)	- (-)	- (-)
51	24 (100.0)	23 (95.8)	1 (4.2)	- (-)
52	29 (100.0)	29 (100.0)	- (-)	- (-)
53	15 (100.0)	15 (100.0)	- (-)	- (-)
54	40 (100.0)	40 (100.0)	- (-)	- (-)
55	23 (100.0)	23 (100.0)	- (-)	- (-)
56	24 (100.0)	24 (100.0)	- (-)	- (-)
57	21 (100.0)	21 (100.0)	- (-)	- (-)
58	32 (100.0)	32 (100.0)	- (-)	- (-)
59	24 (100.0)	22 (91.7)	2 (8.3)	- (-)
60	23 (100.0)	27 (96.4)	1 (3.6)	- (-)
61	43 (100.0)	43 (100.0)	- (-)	- (-)
62	49 (100.0)	49 (100.0)	- (-)	- (-)
63	83 (100.0)	83 (100.0)	- (-)	- (-)
64	49 (100.0)	49 (100.0)	- (-)	- (-)
65	66 (100.0)	66 (100.0)	- (-)	- (-)
66	30 (100.0)	30 (100.0)	- (-)	- (-)
67	18 (100.0)	18 (100.0)	- (-)	- (-)
68	39 (100.0)	35 (89.7)	4 (10.3)	- (-)
69	47 (100.0)	47 (100.0)	- (-)	- (-)
70	35 (100.0)	6 (17.1)	29 (82.9)	- (-)
71	28 (100.0)	28 (100.0)	- (-)	- (-)
72	42 (100.0)	42 (100.0)	- (-)	- (-)

A : HAN B : MINORITY

TABLE31-2

AREA CODE	TOTAL (%)	ETHNIC GROUP		
		A (%)	B (%)	UNKNOWN (%)
73	41 (100.0)	41 (100.0)	- (-)	- (-)
74	24 (100.0)	24 (100.0)	- (-)	- (-)
75	19 (100.0)	19 (100.0)	- (-)	- (-)
76	42 (100.0)	42 (100.0)	- (-)	- (-)
77	31 (100.0)	31 (100.0)	- (-)	- (-)
78	29 (100.0)	26 (89.7)	- (-)	3 (10.3)
79	33 (100.0)	33 (100.0)	- (-)	- (-)
80	66 (100.0)	66 (100.0)	- (-)	- (-)
81	32 (100.0)	30 (93.8)	2 (6.3)	- (-)
82	59 (100.0)	52 (88.1)	7 (11.9)	- (-)
83	36 (100.0)	30 (83.3)	6 (16.7)	- (-)
84	28 (100.0)	28 (100.0)	- (-)	- (-)
85	22 (100.0)	21 (95.5)	1 (4.5)	- (-)
86	45 (100.0)	45 (100.0)	- (-)	- (-)
87	47 (100.0)	42 (89.4)	5 (10.6)	- (-)
88	20 (100.0)	19 (95.0)	1 (5.0)	- (-)
89	53 (100.0)	51 (96.2)	2 (3.8)	- (-)
90	15 (100.0)	15 (100.0)	- (-)	- (-)
91	46 (100.0)	46 (100.0)	- (-)	- (-)
92	30 (100.0)	6 (20.0)	24 (80.0)	- (-)
93	27 (100.0)	26 (96.3)	1 (3.7)	- (-)
94	41 (100.0)	40 (97.6)	1 (2.4)	- (-)
95	35 (100.0)	35 (100.0)	- (-)	- (-)
96	53 (100.0)	33 (100.0)	- (-)	- (-)
97	35 (100.0)	35 (100.0)	- (-)	- (-)
98	22 (100.0)	22 (100.0)	- (-)	- (-)
99	25 (100.0)	23 (92.0)	2 (8.0)	- (-)
100	38 (100.0)	32 (84.2)	6 (15.8)	- (-)
101	31 (100.0)	29 (93.5)	2 (6.5)	- (-)
102	54 (100.0)	54 (100.0)	- (-)	- (-)
103	43 (100.0)	40 (93.0)	3 (7.0)	- (-)
104	55 (100.0)	55 (100.0)	- (-)	- (-)
105	24 (100.0)	22 (91.7)	2 (8.3)	- (-)
106	21 (100.0)	20 (95.2)	- (-)	1 (4.8)
107	15 (100.0)	15 (100.0)	- (-)	- (-)
108	29 (100.0)	27 (93.1)	2 (6.9)	- (-)
109	50 (100.0)	49 (98.0)	1 (2.0)	- (-)
110	49 (100.0)	49 (100.0)	- (-)	- (-)
111	60 (100.0)	60 (100.0)	- (-)	- (-)
112	39 (100.0)	39 (100.0)	- (-)	- (-)
113	29 (100.0)	29 (100.0)	- (-)	- (-)
114	50 (100.0)	49 (98.0)	1 (2.0)	- (-)
115	51 (100.0)	50 (98.0)	1 (2.0)	- (-)
116	42 (100.0)	38 (90.5)	4 (9.5)	- (-)
117	42 (100.0)	42 (100.0)	- (-)	- (-)
118	41 (100.0)	41 (100.0)	- (-)	- (-)
119	25 (100.0)	24 (96.0)	1 (4.0)	- (-)
120	29 (100.0)	29 (100.0)	- (-)	- (-)
121	25 (100.0)	23 (92.0)	2 (8.0)	- (-)
122	24 (100.0)	23 (95.8)	1 (4.2)	- (-)
123	31 (100.0)	31 (100.0)	- (-)	- (-)
124	36 (100.0)	36 (100.0)	- (-)	- (-)
125	30 (100.0)	30 (100.0)	- (-)	- (-)
126	36 (100.0)	34 (94.4)	2 (5.6)	- (-)
127	32 (100.0)	32 (100.0)	- (-)	- (-)
128	26 (100.0)	26 (100.0)	- (-)	- (-)
129	23 (100.0)	28 (96.6)	1 (3.4)	- (-)
130	36 (100.0)	36 (100.0)	- (-)	- (-)
131	41 (100.0)	41 (100.0)	- (-)	- (-)
132	23 (100.0)	22 (95.7)	1 (4.3)	- (-)
133	46 (100.0)	46 (100.0)	- (-)	- (-)
134	21 (100.0)	21 (100.0)	- (-)	- (-)
135	19 (100.0)	19 (100.0)	- (-)	- (-)
136	41 (100.0)	41 (100.0)	- (-)	- (-)
137	20 (100.0)	2 (10.0)	18 (90.0)	- (-)
138	32 (100.0)	8 (25.0)	24 (75.0)	- (-)
139	44 (100.0)	23 (52.3)	21 (47.7)	- (-)
140	42 (100.0)	42 (100.0)	- (-)	- (-)
141	25 (100.0)	25 (100.0)	- (-)	- (-)
142	30 (100.0)	1 (3.3)	29 (96.7)	- (-)
143	36 (100.0)	- (-)	36 (100.0)	- (-)
144	42 (100.0)	- (-)	42 (100.0)	- (-)
145	22 (100.0)	5 (22.7)	17 (77.3)	- (-)
146	15 (100.0)	11 (73.3)	4 (26.7)	- (-)
147	50 (100.0)	- (-)	20 (100.0)	- (-)
148	35 (100.0)	32 (91.4)	2 (5.7)	1 (2.9)
149	25 (100.0)	- (-)	25 (100.0)	- (-)
150	12 (100.0)	1 (8.3)	11 (91.7)	- (-)
TOTAL	5,418 (100.0)	4,350 (91.0)	475 (8.8)	13 (0.2)

TABLE32-1 Number of Households by Comminties and Kinds of SPecialized-Operation-Farm-Households
 村民小組別專業戶的工作的種類別世帯数 按村民小组和农业的类型分户数

AREA CODE	KIND OF SPECIALITY (MULTIPLE ANSWER)												UNKNOW
	A (x)	B (x)	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
1	41 (100.0)	1 (2.4)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
2	53 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	41 (100.0)	3 (7.3)	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
4	33 (100.0)	1 (3.0)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
5	40 (100.0)	1 (2.5)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
6	50 (100.0)	2 (4.0)	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
7	49 (100.0)	4 (8.2)	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
8	38 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	71 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	46 (100.0)	6 (13.0)	1	-	-	1	-	-	4	-	-	-	-
11	54 (100.0)	1 (1.9)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
12	39 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	47 (100.0)	2 (4.3)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
14	45 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	46 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	48 (100.0)	4 (8.3)	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-
17	43 (100.0)	3 (7.0)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
18	27 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	29 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	29 (100.0)	2 (6.9)	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
21	41 (100.0)	2 (4.9)	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
22	56 (100.0)	1 (2.8)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
23	23 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	46 (100.0)	2 (4.3)	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
25	55 (100.0)	4 (7.3)	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1
26	41 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	74 (100.0)	2 (2.7)	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-
28	45 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	23 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	23 (100.0)	7 (24.1)	-	-	-	1	-	1	1	-	4	-	-
31	78 (100.0)	9 (11.5)	2	-	-	2	-	1	3	1	-	-	-
32	43 (100.0)	3 (7.0)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
33	36 (100.0)	13 (36.1)	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	4
34	43 (100.0)	16 (37.2)	-	-	-	12	-	2	-	-	-	-	2
35	37 (100.0)	3 (8.1)	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-
36	47 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	26 (100.0)	25 (96.2)	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38	30 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39	33 (100.0)	12 (36.4)	-	-	-	3	-	3	6	-	-	-	-
40	24 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41	22 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42	55 (100.0)	4 (7.3)	1	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
43	44 (100.0)	2 (4.5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
44	43 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45	34 (100.0)	1 (2.9)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
46	35 (100.0)	29 (80.0)	-	-	-	27	-	-	1	-	-	-	-
47	30 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48	22 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
49	23 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50	19 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
51	24 (100.0)	1 (4.2)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
52	29 (100.0)	2 (6.9)	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
53	15 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	40 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55	23 (100.0)	1 (4.3)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
56	24 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
57	21 (100.0)	6 (28.6)	-	-	-	-	1	3	-	-	1	-	1
58	32 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
59	24 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60	28 (100.0)	18 (64.3)	12	2	-	1	-	-	2	1	-	3	-
61	43 (100.0)	2 (4.7)	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
62	40 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
63	83 (100.0)	1 (1.2)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
64	40 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
65	66 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
66	30 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
67	18 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
68	59 (100.0)	1 (2.6)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
69	47 (100.0)	1 (2.1)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70	55 (100.0)	12 (34.3)	-	-	-	10	-	1	-	-	2	-	-
71	28 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
72	42 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

A : NUMBER OF HOUSEHOLD B : SPECIALIZED-OPERATION-FARM-HOUSEHOLDS C : GRAIN D : VEGETABLE
 E : ECONOMIC CROPS F : CULTIVATION G : CONSTRUCTION H : PROCESSING I : TRANSPORTATION
 J : COMMERCE K : FORESTRY L : OTHERS

TABLE32-2

AREA CODE	KIND OF SPECIALITY (MULTIPLE ANSWER)												
	A (%)	B (%)	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	UNKNOWN
73	41 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
74	24 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75	19 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
76	42 (100.0)	2 (4.8)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
77	31 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
78	29 (100.0)	1 (3.4)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
79	33 (100.0)	1 (3.0)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
80	66 (100.0)	10 (15.2)	-	-	-	5	-	4	-	1	-	-	-
81	32 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
82	59 (100.0)	4 (6.8)	1	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-
83	36 (100.0)	4 (11.1)	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-
84	28 (100.0)	2 (7.1)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
85	22 (100.0)	1 (4.5)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
86	45 (100.0)	2 (4.4)	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
87	47 (100.0)	2 (4.3)	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
88	20 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
89	53 (100.0)	3 (5.7)	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
90	15 (100.0)	1 (6.7)	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
91	46 (100.0)	2 (4.3)	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
92	30 (100.0)	7 (23.3)	-	-	3	2	-	1	-	1	-	-	-
93	27 (100.0)	1 (3.7)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
94	41 (100.0)	1 (2.4)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
95	35 (100.0)	5 (14.3)	1	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-
96	33 (100.0)	4 (12.1)	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
97	35 (100.0)	8 (22.9)	-	-	2	-	-	1	-	-	3	2	-
98	22 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
99	25 (100.0)	1 (4.0)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
100	38 (100.0)	5 (13.2)	-	-	-	1	-	1	2	-	1	-	-
101	31 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
102	54 (100.0)	4 (7.4)	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	2
103	43 (100.0)	1 (2.3)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
104	55 (100.0)	10 (18.2)	4	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-
105	24 (100.0)	2 (8.3)	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
106	21 (100.0)	3 (14.3)	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1
107	15 (100.0)	4 (26.7)	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-
108	23 (100.0)	3 (10.3)	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-
109	50 (100.0)	3 (6.0)	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-
110	49 (100.0)	1 (2.0)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
111	60 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
112	53 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
113	23 (100.0)	3 (10.3)	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
114	50 (100.0)	2 (4.0)	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
115	51 (100.0)	3 (5.9)	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
116	42 (100.0)	2 (4.8)	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
117	42 (100.0)	3 (7.1)	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-
118	41 (100.0)	3 (7.3)	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-
119	25 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
120	29 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
121	25 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
122	24 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
123	31 (100.0)	3 (9.7)	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
124	36 (100.0)	1 (2.8)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
125	30 (100.0)	2 (6.7)	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
126	36 (100.0)	1 (2.8)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
127	52 (100.0)	4 (12.5)	-	-	-	3	-	1	1	-	-	1	-
128	26 (100.0)	2 (7.7)	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
129	29 (100.0)	5 (17.2)	-	-	-	3	-	-	-	-	2	-	-
130	36 (100.0)	1 (2.8)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
131	41 (100.0)	1 (2.4)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
132	23 (100.0)	2 (8.7)	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-
133	46 (100.0)	4 (8.7)	2	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-
134	21 (100.0)	2 (9.5)	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
135	19 (100.0)	3 (15.8)	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
136	41 (100.0)	2 (4.9)	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
137	20 (100.0)	1 (5.0)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
138	32 (100.0)	1 (3.1)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
139	44 (100.0)	6 (13.6)	-	1	-	1	-	1	-	-	3	-	-
140	42 (100.0)	1 (2.4)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
141	25 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
142	30 (100.0)	3 (10.0)	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
143	36 (100.0)	1 (2.8)	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
144	42 (100.0)	1 (2.4)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
145	22 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
146	15 (100.0)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
147	20 (100.0)	2 (10.0)	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
148	35 (100.0)	8 (22.9)	-	-	5	2	-	-	1	-	-	-	-
149	25 (100.0)	1 (4.0)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
150	12 (100.0)	3 (25.0)	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-
TOTAL	5,418 (100.0)	384 (7.1)	63	5	21	117	2	67	44	21	28	8	18

A : NUMBER OF HOUSEHOLD B : SPECIALIZED-OPERATION-FARM-HOUSEHOLDS C : GRAIN D : VEGETABLE
 E : ECONOMIC CROPS F : CULTIVATION G : CONSTRUCTION H : PROCESSING I : TRANSPORTATION
 J : COMMERCE K : FORESTRY L : OTHERS

TABLE33-1 Number of Farm-Households by Communities.
Full-time Farmer and Farmer with a Side Job
村民小組別專業、兼業別農家世帶數
按村小組和农业的类型分戶數

AREA CODE	TYPE OF FARMER HAVING A SECOND JOB (%)		
	TOTAL (%)	FULL-TIME (%)	FULL-TIME (%)
1	41 (100.0)	41 (100.0)	- (-)
2	39 (100.0)	34 (87.2)	5 (12.8)
3	40 (100.0)	36 (90.0)	4 (10.0)
4	33 (100.0)	33 (100.0)	- (-)
5	40 (100.0)	38 (95.0)	2 (5.0)
6	48 (100.0)	45 (93.8)	3 (6.3)
7	49 (100.0)	48 (98.0)	1 (2.0)
8	37 (100.0)	35 (94.6)	2 (5.4)
9	69 (100.0)	64 (92.8)	5 (7.2)
10	46 (100.0)	44 (95.7)	2 (4.3)
11	53 (100.0)	48 (90.6)	5 (9.4)
12	39 (100.0)	38 (97.4)	1 (2.6)
13	47 (100.0)	44 (93.6)	3 (6.4)
14	45 (100.0)	50 (66.7)	15 (33.3)
15	46 (100.0)	43 (93.5)	3 (6.5)
16	45 (100.0)	42 (93.3)	3 (6.7)
17	43 (100.0)	42 (97.7)	1 (2.3)
18	25 (100.0)	23 (92.0)	2 (8.0)
19	28 (100.0)	25 (89.3)	3 (10.7)
20	23 (100.0)	25 (86.2)	4 (13.8)
21	41 (100.0)	40 (97.6)	1 (2.4)
22	36 (100.0)	36 (100.0)	- (-)
23	23 (100.0)	22 (95.7)	1 (4.3)
24	46 (100.0)	42 (91.3)	4 (8.7)
25	54 (100.0)	51 (94.4)	3 (5.6)
26	41 (100.0)	41 (100.0)	- (-)
27	70 (100.0)	56 (80.0)	14 (20.0)
28	44 (100.0)	43 (97.7)	1 (2.3)
29	22 (100.0)	21 (95.5)	1 (4.5)
30	29 (100.0)	29 (100.0)	- (-)
31	77 (100.0)	75 (97.4)	2 (2.6)
32	59 (100.0)	33 (55.9)	6 (10.2)
33	55 (100.0)	29 (52.7)	6 (10.9)
34	43 (100.0)	36 (83.7)	7 (16.3)
35	37 (100.0)	37 (100.0)	- (-)
36	47 (100.0)	45 (95.7)	2 (4.3)
37	26 (100.0)	26 (100.0)	- (-)
38	30 (100.0)	30 (100.0)	- (-)
39	33 (100.0)	30 (90.9)	3 (9.1)
40	24 (100.0)	24 (100.0)	- (-)
41	22 (100.0)	22 (100.0)	- (-)
42	54 (100.0)	51 (94.4)	3 (5.6)
43	42 (100.0)	32 (76.2)	10 (23.8)
44	43 (100.0)	42 (97.7)	1 (2.3)
45	34 (100.0)	30 (88.2)	4 (11.8)
46	53 (100.0)	34 (64.2)	19 (35.8)
47	30 (100.0)	29 (96.7)	1 (3.3)
48	21 (100.0)	21 (100.0)	- (-)
49	29 (100.0)	27 (93.1)	2 (6.9)
50	19 (100.0)	19 (100.0)	- (-)
51	24 (100.0)	23 (95.8)	1 (4.2)
52	29 (100.0)	29 (100.0)	- (-)
53	15 (100.0)	15 (100.0)	- (-)
54	39 (100.0)	35 (89.7)	4 (10.3)
55	23 (100.0)	21 (91.3)	2 (8.7)
56	24 (100.0)	24 (100.0)	- (-)
57	21 (100.0)	21 (100.0)	- (-)
58	32 (100.0)	32 (100.0)	- (-)
59	24 (100.0)	23 (95.8)	1 (4.2)
60	28 (100.0)	24 (85.7)	4 (14.3)
61	39 (100.0)	38 (97.4)	1 (2.6)
62	39 (100.0)	38 (97.4)	1 (2.6)
63	82 (100.0)	78 (95.1)	4 (4.9)
64	38 (100.0)	37 (97.4)	1 (2.6)
65	65 (100.0)	60 (92.3)	5 (7.7)
66	27 (100.0)	27 (100.0)	- (-)
67	16 (100.0)	16 (100.0)	- (-)
68	39 (100.0)	36 (92.3)	3 (7.7)
69	47 (100.0)	42 (89.4)	5 (10.6)
70	35 (100.0)	28 (80.0)	7 (20.0)
71	25 (100.0)	22 (88.0)	3 (12.0)
72	42 (100.0)	39 (92.9)	3 (7.1)

A : NUMBER OF HOUSEHOLDS B : SPECIALIZED-OPERATION
FARM-HOUSEHOLDS C : GRAIN D : VEGETABLE
E : ECONOMIC CROPS F : CULTIVATION G : CONSTRUCTION
H : PROCESSING I : TRANSPORTATION J : COMMERCE
K : FORESTRY L : OTHERS

TABLE33-2

AREA CODE	TYPE OF FARMER HAVING A SECOND JOB (%)		
	TOTAL (%)	FULL-TIME (%)	FULL-TIME (%)
73	39 (100.0)	33 (100.0)	- (-)
74	24 (100.0)	22 (91.7)	2 (8.3)
75	19 (100.0)	18 (94.7)	1 (5.3)
76	42 (100.0)	42 (100.0)	- (-)
77	31 (100.0)	29 (93.5)	2 (6.5)
78	28 (100.0)	26 (92.9)	2 (7.1)
79	32 (100.0)	30 (93.8)	2 (6.3)
80	65 (100.0)	62 (95.4)	3 (4.6)
81	31 (100.0)	30 (96.8)	1 (3.2)
82	53 (100.0)	54 (91.5)	5 (8.5)
83	36 (100.0)	26 (72.2)	10 (27.8)
84	28 (100.0)	26 (92.9)	2 (7.1)
85	22 (100.0)	21 (95.5)	1 (4.5)
86	45 (100.0)	44 (97.8)	1 (2.2)
87	47 (100.0)	45 (95.7)	2 (4.3)
88	20 (100.0)	18 (90.0)	2 (10.0)
89	53 (100.0)	47 (88.7)	6 (11.3)
90	15 (100.0)	15 (100.0)	- (-)
91	45 (100.0)	44 (97.8)	1 (2.2)
92	28 (100.0)	24 (85.7)	4 (14.3)
93	26 (100.0)	24 (92.3)	2 (7.7)
94	41 (100.0)	38 (92.7)	3 (7.3)
95	32 (100.0)	32 (100.0)	- (-)
96	31 (100.0)	29 (93.5)	2 (6.5)
97	34 (100.0)	34 (100.0)	- (-)
98	22 (100.0)	22 (100.0)	- (-)
99	25 (100.0)	24 (96.0)	1 (4.0)
100	39 (100.0)	38 (97.4)	1 (2.6)
101	30 (100.0)	30 (100.0)	- (-)
102	54 (100.0)	54 (100.0)	- (-)
103	43 (100.0)	43 (100.0)	- (-)
104	54 (100.0)	53 (98.1)	1 (1.9)
105	24 (100.0)	22 (91.7)	2 (8.3)
106	19 (100.0)	19 (100.0)	- (-)
107	15 (100.0)	15 (100.0)	- (-)
108	29 (100.0)	24 (82.8)	5 (17.2)
109	50 (100.0)	45 (90.0)	5 (10.0)
110	49 (100.0)	48 (98.0)	1 (2.0)
111	58 (100.0)	57 (98.3)	1 (1.7)
112	38 (100.0)	38 (100.0)	- (-)
113	29 (100.0)	28 (96.6)	1 (3.4)
114	48 (100.0)	47 (97.9)	1 (2.1)
115	51 (100.0)	51 (100.0)	- (-)
116	42 (100.0)	42 (100.0)	- (-)
117	42 (100.0)	40 (95.2)	2 (4.8)
118	41 (100.0)	40 (97.6)	1 (2.4)
119	24 (100.0)	24 (100.0)	- (-)
120	28 (100.0)	25 (89.3)	3 (10.7)
121	25 (100.0)	23 (92.0)	2 (8.0)
122	23 (100.0)	21 (91.3)	2 (8.7)
123	30 (100.0)	30 (100.0)	- (-)
124	35 (100.0)	34 (97.1)	1 (2.9)
125	30 (100.0)	29 (96.7)	1 (3.3)
126	36 (100.0)	36 (100.0)	- (-)
127	31 (100.0)	26 (83.9)	5 (16.1)
128	26 (100.0)	25 (96.2)	1 (3.8)
129	29 (100.0)	27 (93.1)	2 (6.9)
130	36 (100.0)	31 (86.1)	5 (13.9)
131	41 (100.0)	40 (97.6)	1 (2.4)
132	23 (100.0)	23 (100.0)	- (-)
133	46 (100.0)	43 (93.5)	3 (6.5)
134	21 (100.0)	21 (100.0)	- (-)
135	19 (100.0)	19 (100.0)	- (-)
136	41 (100.0)	39 (95.1)	2 (4.9)
137	20 (100.0)	20 (100.0)	- (-)
138	32 (100.0)	31 (96.9)	1 (3.1)
139	40 (100.0)	33 (82.5)	7 (17.5)
140	42 (100.0)	40 (95.2)	2 (4.8)
141	25 (100.0)	25 (100.0)	- (-)
142	30 (100.0)	28 (93.3)	2 (6.7)
143	36 (100.0)	34 (94.4)	2 (5.6)
144	42 (100.0)	38 (90.5)	4 (9.5)
145	22 (100.0)	21 (95.5)	1 (4.5)
146	15 (100.0)	14 (93.3)	1 (6.7)
147	20 (100.0)	19 (95.0)	1 (5.0)
148	35 (100.0)	34 (97.1)	1 (2.9)
149	24 (100.0)	20 (83.3)	4 (16.7)
150	12 (100.0)	11 (91.7)	1 (8.3)
TOTAL	5,335 (100.0)	5,014 (94.0)	321 (6.0)

TABLE34-1 First-married Females in Ages 15-59 Years by Age of Marriage, Duration of Marriage and Number of Children Ever-born
 初婚年齡、結婚期間、既往兒數別初婚女子人口(15~59歲)
 按初婚年齡、結婚期間和出生子女數分初婚女性人口(15歲~59歲)

NO. OF CHILDREN EVER BORN : 0

AGE AT FIRST MARRIAGE	TOTAL	DURATION OF MARRIAGE (YEARS)										
		0	1	2	3	4	5-9	10-14	15-19	20-	UNKNOWN	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
16	4	-	1	-	-	-	-	-	2	1	-	-
17	10	3	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-
18	20	6	5	3	1	-	1	-	1	3	-	-
19	33	15	4	4	6	1	-	3	-	-	-	-
20	68	40	14	3	1	1	2	2	1	3	1	-
21	53	42	10	1	-	2	-	1	1	2	-	-
22	60	48	2	-	-	3	3	1	-	2	1	-
23	27	15	5	4	1	1	1	-	-	-	-	-
24	16	11	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-
25	8	4	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-
26	6	2	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-
27	3	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-
28	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31 +	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	320	188	48	17	12	9	12	8	5	19	2	-

TABLE34-2

NO. OF CHILDREN EVER BORN : 1

AGE AT FIRST MARRIAGE	TOTAL	DURATION OF MARRIAGE (YEARS)										
		0	1	2	3	4	5-9	10-14	15-19	20-	UNKNOWN	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
15	5	-	-	1	-	-	3	-	-	1	-	-
16	12	-	-	-	-	2	3	1	1	5	-	-
17	49	-	4	6	8	3	18	3	1	6	-	-
18	109	-	5	19	13	23	31	8	1	3	-	-
19	162	-	23	24	36	19	35	8	-	11	-	-
20	221	-	35	40	21	34	70	12	3	5	1	-
21	187	4	37	20	36	30	65	3	1	-	1	-
22	168	3	22	30	27	25	52	5	1	2	1	-
23	141	4	18	21	20	23	48	3	1	1	2	-
24	73	2	10	8	12	10	28	1	1	1	-	-
25	47	1	3	5	1	13	20	-	1	3	-	-
26	21	-	1	6	4	5	4	1	-	-	-	-
27	14	-	3	-	2	4	3	-	-	2	-	-
28	5	-	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-
29	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
30	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
31 +	3	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-
UNKNOWN	6	-	2	1	2	-	-	-	1	-	-	-
TOTAL	1,258	14	171	183	180	193	384	45	13	40	5	-

TABLE34- 3

NO. OF CHILDREN EVER BORN : 2

AGE AT FIRST MARRIAGE	TOTAL	DURATION OF MARRIAGE (YEARS)									UNKNOWN	
		0	1	2	3	4	5-9	10-14	15-19	20-		
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-
15	12	-	-	-	-	-	2	2	4	4	-	-
16	28	-	-	-	-	-	7	8	10	3	-	-
17	57	-	-	-	1	2	11	16	22	5	-	-
18	139	-	-	1	1	4	34	56	31	12	-	-
19	151	-	-	2	5	4	52	55	28	5	-	-
20	167	-	-	-	6	10	53	63	24	11	-	-
21	148	-	-	1	3	10	73	46	13	2	-	-
22	131	-	-	-	4	7	73	35	7	5	-	-
23	120	-	1	1	2	3	73	35	4	1	-	-
24	70	-	-	-	3	4	39	17	2	5	-	-
25	32	-	-	-	-	2	22	4	2	2	-	-
26	10	-	-	-	-	1	5	1	1	2	-	-
27	7	-	-	-	-	1	4	-	-	2	-	-
28	3	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-
29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
31 +	6	-	-	-	-	-	2	-	1	3	-	-
UNKNOWN	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
TOTAL	1,037	-	1	5	25	48	454	340	151	63	-	-

TABLE34- 4

NO. OF CHILDREN EVER BORN : 3

AGE AT FIRST MARRIAGE	TOTAL	DURATION OF MARRIAGE (YEARS)									UNKNOWN	
		0	1	2	3	4	5-9	10-14	15-19	20-		
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
15	15	-	-	-	-	-	-	-	4	11	-	-
16	70	-	-	-	-	-	1	14	23	26	-	-
17	102	-	-	-	-	-	4	22	54	22	-	-
18	130	-	-	-	-	-	4	36	66	24	-	-
19	133	-	-	-	-	-	13	33	40	35	-	-
20	115	-	-	-	-	-	9	33	43	24	-	-
21	81	1	-	-	-	-	11	34	24	11	-	-
22	63	-	-	1	1	1	14	26	18	8	-	-
23	40	-	-	-	-	1	12	11	9	7	-	-
24	20	-	-	-	-	-	3	10	6	1	-	-
25	14	-	-	-	-	-	1	7	3	3	-	-
26	5	-	-	-	-	-	1	1	1	2	-	-
27	5	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-
28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
31 +	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
UNKNOWN	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
TOTAL	807	1	-	1	1	2	62	240	301	173	-	-

TABLE34-5

NO. OF CHILDREN EVER BORN : 4

AGE AT FIRST MARRIAGE	TOTAL	DURATION OF MARRIAGE (YEARS)										
		0	1	2	3	4	5-9	10-14	15-19	20-	UNKNOWN	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	7	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-
15	17	-	-	-	-	-	1	2	3	11	-	-
16	51	-	-	-	-	-	-	-	17	34	-	-
17	112	-	-	-	-	-	-	9	38	65	-	-
18	114	1	-	-	-	-	-	11	40	62	-	-
19	102	-	-	-	-	-	1	17	37	47	-	-
20	89	-	-	-	-	-	4	16	23	37	-	-
21	32	-	-	-	-	-	-	5	11	16	-	-
22	37	-	-	-	-	-	1	8	17	11	-	-
23	19	-	-	-	-	-	-	5	5	9	-	-
24	12	-	-	-	-	-	-	1	3	8	-	-
25	5	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-
26	5	-	-	-	-	-	1	-	2	2	-	-
27	6	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-
28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31 +	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	599	1	-	-	-	-	8	78	199	313	-	-

TABLE34-6

NO. OF CHILDREN EVER BORN : 5 +

AGE AT FIRST MARRIAGE	TOTAL	DURATION OF MARRIAGE (YEARS)										
		0	1	2	3	4	5-9	10-14	15-19	20-	UNKNOWN	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
14	20	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
15	50	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-
16	173	-	-	-	-	-	-	-	2	48	-	-
17	196	-	-	-	-	-	-	-	8	165	-	-
18	181	1	-	-	-	-	-	1	8	187	-	-
19	131	-	-	-	-	-	-	-	24	156	-	-
20	102	-	-	-	-	-	-	1	12	118	-	-
21	54	-	-	-	-	-	1	2	10	89	-	-
22	37	-	-	-	-	-	-	1	9	44	-	-
23	11	-	-	-	-	-	-	-	3	34	-	-
24	10	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-
25	2	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
26	5	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
27	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-
28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31 +	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	4	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
TOTAL	983	1	-	-	-	-	1	5	80	896	-	-

TABLE34-7

NO. OF CHILDREN EVER BORN : TOTAL

AGE AT FIRST MARRIAGE	TOTAL	DURATION OF MARRIAGE (YEARS) †										
		0	1	2	3	4	5-9	10-14	15-19	20-	UNKNOWN	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
13	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-
14	33	-	-	-	-	-	1	-	5	27	-	-
15	101	-	1	1	-	-	6	4	13	76	-	-
16	338	-	1	-	-	2	11	23	67	234	-	-
17	526	3	4	6	9	5	33	52	123	291	-	-
18	693	8	10	23	21	27	70	111	163	260	-	-
19	712	15	33	50	47	24	107	123	117	216	-	-
20	753	40	49	43	28	45	133	154	104	169	2	-
21	571	47	47	22	39	42	149	90	59	75	1	-
22	502	51	24	31	32	36	143	75	46	62	2	-
23	558	19	24	26	23	28	134	54	20	28	2	-
24	201	13	12	9	16	14	71	29	12	25	-	-
25	108	5	5	5	1	15	44	13	8	12	-	-
26	52	2	1	6	6	6	13	3	5	10	-	-
27	35	-	4	-	2	6	10	2	3	8	-	-
28	9	-	1	3	1	1	2	1	-	-	-	-
29	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
30	5	-	1	-	-	-	3	-	-	1	-	-
31 +	13	1	1	-	1	-	3	-	1	6	-	-
UNKNOWN	15	1	2	1	2	-	1	2	3	3	-	-
TOTAL	5,034	205	220	206	228	252	941	716	749	1,510	7	-

TABLE35-1 First-married Females in Ages 15-59 Years by Number of Induced Abortions, Number of Pregnancies and Age
 妊娠中絶回数，妊娠回数，年齢階級別初婚女子人口（15歳～59歳）
 按人流次数、怀孕次数和年令分初婚女性人口（15岁～59岁）

NO. OF INDUCED ABORTIONS : 0

NO. OF PREGNANCIES	TOTAL	A G E										
		(%)	15-19 (%)	20-24 (%)	25-29 (%)	30-34 (%)	35-39 (%)	40-44 (%)	45-49 (%)	50-54 (%)	55-59 (%)	
0	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
1	1,013 (100.0)	8 (0.8)	353 (35.8)	423 (42.3)	150 (12.8)	17 (1.7)	5 (0.5)	10 (1.0)	11 (1.1)	10 (1.0)		
2	1,055 (100.0)	2 (0.2)	91 (8.6)	344 (32.6)	414 (39.2)	143 (13.6)	23 (2.2)	12 (1.1)	17 (1.6)	9 (0.9)		
3	818 (100.0)	- (-)	17 (2.1)	93 (11.4)	308 (37.7)	250 (30.6)	87 (10.6)	35 (4.3)	10 (1.2)	18 (2.2)		
4	611 (100.0)	- (-)	2 (0.3)	28 (4.6)	114 (18.7)	211 (34.5)	137 (22.4)	66 (10.8)	96 (15.9)	17 (2.8)		
5	547 (100.0)	1 (0.3)	- (-)	1 (0.3)	24 (6.3)	66 (19.0)	106 (35.5)	92 (26.5)	34 (9.8)	23 (6.6)		
6	275 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (1.8)	31 (11.3)	69 (25.1)	62 (22.5)	63 (22.9)	45 (16.4)		
7	159 (100.0)	- (-)	- (-)	1 (0.6)	1 (0.6)	6 (3.8)	16 (10.1)	47 (29.6)	55 (34.6)	33 (20.8)		
8	98 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (4.1)	28 (28.6)	35 (35.7)	31 (31.6)		
9	55 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1.8)	3 (5.5)	7 (12.7)	27 (49.1)	17 (30.9)		
10	19 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (10.5)	10 (52.6)	7 (36.8)		
11	9 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (22.2)	4 (44.4)	3 (33.3)		
12	2 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (100.0)	- (-)		
13	1 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (100.0)		
14	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
15 +	1 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (100.0)	
TOTAL	4,463 (100.0)	11 (0.2)	503 (11.3)	896 (20.1)	956 (22.3)	725 (16.2)	450 (10.1)	363 (8.1)	304 (6.8)	215 (4.8)		

TABLE35-2
NO. OF INDUCED ABORTIONS : 1

NO. OF PREGNANCIES	A G E																			
	TOTAL	(%)	15-19	(%)	20-24	(%)	25-29	(%)	30-34	(%)	35-39	(%)	40-44	(%)	45-49	(%)	50-54	(%)	55-59	(%)
0	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
1	10	(100.0)	-	(-)	8	(80.0)	-	(-)	2	(20.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
2	29	(100.0)	-	(-)	7	(24.1)	14	(48.3)	5	(17.2)	1	(3.4)	2	(6.9)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
3	27	(100.0)	-	(-)	1	(3.7)	4	(14.8)	15	(55.6)	5	(18.5)	1	(3.7)	1	(3.7)	-	(-)	-	(-)
4	20	(100.0)	-	(-)	-	(-)	2	(10.0)	9	(45.0)	4	(20.0)	3	(15.0)	-	(-)	2	(10.0)	-	(-)
5	35	(100.0)	-	(-)	-	(-)	2	(6.1)	8	(24.2)	12	(36.4)	5	(15.2)	-	(-)	2	(6.1)	4	(12.1)
6	25	(100.0)	-	(-)	-	(-)	2	(8.7)	2	(8.7)	2	(8.7)	6	(26.1)	4	(17.4)	4	(17.4)	3	(13.0)
7	18	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(5.6)	6	(35.5)	5	(27.8)	3	(16.7)	3	(16.7)
8	14	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(7.1)	2	(14.3)	2	(14.3)	7	(50.0)	2	(14.3)
9	5	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(20.0)	1	(20.0)	1	(20.0)	2	(40.0)
10	4	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(25.0)	2	(50.0)	1	(25.0)
11	2	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(50.0)	1	(50.0)
12	2	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(50.0)	1	(50.0)
13	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
14	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
15+	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
TOTAL	167	(100.0)	-	(-)	16	(8.6)	24	(12.8)	41	(21.9)	26	(13.9)	26	(13.9)	14	(7.5)	25	(12.5)	17	(9.1)

TABLE35-3
NO. OF INDUCED ABORTIONS : 2

NO. OF PREGNANCIES	A G E																			
	TOTAL	(%)	15-19	(%)	20-24	(%)	25-29	(%)	30-34	(%)	35-39	(%)	40-44	(%)	45-49	(%)	50-54	(%)	55-59	(%)
0	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
1	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
2	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
3	6	(100.0)	-	(-)	-	(-)	5	(83.3)	-	(-)	-	(-)	1	(16.7)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
4	5	(100.0)	-	(-)	-	(-)	2	(66.7)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(33.3)
5	4	(100.0)	-	(-)	-	(-)	1	(25.0)	1	(25.0)	2	(50.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
6	7	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	2	(28.6)	4	(57.1)	1	(14.3)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
7	4	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(25.0)	2	(50.0)	1	(25.0)	-	(-)	-	(-)
8	2	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(50.0)	-	(-)	1	(50.0)	-	(-)	-	(-)
9	5	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(20.0)	1	(20.0)	2	(40.0)	1	(20.0)
10	1	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(100.0)	-	(-)	-	(-)
11	2	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(50.0)	1	(50.0)
12	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
13	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
14	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
15+	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
TOTAL	34	(100.0)	-	(-)	-	(-)	8	(23.5)	5	(8.8)	8	(23.5)	5	(14.7)	4	(11.8)	5	(8.8)	5	(8.8)

TABLE35-4
NO. OF INDUCED ABORTIONS : 3 +

NO. OF PREGNANCIES	A G E																			
	TOTAL	(%)	15-19	(%)	20-24	(%)	25-29	(%)	30-34	(%)	35-39	(%)	40-44	(%)	45-49	(%)	50-54	(%)	55-59	(%)
0	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
1	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
2	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
3	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
4	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
5	1	(100.0)	-	(-)	1	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
6	3	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	2	(66.7)	-	(-)	-	(-)	1	(33.3)	-	(-)	-	(-)
7	1	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
8	3	(100.0)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	1	(33.3)	-	(-)	2	(66.7)	-	(-)	-	(-)
9	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
10	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
11	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
12	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
13	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
14	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
15+	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
TOTAL	8	(100.0)	-	(-)	1	(12.5)	-	(-)	2	(25.0)	2	(25.0)	-	(-)	3	(37.5)	-	(-)	-	(-)

TABLE35-5

NO. OF INDUCED ABORTIONS : TOTAL

NO. OF PREGNANCIES	A G E											
	TOTAL (%)	15-19 (%)	20-24 (%)	25-29 (%)	30-34 (%)	35-39 (%)	40-44 (%)	45-49 (%)	50-54 (%)	55-59 (%)	60-64 (%)	65-69 (%)
0	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
1	1,023 (100.0)	8 (0.8)	401 (39.2)	429 (41.9)	192 (18.9)	17 (1.7)	5 (0.5)	10 (1.0)	11 (1.1)	10 (1.0)		
2	1,084 (100.0)	2 (0.2)	98 (9.0)	358 (33.0)	419 (38.7)	144 (13.3)	25 (2.3)	12 (1.1)	17 (1.6)	9 (0.8)		
3	851 (100.0)	- (-)	18 (2.1)	102 (12.0)	323 (38.0)	255 (30.0)	89 (10.5)	36 (4.2)	10 (1.2)	18 (2.1)		
4	684 (100.0)	- (-)	2 (0.3)	32 (5.0)	123 (19.4)	215 (33.9)	140 (22.1)	66 (10.4)	33 (6.0)	18 (2.8)		
5	385 (100.0)	1 (0.3)	1 (0.3)	4 (1.0)	33 (8.6)	80 (20.8)	111 (28.8)	92 (25.9)	36 (9.4)	27 (7.0)		
6	308 (100.0)	- (-)	- (-)	2 (0.6)	11 (3.6)	37 (12.0)	76 (24.7)	67 (21.8)	67 (21.8)	48 (15.6)		
7	162 (100.0)	- (-)	- (-)	1 (0.5)	1 (0.5)	9 (4.9)	24 (13.2)	53 (23.1)	58 (31.9)	56 (19.8)		
8	117 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (2.6)	6 (5.1)	33 (28.2)	42 (35.9)	33 (28.2)		
9	65 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1.5)	5 (7.7)	9 (13.8)	30 (46.2)	20 (30.8)		
10	24 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	4 (16.7)	12 (50.0)	8 (33.3)		
11	13 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (15.4)	6 (46.2)	5 (38.5)		
12	4 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (75.0)	1 (25.0)		
13	1 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (100.0)		
14	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
15+	1 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (100.0)		
TOTAL	4,092 (100.0)	11 (0.2)	520 (11.1)	928 (19.8)	1,042 (22.2)	781 (16.2)	481 (10.5)	384 (8.2)	330 (7.0)	235 (5.0)		

TABLE36 First-married Females in Ages 15-49 Years With One Child Ever-born by Status of Contraceptive Practice, Reason of Practicing Contraception and Duration between Time of First Live Birth and Time Survey

避妊実行有無別実行理由別第1子出生より調査時までの間隔別既往出生児数1子の初婚女子人口(15~49歳)
按避孕状况、避孕原因和、初次分娩至调查期的胎次间隔时间分初婚女性人口(15岁~49岁)

INTERVAL FROM FIRST LIVE BIRTH	CONTRACEPTION				REASONS OF PRACTICING CONTRACEPTION					
	TOTAL (%)	YES(1) (%)	NO(2) (%)	UNKNOWN (%)	A	B	C	D	E	UNKNOWN
UNDER 1	205 (100.0)	132 (64.4)	73 (35.6)	- (-)	9	107	7	8	-	1
1	211 (100.0)	185 (87.7)	26 (12.3)	- (-)	11	144	8	18	1	9
2	184 (100.0)	177 (91.2)	17 (8.8)	- (-)	18	150	12	16	-	1
3	197 (100.0)	176 (89.3)	21 (10.7)	- (-)	13	132	12	17	1	1
4	139 (100.0)	127 (91.4)	12 (8.6)	- (-)	9	105	6	7	-	-
5-9	233 (100.0)	218 (93.6)	15 (6.4)	- (-)	19	179	8	9	1	2
10-14	21 (100.0)	15 (71.4)	6 (28.6)	- (-)	3	12	-	-	-	-
15-19	4 (100.0)	4 (100.0)	- (-)	- (-)	1	3	-	-	-	-
20-24	5 (100.0)	3 (60.0)	2 (40.0)	- (-)	-	2	-	-	-	1
25-29	4 (100.0)	2 (50.0)	2 (50.0)	- (-)	-	2	-	-	-	-
30+	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	2 (100.0)	2 (100.0)	- (-)	- (-)	-	1	1	-	-	-
TOTAL	1,215 (100.0)	1,041 (85.7)	174 (14.3)	- (-)	85	817	54	75	3	9

A : DO NOT WISH TO HAVE CHILDREN
B : FOLLOWING PUBLIC POLICY
C : FOLLOWING EVERYBODYS PRACTICE
D : BIRTH SPACING
E : OTHERS

TABLE37 First-married Females in Ages 15-49 Years With One Child Ever-born by Status of Contraceptive Practice, Reason of Practicing Contraceptions and Duration between Time of Second Live Birth and Survey Time

避妊実行有無別実行理由別第2子出生より調査時までの間隔別既往出生児数1子の初婚女子人口(15歳~49歳)
按避孕状况、避孕原因和第二胎分娩至调查期的胎次间隔时间分初婚女性人口(15岁~49岁)

INTERVAL FROM SECOND LIVE BIRTH	CONTRACEPTION				REASONS OF PRACTICING CONTRACEPTION					
	TOTAL (%)	YES(1) (%)	NO(2) (%)	UNKNOWN (%)	A	B	C	D	E	UNKNOWN
UNDER 1	47 (100.0)	36 (76.6)	11 (23.4)	- (-)	13	21	2	-	-	-
1	60 (100.0)	56 (93.3)	4 (6.7)	- (-)	22	30	3	1	-	-
2	76 (100.0)	72 (94.7)	4 (5.3)	- (-)	32	37	2	-	-	1
3	114 (100.0)	112 (98.2)	2 (1.8)	- (-)	56	49	4	-	1	2
4	103 (100.0)	100 (97.1)	3 (2.9)	- (-)	38	58	4	2	-	-
5-9	460 (100.0)	454 (98.7)	5 (1.1)	1 (0.2)	189	254	6	-	1	4
10-14	164 (100.0)	161 (98.2)	3 (1.8)	- (-)	83	74	1	-	-	3
15-19	26 (100.0)	22 (84.6)	4 (15.4)	- (-)	14	8	-	-	-	-
20-24	4 (100.0)	3 (75.0)	1 (25.0)	- (-)	1	2	-	-	-	-
25-29	1 (100.0)	1 (100.0)	- (-)	- (-)	1	-	-	-	-	-
30+	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	3 (100.0)	2 (66.7)	1 (33.3)	- (-)	-	2	-	-	-	-
TOTAL	1,058 (100.0)	1,019 (96.3)	38 (3.6)	1 (0.1)	449	533	22	3	2	10

A : DO NOT WISH TO HAVE CHILDREN
B : FOLLOWING PUBLIC POLICY
C : FOLLOWING EVERYBODYS PRACTICE
D : BIRTH SPACING
E : OTHERS

TABLE38 First-married Females in Ages 15-59 Years by Number of Children Ever-born and Age
既往出生児数別年齢階級別初婚女子人口(15歳~59歳)
按出生子女数和年令分初婚女性人口(15岁~59岁)

AGE	TOTAL	MEAN	NO. OF CHILDREN EVER BORN						
			0 (%)	1 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)	5 (%)	6+ (%)
15 - 19	28 (0.6)	0.54	17 (5.3)	10 (0.8)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.3)	- (-)
20 - 24	731 (14.5)	0.79	216 (67.5)	400 (37.2)	48 (4.4)	5 (0.6)	2 (0.3)	- (-)	- (-)
25 - 29	979 (19.4)	1.44	44 (13.8)	545 (44.0)	315 (29.0)	68 (8.2)	8 (1.3)	- (-)	1 (0.2)
30 - 34	1,064 (21.1)	2.30	20 (6.3)	163 (13.2)	488 (44.9)	281 (34.8)	96 (16.0)	15 (4.1)	1 (0.2)
35 - 39	774 (15.4)	3.26	6 (1.9)	19 (1.5)	166 (15.3)	281 (34.8)	212 (35.4)	61 (16.8)	23 (4.7)
40 - 44	491 (9.8)	4.24	4 (1.3)	8 (0.6)	27 (2.5)	103 (12.8)	147 (24.5)	115 (31.7)	87 (14.0)
45 - 49	368 (7.7)	5.10	3 (0.9)	10 (0.8)	14 (1.3)	37 (4.6)	73 (12.2)	103 (28.4)	149 (23.9)
50 - 54	341 (6.8)	5.86	8 (2.5)	12 (1.0)	19 (1.7)	15 (1.9)	37 (6.2)	38 (10.5)	212 (34.2)
55 - 59	238 (4.7)	5.67	2 (0.6)	11 (0.9)	10 (0.9)	19 (2.4)	24 (4.0)	50 (8.3)	142 (22.9)
TOTAL	5,034 (100.0)	2.67	320 (100.0)	1,238 (100.0)	1,687 (100.0)	607 (100.0)	599 (100.0)	363 (100.0)	620 (100.0)

TABLE39 First-married Females in Ages 15-59 Years by Number of Living Children and Age
現存児数別年齢階級別初婚女子人口(15歳~59歳)
按现有子女状况和年令分初婚女性人口(15岁~59岁)

AGE	TOTAL (%)	MEAN	NO. OF LIVING CHILDREN						
			0 (%)	1 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)	5 (%)	6+ (%)
15 - 19	28 (0.6)	0.54	17 (4.8)	10 (0.8)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (0.3)	- (-)
20 - 24	731 (14.5)	0.77	224 (63.1)	455 (86.1)	48 (4.2)	3 (0.4)	1 (0.2)	- (-)	- (-)
25 - 29	979 (19.4)	1.40	52 (14.6)	556 (44.2)	338 (27.1)	58 (7.0)	4 (0.7)	1 (0.3)	- (-)
30 - 34	1,064 (21.1)	2.23	26 (7.3)	175 (13.9)	500 (44.0)	271 (32.5)	78 (12.8)	13 (3.7)	- (-)
35 - 39	774 (15.4)	3.11	9 (2.5)	21 (1.7)	187 (16.4)	233 (35.2)	201 (32.7)	47 (13.4)	16 (3.3)
40 - 44	491 (9.8)	4.00	4 (1.1)	10 (0.8)	33 (2.9)	124 (14.9)	156 (25.4)	110 (31.3)	54 (11.2)
45 - 49	368 (7.7)	4.66	7 (2.0)	10 (0.8)	22 (1.9)	53 (4.7)	100 (16.3)	96 (27.3)	114 (23.6)
50 - 54	341 (6.8)	5.33	12 (3.4)	11 (0.9)	24 (2.1)	19 (2.3)	41 (6.7)	53 (15.1)	181 (37.5)
55 - 59	238 (4.7)	5.16	4 (1.1)	11 (0.9)	15 (1.3)	26 (3.1)	33 (5.4)	31 (8.8)	118 (24.4)
TOTAL	5,034 (100.0)	2.63	355 (100.0)	1,259 (100.0)	1,137 (100.0)	833 (100.0)	615 (100.0)	352 (100.0)	483 (100.0)

TABLE40 First-married Females by Number of Living Children and Method of Contraception
現存児数別避妊実行之方法別初婚女子人口(15歳~49歳)
按现有子女数和避孕方法分初婚女性人口(15岁~49岁)

CONTRACEPTIVE METHOD (MULTI-ANS.)	TOTAL (%)	0 (%)	NO. OF LIVING CHILDREN					
			1 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)	5 (%)	6+ (%)
1	7 (0.2)	- (-)	- (-)	3 (0.3)	1 (0.1)	2 (0.4)	- (-)	1 (0.7)
2	1,850 (48.5)	7 (25.9)	28 (2.6)	663 (63.0)	572 (74.2)	358 (70.3)	144 (60.0)	78 (52.7)
3	4 (0.1)	- (-)	3 (0.3)	- (-)	- (-)	1 (0.2)	- (-)	- (-)
4	38 (1.0)	1 (3.7)	27 (2.5)	5 (0.5)	2 (0.3)	1 (0.2)	2 (0.8)	- (-)
5	1,743 (45.7)	17 (63.0)	606 (63.7)	350 (33.2)	184 (23.9)	136 (26.7)	93 (38.8)	67 (45.3)
6	141 (3.7)	2 (7.4)	101 (9.4)	26 (2.5)	7 (0.9)	5 (1.0)	- (-)	- (-)
7	9 (0.2)	- (-)	3 (0.3)	1 (0.1)	2 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.4)	1 (0.7)
UNKNOWN	26 (0.7)	- (-)	12 (1.1)	5 (0.5)	3 (0.4)	5 (1.0)	- (-)	1 (0.7)
TOTAL	3,818 (100.0)	27 (100.0)	1,070 (100.0)	1,053 (100.0)	771 (100.0)	509 (100.0)	240 (100.0)	148 (100.0)

TABLE41 Married Females in Ages 15-59 Years with One Child Ever-born or more by Status of Contraceptive Practice Prior to First Live Birth
 第1子までの避妊実行有無別年齢階級別既往児数1子以上の有配偶女子人口(15歳~59歳)
 按至初次分娩的避孕状况和年令分出生一个子女以上的有配偶的女性人口(15岁~59岁)

AGE	PRACTICING CONTRACEPTIVES			
	TOTAL (%)	YES(1) (%)	NO(2) (%)	UNKNOWN (%)
15 ~ 19	11 (100.0)	- (-)	11 (100.0)	- (-)
20 ~ 24	519 (100.0)	21 (4.0)	488 (94.0)	10 (1.9)
25 ~ 29	841 (100.0)	27 (2.9)	806 (95.2)	18 (1.9)
30 ~ 34	1,062 (100.0)	19 (1.8)	1,023 (96.3)	20 (1.9)
35 ~ 39	785 (100.0)	7 (0.9)	763 (97.2)	15 (1.9)
40 ~ 44	508 (100.0)	3 (0.6)	484 (97.2)	11 (2.2)
45 ~ 49	410 (100.0)	4 (1.0)	402 (98.0)	4 (1.0)
50 ~ 54	354 (100.0)	1 (0.3)	323 (92.9)	24 (6.8)
55 ~ 59	250 (100.0)	2 (0.8)	237 (94.8)	11 (4.4)
TOTAL	4,840 (100.0)	84 (1.7)	4,643 (95.9)	113 (2.3)

TABLE42 Married Females in Ages 15-59 Years with One Child Ever-born or more by Status of Contraceptive Practice and Duration between Marriage and First Live Birth
 第1子までの避妊実行有無別結婚より第1子出生期間別既往児数1子以上の有配偶女子人口(15~59歳)
 按至初次分娩的避孕状况、初婚至初次分娩的间隔时间分出生一个子女以上的有配偶的女性人口(15岁~59岁)

INTERVAL FROM FIRST LIVE BIRTH	PRACTICING CONTRACEPTIVES			
	TOTAL (%)	YES(1) (%)	NO(2) (%)	UNKNOWN (%)
UNDER 1	1,582 (100.0)	18 (1.1)	1,537 (97.2)	27 (1.7)
1	2,106 (100.0)	32 (1.5)	2,022 (96.0)	52 (2.5)
2	578 (100.0)	18 (3.1)	541 (93.6)	19 (3.3)
3	247 (100.0)	8 (3.2)	234 (94.7)	5 (2.0)
4	120 (100.0)	5 (4.2)	111 (92.5)	4 (3.3)
5 ~ 9	155 (100.0)	3 (1.9)	149 (95.5)	4 (2.6)
10 ~ 14	36 (100.0)	- (-)	35 (97.2)	1 (2.8)
15 ~ 19	8 (100.0)	- (-)	8 (100.0)	- (-)
20 ~ 24	3 (100.0)	- (-)	2 (66.7)	1 (33.3)
25 ~ 29	2 (100.0)	- (-)	2 (100.0)	- (-)
30 +	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
UNKNOWN	2 (100.0)	- (-)	2 (100.0)	- (-)
TOTAL	4,840 (100.0)	84 (1.7)	4,643 (95.9)	113 (2.3)

TABLE43 Married Females in Ages 15-49 Years by Desire to Live with Children after Retirement and Age
 老後の同居希望別年齢階級別有配偶女子人口(15歳~49歳)
 按晚年是否希望与子女共同生活和年令分有配偶的女性人口(15岁~49岁)

AGE	WHETHER DESIRING TO LIVE WITH CHILDREN OR NOT					UNKNOWN (%)
	TOTAL (%)	1 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)	
15 ~ 19	28 (100.0)	11 (39.3)	- (-)	3 (10.7)	14 (50.0)	- (-)
20 ~ 24	738 (100.0)	349 (47.3)	3 (0.4)	84 (11.4)	296 (40.1)	6 (0.8)
25 ~ 29	988 (100.0)	615 (62.2)	13 (1.3)	110 (11.1)	245 (24.8)	5 (0.5)
30 ~ 34	1,084 (100.0)	687 (63.4)	22 (2.0)	148 (13.7)	221 (20.4)	6 (0.6)
35 ~ 39	792 (100.0)	562 (71.0)	14 (1.8)	98 (12.4)	115 (14.5)	3 (0.4)
40 ~ 44	513 (100.0)	364 (71.0)	21 (4.1)	45 (8.8)	80 (15.6)	3 (0.6)
45 ~ 49	413 (100.0)	327 (79.2)	15 (3.6)	41 (9.9)	30 (7.3)	- (-)
TOTAL	4,556 (100.0)	2,915 (64.0)	88 (1.9)	529 (11.6)	1,001 (22.0)	23 (0.5)

A : YES
 B : NO
 C : NOT DECIDED
 D : NOT THINKING

TABLE44 Married Females in Ages 15-49 Years by Age and Opinion about Children's Supporting Parents in Old Age
 父母の扶養別年齢階級別有配偶女子人口(15歳~49歳)
 按对子女抚养父母的看法和年令分有配偶的女性人口(15岁~49岁)

AGE	OPINIONS ABOUT CHILDRENS SUPPORTING PARENTS IN OLD AGE						
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	UNKNOWN (%)
15-19	28 (100.0)	7 (25.0)	19 (67.9)	- (-)	- (-)	2 (7.1)	- (-)
20-24	738 (100.0)	185 (25.1)	520 (70.5)	9 (1.2)	1 (0.1)	17 (2.3)	6 (0.8)
25-29	888 (100.0)	208 (21.1)	743 (75.2)	13 (1.3)	2 (0.2)	15 (1.5)	7 (0.7)
30-34	1,684 (100.0)	202 (18.6)	838 (77.3)	12 (1.1)	1 (0.1)	23 (2.1)	8 (0.7)
35-39	792 (100.0)	158 (19.9)	615 (77.7)	6 (0.8)	- (-)	9 (1.1)	4 (0.5)
40-44	513 (100.0)	106 (20.7)	391 (76.2)	3 (0.6)	1 (0.2)	8 (1.6)	4 (0.8)
45-49	413 (100.0)	101 (24.5)	302 (75.1)	6 (1.5)	3 (0.7)	1 (0.2)	- (-)
TOTAL	4,556 (100.0)	567 (21.2)	3,428 (75.2)	43 (1.1)	8 (0.2)	75 (1.6)	29 (0.6)

A: GOOD CUSTOM B: OBLIGATION C: NECESSITY D: NOT GOOD E: OTHERS

TABLE45 Married Females in Ages 15-49 Years by Age and Heir to Property
 財産相続別年齢階級別有配偶女子人口(15歳~49歳)
 按继承遗产的一事和年令分有配偶的女性人口(15岁~49岁)

AGE	INHERITANCE OF PROPERTY							
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	UNKNOWN (%)
15-19	28 (100.0)	2 (7.1)	2 (7.1)	1 (3.6)	9 (32.1)	14 (50.0)	- (-)	- (-)
20-24	738 (100.0)	55 (7.5)	145 (19.6)	32 (4.3)	199 (27.0)	291 (39.4)	6 (0.8)	10 (1.4)
25-29	888 (100.0)	110 (11.1)	234 (29.8)	71 (7.2)	271 (27.4)	232 (23.5)	4 (0.4)	6 (0.6)
30-34	1,684 (100.0)	79 (7.3)	346 (31.9)	107 (8.9)	366 (33.8)	178 (16.4)	3 (0.3)	5 (0.5)
35-39	792 (100.0)	59 (7.4)	277 (35.0)	57 (7.2)	279 (35.2)	111 (14.0)	4 (0.5)	5 (0.6)
40-44	513 (100.0)	33 (6.4)	157 (30.6)	30 (5.8)	208 (40.5)	79 (15.4)	1 (0.2)	5 (1.0)
45-49	413 (100.0)	25 (6.1)	128 (31.0)	16 (3.9)	191 (46.2)	53 (12.8)	- (-)	- (-)
TOTAL	4,556 (100.0)	363 (8.0)	1,349 (29.6)	314 (6.9)	1,523 (33.4)	958 (21.0)	18 (0.4)	31 (0.7)

A: TO ELDEST CHILD B: TO SON(S) C: TO ALL CHILDREN D: TO CHILD(REN) WHO SUPPORT PARENTS
 E: NO PARTICULAR OPINION F: OTHERS

TABLE46 Married Females in Ages 15-49 Years by Age and Value of Children
 子供の価値別年齢階級別有配偶女子人口(15歳~49歳)
 按对子女的看法和年令分有配偶的女性人口(15岁~49岁)

AGE	THE GOOD AND BAD POINT OF HAVING CHILDREN (MULTIPLE ANSWER)							
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	UNKNOWN (%)
15-19	39 (100.0)	11 (28.2)	8 (20.5)	13 (33.3)	6 (15.4)	- (-)	1 (2.6)	- (-)
20-24	986 (100.0)	292 (29.6)	83 (8.4)	405 (41.1)	146 (14.8)	49 (5.0)	3 (0.3)	8 (0.8)
25-29	1,359 (100.0)	360 (26.5)	102 (7.5)	599 (44.1)	224 (16.5)	63 (4.6)	3 (0.2)	8 (0.6)
30-34	1,563 (100.0)	266 (17.0)	164 (10.5)	748 (47.9)	300 (19.2)	73 (4.7)	7 (0.4)	5 (0.3)
35-39	1,176 (100.0)	171 (14.5)	141 (12.0)	580 (47.6)	241 (20.5)	57 (4.8)	5 (0.4)	1 (0.1)
40-44	784 (100.0)	114 (14.5)	94 (12.0)	342 (43.6)	191 (24.4)	55 (4.5)	2 (0.3)	6 (0.8)
45-49	613 (100.0)	78 (12.7)	76 (12.4)	290 (47.3)	137 (22.3)	29 (4.7)	1 (0.2)	2 (0.3)
TOTAL	6,520 (100.0)	1,252 (19.8)	669 (10.2)	2,957 (45.4)	1,245 (19.1)	306 (4.7)	22 (0.3)	30 (0.5)

TABLE47 Married Females in Ages 15-49 Years by Ideal Number of Children and Number of Living Children
理想子女数別現存兒數別有配偶女子人口(15歲~49歲)
按希望生育子女数和现有子女数分有配偶的女性人口(15岁~49岁)

NO. OF CHILDREN ALIVE	NO. OF CHILDREN IDEAL										
	TOTAL (%)	MEAN	0 (%)	1 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)	5 (%)	6+ (%)	UNKNOWN (%)	
0 OR UNKNOWN	351 (100.0)	1.71	- (-)	105 (29.3)	237 (67.5)	2 (0.6)	2 (0.6)	- (-)	- (-)	5 (1.4)	
1	1,248 (100.0)	1.77	- (-)	509 (24.8)	523 (74.0)	12 (1.0)	4 (0.3)	- (-)	- (-)	- (-)	
2	1,120 (100.0)	1.97	- (-)	72 (6.4)	1,016 (90.6)	22 (2.0)	10 (0.9)	- (-)	- (-)	1 (0.1)	
3	806 (100.0)	2.06	- (-)	97 (12.0)	571 (70.8)	124 (15.4)	12 (1.5)	- (-)	- (-)	2 (0.2)	
4	557 (100.0)	2.03	- (-)	75 (13.5)	435 (78.1)	9 (1.6)	35 (6.3)	2 (0.4)	1 (0.2)	- (-)	
5	281 (100.0)	2.07	- (-)	39 (13.9)	208 (74.0)	17 (6.0)	9 (3.2)	8 (2.8)	- (-)	- (-)	
6	122 (100.0)	2.07	- (-)	16 (13.1)	80 (73.8)	7 (5.7)	7 (5.7)	1 (0.8)	- (-)	1 (0.8)	
7	49 (100.0)	2.18	- (-)	4 (8.2)	39 (79.6)	3 (6.1)	2 (4.1)	- (-)	1 (2.0)	- (-)	
8	16 (100.0)	2.25	- (-)	2 (12.5)	11 (68.8)	- (-)	3 (18.8)	- (-)	- (-)	- (-)	
9	5 (100.0)	1.60	- (-)	2 (40.0)	3 (60.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
10	1 (100.0)	2.00	- (-)	- (-)	1 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
11 +	- (-)	-	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
TOTAL	4,556 (100.0)	1.93	- (-)	721 (15.8)	3,533 (77.5)	186 (4.3)	84 (1.8)	11 (0.2)	2 (0.0)	9 (0.2)	

TABLE48 Married Females in Ages 15-49 Years with One Child Ever-born Alive by Age and Receipt of One-child Certification
1人っ子証有無別年齡階級別既往兒數1人の有配偶女子人口(15歲~49歲)
按独生子女证和年令分出生一个子女的有配偶的女性人口(15岁~49岁)

AGE	RECEIPT OF ONE-CHILD CERTIFICATION				A : YES B : NO
	TOTAL (%)	A (%)	B (%)	UNKNOWN (%)	
15 - 19	10 (100.0)	6 (60.0)	4 (40.0)	- (-)	
20 - 24	463 (100.0)	218 (53.6)	191 (41.3)	24 (5.2)	
25 - 29	546 (100.0)	323 (59.2)	196 (35.9)	27 (4.9)	
30 - 34	169 (100.0)	107 (63.3)	52 (30.8)	10 (5.9)	
35 - 39	21 (100.0)	15 (71.4)	4 (19.0)	2 (9.5)	
40 - 44	9 (100.0)	4 (44.4)	4 (44.4)	1 (11.1)	
45 - 49	10 (100.0)	2 (20.0)	6 (60.0)	2 (20.0)	
TOTAL	1,228 (100.0)	705 (57.4)	457 (37.2)	66 (5.4)	

TABLE49-1 First-married Females in Ages 15-49 Years by Income in 1984, Number of Children Ever-born and Duration of Marriage
1984年分収入額別既往出生兒數別結婚期間別初婚女子人口(15歲~49歲)
按1984年的总收入、胎次和结婚期间分初婚女性人口(15岁~49岁)

DURATION OF MARRIAGE (YEARS)	NO. OF CHILDREN EVER BORN												
	TOTAL (%)	0 (%)	1 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)	5 (%)	6 (%)	7 (%)	8 (%)	9 (%)	10 (%)	11- (%)
UNDER 1	83 (100.0)	74 (89.2)	6 (7.2)	- (-)	1 (1.2)	1 (1.2)	1 (1.2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
1	129 (100.0)	90 (70.2)	9 (7.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
2	130 (100.0)	9 (6.9)	116 (89.2)	4 (3.1)	1 (0.8)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
3	144 (100.0)	6 (4.2)	119 (82.6)	18 (12.5)	1 (0.7)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
4	158 (100.0)	6 (3.8)	119 (75.3)	31 (19.6)	1 (1.3)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
5 - 9	587 (100.0)	8 (1.4)	230 (39.2)	296 (50.4)	45 (7.7)	8 (1.4)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
10 - 14	410 (100.0)	4 (1.0)	25 (6.1)	202 (49.3)	144 (35.1)	33 (8.0)	2 (0.5)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
15 - 19	363 (100.0)	3 (0.8)	10 (2.8)	85 (23.4)	145 (39.9)	89 (24.5)	26 (7.2)	5 (1.4)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
20 - 24	178 (100.0)	5 (2.8)	5 (2.8)	10 (5.6)	50 (28.1)	54 (30.3)	37 (20.8)	15 (8.4)	2 (1.1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
25 - 29	118 (100.0)	2 (1.7)	6 (5.1)	4 (3.4)	14 (11.9)	25 (21.2)	34 (28.8)	23 (19.5)	7 (5.9)	2 (1.7)	- (-)	1 (0.8)	- (-)
30 +	56 (100.0)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (2.8)	6 (16.7)	7 (19.4)	8 (22.2)	7 (19.4)	5 (13.9)	1 (2.8)	1 (2.8)	- (-)
UNKNOWN	3 (100.0)	1 (33.3)	2 (66.7)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
TOTAL	2,339 (100.0)	148 (6.3)	737 (31.5)	650 (27.8)	404 (17.3)	216 (9.2)	107 (4.6)	51 (2.2)	16 (0.7)	7 (0.3)	1 (0.0)	2 (0.1)	- (-)

TABLE49-2

INCOME IN 1984 : 2000~
(Rmb)

DURATION OF MARRIAGE (YEARS)	NO. OF CHILDREN EVER BORN												
	TOTAL (%)	0 (%)	1 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)	5 (%)	6 (%)	7 (%)	8 (%)	9 (%)	10 (%)	11- (%)
UNDER 1	114 (100.0)	107 (93.9)	7 (6.1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	86 (100.0)	17 (19.8)	69 (80.2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	75 (100.0)	8 (10.7)	66 (88.0)	1 (1.3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	83 (100.0)	6 (7.2)	70 (84.3)	7 (8.4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	92 (100.0)	3 (3.3)	72 (78.3)	17 (18.5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 ~ 9	349 (100.0)	4 (1.1)	152 (43.6)	155 (44.4)	37 (10.6)	-	-	1 (0.3)	-	-	-	-	-
10 ~ 14	306 (100.0)	4 (1.3)	20 (6.5)	138 (45.1)	96 (31.4)	45 (14.7)	2 (0.7)	1 (0.3)	-	-	-	-	-
15 ~ 19	383 (100.0)	2 (0.5)	3 (0.8)	63 (16.4)	156 (40.7)	110 (28.7)	38 (9.9)	9 (2.3)	2 (0.5)	-	-	-	-
20 ~ 24	321 (100.0)	2 (0.6)	4 (1.2)	14 (4.4)	56 (17.4)	120 (37.4)	78 (24.6)	33 (10.3)	10 (3.1)	2 (0.6)	1 (0.3)	-	-
25 ~ 29	213 (100.0)	-	2 (0.9)	6 (2.8)	21 (9.9)	40 (18.8)	59 (27.7)	48 (22.5)	24 (11.3)	9 (4.2)	4 (1.9)	-	-
30 +	63 (100.0)	-	-	-	3 (4.8)	7 (11.1)	10 (15.9)	12 (19.0)	15 (23.8)	12 (19.0)	3 (4.8)	-	1 (1.6)
UNKNOWN	4 (100.0)	1 (25.0)	3 (75.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	2,083 (100.0)	154 (7.4)	468 (22.4)	401 (19.2)	569 (27.3)	322 (15.4)	168 (8.0)	104 (5.0)	51 (2.4)	23 (1.1)	8 (0.4)	-	1 (0.0)

TABLE49-3

INCOME IN 1984 : UNKNOWN
(Rmb)

DURATION OF MARRIAGE (YEARS)	NO. OF CHILDREN EVER BORN												
	TOTAL (%)	0 (%)	1 (%)	2 (%)	3 (%)	4 (%)	5 (%)	6 (%)	7 (%)	8 (%)	9 (%)	10 (%)	11- (%)
UNDER 1	8 (100.0)	7 (87.5)	1 (12.5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	5 (100.0)	1 (20.0)	3 (60.0)	1 (20.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	1 (100.0)	-	1 (100.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	1 (100.0)	-	1 (100.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	2 (100.0)	-	2 (100.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 ~ 9	5 (100.0)	-	2 (40.0)	3 (60.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10 ~ 14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	3 (100.0)	-	-	3 (100.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 ~ 24	1 (100.0)	-	-	-	-	-	-	1 (100.0)	-	-	-	-	-
25 ~ 29	1 (100.0)	-	-	-	-	-	-	1 (100.0)	-	-	-	-	-
30 +	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	27 (100.0)	8 (29.6)	10 (37.0)	7 (25.9)	-	-	-	2 (7.4)	-	-	-	-	-

TABLE49-4

DURATION OF MARRIAGE (YEARS)	INCOME IN 1984 (Rmb)		NO. OF CHILDREN EVER BORN											
	TOTAL (¥)	MEAN (¥)	0 (¥)	1 (¥)	2 (¥)	3 (¥)	4 (¥)	5 (¥)	6 (¥)	7 (¥)	8 (¥)	9 (¥)	10 (¥)	11+ (¥)
UNDER 1	205 (100.0)	188 (81.7)	14 (6.8)	-	-	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	-	-	-	-	-	-
1	220 (100.0)	48 (21.8)	171 (77.7)	1 (0.5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	206 (100.0)	17 (8.3)	183 (88.8)	5 (2.4)	1 (0.5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	228 (100.0)	12 (5.3)	180 (83.3)	25 (11.0)	1 (0.4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	252 (100.0)	9 (3.6)	193 (76.6)	48 (19.0)	2 (0.8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 ~ 9	941 (100.0)	12 (1.3)	384 (40.8)	454 (48.2)	82 (8.7)	8 (0.9)	-	1 (0.1)	-	-	-	-	-	-
10 ~ 14	716 (100.0)	8 (1.1)	45 (6.3)	340 (47.5)	240 (33.5)	78 (10.9)	4 (0.6)	1 (0.1)	-	-	-	-	-	-
15 ~ 19	749 (100.0)	5 (0.7)	13 (1.7)	151 (20.2)	301 (40.2)	189 (26.6)	64 (8.5)	14 (1.9)	2 (0.3)	-	-	-	-	-
20 ~ 24	500 (100.0)	7 (1.4)	9 (1.8)	24 (4.8)	106 (21.2)	174 (34.8)	116 (23.2)	49 (9.8)	12 (2.4)	2 (0.4)	1 (0.2)	-	-	-
25 ~ 29	332 (100.0)	2 (0.6)	8 (2.4)	10 (3.0)	35 (10.5)	65 (19.6)	93 (28.0)	72 (21.7)	31 (9.3)	11 (3.3)	4 (1.2)	1 (0.3)	-	-
30 +	59 (100.0)	-	-	-	4 (4.0)	13 (13.1)	17 (17.2)	20 (20.2)	22 (22.2)	17 (17.2)	4 (4.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	-
UNKNOWN	7 (100.0)	2 (28.6)	5 (71.4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	4,455 (100.0)	310 (7.0)	1,215 (27.3)	1,058 (23.7)	773 (17.4)	558 (12.1)	235 (6.6)	157 (3.5)	67 (1.5)	30 (0.7)	9 (0.2)	2 (0.0)	1 (0.0)	-

TABLE50 First-married Females in Ages 15-59 Years by Number of Living Children and Level of Education
 現存兒數別教育程度別初婚女子人口(15歲~59歲)
 按現有子女數和文化程度分初婚女性人口(15歲~59歲)

LEVEL OF EDUCATION	NO. OF LIVING CHILDREN													
	TOTAL (¥)	MEAN (¥)	0 (¥)	1 (¥)	2 (¥)	3 (¥)	4 (¥)	5 (¥)	6 (¥)	7 (¥)	8 (¥)	9 (¥)	10 (¥)	11+ (¥)
A	1,282 (100.0)	3.56	42 (3.4)	118 (9.6)	205 (16.6)	194 (15.7)	204 (16.6)	161 (13.1)	128 (10.4)	94 (7.6)	58 (4.7)	20 (1.6)	8 (0.6)	-
B	338 (100.0)	3.37	7 (2.1)	51 (15.1)	72 (21.3)	68 (19.5)	52 (15.4)	38 (10.7)	33 (9.8)	19 (5.8)	5 (1.5)	2 (0.6)	1 (0.3)	-
C	2,256 (100.0)	2.46	153 (6.0)	584 (25.9)	575 (25.5)	433 (19.2)	294 (13.0)	134 (5.9)	64 (2.8)	25 (1.1)	6 (0.3)	5 (0.2)	1 (0.0)	-
D	862 (100.0)	1.72	140 (14.6)	358 (37.2)	245 (25.5)	124 (12.9)	57 (5.9)	20 (2.1)	16 (1.7)	2 (0.2)	-	-	-	-
E	230 (100.0)	1.27	31 (13.5)	141 (61.3)	38 (16.5)	12 (5.2)	5 (2.2)	1 (0.4)	1 (0.4)	-	-	1 (0.4)	-	-
F	2 (100.0)	2.00	-	1 (50.0)	-	1 (50.0)	-	-	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	14 (100.0)	2.21	-	6 (42.9)	2 (14.3)	3 (21.4)	3 (21.4)	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	5,034 (100.0)	2.63	355 (7.1)	1,259 (25.0)	1,137 (22.6)	833 (16.5)	615 (12.2)	352 (7.0)	242 (4.8)	134 (2.7)	69 (1.4)	28 (0.6)	10 (0.2)	-

A : ILLITERATE B : SEMI-ILLITERATE C : ELEMENTARY D : MIDDLE SCHOOL E : HIGH SCHOOL F : UNIVERSITY

TABLE51 First-married Females in Ages 15-59 Years by Number of Living Children and Income in 1984
 現存兒數別1984年分收入額別初婚女子人口(15~59歲)
 按現有子女數和1984年的總收入分初婚女性人口(15歲~59歲)

INCOME IN 1984 (Rmb)	NO. OF LIVING CHILDREN													
	TOTAL	MEAN	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11+
0 ~ 999	637	2.05	71	256	184	99	57	22	15	7	4	1	1	-
1000 ~ 1999	1,693	2.49	105	526	510	332	185	102	73	36	22	7	1	-
2000 ~ 2999	1,191	2.88	73	257	265	150	173	99	62	32	22	9	3	-
3000 ~ 3999	645	3.16	49	120	102	110	114	54	43	34	13	5	1	-
4000 ~ 4999	263	3.25	17	48	42	42	45	29	24	9	2	2	3	-
5000 +	307	3.31	25	62	27	59	40	45	23	15	6	4	1	-
UNKNOWN	32	1.72	9	10	7	1	1	1	2	1	-	-	-	-
TOTAL	5,034	2.63	355	1,259	1,137	833	615	352	242	134	69	28	10	-

A : ILLITERATE B : SEMI-ILLITERATE C : ELEMENTARY D : MIDDLE SCHOOL E : HIGH SCHOOL F : UNIVERSITY

TABLE52 Married Female, in Ages 15-59 Years by Ideal Number of Children and Level of Education
理想子女数别教育程度别有配偶女子人口(15~59岁)
按希望生育子女数和文化程度分有配偶女性人口(15岁~59岁)

LEVEL OF EDUCATION	TOTAL	MEAN	IDEAL NO. OF CHILDREN												
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11+	UNKNOWN
A	1,281	2.00	-	171	1,001	68	31	8	2	-	2	-	-	-	8
B	847	2.00	-	58	281	19	9	-	-	-	-	-	-	-	-
C	2,501	1.84	-	317	1,802	100	43	5	-	1	-	-	-	-	3
D	886	1.88	-	183	755	32	14	1	-	-	-	-	-	-	1
E	233	1.81	-	51	176	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
F	2	2.50	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
UNKNOWN	14	1.93	-	4	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
TOTAL	5,174	1.94	-	794	4,024	226	93	14	2	1	2	-	-	-	12

A: ILLITERATE B: SEMI-ILLITERATE C: ELEMENTARY SCHOOL D: MIDDLE SCHOOL E: HIGH SCHOOL G: UNIVERSITY

TABLE53-1 Married Females in Ages 15-49 Years by Age, Occupation and Ideal Number of Children
職業別理想子女数別年齡階級别有配偶女子人口(15~49岁)
按职业、希望生育子女数和年龄分有配偶女性人口(15岁~49岁)

OCCUPATION: FARMER

AGE	TOTAL	MEAN	IDEAL NO. OF CHILDREN								
			0	1	2	3	4	5	6+	UNKNOWN	
15 ~ 19	27	1.70	-	8	19	-	-	-	-	-	-
20 ~ 24	675	1.74	-	183	486	5	1	-	-	-	-
25 ~ 29	888	1.87	-	148	723	20	6	-	-	1	-
30 ~ 34	972	1.98	-	118	777	51	21	2	-	3	-
35 ~ 39	710	2.02	-	86	546	58	13	1	1	-	-
40 ~ 44	461	2.03	-	67	356	34	17	5	-	2	-
45 ~ 49	372	2.02	-	53	282	17	15	3	1	1	-
TOTAL	4,115	1.93	-	663	3,169	185	78	11	2	7	-

TABLE53-2

OCCUPATION: OTHERS

AGE	TOTAL	MEAN	IDEAL NO. OF CHILDREN								
			0	1	2	3	4	5	6+	UNKNOWN	
15 ~ 19	1	2.00	-	-	1	-	-	-	-	-	-
20 ~ 24	63	1.89	-	10	51	1	1	-	-	-	-
25 ~ 29	90	1.88	-	12	77	1	-	-	-	-	-
30 ~ 34	112	1.98	-	13	90	7	2	-	-	-	-
35 ~ 39	82	1.91	-	10	70	1	1	-	-	-	-
40 ~ 44	52	1.94	-	6	42	1	1	-	-	2	-
45 ~ 49	41	1.88	-	7	33	-	1	-	-	-	-
TOTAL	441	1.92	-	58	364	11	6	-	-	2	-

TABLE53-3

OCCUPATION: TOTAL

AGE	TOTAL	MEAN	IDEAL NO. OF CHILDREN								
			0	1	2	3	4	5	6+	UNKNOWN	
15 ~ 19	28	1.71	-	8	20	-	-	-	-	-	-
20 ~ 24	738	1.75	-	193	537	6	2	-	-	-	-
25 ~ 29	983	1.87	-	160	800	21	6	-	-	1	-
30 ~ 34	1,084	1.98	-	131	867	58	23	2	-	3	-
35 ~ 39	792	2.01	-	96	616	59	19	1	1	-	-
40 ~ 44	513	2.03	-	73	378	35	18	5	-	4	-
45 ~ 49	413	2.01	-	60	315	17	16	3	1	1	-
TOTAL	4,556	1.93	-	721	3,533	196	84	11	2	9	-

第4章 吉林省における農村人口
出産力と生活水準に関する
調査／中国側報告書概要

1 農村人口出産力と生活水準に 関する第2次日中協力調査の概況

日中双方の話し合いによって確定した「農村人口出産力と生活水準に関する第2次日中協力調査」協力項目にもとづいて、調査が9月に吉林省で実行された。

5月20日、日本国際協力事業団（JICA）の具申に答えて、国家計画生育委員会は、JICAの3人の調査グループを中国に招き、出産力と生活水準関係の第2次協同調査研究計画を協議した。会議の結果、双方は今年も吉林省において協同調査を継続することに合意した。双方は、調査研究覚書（「出生率と生活水準との関係についての第2次日中協同調査研究の実施に関する覚書」を参照）をとりまとめた。7月8日から23日まで、日本側は、日本大学人口研究所名誉所長黒田俊夫教授を団長とする日本側専門家グループの一行8人を吉林省に派遣した。吉林省に滞在期間中、吉林省計画生育委員会主任黄茂臣は日本側専門家グループの全員と会い歓談した。そして、双方は調査票、調査サンプルと一連の具体的事項について協議した。出産力と生活水準に関する第2次日中調査票（一）、（二）、つまり住民人口調査票と既婚婦女調査票と調査モデルとなる150の生産合作社（村民小組）を確定した。同時に、吉林大学と省の宣伝教育センターを参観訪問した。

日本側専門家グループは7月13日から15日まで、延辺朝鮮族自治州に行き、サンプル地点と朝鮮族農民家庭2戸に対して、実地調査を行った。さらに、延吉市の「六一」幼稚園、州博物館と長白山などの地を参観訪問し、3月16日黒竜江省訪問のため当地を離れた。

今回の調査は、国家計画生育委員会と吉林省計画生育委員会の指導により、中国側専門家のメンバーと吉林省計画生育委員会の調査員が具体的な組織の運営を行った。母集団の無作為抽出方法にしたがい、1.3%の確率で150の村民小組と5個の居民委員会（居民小組）を抽出した。

調査は1985年9月20日に開始し、10日間で基本的に完了した。集計作業は、省県両レベルで行われた。調査の主要な対象は、サンプル単位中の15～60歳までの既婚の婦女（1925年9月20日から1970年9月20日に出生）の婚因、出産状況と、彼女たちの家庭の経済状況である。

今回の調査は、47の県（市、区）、155の村民小組と居民小組に及んだ。サンプルの分布は比較的均等で、都市が3.23%、都市近郊地区が3.23%、平原農村が54.84%、丘陵16.77%、山地21.93%である。調査は、全省総人口の1.33%にあたる30,660人に達した。調査した6,920戸のうち、15～60歳の既婚婦女は6,875人であった。記入した住民人口カードは6,920枚、既婚婦女カードは6,875枚、集計表は38枚、1,737項目である。調査に参加した人員は635人、調査員は105人である。調査により価値ある資料が作成され、予想された成果を得た。

調査はおおむね以下の段階を経て行われた。

(1) 調査前の準備作業

調査前の準備作業を十分行うことは、今回の出産力と生活水準との関係の調査の重要な要因となる。

① 日中双方で合意した調査票にもとづき、農村出産力と生活水準の関係調査票、票(-)および票(○)を作製、製図、印刷した。記入についての説明、質問大綱(要点)および年齢対照表も作製し印刷した。1985年8月、吉林省計画生育委員会は文書を発行し、今回の調査の重要意義と調査方法について説明を行い、各地の計画生育部門に対し、この作業を重視するよう依頼した。

② 全国第3次人口調査の地所整理番号を借用し、生産合作社と居民委員会を単位として、母集団ランダム抽出方式を採用して等しい確率でサンプルを抽出した。750の単位毎に1つのサンプルを抽出し、全省で155の生産合作社と居民委員会をサンプルとして抽出した。1985年9月、梨樹県において全省統一の抽出を行った。各地区毎に現地調査の前に、組織、人員、物資などの十分な準備を行った。調査員の食事や、宿舎、交通手段、調査員の訓練と実地調査中に必要な経費など充分に手配し、調査作業が順調に進行できるようにした。

③ 今回の調査では、我々は手作業による集計を主として、計38の集計表を作製し、今回の出産力と生活水準の関係調査項目の集計に使用することとした。

この集計表は、以下のような特徴をもつ。

1) 範囲が比較的広いので、調査票(一)(二)中の集計資料からは、予想される分析指標の要求を満足させるだけでなく、その他の分析に用いる多くの資料も提供することができる。

2) 構成がしっかりしており、集計表の間には厳格な論理関係がある。それぞれの集計表に示される数字は、その他の集計表の数字と関連性をもっており、論理関係を以って、集計表の論理審査大綱を作成し、これが検査集計の質において効果を高めることとなる。

3) 内容がはっきりしており、集計表の数と項目がたいへん多いにもかかわらず、それぞれの表の各項の内容ははっきりしている。したがって、訓練を受けていない人であっても、中学以上の教育水準のある者ならば、各項の内容を完全に理解することができる。

4) 特に重点が置かれているのは、38の集計表は主に婦女の婚姻と出産の分野に集中していることであり、比較的詳細な集計項目が入っている。

(2) 調査員の選抜と訓練

国内国外のサンプル抽出調査の過去の経験からも、調査の誤差の大小は、調査員の作業態度と業務水準に直接関係している。調査誤差をできるだけ少なくするためには、調査員の選抜に注意を払いその訓練を十分に行う必要がある。

① 調査員の選抜。調査員の作業水準は実地調査作業の成否を握る鍵の1つである。各地の調査員の選抜にあたり、考え方、仕事のやり方、職業知識と実際の作業経験などの基準に注意を払った。訓練を通じて、審査をすすめ合格すれば正式な調査員になることができる。全省で635名

の調査員を選抜したが、彼らは全省の各市、県、郷及び街道の出身者であった。調査員のうち、大学程度の教養をもっているのは4.72%、高校もしくは中等職業学校卒業程度の者は53.23%、中学校の教養程度のもは38.43%、小学校程度の教養のもは3.62%であった。女性は68.97%を占めた。作業経験年数が1～5年の調査員は89.13%、6～14年の者は10.40%、15年以上は0.47%であった。

② 調査員の訓練。農村出産力と生活水準に関する日中協同調査の要求に従い、省および県レベルに分けて、調査人員の訓練班を設けた。各市（地、州）、県（市、区）の統計課長と統計人員の訓練は省が責任をもって行った。1985年9月10日から16日まで、梨樹県四平市において、調査員の省レベル訓練班においては、吉林省計生委員会主任黄茂臣が講義を行い、今回の調査項目を提示した。地区及び、県レベルは郷、村調査員に対して第2次の訓練を行った。訓練の内容は主今回の日中協同調査の重要性と意義の解説であり、今回の調査が国家を代表して行う1つの国際交流活動であり、計画出産と経済状況の全省規模の一次的な調査であることを説明した。出産力と生活水準の関係の調査票に対しては、各項毎に解説を与え、調査員の認識を統一し、調査票相互間の関係と要求をはっきりさせた。各地で試験的調査を組織した。訓練と試験調査を通して、調査員は調査が提起している大綱と調査票を十分に掌握することができ、正確に年齢を計算して、調査の各項の要求を守ることができ、調査の水準と技術を向上させ調査の質を高いものとした。

(3) 現地調査

① 現地調査は全体の調査活動の中でも中心となる柱である。現地調査の前には宣伝活動を行い、出産力と生活水準関係の調査意義の宣伝を通じて、広範にわたる調査対象者の理解を深め、彼らの支持と協力を得た。中国においては、社会主義制度のもとで、今回のような調査活動に対し、国民は多大な責任感を示す。また調査対象者の多数は調査に対し、積極的にのぞみ、確実な回答をすることが可能である。今回の調査範囲は広く、項目も多い。そのため調査回答を公開するにあたり、不都合が起きることが懸念され、よって対象者が調査を避ける可能性もあった。これに対して各地で放送や座談会、口頭の宣伝等を利用し、広範なPR活動を行った。調査員、幹部職員、女性職員らが不安を示す調査対象者宅を訪れ、事実をありのまま答えるようはげまし、調査作業が順調に進むことを促進させた。今回の調査では、調査対象の100%が調査票に回答を与えた。

② 各地で調査活動を行ううえで、職場責任制や巡回検査を設け、調査状況の検査と指導を行い、調査員と作業スタッフの積極的活動をもたらした。調査に参加した人員は、対象範囲から生まれる誤差、内容に関する誤差双方をせばめる努力をし、現地調査の質を維持した。正確な調査データを得るためには、調査の信頼性を高め、維持する必要がある。

今回は調査内容から、各調査サンプル点につき、最低1名の女性調査員を配置した。また調査期間は農繁期、防災運動シーズンにかかっていたが、調査票への記入は必ず屋内での面接調査と

した。昼も夜も対象者が不在の場合は、田畑にて調査が行われたこともあった。調査員によっては、雨天時に訪問をしたり、4.5キロも歩いて面接を行った者もいた。常住人口の家庭状況や経済状態を調査する際には、世帯主と婦人がその場にいたため、比較的正確な回答が得られた。50歳以上の婦人の場合にはこの女性を熟知している人を介して、婚姻、出産経験等を調査した。刺激的な問題を扱う場合、たとえば配偶者や子供が死亡している場合等は、回想の辛さをできるだけやわらげる方策を講じた。調査項目が回答者にとって触れられたくないなど、回答を控えるそぶりを見せた場合は、適宜その場の状況で、間接的な質問を利用し、必要な答を導き出した。調査が収入に関わり、家計簿に照合する必要がある際は、対象者と個別に秘密保持についての協議を行った。調査内容の記入に対しては、1戸ごとに照らし合わせ、調査終了時には適宜審査をし、記入もれや質問の取り違え等がある場合は、改めて再調査を行った。調査の誤りをなくすために、すべてのチェック作業は調査地点を離れる前に行われた。

(4) 内容のチェック

現地調査中に記入したものの正確な見積りを主に行い、また間違いが発見されたときには、適宜、訂正を加え、集計に間違いがないようにした。

① 地区及び市レベルの第一次チェック。このチェックは、日中第二次農村人口出産力と生活水準関係の調査票(一)(二)の全面にわたり行われた。各地では、概念、論理、計算の3方面から厳格な確認が行われた。チェック方法は、自己検査、交差検査及び相互検査である。ある地区では農村人口出産力と生活水準関係調査の審査要点が制定された。チェック中に発生した問題については、計算間違いについては、すぐにカード上で訂正を行い、概念や論理の間違いに属するものは、サンプル担当の調査員と確認を行い、さらに問題のある場合には改めて、当該サンプルで再調査を行った。登記の誤差は、最小範囲にまで減少できた。

② 各地でのチェックをもとに、省レベルのチェックが行われた。サンプル抽出検査法を採用し、155のサンプルから7をとり出し、調査票審査要点にもとづいて、審査を行ったが、論理的、概念的な誤差は発見されなかった。省レベルの最後の審査でも、1枚のカードも除外せずに、13,795枚のカードすべてが集計に入れられた。

(5) 集計

集計前に詳細な集計プログラムを制定し、具体的な集計方法を確定して、特に集計作業の厳粛性と厳密性を強調した。検査中発見した問題については、すぐに訂正せず、必ず間違いの原因を発見してから適宜訂正し、省、県レベルの集計が行う要求に従った。

① 県レベルの集計。地区の統一的な組織力をよりどころとして、チェックにもとづいて県を単位としても集計を行った。一般的には、調査地点のカードから直接集計を行った。県のサン

ルが多いときには、まず調査地点の集計に従い、さらに県レベルの集計へと移った。各地での実施過程の中で、まんべんなく集計訓練班を設け、集計表の内容、構造および相互の論理関係を徹底的にはっきりとさせ、また集計時には、カード分けと記号づけを結合した方法で算出を行い、さらにカード分けを行うときには、一次的なカード分けと多元的なカード分けを等しく行って有効な集計方法とし、これによって時間を節約し、集計の質を高めた。県レベルの集計ののち、集計表の論理関係に照らして、審査を行い、その後に省レベルでの第二次集計を行った。

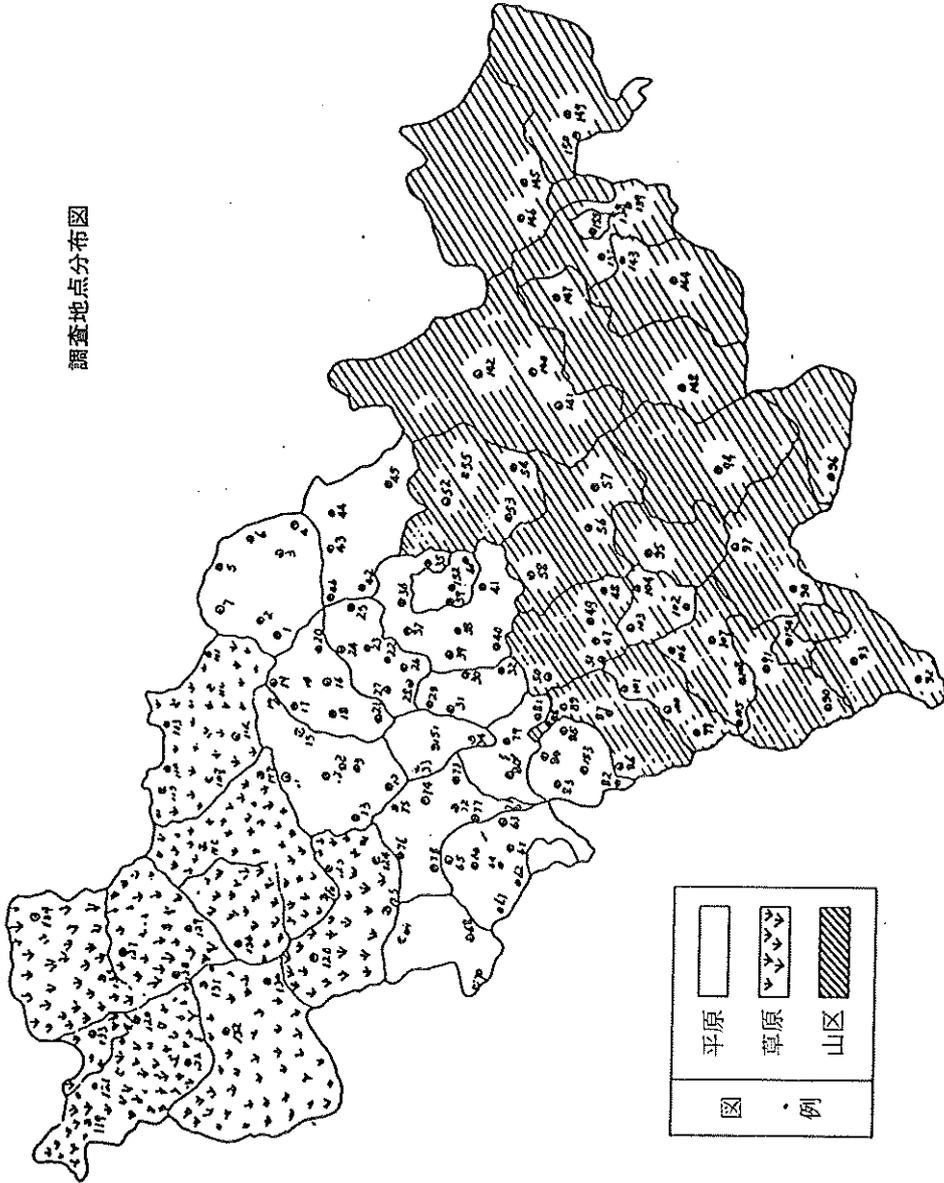
② 省レベルでの集計。主要な任務は、県レベルの集計にもとづいて、各段階に分けて集計を行うことである。集計前に、県レベルの集計表に照らして、集計表の論理関係に従って審査を行い、誤りがない場合にはじめて、段階別の集計に移った。第1段階は、草原、平原、長白山地区を集計し、第2段階は都市と農村を集計し、第3段階は、全省の集計をした。集計中に問題が生じたときは、県レベルの集計表を調査し、県レベルの集計表に原因が見つからない場合は、サンプル単位のカードの中に誤りの原因を探した。最終的に、集計したすべての資料の論理関係を審査し、誤りのないことがはっきりしてから資料の分析作業を行った。省レベルで確定した14項目の分析題目に従い、調査結果についての基礎的分析を行った。

総じて、今回の日中協同調査は、任務の量が大きく、時間は限られており、調査中に多くの困難にぶつかった。各レベルの計画生育委員会がこの調査を重視し、各地において周密な組織的準備作業が行われたので、調査は順調に進行した。600余名の調査人員の努力により、予定の時間内で今回の調査が高水準で完成した。

調 査 日 程

	七 月			八 月			九 月			十 月			十 一 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬									
日本専門家グループ視察	—														
調査票の設計、印刷		—	—	—											
事前準備				—	—										
調査員の選抜・訓練					—	—	—	—							
実地調査								—	—						
集計									—	—					
報告書執筆											—	—			
印刷													—	—	
中国専門家来日															—

調查地点分布图



集計表9

出生間隔別分類

		初婚～子 第1子	第1子～ 第2子	第2子～ 第3子	第3子～ 第4子	第4子～ 第5子
1964 1972	計	1,633	1,531	1,209	912	896
	1年以内	519	49	28	15	13
	1年至1年半	486	232	109	71	82
	1年半至2年	237	303	195	141	132
	2年至2年半	129	353	284	228	204
	2年半至3年	75	223	206	134	161
	3年至3年半	43	120	111	116	87
	3年半至4年	37	61	63	52	61
	4年以上	107	187	183	155	156
	1975 年	計	2,689	1,418	788	393
1年以内	1,010	60	12	14	4	
1年至1年半	760	230	65	33	16	
1年半至2年	428	267	138	52	28	
2年至2年半	180	264	151	78	43	
2年半至3年	96	175	112	62	34	
3年至3年半	59	134	73	34	33	
3年半至4年	26	71	55	30	12	
4年以上	100	247	182	90	54	

集計表10

初婚時期別出生間隔分布

初婚時期 間隔年	40年代	50年代	60年代	70年代
	計	2,919	4,788	5,913
0	75	211	481	658
1	174	440	801	973
2	129	312	614	601
3	155	332	637	587
4	152	289	555	424
5	141	281	505	315
6	139	273	496	235
7	142	285	393	152
8	145	251	358	111
9	130	271	285	69
10	117	277	240	26
11	107	262	204	18
12	107	220	104	15
13	137	218	67	12
14	125	167	57	6
15	113	177	35	
16	128	113	28	
17	113	111	12	
18	100	75	16	
19	101	85	8	
20	90	58		
21	87	37	2	
22	69	21	3	
23	41	11		
24以上	102	11	2	
初婚人数	591	1,020	1,697	2,015

- 158 -

- 159 -

1970～1985年妊娠結果

集計表11	人工中絶 (1～3カ月)		自然流産 (例)		死産 (例)		新生児死亡 (人)		嬰兒死亡 (人)		死産 (例)	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
計	840	130	198	115	161	95	9,015					

出生順位別出生数分布

集計表12	1970～1973			1974～1977			1978～1980			1981～1985		
	計	第1子	第2子	第3子以上	計	第1子	第2子	第3子以上	計	第1子	第2子	第3子以上
計	3,338	770	792	1,776	2,320	747	610	963	1,944	729	539	577
第1子												
第2子												
第3子以上												

- 160 -

集計表13-1 1982年出生児の母親年齢と出産回数分布

再生産年齢 女子数	出生人数				
	計	1回	2回	3回以上	
計	7,781	509	319	132	58
15	340				
16	325				
17	343	2	2		
18	347	3	2	1	
19	423	24	20	4	
20	283	28	25	3	
21	237	44	38	5	1
22	280	55	44	11	
23	255	67	51	15	1
24	274	67	51	14	2
25	259	52	31	15	6
26	236	48	26	18	4
27	298	42	13	20	9
28	272	19	6	10	3
29	271	14	1	7	6
30	268	13	6	6	2
31	234	3			3
32	234	11		1	10
33	235	9	1	2	6
34	208	3		1	2
35	184	1			1
36	190				
37	152	1	1		
38	148				
39	156	1			1
40	143	2	1		1
41	152				
42	156				
43	133				
44	151				
45	122				
46	122				
47	120				
48	115				
49	115				

- 161 -

集計表13-2 1983年出生児の母親年齢と出産回数分布

再生産年齢女子	出生人数				
	計	1回	2回	3回以上	
計	8,110	432	312	89	31
15	414				
16	340				
17	325				
18	313	9	7	2	
19	347	22	21	1	
20	423	36	32	4	
21	283	42	40	2	
22	237	42	37	4	1
23	280	55	48	5	2
24	255	72	53	17	2
25	274	40	25	13	2
26	259	31	19	11	1
27	236	25	10	12	3
28	298	19	10	6	3
29	272	9	4	4	1
30	271	5	2	2	1
31	268	7	1	2	4
32	231	6	2	1	3
33	234	1			1
34	235	4		1	3
35	208	2			2
36	184				
37	190				
38	162	2	1	1	
39	148	1		1	
40	156	1			1
41	143				
42	152				
43	156	1			1
44	133				
45	151				
46	122				
47	122				
48	120				
49	115				

- 162 -

1984年出生児の母親年齢と出産回数分布

再生産年齢女子	出生人数				
	計	1回	2回	3回以上	
計	8,396	413	305	76	32
15	401				
16	441				
17	340	2	2		
18	325	6	6		
19	343	15	14		1
20	347	30	29	1	
21	423	51	49	2	
22	283	50	42	7	1
23	237	55	46	8	1
24	280	54	41	12	1
25	255	36	28	7	1
26	274	31	17	10	4
27	259	28	16	7	5
28	236	15	5	8	2
29	238	13	3	7	3
30	272	6	1	3	2
31	271	11	3	2	6
32	268	2			2
33	234				
34	234	4	2	1	1
35	235				
36	208	1			1
37	184				
38	190	2		1	1
39	152				
40	148				
41	156				
42	143				
43	152				
44	156				
45	133	1	1		
46	151				
47	122				
48	122				
49	120				

- 163 -

再生産年齢女子避妊法別実行者数

年齢	不妊手術(男子)	不妊手術(女子)	IUD	避妊薬	コンドーム	リズム法	その他	計
20~		20	377	52	17	2	2	470
25~	6	240	725	74	29	6	4	1,080
30~	10	654	545	38	14	3	4	1,278
35~	9	598	358	24	10	2		1,001
40~	9	346	283	19	17	9	5	688
45~	2	219	218	17	22	4	7	469
計	36	2,087	2,516	226	109	26	18	5,018

結婚から第一子出産までの避妊実行者数

年齢	年															
	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
計	1	2	3	1	4	3	3	5	1	5	8	5	4	2	5	1
15~	1	2	3		1	1	1	3		2	6	2	3	1	1	1
20~				1	3	2	2	2	1	3	2	3	1	1	3	
25~																1
30~																
35~																
40~																
45~																

- 164 -

再生産年齢女子の避妊を実行しない理由

人数	妊娠中	妊婦希望	不妊	宗教	その他	閉経

再生産年齢女子避妊理由

人数	子供がほしくない	呼びかけにこたえて	指が実行しているから	出生間隔	その他

再生産年齢女子の避妊知識

人数	不妊手術(男子)	不妊手術(女子)	リング	ピル	コンドーム	リズム法	その他

再生産年齢女子がどこから避妊知識を得たか

人数	友人	父母	職場	書籍雑誌	宣伝員	その他

既婚婦女の子供に対する考え方

人数	晩年子供と同居したいか			子供が親を養うことについて					
	はい	いいえ	未定	考えたことがない	いい習慣	義務	やむを得ない	考えたことがない	その他
4,376	287	745	1,433	1,467	5,276	78	18	149	

遺産は誰が相続するか

人数	長子	男子	すべての子供	老人の面倒をみる子供	考えたことがない	その他

- 165 -

子供がいることの長所と短所

集計表22

	再 び	労働力	老後の扶養	経済負担	精神的負担	チャンス失う
計	2,424	928	3,763	1,758	536	25
15~24	386	99	427	152	56	3
25~34	1,020	295	1,417	552	137	12
35歳以上	1,018	534	1,925	1,051	343	10

出生子供数の選択

集計表23

	1人	2人	3人	4人以上
計	1,373	5,032	253	134
15~24	258	608	6	2
25~34	518	1,932	79	34
35歳以上	597	2,512	168	98

一人っ子証明書の情況

集計表24

	一人っ子を持つ大 戸 数		一人っ子証明書数		
	計	1人	0~4歳	5~9歳	10歳~
計	1,745	1,169	855	274	40
15~	12	6	5	1	
20~	514	297	293	4	
25~	766	531	445	86	
30~	359	268	104	149	15
35~	60	45	7	28	10
40~	25	16	1	4	11
45~	18	6	2	2	4

土地、生産量、収入状況

集計表25	総耕地面積 (戸)	総戸数 (戸)	「自営」収入 (円)		「専業」収入 (円)		その他の収入 総額 (円)
			総収入	平均収入	総収入	平均収入	
計	97,016.97	56,187.997	7,894.37	1,892,870.60	70,454.78	6,781,487.85	609.85
15~24							
25~34							
35歳以上							

家庭経済と生活情況

集計表26	総人口 (戸)	総人口 (人)	総収入 (円)		総資産 (円)	総負債 (円)	総貯蓄 (円)
			80年	84年			
計	5,421	24,785	4,068,979.06	9,895,837.76	11,384,950	1,444,560	38,762.5
15~24							
25~34							
35歳以上							

集計表27

耐久消費財保有状況

品 名	戸 数
カラーコープ	386
ラジオ	3,580
ミシン	2,640
虎たぐ機	444
テレビ	1,144
冷蔵庫	8
オートバイ	12
自動車	9
ハンドトラクター	145
トラクター	85
その他農機具	221

集計表28

保有家畜状況

	牛	馬	豚	羊
計	3,557	2,008	227	322

集計表29

飲用水と水源情況

	水道	ポンプ井戸	井戸水	河川
計	478	2,453	2,436	54

集計表30

家庭の生活水準变化情况

	向上	わずかに向上	変化なし	わずかに下降	下降
計	3,755	1,415	177	62	12

集計表31

家庭生活の水準

	上	中上	中	中下	下
計	787	1,418	2,052	899	284

集計表32

家族規模の現状

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
81	320	1,121	1,336	1,168	711	681

集計表33

家族構成の状況

核家族	直系親族	傍系親族	無親縁関係
4,195	1,138	74	14

集計表34

家族構成の状況

	4世代	3世代	2世代	単身世代
計	34	875	4,234	278

集計表35

貯蓄目的

住宅の建設	耐久消費財の購入	老後	子供の養育	その他
381	359	128	194	125

集計表36

住宅情況

地上 づくり	2階 建て	レンガ づくり	促 所		世帯専用 住宅面積 (㎡)	世帯専用 住宅戸数 (戸)
			室内	室外		
3,992	2	1,427	5,421	310,431.56	14,553	

集計表37

請負生産品及び生産量

トウモロコシ	ソウリン	アヲ	米	大豆	麦	その他	合計
31,045,358	2,728,264	2,444,284	6,181,865	3,044,238	570,504	3,603,520	49,618,088

集計表38

専業戸の情況

栽培	養殖	経済作物	野菜	建築	加工	運輸	商業	林業	その他
58	127	17	5	4	61	42	21	14	20

注：凡総表4、25-38不含都市。

(2) 都市

集計表1

常住人口年齢構成

年齢	甲			乙			丙		
	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
0	58	32	26	37	20	17	12	7	5
1	66	10	26	38	82	10	75	20	15
2	74	35	39	39	83	22	76	21	18
3	81	47	34	40	73	11	77	14	9
4	61	31	30	41	76	32	78	13	10
5	66	37	29	42	80	34	79	9	5
6	72	33	39	43	92	18	89	6	5
7	95	15	50	44	87	12	81	4	2
8	77	41	36	45	102	18	82	5	2
9	68	32	36	46	87	11	83	9	6
10	79	40	39	47	113	55	84	5	3
11	89	48	41	48	78	38	85		2
12	119	65	54	49	87	49	86	1	1
13	153	89	64	50	76	41	87	1	1
14	153	72	81	51	67	39	88	1	1
15	161	72	89	52	59	35	89		
16	160	75	85	53	39	22	90	2	2
17	147	66	81	54	37	25	91		
18	102	46	56	55	12	23	92		1
19	100	57	43	56	42	21	93		
20	135	64	71	57	36	17	94		
21	143	61	82	58	31	21	95		
22	179	97	82	59	28	18	96		
23	111	55	56	60	17	12	97	1	1
24	97	39	58	61	17	17	98		
25	117	50	67	62	29	10	99		
26	103	57	52	63	35	19	100		
27	132	53	74	64	36	14	101		
28	99	51	48	65	23	13	102		
29	92	48	44	66	16	8	103		
30	108	57	51	67	25	12	104		
31	97	51	46	68	22	9	105		
32	103	52	51	69	16	4	106		
33	87	44	43	70	13	9	107		
34	89	43	46	71	15	8	108		
35	83	37	46	72	13	5	109		
36	83	32	51	73	13	4	110		
合計	5,875	2,886	2,989						

再生産年齢人口婚姻状況

年齢	再生産年齢人口		未婚		既婚		離婚		死別	
	小計	女	小計	女	小計	女	小計	女	小計	女
15~	670	316	354	169	315	150	1	1		
20~	665	316	349	541	275	266	124	41	45	1
25~	549	264	286	89	56	458	211	247		1
30~	484	247	237	6	3	466	237	229	5	4
35~	412	179	233	3	2	395	173	222	9	6
40~	410	197	213			384	190	294	9	4
45~	467	231	236	1	1	433	218	215	14	9
合計	3,657	1,750	1,907	1,306	618	611	2,271	1,071	1,200	37

再生産年齢人口教育程度別分類

年齢	再生産年齢人口		小学校		初等中学		高等中学		大学以上	
	小計	女	小計	女	小計	女	小計	女	小計	女
15~	670	316	354	169	26	14	12	331	159	172
20~	665	316	349	541	2	1	172	93	77	437
25~	549	264	286	89	10	2	8	171	80	91
30~	484	247	237	6	18	9	0	335	169	116
35~	412	179	233	3	1	51	42	228	105	133
40~	410	197	213		9	75	28	47	169	84
45~	467	231	236	1	37	140	50	133	81	72
合計	3,657	1,750	1,907	1,306	323	114	209	1,558	770	788

集計表5

女子初婚年齢状況

年齢	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
15~	6	1	2	1		1	1		1			3	1	1	2	
20~	27	24	11	11	14	21	17	30	23	22	31	57	44	42	30	31
25~	8	6	7	7	10	13	15	16	12	20	23	31	23	20	12	3
30~		1	1	1					1	2	4	3	3	2		
35~			2	2	2			1								1
40~	1		1	1												
45~																
合計	42	35	22	22	27	35	34	47	37	44	58	94	71	65	44	38

集計表6

女子年齢別出産状況

年齢	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
15~	2	1	1	1	1					1					1	
20~	49	31	40	22	15	12	13	15	15	8	14	17	43	43	32	16
25~	63	53	53	51	43	38	36	35	62	48	41	39	33	30	31	20
30~	39	33	34	30	18	20	17	11	20	6	10	8	5	5	6	3
35~	10	13	21	7	5	4	3	4	4	2	1	1				
40~	1	3	2					1								
45~																
合計	164	144	151	111	84	74	69	66	101	65	65	65	81	78	70	39

集計表7

再生産年齢既婚女子子供数

年齢	再生産年齢既婚女子数	1人	2人	3人	4人	5人以上
15~						
20~	83	45	37	1		
25~	248	21	224	3		
30~	234	5	166	60	3	
35~	232	2	35	139	13	9
40~	213	1	12	83	79	30
45~	236	2	8	50	72	68
合計	1,246	76	482	336	197	107

集計表8

教育程度別既往出生児数

女子教育程度別	40~44				45~49				50~54				55~59(歳)			
	出生児数	女子人数	文小	初高	出生児数	女子人数	文小	初高	出生児数	女子人数	文小	初高	出生児数	女子人数	文小	初高
合計	571	213	9	47	794	236	27	90	471	116	44	39	414	84	48	25
出生児数	571	213	9	47	794	236	27	90	471	116	44	39	414	84	48	25
母親教育程度別																
文小	28	9	9	85	106	27	27	206	149	44	44	97	220	48	48	25
初高	122	47	47	56	335	90	90	149	139	39	39	19	139	25	25	17
初高	206	85	85	56	226	72	72	97	38	24	24	19	38	7	7	4
大学	157	16	16	16	91	33	33	9	17	9	9		17	4	4	
大学	58	16	16	16	36	14	14			14	14					

集計表9

出生間隔別分類

年	出生間隔	出生間隔別				
		初産子	第1子~第2子	第2子~第3子	第3子~第4子	第4子~第5子
1964	計	350	348	225	150	104
1972	1年以内	155	10	2	1	
	1年至1年半	99	56	10	5	4
	1年半至2年	53	58	31	24	15
	2年至2年半	28	77	41	27	13
	2年半至3年	18	53	37	26	26
1975	3年半至3年半	5	19	27	17	9
	3年半至4年	6	19	21	10	8
	4年以上	26	56	56	40	29
	計	536	353	53	16	6
1975	1年以内	276	1			
	1年至1年半	139	17	1	1	2
	1年半至2年	55	19	2	1	
	2年至2年半	32	26	6	5	2
	2年半至3年	11	14	8	1	1
出生間隔	3年至3年半	6	17	4	1	
	3年半至4年	3	14	8	1	
	4年以上	14	42	24	6	1
	計	14	42	24	6	1

集計表10

初婚時期別出生間隔分布

初婚時期 間隔年	40年代	50年代	60年代	70年代
計	361	890	1,184	570
0	15	58	144	156
1	32	112	178	131
2	24	71	141	67
3	19	78	118	76
4	22	62	116	41
5	23	67	92	29
6	17	60	91	21
7	18	59	78	10
8	23	54	63	8
9	15	45	49	8
10	17	46	39	3
11	13	47	23	2
12	20	29	19	4
13	16	30	7	6
14	16	17	12	4
15	19	21	3	1
16	10	5	1	3
17	11	12	3	
18	9	1	4	
19	5	8	1	
20	7	4		
21	4	1	1	
22	3	1		
23	2	1		
24以上	1	1	1	
初婚人数	91	264	376	345

1970～1985年妊娠結果

乳児人口	人工山葬 (1～3月)	人工山葬 (3～6月)	自然死 (例)	死 (例)	死 (例)	死産 (人)	死産 (人)	死 (例)
数	404	4	52	10	5	7		1,428

出生順位別出生数分布

出生順位	1970～1973		1974～1977		1978～1980		1981～1985	
	計	第1子	計	第1子	計	第1子	計	第1子
計	568	165	283	125	232	141	333	228
第1子	185	185	95	95	66	66	31	31
第2子	188	188	72	72	25	25	4	4
第3子以上	235	235						

1982年出生児の母親年齢と出産回数分布

集計表13-1

再生産年齢 女子数	出生人数				
	計	1回	2回	3回以上	
計	1,739	81	73	7	1
15	56				
16	43				
17	71				
18	82				
19	32				
20	56	1	1		
21	58	3	3		
22	67	2	2		
23	52	15	15		
24	74	22	20	2	
25	48	13	13		
26	44	12	12		
27	51	7	5	2	
28	46	1		1	
29	51				
30	43	3	2	1	
31	46	1			1
32	46				
33	51	1		1	
34	40				
35	40				
36	55				
37	34				
38	44				
39	46				
40	44				
41	45				
42	54				
43	46				
44	58				
45	40				
46	38				
47	35				
48	28				
49	24				

1983年出生児の母親年齢と出産回数分布

集計表13-2

再生産年齢 女子数	出生人数				
	計	1回	2回	3回以上	
計	1,796	78	73	4	1
15	81				
16	56				
17	43				
18	71				
19	82				
20	82				
21	55	4	4		
22	58	5	5		
23	67	14	14		
24	52	20	20		
25	74	11	9	1	1
26	48	7	7		
27	44	3	3		
28	51	7	6	1	
29	46	2	2		
30	51	1		1	
31	43	2	1	1	
32	46	2	2		
33	46				
34	51				
35	40				
36	40				
37	56				
38	34				
39	44				
40	46				
41	44				
42	45				
43	54				
44	46				
45	58				
46	40				
47	38				
48	35				
49	28				

1984年出生児の母親年齢と出産回数分布

集計表13-3

再産年齢女子	出生人数			
	計	1回	2回	3回以上
計	1,853	70	64	6
15	85			
16	81			
17	56			
18	43			
19	71	1	1	
20	82			
21	82	2	2	
22	56	7	6	1
23	58	10	9	1
24	67	13	13	
25	52	7	7	
26	74	13	12	1
27	48	7	7	
28	44	2	2	
29	51	2	1	
30	46	1		1
31	51	4	3	1
32	43			
33	46			
34	46	1	1	
35	51			
36	40			
37	40			
38	56			
39	34			
40	44			
41	46			
42	44			
43	45			
44	54			
45	46			
46	58			
47	40			
48	38			
49	35			

再生産年齢女子避妊法別実行者数

集計表14

年齢	不妊術(男子)	不妊術(女子)	IUD	避妊薬	コンドーム	リズム法	その他	合計
15~								
20~			23	4	2		1	30
25~		2	172	16	15	1		206
30~		18	182	7	9	2	3	221
35~		52	148	9	9	2		220
40~	1	69	103	9	14	6	1	203
45~		54	74	12	20	2	2	164
計	1	195	702	57	69	13	7	1,044

結婚から第一子出産までの避妊実行者数

集計表15

年齢	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
15~				1		1		1					3			1
20~				1		1		1					2			1
25~																
30~																
35~																
40~																
45~																

再生産年齢女子の避妊を実行しない理由

集計表16

人数	妊娠中	妊娠希望中	不妊	宗教	その他	計
	38	36	8		50	70

再生産年齢女子避妊理由

集計表17

人数	子供がほしいから	呼びかけにこたえて	皆が実行しているから	出生間隔	その他
	522	486	14	9	11

再生産年齢女子の避妊知識

集計表18

人数	不妊手術(男子)	不妊手術(女子)	リング	ピル	コンドーム	リズム法	その他
	442	882	1,130	824	940	152	87

再生産年齢女子がどこから避妊知識を得たか

集計表19

人数	友人	父兄	職場	書見	宣伝	その他
	77	6	670	316	755	23

既婚婦女の子供に対する考え方

集計表20

人数	晩年子供と同じぐらいか			子供が親を養うことについて				
	はい	いいえ	未定	考えたことがない	はい	いいえ	考えたことがない	その他
	762	172	136	376	333	1,137	4	11

遺産は誰が相続するか

集計表21

人数	長子	男子	すべての子供	お金の多い子供	考えたことがない	その他
	279	237	369	138	365	41

子供がいることの長所と短所

集計表22

人数	点	労働力	老後の扶養	経済負担	精神的負担	チャンスを失う
計	1,695	83	349	349	211	
15~24	72		10	3	6	
25~34	403	18	93	63	33	
35以上	526	65	216	283	172	

出生子供数の選択

集計表23

人数	1人	2人	3人	4人以上	1人か0
計	533	876	21	7	3
15~24	51	43			
25~34	220	248	2	3	
35以上	262	585	19	4	3

一人っ子証明書的情況

集計表24

人数	1人っ子を持つ夫婦数	1人っ子証明書数		
		0~4歳	5~9歳	10歳~
計	482	424	279	128
15~				
20~	37	30	30	
25~	224	197	186	11
30~	166	151	61	88
35~	35	31	2	23
40~	12	11		4
45~	8	4		2

注：西宮市は、集計表4、25~34は無し。

(3) 農村

表計表1 常住人口年齡構成

年齡	甲			乙			丙				
	小計	男	女	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)		
0	295	146	149	37	331	163	168	74	40	19	21
1	325	193	132	38	296	152	144	75	37	21	16
2	361	189	172	39	257	123	134	76	32	14	18
3	417	238	209	40	235	117	118	77	28	17	11
4	434	233	201	41	236	132	104	78	20	9	11
5	467	256	211	42	223	113	110	79	20	7	13
6	642	328	314	43	213	114	99	80	18	6	12
7	515	265	250	44	213	106	107	81	13	6	7
8	454	221	230	45	193	97	102	82	12	9	3
9	511	292	252	46	192	105	87	83	12	8	1
10	509	252	257	47	221	128	93	84	10	7	3
11	557	276	281	48	166	104	82	85	8	7	1
12	618	312	306	49	171	87	84	86	1	1	1
13	695	367	328	50	179	94	85	87	2	1	1
14	714	367	347	51	196	109	87	88	2	1	1
15	744	388	358	52	182	91	91	89	2	2	
16	658	342	316	53	145	78	67	90	1		1
17	722	359	363	54	147	68	79	91			
18	573	289	284	55	170	95	75	92			
19	602	320	282	56	134	72	62	93			
20	577	305	272	57	140	81	68	94			
21	559	295	265	58	147	80	67	95			
22	662	321	341	59	118	73	45	96			
23	481	254	227	60	111	72	33	97			
24	398	219	179	61	178	77	101	98	1		1
25	453	240	213	62	130	61	66	99			
26	343	180	203	63	112	71	68	100			
27	418	218	200	64	108	92	56	101			
28	420	209	211	65	85	41	41	102			
29	433	241	192	66	81	48	33	103			
30	492	245	247	67	83	54	29	104			
31	482	256	226	68	59	53	37	105			
32	404	184	220	69	55	32	23	106			
33	456	231	225	70	65	37	28	107			
34	407	219	188	71	57	30	27	108			
35	410	222	188	72	63	31	32	109			
36	353	169	184	73	53	21	32	110			
計	21,785	12,841	11,944								

- 182 -

表計表1 再生産年齢人口職業分布

年 齡	再生産年齢人口		農民		勞働者		管 理		学 生		その他	
	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
15~	3,299	1,696	1,603	2,126	1,011	1,115	19	14	5	1,080	550	530
20~	2,688	1,344	1,344	2,192	1,096	1,096	26	20	6	113	69	44
25~	2,167	1,083	1,084	1,632	816	816	19	16	3	3	1	2
30~	2,211	1,105	1,106	2,081	1,040	1,041	25	21	4	10	9	1
35~	1,617	808	809	1,509	754	755	17	15	2	15	15	2
40~	1,129	564	565	1,018	509	509	22	22	11	11		
45~	969	521	448	895	488	407	12	12	15	11		
計	14,651	7,325	7,326	12,017	6,008	6,009	17	15	5	1,196	626	570

表計表5 女子初婚年齢状況

年 齡	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
15~	26	72	68	60	51	42	46	49	37	42	51	60	72	54	48	12
20~	59	55	61	79	87	117	111	141	117	116	163	163	129	151	179	97
25~	8	1	6	2	4	18	11	19	23	18	30	24	17	13	12	1
30~	6	4	2	5	1	2	5	1	3	3	5	1	1		2	1
35~	2															
40~																
45~																
計	161	132	137	145	144	186	172	213	160	204	249	218	219	218	211	111

- 184 -

表計表2 再生産年齢人口婚姻狀況

年 齡	未婚		既婚		再婚		既婚		既婚		既婚		既婚		既婚	
	小計	男	小計	女	小計	男	小計	男	小計	男	小計	男	小計	男	小計	男
15~	3,299	1,696	1,603	3,251	1,679	1,572	48	17	31							
20~	2,688	1,344	1,344	1,373	835	537	1,242	542	740	12	5	9	2	1		
25~	2,167	1,083	1,084	1,956	1,063	32	1,485	920	975	14	5	9	2	1		
30~	2,211	1,105	1,106	70	67	3	2,119	1,040	1,074	51	14	17	11	9	2	10
35~	1,617	808	809	28	27	1	1,587	777	790	29	10	19	5	4	1	18
40~	1,129	564	565	18	17	1	1,039	539	500	36	13	21	2	1	25	10
45~	969	521	448	12	12	1	852	463	392	41	16	25	4	3	1	57
計	14,651	7,325	7,326	4,947	2,801	2,146	8,605	4,288	4,317	103	65	98	25	18	7	111

表計表3 再生産年齢人口教育程度別分類

年 齡	未 育		初 級		中 級		高 級		大 学 以 上								
	小計	男	小計	女	小計	男	小計	女	小計	男							
15~	3,299	1,696	1,603	58	1,448	695	753	1,358	889	719	180	108	73	5	2	1	
20~	2,688	1,344	1,344	110	61	1,083	463	542	1,141	650	191	300	220	189	12	10	2
25~	2,167	1,083	1,084	223	62	1,61	851	380	471	721	349	372	311	196	113	1	1
30~	2,211	1,105	1,106	253	62	1,125	549	631	631	200	149	112	87	2	1		
35~	1,617	808	809	216	65	1,166	116	440	437	295	152	58	48	10	2		
40~	1,129	564	565	290	79	211	526	280	236	256	173	83	47	39	8	1	1
45~	969	521	448	398	128	270	397	254	143	135	165	30	35	30	5	1	1
計	14,651	7,325	7,326	1,759	621	1,238	6,208	3,200	4,079	2,032	1,047	1,180	733	427	23	21	4

- 183 -

表計表6 女子年齢別出産狀況

年 齡	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
15~	75	69	17	12	37	24	43	17	20	14	22	30	29	31	22	19
20~	269	236	263	211	236	211	213	195	222	221	205	221	218	204	208	118
25~	189	151	187	173	169	173	171	164	211	251	168	170	112	94	92	12
30~	122	93	111	89	61	51	49	53	61	67	16	37	34	18	17	7
35~	100	70	62	59	30	20	18	14	22	11	8	8	3	5	3	1
40~	37	24	20	21	13	13	10	3	8		3	3	2	2		1
45~	9	4	6		2	3	2	1	1		1					
計	802	638	702	632	546	540	506	442	583	578	453	484	428	551	343	179

表計表7 再生産年齢既婚女子子供数

年 齡	再生産年齢既婚女子数	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上
15~	31	19		12			
20~	717	224		477		42	3
25~	987	53		542		325	62
30~	1,103	22		184		512	381
35~	817	8		25		192	303
40~	537	5		13		36	123
45~	418	4		10		27	105
計	4,670	335		1,243		1,134	820

- 185 -

集計表8

教育程度別既往出生児数

		10~11	15~19	50~54	55~59(歳)
女子人数	总数	538	418	409	350
	文盲	211	270	332	308
	小学	236	113	71	33
	初中	83	30	6	7
	高中	8	5		2
出生児数		2,218	2,218	2,308	1,883
母の教育程度別	文盲	927	1,385	1,919	1,667
	小学	997	705	365	169
	初中	231	145	24	32
	高中	33	13		15
	大学				

出生間隔別分類

集計表9

		初婚～ 第1子	第1子～ 第2子	第2子～ 第3子	第3子～ 第4子	第4子～ 第5子
計		1,213	1,183	984	767	792
1964-1972 出生児	1年内	354	39	26	11	13
	1年至1年半	387	176	93	65	78
	1年半至2年	181	215	161	117	117
	2年至2年半	101	276	243	201	191
	2年半至3年	57	170	169	168	135
1973-1984 出生児	3年至3年半	38	101	111	99	78
	3年半至4年	31	17	12	12	53
	4年以上	81	131	127	115	127
	計	2,133	1,595	755	377	218
	1年内	764	56	12	11	1
1年至1年半	621	213	61	32	14	
1年半至2年	373	248	136	51	25	
2年至2年半	118	238	145	73	11	
2年半至3年	87	161	101	61	33	
3年至3年半	53	117	69	33	33	
3年半至4年	23	57	17	39	12	
4年以上	86	295	158	81	53	

- 185 -

集計表10

初婚時期別出生間隔分布

初婚時期 期間年	40年代	50年代	60年代	70年代
計	2,568	3,898	4,729	3,632
0	60	153	337	502
1	142	328	623	842
2	105	241	473	534
3	136	254	519	511
4	130	227	419	383
5	118	214	413	286
6	122	213	405	214
7	124	226	315	142
8	122	197	295	103
9	115	226	236	61
10	100	231	201	23
11	91	215	181	16
12	87	191	85	11
13	121	188	60	2
14	109	150	45	2
15	94	156	32	
16	118	108	27	
17	102	99	9	
18	91	74	12	
19	96	77	7	
20	83	54		
21	83	36	1	
22	66	20	3	
23	39	10		
24以上	101	10	1	
初婚人数	410	756	1,321	1,670

- 187 -

1970～1985年妊娠結果

人口中数 (1-3ヶ月)	人口中数 (3-6ヶ月)	自然産死 死(人)	新生児死亡 死(人)	出生児 出(人)
445	125	146	156	8,187

出生順位別出生数分布

	1970～1973	1974～1977	1978～1980	1981～1985
計	2,770	2,027	1,612	1,703
第1子	605	652	588	1,090
第2子	824	514	472	652
第3子以上	1,541	861	552	221

- 188 -

集計表13-1

1982年出生児の母親年齢と出産回数分布

出生年齢 女子数	出生人数			
	計	1回	2回	3回以上
計	6,042	428	246	125
15	284			
16	282			
17	272	2	2	
18	265	3	2	1
19	311	24	20	4
20	227	27	24	3
21	179	41	35	5
22	213	53	42	11
23	203	52	36	15
24	200	45	31	12
25	211	39	18	15
26	192	36	14	18
27	247	35	8	18
28	226	18	6	9
29	220	14	1	7
30	225	10	4	4
31	188	2		
32	188	11		1
33	184	8	1	1
34	168	3		1
35	144	1		
36	134			
37	118	1		
38	104			
39	110	1		1
40	99			
41	107	2	1	1
42	102			
43	87			
44	93			
45	82			
46	84			
47	85			
48	87			
49	91			

1983年出生児の母親年齢と出産回数分布

集計表13-2

再生産年齢女子	出 生 人 数				
	計	1 回	2 回	3 回以上	以上
計	6,314	354	239	85	30
15	363				
16	284				
17	282				
18	272	9	7	2	
19	265	22	21	1	
20	341	36	32	4	
21	227	38	36	2	
22	179	37	32	1	1
23	213	41	34	5	2
24	203	52	33	17	2
25	200	29	16	12	1
26	211	24	12	11	1
27	192	22	7	12	3
28	217	12	1	5	3
29	226	7	2	4	1
30	220	4	2	1	1
31	225	5		1	4
32	188	4		1	3
33	188	1			1
34	184	1		1	3
35	168	2			2
36	144				
37	134				
38	118	2	1	1	
39	104	1		1	
40	110	1			1
41	99				
42	107				
43	102	1			1
44	87				
45	93				
46	82				
47	84				
48	85				
49	87				

1984年出生児の母親年齢と出産回数分布

集計表13-3

再生産年齢女子	出 生 人 数				
	計	1 回	2 回	3 回以上	以上
計	6,513	343	241	70	32
15	316				
16	363				
17	284	2	2		
18	282	6	6		
19	272	14	13		1
20	265	30	29	1	
21	341	49	47	2	
22	227	43	36	6	1
23	179	45	37	7	1
24	213	41	28	12	1
25	203	29	21	7	1
26	200	18	5	9	4
27	211	21	9	7	5
28	192	13	3	8	2
29	247	11	2	6	3
30	226	5	1	2	2
31	220	7		1	6
32	225	2			2
33	188				
34	188	3	1	1	1
35	184				
36	168	1			1
37	144				
38	134	2		1	1
39	138				
40	101				
41	110				
42	99				
43	107				
44	102				
45	87	1	1		
46	93				
47	82				
48	84				
49	85				

再生産年齢女子避妊法別実行者数

集計表14

年 齢	不妊手術 (男子)	不妊手術 (女子)	IUD	避妊薬	コンドーム	リズム法	その他	合 計
20~		20	354	48	15	2	1	440
25~	6	238	553	58	14	5		874
30~	10	646	363	31	5	1	1	1,057
35~	9	546	210	15	1			781
40~	8	277	180	10	3	3	4	485
45~	2	165	144	5	2	2	5	325
計	35	1,892	1,814	169	40	13	11	3,074

結婚から第一子出産までの避妊実行者数

集計表15

年 齢	年																
	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	
計	1	2	3	4	2	3	4	1	5	8	2	4	2	4	1	1	
15~	1	2	3	1	1	1	3		2	6	1	3	1	1	1	1	
20~				3	1	2	1	1	3	2	1	1	1	1	2		
25~																1	
30~																	
35~																	
40~																	
45~																	

再生産年齢女子の避妊を実行しない理由

集計表16

人 数	避 妊 中					合 計
	妊娠中	妊娠希望中	不妊	宗教	その他	
202	155	44			179	116

再生産年齢女子避妊理由

集計表17

人 数	避 妊 理 由				
	子供がほしくない	呼びかけにこたえて	昔が実行しているから	出生間隔	その他
1,611	2,112	101	86	32	

再生産年齢女子の避妊知識

集計表18

人 数	避 妊 知 識						
	不妊手術(男子)	不妊手術(女子)	リング	ピル	コンドーム	リズム法	その他
1,545	4,442	4,382	2,970	2,818	437	139	

再生産年齢女子がどこから避妊知識を得たか

集計表19

人 数	避 妊 知 識 の 得 元						
	友人	父母	職場	各種誌	宣伝員	その他	
433	91	261	634	4,522	73		

既婚婦女の子供に対する考え方

集計表20

人 数	晩年子供と同居したいか		子供が親を養うことについて						
	はい	いいえ	未定	考えたことがない	よい習慣	義務	やむを得ない	よいではない	その他
3,614	115	609	1,057	1,134	4,139	74	7	80	

遺産は誰が相続するか

集計表21

人 数	遺 産 相 続 考 え					
	長子	男子	すべての子供	老人の面倒をみる子供	考えたことがない	その他
424	1,567	391	1,963	1,061	28	

集計表22 子供がいることの長所と短所

	喜び	労働力	老後の扶養	経済負担	精神負担	オヤンイオを失う
計	1,418	845	3,420	1,409	325	25
15~24	314	99	417	149	60	3
25~34	612	277	1,324	489	104	12
35歳以上	482	469	1,679	771	171	10

集計表23 出生子供数の選択

	1人	2人	3人	4人以上
計	840	4,206	232	127
15~24	207	565	6	2
25~34	298	1,684	77	31
35歳以上	335	1,957	149	94

集計表24 一人っ子証明書的情況

	一人っ子を 持つ夫婦数	一人っ子証明書数			
		計	0~4歳	5~9歳	10歳~
計	1,263	745	576	146	23
15~	12	6	5	1	
20~	477	267	263	4	
25~	542	334	259	75	
30~	185	117	43	61	13
35~	25	14	5	5	4
40~	12	5	1		4
45~	10	2			2

土地、生産量、収入状況

集計表25	集計表26	集計表27	集計表28
総耕地面積 (千ヘクタール)	97,016.97	総人口 (千人)	24,745
総産額 (百万円)	56,187,987	総収入 (百万円)	11,304,080
総産額 (百万円)	7,094.37	総収入 (百万円)	1,444,560
総産額 (百万円)	1,802,870.60	総収入 (百万円)	38,762.0
総産額 (百万円)	70,454.74	総収入 (百万円)	314,833.90
総産額 (百万円)	6,781,487.95	総収入 (百万円)	6,126.5
総産額 (百万円)	600.85	総収入 (百万円)	87,052.2

集計表27 耐久消費財保有状況

品名	戸数
テープレコーダー	386
ラジオ	3,580
ミシン	2,640
洗たく機	444
テレビ	1,144
冷蔵庫	8
オートハイ	12
自動車	9
ハンドトラクター	145
トラクター	85
その他農機具	221

集計表28 保有家畜状況

	牛	馬	うし	らび
	3,557	2,058	227	322

集計表29 飲用水と水源情況

	水道	ポンプ井戸	井戸水	河川
	478	2,453	2,435	54

集計表30 家庭の生活水準变化情况

	同上	わずかに向上	変化なし	わずかに下降	下降
	3,755	1,415	177	62	12

集計表31 家庭生活の水準

	上	中上	中	中下	下
	787	1,418	2,052	880	284

集計表32 家族規模の現状

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
84	320	1,121	1,336	1,168	711	681

集計表33 家族構成の状況

核家族	直系親族	傍系親族	無親属関係
4,195	1,138	74	14

集計表34 家族構成の状況

	4世代	3世代	2世代	単身世代
	34	875	4,234	278

集計表35 貯蓄目的

住宅の建設	耐久消費財の購入	老後	子供の養育	その他
381	359	128	194	125

集計表36 住宅情況

1戸建て	2戸建て		レンガづくり	保所		世帯専用住宅面積 (千平方メートル)	世帯専用住宅総数 (千戸)
	1層	2層		室内	室外		
3,992	2	1,427	5,421	310,431.56	14,553		

集計表37 請負生産品及び生産量

トウモロコシ	コウリヤン	アワ	米	大豆	麦	その他	合計
31,045,353	2,728,264	2,441,281	6,181,865	3,044,298	570,504	3,603,520	49,618,088

集計表38 専業戸の情況

栽培	養蚕	経済作物	野菜	採掘	築造	加工	運輸	販売	林業	その他
58	127	17	5	4	64	42	21	14	20	

(4) 山区

常住人口年龄构成

年龄	甲			乙			丙		
	小计	男	女	小计	男	女	小计	男	女
0	89	43	37	98	53	45	74	11	5
1	84	62	22	96	52	44	75	10	4
2	93	43	50	89	39	50	76	8	3
3	132	72	60	67	32	35	77	11	6
4	146	66	80	41	55	28	27	78	6
5	147	82	65	42	72	37	35	79	5
6	175	93	82	43	59	34	25	80	5
7	158	73	85	44	58	26	32	81	5
8	119	60	59	45	52	25	27	82	5
9	169	87	73	46	45	29	16	83	4
10	125	56	69	47	61	39	22	84	2
11	147	73	74	48	45	27	18	85	2
12	151	71	80	49	43	20	23	86	2
13	181	93	88	50	53	34	24	87	1
14	186	93	93	51	49	28	21	88	1
15	198	103	90	52	45	24	21	89	1
16	174	88	86	53	40	24	16	90	1
17	182	95	87	54	18	22	26	91	1
18	144	75	69	55	48	27	21	92	1
19	167	82	85	56	33	19	14	93	1
20	150	74	76	57	38	18	20	94	1
21	160	83	77	58	42	18	24	95	1
22	193	103	90	59	34	28	6	96	1
23	111	57	54	60	35	25	10	97	1
24	87	43	44	61	51	21	30	98	1
25	123	72	51	62	39	20	19	99	1
26	122	53	69	63	37	17	20	100	1
27	126	71	55	64	34	20	14	101	1
28	117	65	52	65	34	16	18	102	1
29	130	69	61	65	25	14	11	103	1
30	131	69	62	67	30	22	8	104	1
31	131	77	54	68	25	13	12	105	1
32	130	61	66	69	18	10	8	106	1
33	140	68	72	70	19	10	9	107	1
34	104	57	47	71	17	9	8	108	1
35	94	42	52	72	22	10	12	109	1
36	82	41	38	73	22	12	10	110	1
合计	6,838	3,568	3,270						

再生産年齢人口婚姻状况

再生産年齢人口	未婚		初婚		再婚		离婚		死別	
	小计	男	小计	男	小计	男	小计	男	小计	男
15~	865	448	417	854	445	409	11	3	8	
20~	791	360	341	395	299	147	302	110	192	3
25~	618	330	288	77	68	9	534	258	275	6
30~	635	335	301	32	32	579	281	288	17	6
35~	459	230	229	7	7	433	213	220	12	5
40~	311	157	154	3	3	296	145	141	12	6
45~	246	140	106	2	2	213	125	88	17	9
合计	3,836	2,000	1,836	1,371	805	565	2,358	1,116	1,212	67

再生産年齢人口教育程度别分类

再生産年齢人口	小学校		初等中学		高等中学		大学以上		
	小计	男	小计	男	小计	男	小计	男	
15~	865	448	417	23	10	13	892	188	204
20~	791	360	341	20	7	13	221	100	121
25~	618	330	288	70	20	50	193	91	102
30~	635	335	301	109	32	77	291	139	152
35~	459	230	229	114	29	85	208	108	100
40~	311	157	154	96	40	70	131	69	62
45~	246	140	106	96	40	56	94	60	34
合计	3,836	2,000	1,836	532	168	364	1,530	755	775

再生産年齢人口職業分布

再生産年齢人口	農民		労働者		新業者		その他	
	小计	男	小计	男	小计	男	小计	男
15~	865	448	417	324	320	3	1	1
20~	791	360	341	338	310	4	3	1
25~	618	330	288	586	320	266	5	4
30~	635	335	301	600	320	280	8	1
35~	459	230	229	436	223	213	4	3
40~	311	157	154	287	149	138	2	2
45~	246	140	106	236	138	100	1	1
合计	3,836	2,000	1,836	3,448	1,821	1,627		

女子初婚年齢状况

年齢	1970		1971		1972		1973		1974		1975		1976		1977		1978		1979		1980		1981		1982		1983		1984				
	小计	男	小计	男	小计	男	小计	男	小计	男	小计	男	小计	男	小计	男	小计	男															
15~	20	11	0	10	12	14	7	13	14	14	16	17	21	11	4																		
20~	15	17	16	29	43	26	44	35	34	51	46	30	39	50	23																		
25~	1	1	1	1	4	2	7	9	3	6	9	6	4	3	1																		
30~																																	
35~																																	
40~																																	
45~																																	
合计	36	57	28	38	44	57	40	65	52	51	71	71	63	61	61																		

女子年齢別出産状况

年齢	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
15~	25	18	13	9	2	4	2	5	8			5	15	10	9	8
20~	77	65	54	65	61	61	81	55	62	71	65	62	57	44	64	31
25~	51	47	60	50	18	59	46	46	75	75	41	59	53	27	47	15
30~	37	27	21	19	15	12	13	13	25	20	18	14	11	7	7	2
35~	21	12	14	9	13	2	3	5	3	3	3	4	1	2		
40~	7	2	4	5	7	6	4	3	1	2	2	2				
45~	1	1	2					1								
合计	222	174	168	157	146	144	149	128	174	171	135	147	135	69	85	52

再生産年齢既婚女子子供数

再生産年齢既婚女子	1人		2人		3人		4人		5人以上	
	人数	小计	人数	小计	人数	小计	人数	小计	人数	小计
15~	8	5	3							
20~	194	55	121	17						
25~	279	17	151	95	15					
30~	301	8	46	136	87					
35~	229	3	5	47	91					
40~	154	3	4	8	37					
45~	106	1	2	9	10					
合计	1,271	92	332	312	241	151				143

集計表8

教育程度別既往出生児数

		40~44	45~49	50~54	55~60 (歳)
女子人数	計	151	105	108	95
	小学校	70	55	83	83
	中学校	62	34	23	10
	高等学校	2	2	2	2
出生児数		656	529	610	499
母子教育程度別	計	314	312	479	418
	小学校	263	144	118	18
	中学校	71	69	13	3
	高等学校	8	4		

集計表9

出生間隔別分類

		1人目 第1子	2人目 第2子	3人目 第3子	4人目 第4子	5人目 第5子
1961年 出生間隔	計	324	308	291	292	217
	1年以内	108	7	8	7	1
	1年半至1年半	110	17	20	16	27
	1年半至2年半	10	89	19	35	28
	2年半至2年半	22	71	76	18	56
	2年半至3年半	14	41	51	29	33
	3年半至3年半	1	18	36	28	21
	3年半至4年	6	11	12	12	15
	4年以上	20	33	39	27	33
	計	613	376	226	104	63
1975年 以降出生間隔	1年以内	252	15	5	1	3
	1年半至1年半	172	69	23	10	1
	1年半至2年半	99	79	14	12	7
	2年半至2年半	28	62	39	23	9
	2年半至3年半	20	18	34	10	6
	3年半至3年半	12	33	21	10	15
	3年半至4年	5	15	14	8	6
	4年以上	25	51	46	30	13

- 202 -

集計表10

初婚時期別出生間隔分布

初婚時期 間隔年	初婚時期			
	40年代	50年代	60年代	70年代
計	670	1,096	1,277	1,027
0	15	49	107	146
1	46	95	171	243
2	33	79	149	149
3	39	83	149	144
4	39	63	106	103
5	26	65	117	89
6	33	55	101	56
7	35	50	79	45
8	31	46	65	32
9	30	60	59	12
10	29	51	57	19
11	25	45	41	5
12	31	43	19	2
13	30	47	22	
14	26	32	12	
15	25	31	11	
16	27	21	10	
17	24	25	1	
18	21	18	5	
19	22	12	3	
20	23	8		
21	20	13		
22	12	3	2	
23	8	4		
24以上	20	5		
初婚人数	110	210	350	418

- 203 -

1970~1985年妊娠結果

集計表11	人工中絶 (1~3ヶ月)		自然流産 (4~9ヶ月)		出生児数 (10ヶ月)		新生児死亡 (人)		要児死亡 (人)	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
1970~1973	191	38	70	65	66	29	29	29	29	29
1974~1977	719	564	479	587	587	309	309	309	309	309
1978~1980	162	169	177	132	132	132	132	132	132	132
1981~1982	156	131	169	169	169	75	75	75	75	75
計	491	401	401	401	401	401	401	401	401	401

- 204 -

出生順位別出生数分布

集計表12	1970~1973		1974~1977		1978~1980		1981~1982	
	数	率	数	率	数	率	数	率
計	719	564	479	587	587	309	309	309
第1子	162	169	177	132	132	132	132	132
第2子	156	131	169	169	169	75	75	75
第3子以上	401	401	401	401	401	401	401	401

集計表13-1

1982年出生児の母親年齢と出産回数分布

出生年齢 女子数	出生人数				
	計	1回	2回	3回以上	以上
計	1,639	135	65	44	26
15	69				
16	85				
17	76	1	1		
18	77	2	1	1	
19	90	7	6	1	
20	54	5	5		
21	11	7	6	1	
22	51	14	11	3	
23	69	17	11	6	
24	55	14	8	4	2
25	92	15	6	7	2
26	61	16	5	8	3
27	62	9	1	4	4
28	54	6	1	3	2
29	67	7	1	3	3
30	72	1	2	1	1
31	17	1			1
32	52	7		1	6
33	38				
34	45	2		1	1
35	44	1			1
36	50				
37	35				
38	27				
39	35				
40	25				
41	32				
42	27				
43	16				
44	22				
45	18				
46	23				
47	24				
48	20				
49	21				

- 205 -

集計表13-2 1983年出生児の母親年齢と出産回数分布

再産年齢女子	出 生 人 数				
	計	1 回	2 回	3 回以上	
計	1,705	89	60	20	9
15	87				
16	69				
17	85				
18	76	2	2		
19	77	7	7		
20	90	6	3	3	
21	54	11	10	1	
22	44	5	4	1	
23	51	12	11	1	
24	69	10	6	3	1
25	55	7	6	1	
26	52	8	5	3	
27	61	5	1	3	1
28	62	3	1	1	1
29	54	4	2	1	1
30	67	3	2	1	
31	72	2			2
32	47				
33	52	1			1
34	38	1			1
35	45	1			1
36	44				
37	50				
38	35				
39	27	1		1	
40	35				
41	25				
42	32				
43	27				
44	16				
45	22				
46	18				
47	23				
48	24				
49	20				

- 206 -

集計表13-3 1984年出生児の母親年齢と出産回数分布

再産年齢女子	出 生 人 数				
	計	1 回	2 回	3 回以上	
計	1,771	86	66	16	4
15	86				
16	87				
17	69				
18	85	2	2		
19	76	6	6		
20	77	9	8		1
21	90	14	14		
22	54	11	8		3
23	44	12	11		1
24	51	8	7		1
25	69	7	5		2
26	55	1			1
27	52	3	2		1
28	61	4	1		3
29	62	2	1		1
30	54	2	1		1
31	67	4			3
32	72	1		1	1
33	47				
34	52				
35	38				
36	45				
37	44				
38	50				
39	35				
40	27				
41	35				
42	25				
43	32				
44	27				
45	16				
46	22				
47	18				
48	23				
49	24				

- 207 -

集計表14 再生産年齢女子避妊法別実行者数

年 齢	不妊手術 (男子)	不妊手術 (女子)	IUD	避妊薬	コンドーム	リズム法	その他	合 計
20~		8	85	15	4	2		114
25~	6	69	132	13	3	5		228
30~	9	155	105	7	3	1		280
35~	9	134	70	5	1			219
40~	7	66	56	3	1	2		137
45~	1	33	29			2		65
計	32	465	480	44	12	10	4	1,047

集計表15

結婚から第一子出産までの避妊実行者数

年 齢	年															
	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
計				1			1	1	1	3	1	1			3	
15~							1			3						
20~				1				1	1		1	1			2	
25~															1	
30~																
35~																
40~																
45~																

- 208 -

集計表16 再生産年齢女子の避妊を実行しない理由

人 数	妊娠中	妊娠希望中	不妊	宗教	その他	間 接

集計表17 再生産年齢女子避妊理由

人 数	子供がほしくない	呼びかけにこたえて	昔か実行しているから	出生期隔節	その他

集計表18 再生産年齢女子の避妊知識

人 数	不妊手術 (男子)	不妊手術 (女子)	リング	ピル	コンドーム	リズム法	その他

集計表19 再生産年齢女子がどこから避妊知識を得たか

人 数	友人	父 母	職場	書籍 雑誌	官公員	その他

集計表20 既婚婦女の子供に対する考え方

人 数	晩年子供と同居したいか			子供が親を養うことについて					
	はい	いいえ	未 定	考えたことがない	よい習慣	義務	やむをえない	よいことではない	その他
868	64	212	317	267	1,126	32	1	34	

集計表21 遺産は誰が相続するか

人 数	長 子	男 子	すべての子供	老人の面倒をみる子供	考えたことがない	その他

- 209 -

集計表22 子供がいることの長所と短所

	喜び	労働力	老後の支え	経済負担	精神的負担	チャンスをつかえる
計	401	213	858	273	63	2
15～24	91	19	115	9	3	
25～34	168	68	361	97	21	
35歳以上	142	126	422	167	39	2

集計表23 出生子供数の選択

	1人	2人	3人	4人以上
計	175	1,146	162	43
15～24	35	159	3	2
25～34	57	483	31	9
35歳以上	83	504	68	32

集計表24 一人っ子証明書の情況

	一人っ子を持つ夫婦数	一人っ子証明書数		
		計	0～4歳	5～9歳
計	332	151	112	31
15～	3	2	2	
20～	121	19	48	1
25～	151	72	53	19
30～	46	21	9	10
35～	5	2		1
40～	4	4		4
45～	2	1		1

- 210 -

集計表27 耐久消費財保有状況

品名	戸数
テープレコーダー	162
ラジオ	839
ミシン	746
成たく機	80
テレビ	488
冷蔵庫	3
オートバイ	3
自動車	4
ハンドトラクター	52
トラクター	25
その他農機具	55

集計表28 保有家畜状況

	牛	馬	ろば	うし
計	1,263	249	49	56

集計表29 飲用水と水源情況

	水道	ポンプ井戸	井戸	水田	川
計	361	556	521		54

集計表30 家庭の生活水準変化情況

	向上	わずかに向上	変化なし	わずかに下降	下降
計	1,053	375	45	16	3

集計表31 家庭生活の水準

	上	中上	中	中下	下	計
計	170	348	602	271	101	1,492

- 212 -

土地、生産量、収入状況

集計表32	世帯数	世帯人口	世帯収入	世帯支出	貯蓄	負債	その他の前年度債
計	1,492	6,837	12,032,062	1,689,87	1,187,446.10	15,930.06	1,204,061.50
15～24	35	159	18,155.61				
25～34	57	483					
35歳以上	83	504					

家庭経済と生活情況

集計表33	世帯数	世帯収入	世帯支出	貯蓄	負債	住宅総面積	住宅総戸数	住宅総面積	住宅総戸数
計	1,492	6,837	1,058,429.76	2,255,350	3,647,750	320,760	4,037	32,809.26	1,563
15～24	35	159							
25～34	57	483							
35歳以上	83	504							

- 211 -

集計表32 家族規模の現状

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	計
28	86	259	376	313	194	158	1,492

集計表33 家族構成の状況

核家族	直系親族	傍系親族	単親家族	計
1,131	334	21	6	1,492

集計表34 家族構成の状況

計	4世代	3世代	2世代	単身世帯
1,492	15	268	1,135	74

集計表35 貯蓄目的

住宅の建設	耐久消費財の購入	その他	子供の教育	その他
163	77	40	66	65

集計表36 住宅情況

集計表36	1階	2階	3階	4階	5階以上	世帯専用住宅面積	世帯専用住宅戸数
計	1,103	389				1,492	83,637.26

集計表37 請負生産品及び生産量

トウモロコシ	ソウリン	アワ	米	大豆	麦	その他	合計
5,039,120	247,400	186,800	3,131,915	1,494,382	194,620	1,652,890	11,947,127

集計表38 専業戸の情況

農産物	畜産物	林業	漁業	工業	商業	運輸業	その他
12	16	16	2	2	17	12	7

- 213 -

出生間隔別分類

集計表9

	初婚～ 第1子	第1子～ 第2子	第2子～ 第3子	第3子～ 第4子		第4子～ 第5子	
				第3子	第4子	第4子	第5子
1964 計	694	651	533	429	470		
1972 1年以内	189	25	13	5	4		
年 1年至1年半	214	92	61	40	40		
出 1年半至2年	104	113	93	64	72		
生 2年至2年半	61	163	123	115	108		
間 2年半至3年	35	100	87	56	89		
隔 3年至3年半	25	57	58	58	47		
3年半至4年	18	24	23	24	32		
4年以上	48	77	75	67	78		
計	1,170	700	367	182	111		
1975 1年以内	390	26	5	6	1		
年 1年半至2年	337	110	27	11	5		
出 2年至2年半	203	126	68	25	14		
生 2年半至3年	96	139	72	32	25		
間 3年至3年半	43	82	49	36	18		
隔 3年半至4年	36	63	37	15	11		
4年以上	16	29	22	17	6		
計	49	125	87	10	23		

- 218 -

初婚時期別出生間隔分布

集計表10

初婚時期 間隔年	出生間隔			
	40年代	50年代	60年代	70年代
計	1,442	2,067	2,572	1,915
0	30	72	177	260
1	83	168	340	452
2	56	110	243	277
3	71	122	289	281
4	77	117	263	201
5	64	99	224	150
6	73	134	229	176
7	69	126	171	73
8	69	105	164	50
9	64	124	128	39
10	52	136	110	7
11	57	128	96	6
12	45	106	49	4
13	65	101	28	
14	63	76	21	1
15	49	90	16	
16	71	63	11	
17	61	47	7	
18	49	41	5	
19	60	43		
20	42	38		
21	48	14	1	
22	41	16		
23	24	6		
24以上	59	5		
初婚人数	232	403	750	907

- 219 -

1970～1985年妊娠結果

数 値	1970～1973	1974～1977	1978～1980	1981～1985
人工中絶 (1～3ヵ月)	192	74	62	27
人工中絶 (3～6ヵ月)				42
自然中絶 (例)				70
新生児死亡 (人)				42
胎児死亡 (人)				42
出 産 (例)				4,385

- 220 -

出生順位別出生数分布

	1970～1973		1974～1977		1978～1980		1981～1985	
	計	第1子	第2子	第3子以上	計	第1子	第2子	第3子以上
計	1,520	341	385	824	1,087	350	291	446
第1子					844	313	255	276
第2子					313	255	220	96
第3子以上					927	602	220	96

集計表11

1982年出生児の母親年齢と出産回数分布

集計表11

出生年齢 女子数	出 生 人 数			
	計	1 回	2 回	3 回以上
計	3,309	216	131	61
15	165			
16	148			
17	141	1	1	
18	134	1	1	
19	128	10	8	2
20	122	14	12	2
21	102	20	18	2
22	120	32	26	6
23	98	26	17	8
24	106	23	17	6
25	120	19	11	6
26	98	17	8	8
27	137	20	5	12
28	126	9	3	5
29	124	5		3
30	118	6		3
31	111	1	2	3
32	102	2		
33	120	6	1	1
34	87	1		
35	78			
36	59			
37	64			
38	63			
39	56	1		
40	61	2	1	
41	51			
42	58			
43	52			
44	56			
45	49			
46	51			
47	42			
48	46			
49	52			

- 221 -

1983年出生児の母親年齢と出産回数分布

集計表13-2

	再生産年齢女子		出生回数			
	計	1回	2回	3回以上	計	
計	3,450	193	137	40	16	
15	193					
16	166					
17	148					
18	144	6	4	2		
19	134	12	12			
20	188	21	21			
21	122	22	21	1		
22	102	20	18	2		
23	120	20	18	1	1	
24	98	27	20	7		
25	106	17	8	8	1	
26	120	10	5	1	1	
27	98	14	6	6	2	
28	137	8	3	3	2	
29	126	3		3		
30	124	1			1	
31	118	2		1	1	
32	111	4		1	3	
33	102					
34	120	3		1	2	
35	87	1			1	
36	78					
37	59					
38	61	1	1			
39	63					
40	56					
41	61					
42	51					
43	58	1			1	
44	52					
45	56					
46	49					
47	51					
48	42					
49	46					

子供がいることの長所と短所

集計表22

	喜び	労働力	老後	経済負担	精神負担	チャンスをつたう
計	765	531	1,828	980	207	14
15~24	177	64	203	115	33	
25~34	320	178	688	350	60	8
35歳以上	268	289	937	525	114	6

出生子供数の選択

集計表23

	1人	2人	3人	4人以上
計	598	2,299	83	69
15~24	121	296	1	
25~34	192	892	33	19
35歳以上	195	1,111	49	50

一人っ子証明書の情況

集計表24

	一人っ子を持つ夫婦数	一人っ子証明書数			
		計	0~4歳	5~9歳	10歳~
計	722	133	324	94	15
15~	6	2	1	1	
20~	266	153	151	2	
25~	310	193	146	47	
30~	110	74	23	40	11
35~	16	10	3	4	3
40~	6				
45~	8	1			1

再生産年齢女子の避妊を実行しない理由

集計表15

	妊娠中	妊娠を中止	不妊	宗教	その他	回答
人数	59	75	29		99	52

再生産年齢女子避妊理由

集計表16

	子供がほしい	子供がいない	子供がいない	子供がいない	その他
人数	978	1,167	42	22	3

再生産年齢女子の避妊知識

集計表18

	不妊手術(男性)	不妊手術(女性)	リング	ピル	コンドーム	リズム法	その他
人数	835	2,505	2,495	1,627	1,578	265	49

再生産年齢女子がどこから避妊知識を得たか

集計表19

	友人	父母	職場	新聞	雑誌	テレビ	その他
人数	277	65	122		437	2,489	24

既婚婦女の子供に対する考え方

集計表20

	昨年子供と別居したいか			子供を親を養うことについて					
	はい	いいえ	未定	考えたことがない	いい習慣	義務	やむを得ない	考えていない	その他
人数	2,070	39	312	533	628	2,295	22	6	31

遺産は誰が相続するか

集計表21

	長子	男子	すべての子供	老人の希望をみる	考えたことがない	その他
人数	249	879	246	1,003	603	13

再生産年齢女子避妊法別実行者数

集計表14

年齢	不妊手術		IUD	避妊薬	コンドーム	リズム法	その他	合計
	男性(男性)	女性(女性)						
15~			5	1				6
20~		8	193	29	3		1	234
25~		109	319	39	9			476
30~	1	374	195	23	2			595
35~		311	196	10				427
40~	1	159	101	7	2	1	1	272
45~	1	89	100	5		2	2	199
計	3	1,050	1,019	114	16	3	4	2,209

結婚から第一子出産までの避妊実行者数

集計表15

年齢	年															
	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
計	1	2	3		3	2	3	3		4	5	1	3	2	1	1
15~	1	2	3		1	1	1	2		2	3	1	3	1	1	1
20~					2	1	2	1		2	2			1		
25~																
30~																
35~																
40~																
45~																

1984年出生児の母親年齢と出産回数分布

集計表13-3

	再生産年齢女子	出生人数			
		計	1回	2回	3回以上
計	3,576	194	137	36	21
15	172				
16	193				
17	166	2	2		
18	148	3	3		
19	144	4	3		1
20	134	15	15		
21	188	25	24	1	
22	122	23	21	1	1
23	102	25	22	4	
24	120	23	17	5	1
25	98	18	15	2	1
26	105	12	5	5	2
27	120	17	7	6	4
28	98	7	1	5	1
29	137	7		5	2
30	126	2			2
31	124	2			2
32	118	1			1
33	111				
34	102	3	1	1	1
35	120				
36	87	1			1
37	78				
38	59	2		1	1
39	64				
40	63				
41	56				
42	61				
43	51				
44	58				
45	52	1	1		
46	56				
47	49				
48	51				
49	42				

土地、生産量、収入状況

集計表25	総耕地面積 (ha)	総収量 (t)	自作地面積 (ha)	自作地収入 (万円)	自作地収入 (万円)	自作地収入 (万円)
数	56,525.3	35,087,284	3,282.60	546,266.5	34,910.41	4,223,773.45

家庭経済と生活状況

集計表26	総人口 (人)	総収入 (万円)	総収入 (万円)			総貯蓄額 (万円)	総資産 (万円)	総負債 (万円)	総資産 - 総負債 (万円)
			80年	83年	84年				
数	2,926	13,420	2,322,841.916	2,002,688.76	5,838,408	812,450	7,230.5	1,077,705.2	41,954.3

耐久消費財保有状況

集計表27

品名	戸数
チーフレコーダー	154
ラジオ	2,013
ミシン	1,384
洗濯機	278
テレビ	501
冷蔵庫	5
オートバイ	7
自動車	5
ハンドトラック	74
トラック	36
その他農機具	105

集計表28

保有家畜状況

牛	馬	ろば	うし
1,119	932	107	269

集計表29

飲用水と水源情况

水道	キャンプ用	井戸水	河川
47	1,306	1,573	

集計表30

家庭の生活水準変化情况

向上	わずかに向上	変化なし	わずかに下降	下降
2,020	785	82	53	5

集計表31

家庭生活の水準

上	中上	中	中下	下	合計
450	815	1,015	164	151	2,926

家族規模の現状

集計表32

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
45	167	606	721	634	384	369

集計表33

家族構成の状況

核家族	直系親族	傍系親族	無親縁関係
2,276	610	39	1

集計表34

家族構成の状況

1世代	3世代	2世代	単身世代
15	487	2,288	136

集計表35

貯蓄目的

住宅の建設	耐久消費財の購入	老後	子供の教育	その他
223	193	62	88	44

集計表36

住宅情况

精上りづくり	2階建て	レンガづくり	併用	併用	併用	併用
室内	室内	室内	室内	室内	室内	室内
2,071	2	853		2,926	163,762.8	7,765.5

集計表37

請負生産品及び生産量

トウモロコシ	コウリヤン	アヲ	米	大豆	麦	その他	合計
22,280,823	1,630,679	1,406,173	3,019,950	1,223,558	123,234,995	835,30,770,252	

集計表38

専業戸の情况

栽培	栽培	経済作物	野菜	建築	加工	運輸	商業	林業	その他
42	93	1	3	2	36	27	7	5	7

(6) 草原

集計表1

常住人口年齡構成

年 齡	甲			乙			丙				
	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女		
0	41	19	22	37	61	25	36	74	5	2	3
1	73	40	33	38	52	30	22	75	6	4	2
2	69	36	33	39	45	20	25	76	6	5	1
3	97	53	44	40	34	15	19	77	3	2	1
4	75	45	30	41	43	29	14	78	3	3	
5	86	46	40	42	33	14	19	79	2	1	1
6	115	55	60	43	33	20	13	80	1	1	3
7	87	45	42	44	36	12	24	81	5	2	3
8	95	44	51	45	37	20	17	82	2	2	
9	107	61	46	46	45	26	19	83	3	1	2
10	93	51	42	47	43	23	15	84	1	1	1
11	103	46	57	48	36	21	15	85	3	2	1
12	139	61	78	49	25	15	10	86			
13	136	79	57	50	33	14	19	87			
14	132	70	62	51	49	20	20	88			
15	139	63	76	52	38	20	18	89			
16	121	63	58	53	14	6	8	90	1	1	
17	152	69	83	54	25	10	15	91			
18	108	59	49	55	26	11	15	92			
19	113	64	49	56	22	14	8	93			
20	115	63	52	57	34	22	12	94			
21	108	54	54	58	23	14	9	95			
22	115	52	63	59	18	9	9	96			
23	101	50	51	60	14	12	2	97			
24	78	45	33	61	30	17	13	98			
25	82	40	42	62	17	9	8	99			
26	62	26	36	63	26	14	12	100			
27	81	42	39	64	18	6	12	以上			
28	82	43	39	65	13	7	6				
29	75	42	33	66	14	7	7				
30	95	47	48	67	7	4	3				
31	87	41	46	68	11	8	3				
32	58	28	30	69	11	7	4				
33	68	33	35	70	11	7	4				
34	66	36	30	71	6	2	4				
35	80	46	34	72	8	4	4				
36	55	29	26	73	8	3	5				
計									4,523	2,337	2,186

集計表2

再生産年齡人口婚姻狀況

年 齡	再生産年齡人口			未 婚			初 婚			再 婚			再 婚			再 婚			
	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	
15~	633	318	315	618	312	306	15	6	9										
20~	517	264	253	241	142	99	268	119	150	7	3	4							
25~	382	193	189	26	21	5	355	172	183	2	2								
30~	374	185	189	6	6		361	176	185	4	2	2					3	1	2
35~	293	150	143	5	5		286	143	137	3	3	2	1	1			3	1	2
40~	179	90	89	4	4		171	85	86			1	1	1			3	1	2
45~	186	110	76	5	5		167	97	70	1	1						13	8	5
計	2,564	1,310	1,254	904	495	409	1,618	798	820	17	5	12	3	1	1	22	11	11	

集計表3

再生産年齡人口教育程度別分類

年 齡	再生産年齡人口			文 盲			小 学 校			初 等 中 学			高 等 中 学			大 学 以 上		
	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
15~	633	318	315	22	5	17	323	156	167	261	140	124	24	17	7			
20~	517	264	253	20	7	13	219	100	129	215	129	86	53	26	25			
25~	382	193	189	33	8	25	192	79	113	111	73	38	46	33	13			
30~	374	185	189	39	11	28	199	74	125	108	76	32	28	24	4			
35~	293	150	143	28	6	22	166	71	95	87	61	26	12	12				
40~	179	90	89	51	14	37	88	49	39	31	21	13	6	6				
45~	186	110	76	78	29	49	84	57	27	22	22	2	2					
計	2,564	1,310	1,254	271	80	191	1,231	586	695	841	522	319	171	122	49			

集計表4

再生産年齡人口職業分布

年 齡	再生産年齡人口			農 民			勞 務 者			幹 部			学 生			其 他		
	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
15~	633	318	315	414	220	194	2	1	1	208	91	117	3	1	2			
20~	517	264	253	487	245	242	2	2	3	2	1	16	11	5	1	1		
25~	382	193	189	374	187	187	1	1	2	2								
30~	374	185	189	370	182	188	1	1	1	1								
35~	293	150	143	273	135	138	2	2	3	3								
40~	179	90	89	170	84	86	2	2	1	1								
45~	186	110	76	182	105	77												
計	2,564	1,310	1,254	2,270	1,158	1,112	10	6	4	10	9	1	224	102	122	13	6	7

集計表5

女子初婚年齡狀況

年 齡	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
15~	26	15	16	14	11	11	8	9	9	10	13	12	17	11	14	4
20~	10	6	9	6	14	17	12	21	27	22	32	30	18	36	26	22
25~			1				1	1	2	4	4				2	
30~			1	2	3						1					
35~						1										
40~																
45~																
計	36	22	28	23	26	28	22	37	38	36	50	46	55	47	42	26

集計表6

女子年齡別出生狀況

年 齡	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
15~	14	11	9	13	8	7	5	2	5	3	7	7	7	4	5	3
20~	57	46	53	50	53	48	46	38	47	29	40	50	46	50	42	17
25~	31	19	32	24	23	25	33	33	39	42	41	29	19	15	14	5
30~	18	24	30	17	9	8	9	9	13	11	2	5	4	1	2	
35~	21	15	16	10	3	4	3	2	2	1	1					
40~	6	5	2	4	1	3			1	1						
45~							2	2								
計	147	118	147	119	97	97	98	84	168	90	91	92	77	72	63	25

集計表7

再生産年齡既婚女子子供數

年 齡	再生産年齡既婚女子子供數	无 儿	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上
15~	9	6	3				
20~	154	50	90	12	1	1	
25~	185	13	81	69	21	1	
30~	189	2	28	78	54	25	2
35~	143	3	4	23	43	47	25
40~	89		3	5	16	27	38
45~	76	1		2	8	14	51
計	845	75	209	189	141	115	116

集計表8

教育程度別既往出生児數

女子教育程度別	40~44	45~49	50~54	55~60(歳)
	女子人数	89	76	80
文 盲	37	49	71	44</

集計表10

初婚時期別出生間隔分布

初婚時期 間隔年	40年代	50年代	60年代	70年代
計	446	825	880	690
0	15	32	53	96
1	13	65	112	147
2	16	52	81	108
3	26	49	90	86
4	14	47	80	79
5	28	50	72	56
6	16	44	75	42
7	20	50	65	26
8	22	46	66	21
9	21	42	49	10
10	19	44	34	6
11	12	42	44	5
12	11	42	17	5
13	26	40	10	1
14	20	42	12	1
15	20	35	5	1
16	29	21	6	
17	17	27	1	
18	21	15	2	
19	14	22	4	
20	14	8		
21	15	9		
22	13	1	1	
23	7			
24以上	22		1	
初婚人数	68	143	221	296

1970~1985年妊娠結果

妊娠結果	人工中絶 (1~3月)		人工中絶 (4~9月)		自然流産 (例)		死産 (例)		新生児死亡 (人)		胎児死亡 (人)		出生 (例)	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
流産	52	14	14	14	23	23	20	20	17	17	1,525			

出生順位別出生数分布

出生順位	1970~1973		1974~1977		1978~1980		1981~1985	
	数	率	数	率	数	率	数	率
計	531	37.6	376	37.6	269	26.9	329	32.9
第1子	102	10.3	103	10.3	98	9.8	138	13.8
第2子	113	9.2	92	9.2	84	8.4	91	9.1
第3子以上	316	28.1	281	28.1	107	10.7	50	5.0

集計表11

1982年出生児の母親年齢と出産回数分布

再生産年齢 女子数	出生人数				
	計	1回	2回	3回以上	
計	1,094	77	50	17	10
15	49				
16	49				
17	52				
18	54				
19	63	7	6	1	
20	51	8	7	1	
21	33	14	11	2	1
22	42	7	5	2	
23	36	9	8	1	
24	39	8	6	2	
25	39	5	1	2	2
26	33	3	1	2	
27	48	6	2	2	2
28	46	3	2	1	
29	30	2		1	1
30	35				
31	30				
32	34	2			2
33	26	2			2
34	36				
35	22				
36	25				
37	19	1	1		
38	14				
39	19				
40	13				
41	24				
42	17				
43	19				
44	15				
45	15				
46	10				
47	19				
48	20				
49	18				

集計表12

1983年出生児の母親年齢と出産回数分布

再生産年齢 女子数	出生人数				
	計	1回	2回	3回以上	
計	1,159	72	42	25	5
15	83				
16	49				
17	49				
18	52	1	1		
19	54	3	2	1	
20	63	9	8	1	
21	51	5	5		
22	33	12	10	1	1
23	42	9	5	3	1
24	36	15	7	7	1
25	39	5	2	3	
26	39	6	2	4	
27	33	3		3	
28	48	1		1	
29	46				
30	30				
31	35				
32	30	1			1
33	34				
34	26				
35	36				
36	22				
37	25				
38	19				
39	14	1		1	
40	19	1			1
41	13				
42	24				
43	17				
44	19				
45	15				
46	15				
47	10				
48	19				
49	20				

9.計表14-3 1984年出生児の母親年齢と出産回数分布

再生産年齢女子	出 生 人 数				
	計	1 回	2 回	3 回以上	
15	58				
16	83				
17	49				
18	49	1			
19	52	4	4		
20	54	6	6		
21	63	10	9	1	
22	51	9	7	2	
23	33	7	4	2	1
24	42	10	4	6	
25	36	4	1	3	
26	39	5		3	2
27	39	1			1
28	33	2	1		1
29	48	2	1		1
30	46	1		1	
31	30	1			1
32	35				
33	30				
34	31				
35	26				
36	36				
37	22				
38	25				
39	19				
40	11				
41	19				
42	13				
43	21				
44	17				
45	19				
46	15				
47	15				
48	19				
49	19				

9.計表14 再生産年齢女子避妊法別実行者数

年 齢	不妊手術(男子)	不妊手術(女子)	IUD	避妊薬	コンドーム	リズル法	その他	合 計
15~			2					2
20~		4	76	4	8			92
25~		69	102	6	2			170
30~		117	63	1			1	182
35~		101	31					135
40~		52	23				1	76
45~		43	15		2		1	61
計		377	315	11	12		3	718

9.計表16 再生産年齢女子の避妊を執行しない理由

	妊娠中	妊婦を中絶	不妊薬	宗教	その他	閉経
人 数	50	28	6		23	20

9.計表17 再生産年齢女子避妊理由

	子供が呼ばかたに ほしくないから	呼びかけに こたえて	昔が実行し ているから	出生間隔 が長い	その他
人 数	232	434	25	15	12

9.計表18 再生産年齢女子の避妊知識

	不妊手術(男子)	不妊手術(女子)	リング	ピル	コンドーム	リズル法	その他
人 数	218	746	693	545	530	55	13

9.計表19 再生産年齢女子がどこから避妊知識を得たか

	友人	父	母	職場	書籍	テレビ	その他
人 数	35	7	48	115	830	8	

注: 9.計表15参照。

9.計表20 既婚婦女の子供に対する考え方

	晩年子供と同住したいか		子供が親を養うことについて				
	はい	いいえ、未定	考えたことがない	よい習慣	義務	やむを得ない	親に任せよう
人 数	676	12	85	207	239	718	20

9.計表21 遺産は誰が相続するか

	長子	男子	すべての子供	老人の意向をみる子供	考えたことがない	その他
人 数	36	251	29	465	194	4

9.計表22 子供がいることの長所と短所

	喜 び	労働力	老後の見守り	経済負担	精神負担	オマケを失ふ
計	252	101	694	146	55	9
15~24	46	16	99	25	14	3
25~34	124	31	275	42	23	4
35歳以上	82	54	320	79	18	2

9.計表23 出生子供数の選択

	1人	2人	3人	4人以上
計	157	761	47	15
15~24	51	110	2	
25~34	49	369	13	3
35歳以上	57	342	32	12

9.計表24 一人っ子証明書の情況

	1人っ子を 持つ夫婦数		1人っ子証明書枚		
	計	0~4歳	5~9歳	10歳~	
計	209	161	140	21	
15~	3	2	2		
20~	90	65	64	1	
25~	81	69	60	9	
30~	28	22	11	11	
35~	4	2	2		
40~	3	1	1		
45~					

土地、生産量、収入状況

	総世帯面積 (㎡)	耕作面積 (㎡)	自作地面積 (㎡)	小作地面積 (㎡)	耕作収入 (円)	自作地収入 (円)	小作地収入 (円)	その他の収入 (円)	総収入 (円)
数	22,336,06	8,188,631	2,111,9	180,158	19,614,31	1,263,653	609,85		

9.計表25

家庭経済と生活情況

	総人口 (人)	総戸数 (戸)	総収入 (円)	80年 (円)	83年 (円)	84年 (円)	総世帯収入 (円)	耕作収入 (円)	小作地収入 (円)	その他の収入 (円)	総世帯収入 (円)	耕作収入 (円)	小作地収入 (円)	その他の収入 (円)
数	4,523	1,003	687,258	1,437,489	1,814,762	241,560	2,746,5	64,319,5	1,514	25,256,2				

9.計表26

集計表27 耐久消費財保有状況

品名	戸数
冷蔵庫	70
洗濯機	728
テレビ	510
ビデオ	86
オーディオ	155
自転車	2
オートバイ	2
自動車	19
トラック	21
その他機械	61

集計表28 保有家畜状況

牛	馬	ろば	うま
875	777	71	57

集計表29 飲用水と水源状況

水道	ポンプ井戸	井戸水	湧出
70	591	312	

集計表30 家庭の生活水準変化状況

向上	わずかに向上	変化なし	わずかに下降	下降
682	254	50	13	4

集計表31 家庭生活の水準

上	中上	中	中下	下
167	255	404	145	32

家族規模の現状

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
11	67	216	239	223	133	114

集計表33 家族構成の状況

核家族	直系親族	傍系親族	無親縁関係
788	194	14	7

集計表34 家族構成の状況

4世代	3世代	2世代	単身世代
4	120	811	68

集計表35 貯蓄目的

住宅の建設	耐久消費財の購入	老後	子供の教育	その他
55	81	2	40	16

集計表36 住宅状況

粘土づくり	2階建て	レンガづくり	場所		世帯専用住宅面積(㎡)	世帯専用住宅総数(戸)
			室内	室外		
818		185	1,003		61,031.5	2,732.5

集計表37 請負生産品及び生産量

トウモロコシ	コウモシ	アワ	粟	大豆	麦	その他	合計
3,725,410	790,185	851,311	326,358	252,650	954,795		6,900,709

集計表38 専業戸の状況

農	林	漁	畜	製造	建設	加	運	商	業	林業	その他
4	18					11	3	7	4	2	

第5章 付・資料

● 調 査 日 程

期間：昭和60年7月8日～7月23日

月 日	調 査 概 要
7月8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 成田発，北京着 (JAL 783) ◦ JICA北京事務所訪問，協議・打合せ
9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 国家計画生育委員会にて，中国側と調査内容について協議・打合せ ◦ 国家計画生育委員会王偉主任主催歓迎宴
10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 北京発，特別快速列車で長春に向けて出発
11日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 長春駅着，ホテルに入る ◦ 吉林省計画生育委員会李真人口計画財務處處長より，吉林省計画生育の概況説明及び，調査票内容の協議・打合せ ◦ 吉林省計画生育委員会黄茂臣主任主催歓迎宴
12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 調査内容及び調査村のサンプリング法について協議・打合せ ◦ JICA主催答礼宴 ◦ 吉林省計画生育委員会宣伝教育サブセンター見学・調査・協議 ◦ 吉林大学見学・調査・協議 ◦ 吉林大学伍卓群副学長主催歓迎宴 ◦ 長春発，快速列車で延吉に向けて出発 河邊宏団員のみ，長春泊 車中，調査票内容について協議・打合せ
13日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 朝陽川駅着 ◦ 博物館および六一幼稚園見学 ◦ 河邊宏団員，長春発，北京に向けて出発 ◦ 延辺朝鮮族自治州張志鵬副知事主催歓迎宴 ◦ 李真処長より，吉林省の概況及び計画生育活動状況説明，協議
14日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 延辺朝鮮族自治州竜井県銅仏郷人民政府を訪問，竜井県計画生育委員会崔炳鑒主任より，概況説明 ◦ 銅仏郷の銅尚村及び銅仏村の農家を訪問・見学 ◦ 延辺朝鮮族自治州安図県松江鎮計画生育委員会を訪問，安図県松江鎮計画生育弁公室張玉祥主任より概況説明，協議 ◦ 長白山天池を見学 ◦ 河邊宏団員，北京発(帰国)

月 日	調 査 概 要
7月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ◦安図県黄哲順副県長主催歓迎宴 ◦安図県発、快速列車で長春に向け出発
16日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ◦長春着 ◦長春発、列車にてハルビンに向け出発 ◦ハルビン着 ◦黒竜江省委党校人口学室を訪問 ◦黒竜江省人口学宋杰副秘書長より、黒竜江省の概況及び計画生育活動状況の説明、協議・打合せ
17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ◦劉雅文副処長により、黒竜江省の概況及び計画生育活動状況説明、協議・打合せ ◦黒竜江省博物館で黒竜江省計画生育委員会主催の「人体奥秘及伏生展覧」を見学 ◦資料収集 ◦ハルビン木器製造工場見学 ◦松花江遊覧 ◦劉捷副主任主催歓迎宴 ◦団員打合せ
18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ハルビン発、中華民航機にて沈陽に向けて出発沈陽着 ◦遼寧美術館で、「遼寧省第1回計画生育美術撮影書法展覧」見学 ◦遼寧省計画生育委員会曹景椿副主任主催歓迎宴
19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ◦遼寧大学人口研究所訪問、曹景椿所長より遼寧省の概況及び計画生育活動状況について説明、協議・打合せ ◦本溪县人民政府を訪問、曹景椿所長より、本溪县の概況及び計画生育活動の状況説明、協議・打合せ ◦本溪县王永義県長主催歓迎宴 ◦団員打合せ
20日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ◦沈陽市于洪区大青郷人民政府を訪問、張喜春副郷長より、大青郷の概況及び計画生育活動状況説明協議・打合せ ◦大青郷西勝村計画生育宣伝教育活動室を見学 ◦大青郷西勝村の農家を訪問・見学 ◦JICA・APDA 共催答礼宴
21日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ◦沈陽発、中華民航機で北京に向け出発 ◦北京着

月 日	調 査 概 要
7月21日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 資料収集, 団員打合せ ◦ JICA 主催答礼宴
22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 北京市海淀区四季青郷人民政府訪問, 四季青郷人民政府祁亞萍副郷長より, 四季青郷の状況の概況及び計画生育活動状況の説明, 協議・打合せ ◦ 四季青郷敬老院見学 ◦ 国家計画生育委員会訪問, 会議室にて黒田団長より報告及び小林副団長より調査票最終案の説明 ◦ 答礼宴, 季宗権国家計画生育委員会副主任出席
23日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 資料収集・整理 ◦ 帰国準備 ◦ 北京 — 成田 (JAL 784) ◦ 成田着 ◦ 空港にて解散

● 調査団メンバー

氏 名 ・ 所 属	業 務 分 担	期 間
黒 田 俊 夫 日本大学人口研究所名誉所長	総括, 人口一般	同 上
小 林 和 正 日本大学人口研究所教授	人口動態, 家族計画	同 上
吉 田 成 良 財団法人アジア人口・開発協会参与	人口・家族計画プロ グラム	同 上
早 瀬 保 子 アジア経済研究所統計部統計企画課研究主任	経済・統計	同 上
遠 藤 正 昭 財団法人アジア人口・開発協会業務課長	生活・経済	同 上
永 井 義 男 財団法人アジア人口・開発協会研究員	資料収集・集計	同 上

国際協力事業団との業務実施契約にもとづき（財）アジア人口・開発協会が上記メンバーで、現地調査を行ない、本報告書を作成した。尚、以下の2名が下記の期間、作業管理のため国際協力事業団から派遣された。

氏 名 ・ 所 属	業 務 分 担	期 間
河 邊 宏 厚生省人口問題研究所人口移動部長	現地調査, 作業管理	昭和60年7月8日～ 7月14日
後 藤 俊 男 国際協力事業団医療協力部医療協力特別業務室	現地調査, 作業管理	昭和60年7月8日～ 7月23日

● 調査協力者

1 北京

王	偉	国家計画生育委员会主任
季	宗 權	国家計画生育委員会副主任
于	旺	国家計画生育委員会総合計画司司長
董	玉 昌	国家計画生育委員会外事處處長
梁	濟 民	国家計画生育委員会弁公庁主任
彭	志 良	国家計画生育委員会政治企画処副処長
杜	祥 金	国家計画生育委員会外事処副処長
倪	家 俊	国家計画生育委員会外事処幹部
鮑	顯 陽	北京外国語学院日本語学部
八 島	繼 男	JICA 北京事務所所長

2 吉林省

黃	茂 臣	吉林省計画生育委员会主任
王	平	吉林省計画生育委員会顧問
李	真	吉林省計画生育委員会人口計画財務處處長
高	雅 南	吉林省計画生育委員会人口計画統計処統計師
苑	風 岐	吉林省計画生育宣傳教育サブセンター副主任
王	宝 衡	吉林省計画生育宣傳教育サブセンター副主任
孫	沐 寒	吉林省計画生育委員会副主任
朱	日 耀	吉林大學副學長
宛	撫	吉林大學人口研究所所長
古	清 中	吉林大學人口研究所副所長
靳	東 明	吉林大學外事處處長
王	勝 今	吉林大學人口研究所研究室主任
伍	卓 群	吉林大學副學長
王	軍	吉林省計画生育宣傳教育所
閔	永 淑	延邊大學体育系
崔	昌 来	延邊朝鮮族自治州計画生育委员会主任
崔	炳 紫	龍井県計画生育委员会主任
楊	秀 琴	龍井県計画生育委員会副主任
張	玉 祥	安図県松江鎮計画生育弁公室主任

李 鳳 鳴 安図県計画生育委員会主任
黄 哲 順 安図県副県長

3 黒竜江省

劉 捷 黒龍江省計画生育委員副主任
周 立 民 黒龍江省人口学会副理事長
宋 杰 黒龍江省人口学会副秘書長
劉 雅 文 黒龍江省計画生育委員会宣教処副処長
孫 權 明 黒龍江省計画生育委員会副主任
鄒 広 建 黒龍江省計画生育委員会弁公室副主任
劉 偉 鋒 ハルビン医科大学副教授

4 遼寧省

曹 景 椿 遼寧省計画生育委員会副主任・遼寧大学人口研究所副所長
梁 久 成 遼寧大学党委副校長
劉 慶 相 遼寧大学人口研究所副所長
鄒 本 喜 遼寧省計画生育委員会副処長
張 家 平 遼寧省計画生育委員会宣伝教育処副処長
張 德 魁 本溪県県長
王 永 義 本溪県副県長
李 基 志 本溪県計画生育委員会主任
張 喜 春 瀋陽市于洪区大青郷副郷長
魏 広 志 瀋陽市于洪区副区長
李 傳 義 大青郷郷長
高 淑 琴 于洪区計画生育委員会主任

●中国人口統計専門家個別研修

期 間： 昭和60年11月21日～12月18日
氏 名： 陳勝利（吉林省計画生育委員会統計局長）
高雅南（吉林省計画生育委員会統計局人口計画統計部長）
倪家俊（中国国家計画生育委員会外事処幹部）
王勝今（吉林大学人口研究所助教授）

日 程 表

11月21日(金)： 来日（JAL782 19：15着）
22日(土)： JICA プリーフィング
23日(日)： 休日
24日(月)： 休日
25日(火)： JICA 医療協力部表敬
APDA プログラムオリエンテーション
26日(水)： “日本の人口” 黒田俊夫（日本大学人口研究所名誉所長）
“出産力調査” 小林和正（日本大学人口研究所教授）
27日(水)： “中国吉林省出生率と生活水準に関する調査” 分析，黒田俊夫，小林和正，吉
30日(土) 田成良，早瀬保子他
12月1日(日)： 休日
2日(月)： “日本の人口転換と経済発展” 河邊宏（厚生省人口問題研究所人口移動部長）
“日本の産業と人口” 松島茂（通産省大臣官房企画室長補佐），松尾隆之（同
室長補佐）
3日(火)： “日本の人口動態統計・集計” 白石昌嵩（厚生省大臣官房統計情報部人口動態
課長）
“日本の国勢調査” 大林千一（総務庁統計局国際統計課長補佐），集計センター
見学
4日(水)： “国土計画と人口” 小林良邦（国土庁計画・調整局計画官）
“農村人口の動向把握について” 中島千景（農林水産省統計情報部企画情報課
長）
5日(木)： （移動 東京 → 新神戸）

四海好吉兵庫県企画部長表敬、`兵庫県概況`

`兵庫県情報管理システム` 福井博（企画部情報管理課長）

- 6日(金)：`神戸近郊農家見学`（森本家，山西家）
`兵庫県の農業` 藤村良（兵庫県農業総合センター所長），実験農場見学
（移動 新神戸 → 京都）
- 7日(土)：`戦後の日本の母子保健活動` 副島文子
- 8日(日)：（移動 京都 → 東京）
- 9日(月)：`中国吉林省出生率と生活水準に関する調査` 分析 黒田俊夫，小林和正，吉田成良，早瀬保子他
- 10日(火)：`日本の政治` 含国会見学
`中国吉林省出生率と生活水準に関する調査` 分析（前出）
- 11日(水)：`日本の環境と生活` 高木宏明（環境庁企画調整局企画調整課長補佐）
榎田邦彦外務省アジア局中国課長表敬
- 12日(木)：`中国吉林省出生率と生活水準に関する調査` 分析（前出）
`農村生活改善と人口` 高橋淳（農林水産省生活改善課長）
同省生活改善技術研修館見学
- 13日(金)：`労働経済と人口` 落合淳一（労働省大臣官房政策調査部労働経済課企画第二係長）
`日中人口事情 — 人口専門家と懇談` 黒田俊夫，小林和正他
- 14日(土)： 休日
- 15日(日)： 休日
- 16日(月)： JICA 報告
- 17日(火)： 帰国準備
- 18日(水)： 帰国(JAL783 8：30)
-

● 調 査 票

農村人口出生力と生活水準との関係に関する調査票

(一)

1. 地区番号：

2. 世帯番号：

3. 世帯主の氏名：

4. 世帯人員：

(1) 男女計 人

(2) 男 人

(3) 女 人

5. 世帯員について：

	(1) 氏名	(2) 性別	(3) 戸主との続柄	(4) 出生年月日	(5) 出生地	(6) 民族	(7) 配偶関係	(8) 教育程度	(9) 職業	主な仕事	(11) 勤め先の企業
1		1男 2女		年 月 日	1 村民小粗内 2 村内 3 郷内 4 市内 5 省内 6 国内 7 国外	1 漢族 2 少数民族	1 未婚 2 初婚 3 再婚 4 離別 5 死別	1 文盲 2 半文盲 3 小学 4 初中 5 高中 6 大專	1 農民 2 工人 3 幹部 4 医師 5 教師 6 学生 7 その他		1 個人企業 2 世帯合弁 3 社弁
2											
10											

6. 世帯の貯蓄

(1) 貯蓄の有無：

1 有

2 無

(2) 貯蓄額：

元

(3) 貯蓄の目的：

1 住宅の建設のため

2 耐久消費財の購入のため

3 老後のため

4 子供の養育のため

5 その他

7. 住宅の状況

(1) 住宅の間数：

間

(2) 住宅の面積：

平方米

(3) 家屋の類型：

1 粘土づくり

2 2階建て

3 レンガづくり

- (4) 建築年次： 年
- (5) 改築年次： 年
- (6) あなたの世帯が専用している住宅間数： 間
- (7) あなたの世帯が専用している住宅面積： 平方米
- (8) 倉庫の有無： 1 有
2 無
- (9) 倉庫の間数： 間
- (10) 倉庫の面積： 平方米
- (11) 便 所： 1 屋内
2 屋外
8. 耐久消費財および生産用具の所有状況
- (1) ラジオ： 1 有 2 無
- (2) ラジカセ： 1 有 2 無
- (3) ミシン： 1 有 2 無
- (4) 電気洗濯機： 1 有 2 無
- (5) テレビ： 1 有 2 無
- (6) 電気冷蔵庫： 1 有 2 無 3 購入年次 年
- (7) オートバイ： 1 有 2 無 3 購入年次 年
- (8) 自動車： 1 有 2 無 3 購入年次 年
- (9) ハンドトラクター： 1 有 2 無 3 購入年次 年
- (10) トラクター： 1 有 2 無 3 購入年次 年
- (11) その他の農機具： 1 有 2 無 3 購入年次 年
9. 請負生産品種および生産量（1984年）
- (1) とうもろこし： 斤
- (2) 高粱： 斤
- (3) 粟： 斤
- (4) 水稻： 斤
- (5) 大豆： 斤
- (6) 麦： 斤
- (7) その他： 斤
- (8) 合計： 斤
10. あなたの世帯は専業戸ですか： 1 は い
2 いいえ
11. 専業戸の場合、次ぎのどちらですか： 1 請負専業戸
2 自営専業戸
12. 専業戸の場合、何をしていますか： 1 穀物栽培
2 そ菜・瓜類栽培
3 経済作物
4 養殖
5 建築
6 加工

- 7 運輸
- 8 商業
- 9 林業
- 10 その他

13. 耕地面積および耕地からの収入（1984年）

- (1) 耕地面積： 畝
- (2) 自留地面積： 畝
- (3) 自留地収入： 元
- (4) 請負地面積： 畝
- (5) 請負地収入： 元
- (6) 借入地面積： 畝
- (7) 借入地収入： 元
- (8) 貸出地面積： 畝
- (9) 貸出地収入： 元
- (10) 総生産量： 斤

14. 所有役畜頭数

- (1) 牛： 頭
- (2) 馬： 頭
- (3) ろば： 頭
- (4) らば： 頭

15. 飲料水は何に頼っていますか：

- 1 水道
- 2 ポンプ式井戸
- 3 井戸
- 4 河川

16. 世帯の総収入

- (1) 1980年： 元
- (2) 1983年： 元
- (3) 1984年： 元

17. あなたの世帯の生活水準は5年前と比べてどう変わりましたか：

- 1 非常に上昇した
- 2 いくらか上昇した
- 3 変わらない
- 4 いくらか低下した
- 5 非常に低下した

18. あなたの世帯の生活水準は世間一般と比べて、次ぎのどれに相当すると思いますか：

- 1 上
- 2 中上
- 3 中
- 4 中下
- 5 下

調査期日： 年 月 日

調査員：

記録員：

農村人口出生力と生活水準との関係に関する調査票

(二)

(15-60歳有配偶女子1名毎に調査票を別とする)

1. 地区番号：
2. 世帯番号：
3. 有配偶女子番号：
4. 有配偶女子の氏名：
5. 初婚について
 - (1) 初婚期日： 年 月 日
 - (2) 初婚年齢： 歳
 - (3) 初婚時の夫の年齢： 歳
6. 妊娠について
 - (1) 現在妊娠していますか： 1 はい
2 いいえ
 - (2) 現在の妊娠は何回目の妊娠ですか： 第 回目
 - (3) 現在の妊娠で男女児どちらが生まれることを希望しますか：
 - 1 男
 - 2 女
 - (4) いままで妊娠したことがありますか： 1 有
2 無
 - (5) いままで何回妊娠しましたか（現在の妊娠は含まない）：
回
 - (6) いままで妊娠出産歴：

(1) 回目	(2) 妊娠 結果	(3) 出 産 年 月 日	出 生 児			
			(4)氏名	(5)性別	(6)生死の別	(7)死亡年月日
1		年 月 日		1男 2女	1生存 2死亡	年 月 日
2						
3						
12						

7. 避妊について

- (1) 現在避妊実行の有無：
- 1 実行中
 - 2 実行していない
- (2) 実行中の避妊方法：
- 1 男性不妊手術
 - 2 女性不妊手術
 - 3 定期禁欲法
 - 4 IUD
 - 5 コンドーム
 - 6 ピル
 - 7 その他
- (3) 避妊を実行している理由：
- 1 子供を生みたくないから
 - 2 呼びかけに応じて
 - 3 皆が実行しているから
 - 4 出生間隔を調節するため
 - 5 その他
- (4) 避妊を実行していない理由：
- 1 妊娠中のため
 - 2 妊娠するのを待っているため
 - 3 不妊のため
 - 4 月経閉止のため
 - 5 宗教上の理由から
 - 6 その他
- (5) 知っている避妊方法：
- 1 男性不妊手術
 - 2 女性不妊手術
 - 3 定期禁欲法
 - 4 コンドーム
 - 5 IUD
 - 6 ピル
 - 7 その他
- (6) 避妊の知識を誰または何から得ましたか：
- 1 友人
 - 2 父母
 - 3 職場
 - 4 刊行物
 - 5 宣伝員
 - 6 その他
8. 結婚してから第1子を生むまでに避妊を実行しましたか：
- 1 はい
 - 2 いいえ
9. 老後子供たちと同居したいですか：
- 1 はい
 - 2 いいえ
 - 3 未定
 - 4 特に考えていない

10. 子供が父母を扶養することについてどう考えますか：

- 1 良い習慣である
- 2 義務である
- 3 しなければならないことである
- 4 良くないことである
- 5 その他

11. 財産を誰に相続しますか：

- 1 長子に
- 2 男の子に
- 3 すべての子に
- 4 老后面倒をみてる子に
- 5 特に考えていない
- 6 その他

12. 子供があると、どんなよいことや悪いことがありますか：

- 1 喜びである。
- 2 労働力になる
- 3 老後助けになる
- 4 経済的負担になる
- 5 精神的負担になる
- 6 チャンスを失う

13. 子供は何人生むのがよいと思いますか：

人

14. 1人っ子証をもらいましたか：

- 1 はい
- 2 いいえ

調査期日： 年 月 日

調査員：

記録員：

● 出生率と生活水準との関係についての第2次 日中共同調査研究の実施に関する覚書

日本国際協力事業団（以下「JICA」という）と中華人民共和国国家計画生育委員会（以下「国家計生委」という）は、標記共同調査研究の実施のための覚書について協議した。

日本政府による技術協力の実施機関であるJICAは、日本国に於いて施行されている法律および規則に従い、本件共同調査研究を実施する。

中華人民共和国政府の本共同調査研究に関する担当機関である国家計生委は、中華人民共和国に於いて施行されている法律および規則に従い、本件共同調査研究を実施する。

JICAおよび国家計生委は、本件共同調査研究の内容、範囲、スケジュールおよび本件実施に当たって双方がとるべき措置等について、下記の実施細則を定めた。

協力の内容および範囲

中国側は、日本側と協力して、出生率と生活水準との関係についての第2次共同調査研究を実施し、その目的は、日中両国に於ける人口・家族計画の研究を通じて、現在実施中のプロジェクトに資すると共に、今後の協力の有効な実施と発展に資することとする。

本件共同調査研究は、中国に於ける実地調査および日本側による日本の農村調査資料の提供を骨子とする。

1. 調査内容 別表1のとおり。ただし、必要に応じ技術的問題について再協議することとする。
2. 実地調査対象地 吉林省において無作為抽出された40村（居民小組）。総人口は、およそ3万人。
（於・中国）
3. 調査研究期間および日程 期間は、1985年6月から1986年3月までとする（別表2参照）。中国側は中国側の調査資料を整理し、とりまとめ、日本側は日本側の調査資料を整理し、とりまとめる。その後、日中双方は夫々とりまとめた調査資料を1985年11月に交換し、双方の専門家により共同研究し、報告書にまとめることとする。
4. 中国側がとるべき措置 実地調査を円滑に実施するために、中国側は、中華人民共和国に於いて施行されている法律および規則に従い以下の措置をとる。

- (1) 中国側専門家および調査参加者の人件費の負担。
- (2) 現地調査のために必要な事務所の提供。
- (3) 日本側専門家の現地視察に必要な通訳の提供。
- (4) 日本側専門家の現地視察に必要な諸許可取得の手続きの実施。
- (5) 日本側専門家の訪中に際しての税関手続きの援助。
- (6) 本件調査研究に直接関連する資料で必要とされる諸資料の提供。

5. 日本側がとるべき措置

- (1) 調査と関連する機材の提供等の形での、中国に於ける実地調査の実施に関連する経費の負担。
- (2) 日本側専門家の訪中旅費および中国に於ける国内交通費の負担。
- (3) 中国側専門家4名の訪日旅費の負担。
- (4) 中国側専門家の現地視察に必要な諸許可取得の手続きの実施。
- (5) 日本側専門家の携行機材の輸送経費の負担。
- (6) 中国側専門家の訪日に際しての税関手続きの援助。
- (7) 本件調査研究に直接関連する資料で必要とされる諸資料の提供。

6. JICAは、本覚書第5条第1項の実施に関し、適当な日本の民間機関を確定する。

7. 本覚書に記載されていない事項については、本件共同調査研究期間中に双方協議して解決することとする。

1985年6月20日 於・北京

日 本 国
国際協力事業団代表
北京事務所所長

八島 健男

中 華 人 民 共 和 国
国家計画生育委員会代表
外事処処長

李 昌

JICA